

# 平成28年度 病院年報

平成  
28  
年度

病院  
年報



厚生労働省臨床研修指定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
周産期協力病院  
救急告示病院

## 市立長浜病院

市立  
長浜  
病院

平成30年3月発行

平成28年度 市立長浜病院年報

編集・発行 市立長浜病院

院長 神田 雄 史

滋賀県長浜市大<sup>おおひぬい</sup>成<sup>なり</sup>亥<sup>けい</sup>町313番地

TEL 0749-68-2300

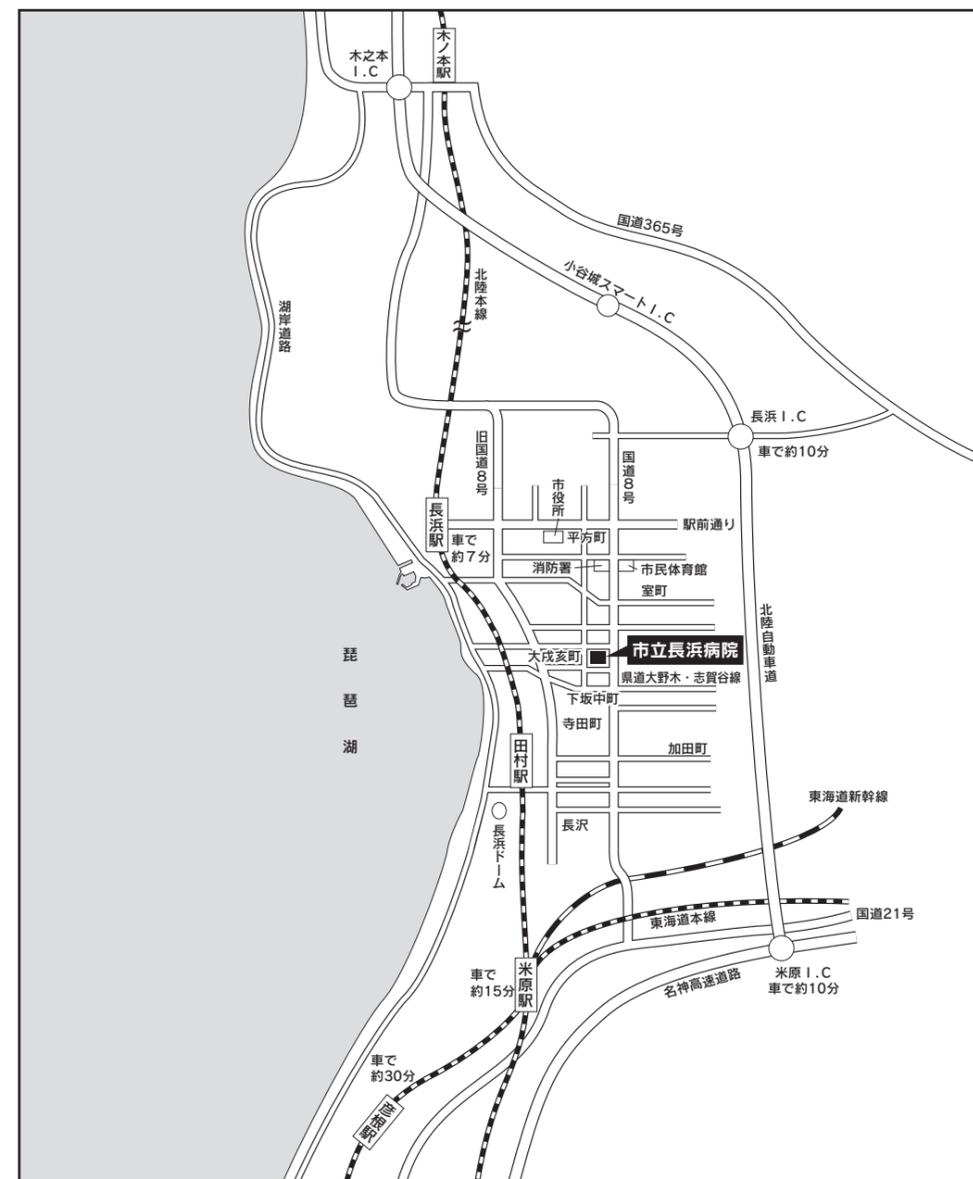
FAX 0749-65-1259

## 理 念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

## 基本方針

1. 患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2. 地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展のためにつくします。
3. 高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4. 快適な療養環境の整備と、質の高いケアに努めます。
5. 医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6. 職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7. 職員が元気で働きがいのある職場づくりに努めます。



# 目 次

I	はじめに .....	1
II	病院の沿革 .....	3
III	病院の概要	
	1 施設概要	
	1 概要 .....	7
	2 職員状況と組織機構.....	12
IV	活動状況	
	1 主要事業の概要	
	1 市立長浜病院がんフォーラム.....	14
	2 びわ湖メディカルネットの運用.....	15
	3 回復期リハビリテーション病棟の運営.....	16
	2 各科の活動状況	
	総合診療科 .....	17
	内科／血液化学療法 .....	17
	内科／腎臓代謝内科 .....	18
	神経内科 .....	19
	消化器内科 .....	19
	呼吸器内科 .....	20
	循環器内科 .....	21
	リウマチ膠原病内科 .....	21
	緩和ケア外来ところ .....	22
	小児科 .....	22
	外科 .....	23
	呼吸器外科 .....	24
	整形外科 .....	25
	形成外科 .....	26
	脳神経外科 .....	26
	心臓血管外科 .....	28
	皮膚科 .....	29
	泌尿器科 .....	30
	産婦人科 .....	31
	眼科 .....	32
	耳鼻咽喉科 .....	33
	麻酔科 .....	34
	ICU・CCUセンター .....	35

放射線科（治療部門）	36
放射線科（診断部門）	37
病理診断科	38
歯科・歯科口腔外科	39
臨床研修医	40
人工透析室	41
救急センター	42
健診センター	43
開放型病棟、開放型病床	44
中央材料室	45
中央手術室	46
薬剤部	47
医療技術局	48
栄養科	49
臨床工学技術科	50
放射線技術科	51
リハビリテーション科／リハビリテーション技術科	53
中央検査技術科	55
歯科・眼科技術室	57
看護局	58
訪問看護ステーション	62
事務局	63
病院機能強化推進室	67
地域医療事業部	68
がん対策推進事業部	70
診療情報支援室	71
医療安全管理室	72
3 著書発表記録	74
4 論文発表記録	75
5 学会・研究発表記録	77
6 講習会／研修会への取り組み	
1 患者さん、市民を対象にしたもの	90
2 医療従事者、地域開業医を対象にしたもの	95
7 委員会の状況	98

## V 経営状況

### 平成28年度決算状況

（1）経営収支比較	128
（2）貸借対照表	129
（3）経営状況①	130
経営状況②	130
（4）資本的収入及び支出	131

VI	各種統計資料	
1	患者状況	
	(1) 一般病棟科別入院患者数	132
	(2) 療養病棟科別入院患者数	132
	(3) 科別外来患者数	133
	(4) 入院外来患者数の年次推移 (一般病棟)	134
	(5) 入院地域別患者数	135
	(6) 入院年代別患者数	139
	(7) 外来地域別患者数	143
	(8) 外来年代別患者数	144
	(9) 科別月別入院退院数	145
	(10) 科別月別入院患者数	146
	(11) 科別月別外来患者数	147
	(12) 時間内患者数	148
	(13) 休日患者数	148
	(14) 夜間患者数	148
	(15) 救急車利用状況	149
2	I C U ・ C C U 業務状況	150
3	手術業務状況	151
4	健診センター利用状況	152
5	中央材料室業務状況	157
6	薬剤科業務状況	158
7	栄養科業務状況	159
8	放射線科／放射線技術科業務状況	161
9	中央検査技術科業務状況	166
10	リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況	168
11	開放型入院患者状況	169
12	訪問看護ステーション業務状況	170
13	疾病別・転帰別退院患者数	171
14	院内がん登録 2015年症例	172
15	医療機器等購入状況	173
16	死亡診断書発行状況	174
17	剖検症例	175
18	院内保育所「あすなろ園」状況	176

# I はじめに

# 理念「人中心の医療」を旗印に

長浜市病院事業管理者 野田 秀 樹



「地域を支え、導く病院であり続けるために」をコンセプトにファシリティマネジメント・病院長寿化計画に則って現在ハード、ソフトの充実を図っているところです。診療支援棟の完成に続き、今年度は患者総合支援センターの整備が進められていますが病院機能の一翼を担う部門に成長することを願い工事の進捗状況を見守っています。

本年は2年毎の診療報酬改定の年にあたり、前回に引き続きマイナス改定になりました。本体部分は微増とされますが、厚労省の言うように制度改革分を入れるとマイナス幅は大きく、消費増税分が消化仕切れなかった前回同様、当院では厳しい状況となっています。また、医療の質と安全提供に欠かせない人材についても一部の職域を除けば依然確保困難な状態が続きます。

こうした中、希望の種を新しく蒔くことも出来ました。平成29年3月16日に・集学的診療を通した臨床・基礎研究、・地域住民への公開講座の実施、・専門的知識・技術を備えた医師及び医療スタッフの育成を目的に長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で寄附講座設置に関する協定が結ばれ、当院では新たに4名の医師を迎え入れリウマチセンターの平成29年4月稼働に向けたスタートを切ることになりました。

医療を取り巻く環境は一段と厳しく、加速度的変化をしています。目前に突きつけられた「地域医療構想」「専門医制度」「働き方改革」等の制度改革、どれ一つとっても、待ったなしの出血を伴う根拠的処置が要求される物ばかりです。その対応には多くの人材確保とドラスティックな組織改革が求められます。しかし、人材確保にはいろいろ手を尽くしてきましたが、一段と厳しくなるばかりで、この流れが短期的に変わるとは思えず、今ある医療資源で最大効果が挙げられる小回りの効く新しい体制創りに全力を挙げねばなりません。今までのような考え方、方法論ではもはや立ち行かなくなっていることを充分認識した上での改革が必要です。

少子・高齢化の進む人口減少社会にあって医療圏域の医療・福祉を守る為に何が求められ、何をなすべきなのか？各人それぞれが考え何役もこなさねばならない状況下に既に追い遣られていると感じます。近い将来、既存の病院概念を取っ払って、圏域全体を広大な敷地を持つ医療・福祉ゾーンとし、住民を含めた地域に係る人すべてが受益・受援者であり、与益・支援者であるといった考え方の下、医療・福祉体制を整えていかねばならない時が来ているように思います。

当院としては、いま長い苦境下にあります。理念「人中心の医療」を旗印に、叡智を集め職員一丸となって前進したいものです。

# 平成28年度年報に寄せて



市立長浜病院

院長 神田 雄 史

平成28年度の年報をお届けします。当院の沿革・概要、診療や研究の活動状況、経営状況などをまとめました。皆様にお役に立てば幸いです。

平成28年4月1日に私が市立長浜病院の院長に就任しました。多賀俊明前院長を引き継ぎ、病院の理念に従い、地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成27年10月に「診療支援棟」が完成しましたが、今年は病院全体の機能を再構築し病院が持つ強みを活かすために、「診療支援棟」を本格稼働させました。また、患者・職員のサービスの向上の一環として、平成28年6月には本館1階にコンビニエンスストアとレストランを開設しました。

ますます厳しくなる医療経営環境に対応するために、病院機能強化に向けた取り組みを更に推進することにいたしました。平成28年4月に病院機能強化推進室を立ち上げ、外来患者支援機能、急性期治療機能、診療支援棟へ移転後のスペースの機能向上に向けた改修、建物設備の長寿命化推進などの課題に取り組んでいます。また、平成32年度までの病院の運営方針を定める「中期経営計画（新改革プラン）」の策定を開始しました。「新改革プラン」は平成29年4月から4年間適応されます。

平成28年度は、地域医療連携を強化するために、「患者総合支援センター」の設置に向けた準備を進めて参りました。平成29年1月から一部の運用を開始しており、平成30年度に「地域医療支援病院」の名称承認を受ける準備を開始しました。平成29年4月には「患者総合支援センター」は本格稼働を予定しています。また、医師をはじめとした慢性的に不足する人材の確保を強化するために、総務課内に「病院事業人材確保推進室」を新設する予定です。

市立長浜病院の特徴、機能を一般市民の皆さまや医療介護関係者の皆さま、そして当院に就職を希望される皆さまにもっと知っていただきたいとの思いから、病院のホームページのリニューアルを計画しています。平成29年4月には、新しいホームページで日々活躍されている職員の活動状況を多くの皆さまにアピールしたいと思います。

また、病院機能の改善に日々努力している私たち職員の姿を客観的に評価していただくために、平成29年度の病院機能評価の更新を受審する準備を開始しています。

当院は地域医療の基幹病院としてこれからもその役割を担っていきます。これまで当院をご支援いただきました医師会、医療介護関係機関の皆さま、ボランティアの皆さまに心から感謝申し上げますとともに、今後も、ますますのご支援を賜りますようによろしくお願い申し上げます。

## II 病院の沿革

# 沿 革

明治19年4月	(1886)	公立大津病院を県立大津病院に改称され、長浜に出張所が設置される
明治20年8月	(1887)	北船町（現在の公園町）に県立長浜避病院が設置される
明治22年4月	(1889)	町立長浜病院が設立（西本町）
明治26年11月	(1893)	北船町（現在の朝日町）に町立長浜病院を新築移転
明治30年4月	(1897)	町立長浜病院が私立長浜病院となる
昭和19年5月	(1944)	私立長浜病院を買収。市立病院として同年6月開院 診療科：内科、外科、耳鼻科
昭和21年3月	(1946)	市立長浜病院東分院設置（東上坂町字小田976-7） 診療科：内科、小児科（医師3人、薬剤師1人、看護婦5人、その他5人）
昭和22年7月	(1947)	市立長浜病院神田診療所設置（加田町字坂村2356） 診療科：内科、小児科
昭和33年3月	(1958)	病院移転新築工事着工（八幡東町631）
昭和34年4月	(1959)	鉄筋コンクリート3階建開院 一般病棟167床、結核病棟39床、癌治療施設、看護婦寄宿舍完成
昭和34年8月	(1959)	伝染病棟（15床）増設
昭和37年11月	(1962)	一般病棟50床増設
昭和38年1月	(1963)	一般病棟29床増設、病床総数300床
昭和41年9月	(1965)	救急病院の告示
昭和42年1月	(1967)	機能回復訓練室、病床15床増設、伝染病棟15床を一般病棟へ切り替え
昭和50年7月	(1975)	結核病棟39床を廃止し、一般病棟へ切り替え、病床総数315床
昭和55年4月	(1980)	53年度から2ヵ年計画で病棟（西棟）及び放射線部門を増設。 併せて院内保育園新設、病床総数365床
昭和61年4月	(1986)	58年度から3ヵ年計画で中央棟（開放型病室32床含む）の増築 整備をはかり、病床総数415床
平成4年6月	(1992)	病院移転新築基本構想策定
平成6年3月	(1994)	病院新築工事契約の締結
平成6年5月	(1994)	移転新築工事起工（長浜市大戌亥町313）
平成8年5月1日	(1996)	新病院開院（入院患者の移送） 病床総数520床（開放型50床）、外来診療開始（5月7日） 診療科：20科（平成9年1月1日 診療科21科）
平成9年12月5日	(1997)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
平成10年3月16日	(1998)	病院機能評価における認定証の受理 （平成10年2月9日付け一般病床種別B認定第26号） （認定期間 平成10年2月9日～平成15年2月8日）
平成11年1月8日	(1999)	河野良一名誉院長（昭和57年4月1日就任）が死去
平成11年3月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計予算議決
平成11年4月	(1999)	企画情報課に療養型病床群病棟開設準備担当設置

平成11年8月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計本部設置
平成13年1月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事請負契約の締結
平成13年1月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事起工
平成13年2月	(2001)	トータルオーダーリングシステム等基本計画策定
平成13年3月	(2001)	秋山泰高院長（平成2年4月1日就任）が退職
平成13年3月	(2001)	臨床研修病院の指定を受ける
平成13年4月	(2001)	琴浦良彦院長就任
平成13年4月15日	(2001)	西川博文副院長（平成8年5月1日就任）が死去
平成14年3月1日	(2002)	療養病棟の開設（156床増床）
平成14年5月	(2002)	トータルオーダーリングシステム更新
平成15年2月6日	(2003)	全国自治体病院協議会管理者研修実施
平成15年2月26日～28日	(2003)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（ver.4）
平成15年4月15日	(2003)	アウグスブルク市長病院視察
平成16年1月26日	(2004)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定証受理 （認定期間 平成15年2月9日～平成20年2月8日）
平成16年4月1日	(2004)	市立長浜病院組織機構改革
平成16年4月1日	(2004)	湖北地域における小児救急支援事業の開始
平成16年5月1日	(2004)	臨床研修医制度による研修医の受け入れ開始
平成17年1月17日	(2005)	地域がん診療拠点病院の指定を受ける
平成17年12月	(2005)	長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で「長浜市0次予防健康づくり推進事業」の計画策定に関する覚書を締結。今後1万人規模の疫学調査に積極的に参加協力。
平成18年2月6日	(2006)	人間ドック・健診施設機能評価機構による訪問審査
平成18年2月13日	(2006)	長浜市・浅井町・びわ町1市2町合併
平成18年3月25日	(2006)	社団法人日本病院会、日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定証受理 （認定期間 平成18年3月25日～平成23年8月31日）
平成18年3月	(2006)	平成16年6月の創立60周年を機に、市立長浜病院創立60周年記念誌を発刊
平成18年11月	(2006)	最新鋭の64マルチスライスCTの運用開始
平成19年4月	(2007)	高精度治療に対応した最新の放射線治療装置（リニアック）の導入に向けたプロジェクトチームを設置
平成19年6月	(2007)	がん相談支援センターの設置
平成20年2月	(2008)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5）の認定更新 （認定期間 平成20年2月9日～平成25年2月8日）
平成20年2月	(2008)	地域がん診療連携拠点病院認定更新
平成20年3月	(2008)	琴浦良彦院長（平成13年4月1日就任）が退職
平成20年4月	(2008)	野田秀樹院長就任

平成20年 4月	(2008)	最新の放射線治療装置（リニアック）の稼働
平成20年 4月	(2008)	PACS（画像ファイリングシステム）運用開始
平成20年 6月	(2008)	医薬分業の視点から薬品の院外処方箋を発行
平成20年 7月	(2008)	厚生労働省からDPC対象病院に指定
平成20年 7月	(2008)	療養病棟2階介護保険52床休床届
平成21年 3月17日	(2009)	一般病棟5階東51床休床届
平成21年 3月	(2009)	市立長浜病院改革プラン策定
平成21年 4月	(2009)	一般病棟入院基本料看護基準7対1の施設基準を取得
平成21年 4月	(2009)	長浜病院訪問看護ステーションの設置
平成22年 1月1日	(2010)	長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町の1市6町合併
平成22年 1月	(2010)	トータルオーダーリングシステム更新
平成22年 4月	(2010)	地方公営企業法全部適用へ移行
平成22年 4月	(2010)	野田秀樹院長が病院事業管理者に就任（院長兼務）
平成22年 4月1日	(2010)	標榜科22科（呼吸器外科を新たに届出）
平成22年 7月1日	(2010)	地域医療事業部及びがん対策推進事業部の新設 （医療社会相談室の廃止）
平成23年 3月31日	(2011)	療養病棟2階介護保険52床を廃止で変更届 総病床数（624床） 一般病棟（520床）うち5階東51床休床 療養病棟（104床）うち医療保険52床、介護保険52床
平成23年 4月	(2011)	社団法人日本病院会 日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設 機能評価認定更新（認定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日）
平成23年 7月20日	(2011)	療養病棟2階を医療保険適応病床52床に変更届
平成24年 3月	(2012)	長浜市病院事業基本計画（中期）及び長浜市病院事業改革プラン 【改訂版】を策定
平成24年 4月	(2012)	野田秀樹院長が病院事業管理者を専任及び医療政策監に就任
平成24年 4月	(2012)	多賀俊明院長就任
平成24年 4月	(2012)	経営企画課に診療支援棟建設準備室を設置
平成24年 4月23日	(2012)	療養病棟1階人工透析室40床開設
平成24年 5月31日	(2012)	療養病棟3階介護保険52床を廃止で変更届
平成24年 6月 1日	(2012)	療養病棟3階を医療保険52床で届出し、同時に休床届 総病床数（624床） 一般病棟（520床）うち5階東51床休床 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成24年 9月	(2012)	診療支援棟建設設計補正予算議決
平成24年10月1日～3日	(2012)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（Ver.6）
平成24年11月	(2012)	3.0テスラMRI装置の導入
平成25年 1月	(2013)	トータルオーダーリングシステム等の電子カルテ化

- 平成25年 2月 (2013) 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver.6) の認定更新 (認定期間 平成25年2月9日～平成30年2月8日)
- 平成25年 3月 (2013) 外来化学療法センター開設 (移転増床)
- 平成25年 3月 1日 (2013) 療養病棟3階医療保険52床再開
- 平成25年 6月 1日 (2013) 回復期リハビリテーション病棟 (療養病棟) の運用を開始
- 平成25年 8月 1日 (2013) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の運用を開始
- 平成26年 3月 (2014) 診療支援棟整備工事設計業務完了
- 平成26年 4月 (2014) 野田秀樹病院事業管理者が再任
- 平成26年 6月 (2014) 診療支援棟整備工事着工
- 平成26年10月 2日 (2014) 標榜科23科 (病理診断科を新たに届出)
- 平成26年11月 5日 (2014) 5階東病棟51床再開 3階東病棟45床休床
- 平成27年 1月 1日 (2015) 地域包括ケア病棟の運用を開始
- 平成27年 3月 (2015) 長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定
- 平成27年 4月 1日 (2015) 開設許可病床 (一般病棟) 8床削減  
総病床数 (616床)  
一般病棟 (512床) うち3階東41床休床  
療養病棟 (104床) うち医療保険104床
- 平成27年10月 4日 (2015) 診療支援棟 竣工式
- 平成28年 3月 (2016) 多賀俊明院長 (平成24年4月1日就任) が退職
- 平成28年 4月 (2016) 神田雄史院長就任
- 平成29年 3月 (2017) 長浜市病院事業中期経営計画 (新改革プラン) を策定
- 平成29年 4月 1日 (2017) 開設許可病床 (一般病棟) 16床削減  
総病床数 (600床)  
一般病棟 (496床) うち3階東25床休床  
療養病棟 (104床) うち医療保険104床
- 平成29年 4月 (2017) 患者総合支援センター開設  
リウマチセンター開設
- 平成29年 4月11日 (2017) 7階東病棟50床休床
- 平成29年10月26～27日 (2017) 財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審 (3rdG)

## Ⅲ 病院の概要

### Ⅲ－１ 施設概要

# 1. 概要

## (1) 施設概要

所在地	滋賀県長浜市大戌亥町313番地		
施設名	市立長浜病院		
開設者	長浜市長 藤井勇治		
管理者	院長 神田雄史		
敷地面積	70,991.23㎡		
建物	本館	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上7階	
		高さ	37.5m
		延床面積	32,836.9㎡
	別館	鉄筋コンクリート造地上3階	
		延床面積	8,212.5㎡
	付属棟	保育園、車庫、医療ガス庫、駐輪場、キャノピー	
		延床面積	1,078.8㎡
	診療支援棟	鉄骨造4階	5,333.6㎡

## (2) 外来

診療科（標榜科 23科）

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科

診療科（院内標榜）

心療内科、腎臓・代謝内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科

## (3) 病棟 （平成29年4月11日現在）

病床数	600床（一般 496床、療養104床）		
病棟	3階東病棟（25床）	3階西病棟（47床）	
	3階南病棟（40床）	ICU CCU（8床）	
	4階東病棟（35床）	4階西病棟（39床）	
	（内 PICU 2床）	（内 NICU 9床）	
	5階東病棟（51床）	5階西病棟（50床）	
	6階東病棟（51床）	6階西病棟（50床）	
	7階東病棟（50床）	7階西病棟（50床）	
	療養2階病棟（52床）	医療保険対応	
	回復期リハビリテーション病棟（52床）	医療保険対応	

#### (4) 認定施設基準一覧 (平成29年5月1日現在)

##### ○基本診療料

初診・再診料

地域歯科診療支援病院歯科初診料

入院基本料等

一般病棟7：1入院基本料

療養病棟入院基本料2

入院基本料加算

歯科外来診療環境体制加算

歯科診療特別対応連携加算

超急性期脳卒中加算

診療録管理体制加算1

医師事務作業補助体制加算1

急性期看護補助体制加算

看護職員夜間配置加算

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

療養病棟療養環境加算1

無菌治療室管理加算 (1と2)

栄養サポートチーム加算

医療安全対策加算1

感染防止対策加算1

患者サポート体制充実加算

褥瘡ハイリスク患者ケア加算

ハイリスク妊婦管理加算

ハイリスク分娩管理加算

総合評価加算

呼吸ケアチーム加算

病棟薬剤業務実施加算 (1と2)

データ提出加算2

退院支援加算

地域歯科診療支援病院入院加算

特定入院料

特定集中治療室管理料3

脳卒中ケアユニット入院医療管理料

小児入院医療管理料5

回復期リハビリテーション病棟入院料2

地域包括ケア病棟入院料1

##### ○特掲診療料

高度難聴指導管理料

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

がん患者指導管理料1・2・3

糖尿病透析予防指導管理料  
外来放射線照射診療料  
ニコチン依存症管理料  
開放型病院共同指導料  
がん治療連携計画策定料  
肝炎インターフェロン治療計画料  
薬剤管理指導料  
検査・画像情報提供加算  
医療機器安全管理料1  
医療機器安全管理料2  
歯科治療総合医療管理料  
在宅患者訪問看護・指導料  
持続血糖測定器加算  
HPV核酸検出  
HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）  
検体検査管理加算（II）  
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算  
時間内歩行試験  
胎児心エコー法  
ヘッドアップティルト試験  
皮下連続式グルコース測定  
長期継続頭蓋内脳波検査  
神経学的検査  
小児食物アレルギー負荷検査  
内服・点滴誘発試験  
センチネルリンパ節生検（片側）  
画像診断管理加算2  
CT撮影及びMRI撮影  
冠動脈CT撮影加算  
心臓MRI撮影加算  
乳房MRI撮影加算  
外来化学療法加算1  
無菌製剤処理料  
心大血管疾患リハビリテーション料（I）  
脳血管疾患等リハビリテーション料（I）  
運動器リハビリテーション料（I）  
呼吸器リハビリテーション料（I）  
がん患者リハビリテーション料  
歯科口腔リハビリテーション料2  
エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）  
エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）  
透析液水質確保加算1  
下肢末梢動脈疾患指導管理加算  
歯科技工加算  
組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）

脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術  
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術  
上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る。）  
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算2）  
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）  
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）  
経皮的中隔心筋焼灼術  
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）  
体外衝撃波胆石破碎術  
腹腔鏡下肝切除術  
体外衝撃波膵石破碎術  
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術  
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）  
膀胱水圧拡張術  
人工尿道括約筋植込・置換術  
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）  
輸血管管理料Ⅱ  
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算  
胃瘻造設時嚙下機能評価加算  
歯周組織再生誘導手術  
麻酔管理料（Ⅰ）  
放射線治療専任加算  
外来放射線治療加算  
高エネルギー放射線治療  
1回線量増加加算  
強度変調放射線治療（IMRT）  
画像誘導放射線治療加算（IGRT）  
体外照射呼吸性移動対策加算  
定位放射線治療  
定位放射線治療呼吸移動対策加算  
病理診断管理加算  
クラウン・ブリッジ維持管理料  
歯科矯正診断料

○入院時食事療養等の基準

入院時食事療養Ⅰ  
特別の療養環境の提供  
病院（200床以上）の初診  
入院期間が180日を超える入院

(5) 学会等の教育病院指定一覧 平成28年4月現在

施設名	施設名
日本内科学会認定医制度教育病院	日本放射線腫瘍学会認定施設
日本血液学会認定血液研修施設	日本病理学会認定病院B
日本胸部外科学会指定施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本呼吸器学会認定施設	日本老年医学会認定老年病専門医制度認定施設
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本高血圧学会専門医認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	日本リウマチ学会認定教育施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設	日本食道栄養学会全国登録認定施設
日本小児科学会専門医制度研修施設	胸部ステントグラフト実施施設
日本外科学会専門医制度修練施設	腹部ステントグラフト実施施設
日本乳癌学会関連施設	日本腎臓学会研修施設
日本整形外科学会専門医研修施設	日本集中治療医学会研修施設
日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設	マンモグラフィ検診施設画像評価認定施設
日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	日本口腔外科学会准研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本糖尿病学会教育関連施設
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	日本食道学会認定施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	下枝静脈瘤に対する血管内灼術の実施基準による実施施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	地域包括医療・ケア認定施設

(6) 病院配置図 平成28年4月現在

本館		病棟	7 F	手術室	
		病棟	6 F		
		病棟	5 F		
		病棟	4 F		
病棟	病棟	3 F	中央材料室 機器センター		電気室
外来診察 中央検査科	看護局・診療情報支援室他 看護学生室・総務課		2 F		
外来診察 放射線科 リハビリテーション科 健診センター	待合 ホール	薬剤科・栄養科・医事課	1 F		コンビニ レストラン
別館		病棟	3 F	経営企画課 地域医療事業部 がん対策推進事業部	
		病棟	2 F		
		人工透析センター	1 F		
支援棟		3 F	手術室・ICU・CCU	血管撮影室	
		2 F	医局・当直室		
		1 F	救急センター	放射線科	

## 2. 職員状況と組織機構

### (1) 職員状況

(単位：人)

	平成26年4月 (26.4.1現在)	平成27年4月 (27.4.1現在)	平成28年4月 (28.4.1現在)
医 師	90	86	84
歯 科 医 師	4	4	4
薬 剤 師	18	19	19
看 護 師	524	520	517
看 護 助 手	49	51	50
助 産 師	18	20	18
栄 養 士	6	5	7
放 射 線 技 師	20	23	23
検 査 技 師	26	27	26
臨床工学技士	7	8	9
理学療法士	25	25	25
作業療法士	10	11	11
視能訓練士	4	4	4
歯科衛生士	2	4	4
歯科技工士	1	1	1
言語聴覚士	4	5	5
事 務 職	56	56	57
介 護 士	35	31	29
そ の 他	126	133	122
合 計	1,025	1,033	1,015



## **IV 活動状況**

### **IV－1 主要事業の概要**

# 1. 市立長浜病院がんフォーラム2016

## 1. 開催目的

働く世代のがん検診受診率を向上させる取り組みや、就労を含めた諸問題について、医療・行政・市民が共に考える機会を提供するため開催しました。

## 2. 開催日

平成28年7月3日（日） 14時～16時30分（13時30分から受付）

## 3. 参加費

無料

## 4. 場所

長浜文化芸術会館 ホール（滋賀県長浜市大島町37番地）

## 5. 内容

基調講演 「がんになった後の暮らしのヒント」

講師 キャンサー・ソリューションズ（株）代表取締役社長 桜井なおみ氏

パネルディスカッション「働くこと、生き抜くこと」

アドバイザー キャンサー・ソリューションズ（株）代表取締役社長 桜井なおみ氏

座長 当院産婦人科責任部長 林 嘉彦

当院がん看護専門看護師 山岸 美紀

パネリスト 虎姫診療所所長 廣田 光前

滋賀県社会保険労務士会 古川 政明

ハローワーク長浜 福田 弘樹

長浜市健康推進課課長代理 横田 留里

当院外科部長 花木 宏治

当院がん相談支援センター副センター長 新川 君代

音楽演奏 日本よし笛の会 みしま4420

## 6. 主催

市立長浜病院

### 後援

湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、滋賀県、米原市、長浜市

滋賀県がん患者団体連絡協議会、滋賀県がん診療連携協議会、滋賀県放射線治療連絡協議会

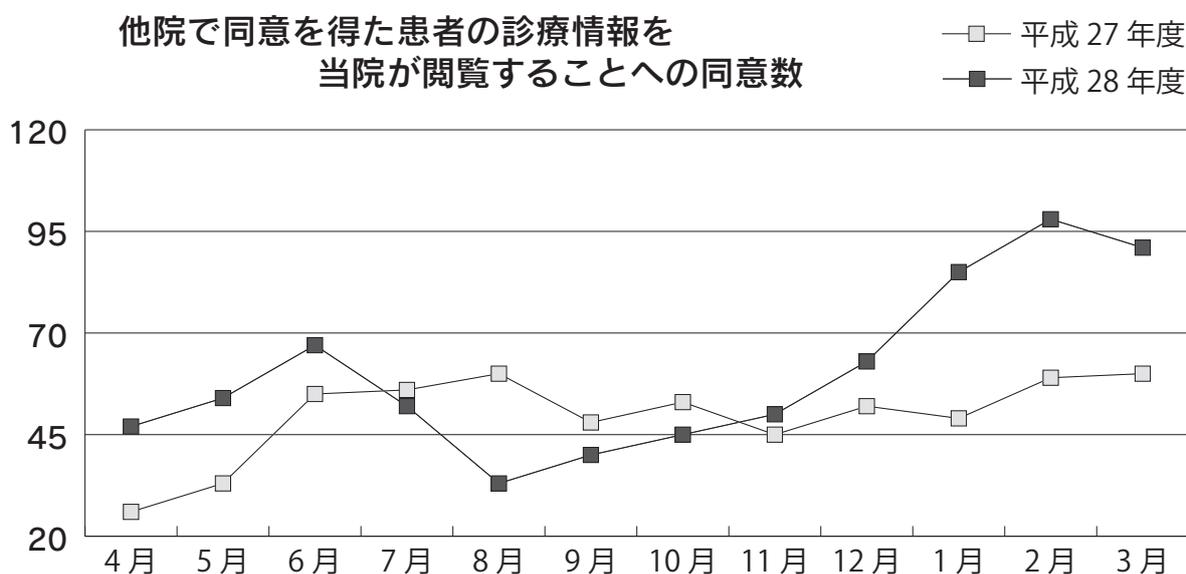
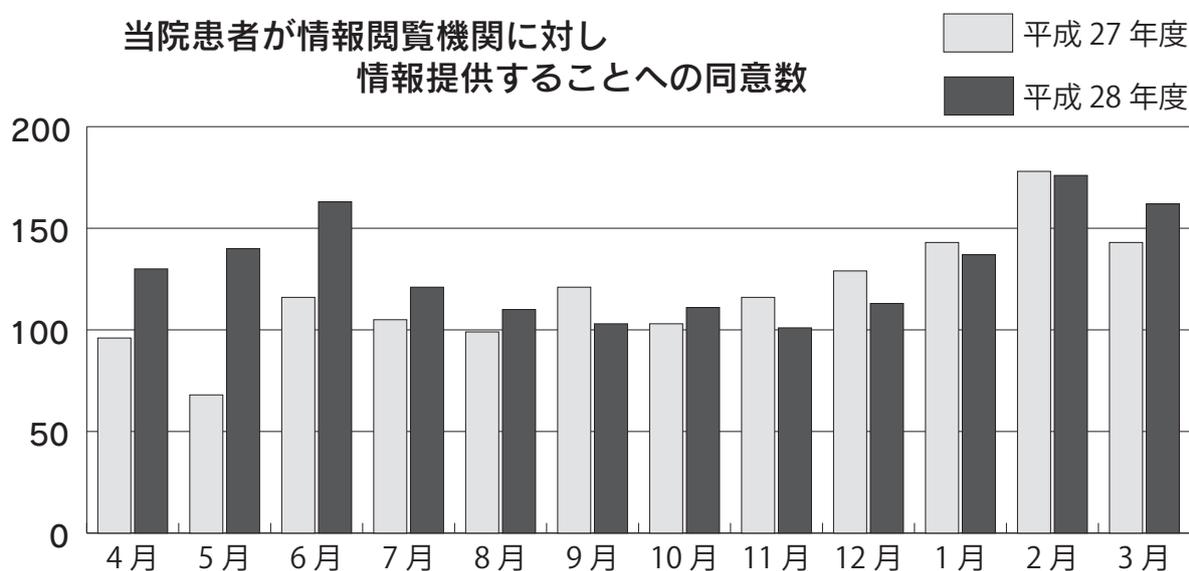
## 7. 参加者数

258名

## 2. びわ湖メディカルネットの運用

滋賀県全域を結ぶ地域医療連携ネットワークであるびわ湖メディカルネットに移行し2年が経過しました。湖北圏域における情報提供病院である市立長浜病院・長浜赤十字病院・長浜市立湖北病院の3病院と、情報閲覧機関である診療所、薬局等の医療機関がITネットワークの専用回線で結ばれています。患者の同意に基づき、診療情報の共有化をはかることで、専門医とかかりつけ医の役割分担を進め、地域住民への良質な医療の提供につなげることができました。各医療機関を結ぶオンライン回線は、厚生労働省が認めた非常に高いセキュリティーを確保しています。

平成28年度に、当院患者が情報閲覧機関に対して情報提供することへの同意数は1,567人（前年度比150人増）、他の情報提供病院で同意を得た患者の診療情報を当院が閲覧することへの同意者数は725人（前年度比129人増）となっています。昨年度ほどの大きな伸びはみられませんでした。次年度は少しでも多くの方へ同意していただけるよう努力していきます。

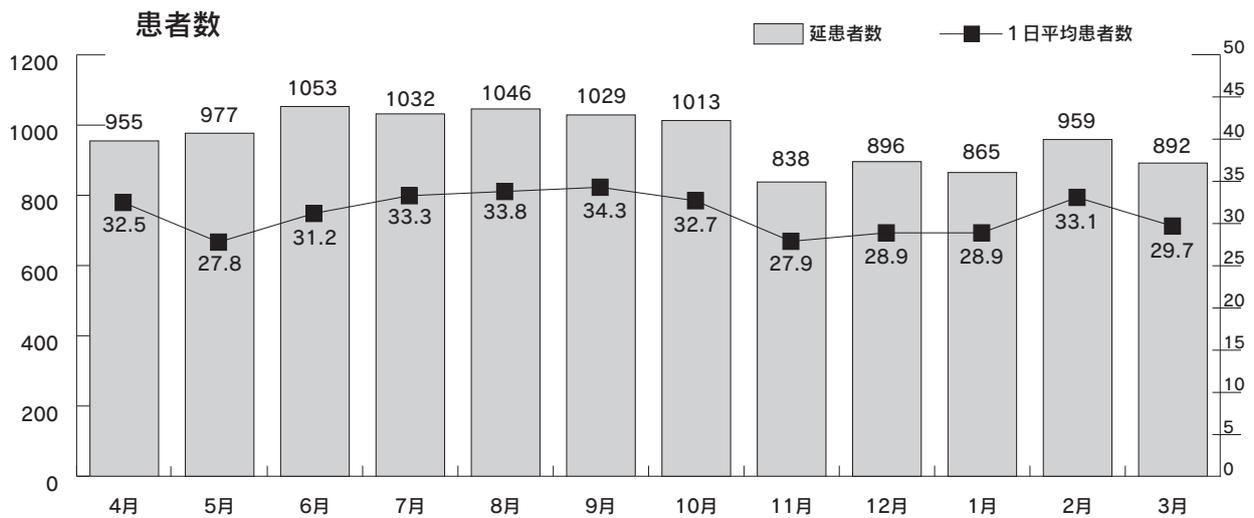


### 3. 回復期リハビリテーション病棟の運営

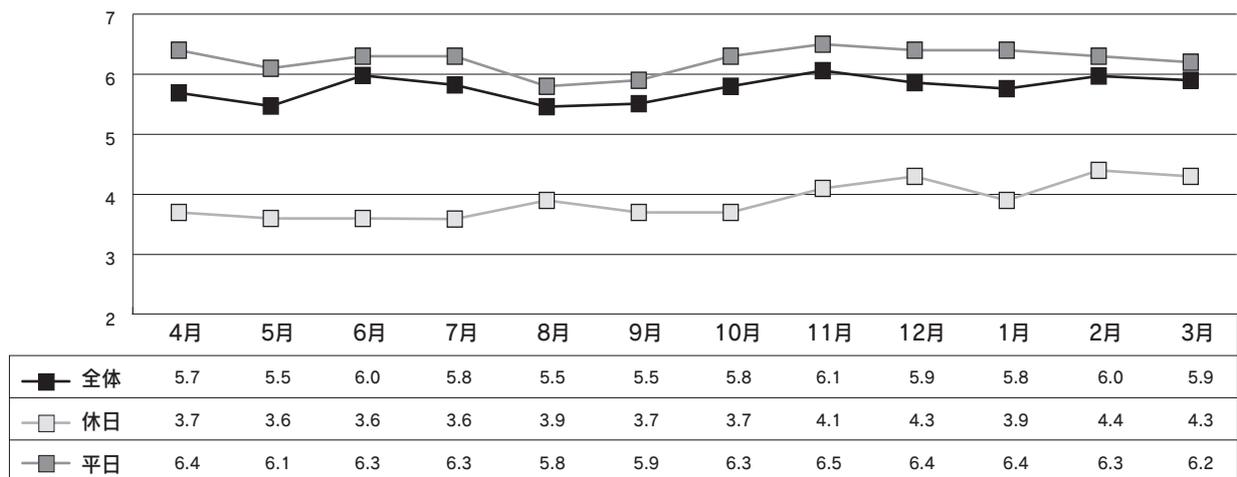
回復期リハビリテーション病棟（52床）は、平成26年9月に入院料2の施設基準を取得し運営しています。

湖北保健医療圏で唯一の回復期リハビリテーション病床として、急性期から回復期そして維持期（在宅療養）への切れ目のない医療の提供に努めています。

平成28年度は、一日平均入院患者数31.4人の運営となりました。



患者1人1日あたりのリハビリテーション平均実施単位数



## IV-2 各科の活動状況

## 総合診療科

### 勤務医師

大野 暢宏 部長 平成18年2月～ 日本外科学会認定医、日本呼吸器外科学会評議員  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医  
日本がん治療認定医機構暫定教育医  
I C D制度協議会認定医、日本医師会認定産業医

上津 昌広 部長 平成18年7月～ 日本医師会認定産業医

## 内科／血液化学療法

### 勤務医師

亀崎 洋 副院長兼診療局長  
平成16年8月～ 日本血液学会指導医・専門医  
日本内科学会認定内科医  
日本臨床腫瘍学会暫定指導医  
日本がん治療認定医機構暫定教育医  
日本リウマチ学会リウマチ専門医

### カンファレンス等

・カンファレンス 毎週1回

# 内科／腎臓代謝内科

## 勤務医師

森田 善方	診療局長補佐兼責任部長	平成26年4月～	日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医 日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会専門医 日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医
潮 正輝	部長	平成24年6月～	日本内科学会認定内科医
田中 裕紀	部長	平成28年4月～	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会専門医、日本透析医学会透析専門医
上田 久巳	部長	平成25年4月～	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会専門医、日本循環器学会循環器専門医 日本透析医学会透析専門医
藤野 佳彦		平成28年7月～	日本内科学会認定内科医
西村 正孝	非常勤	平成25年9月～	日本内科学会総合内科専門医
		平成28年9月	日本透析医学会透析専門医 日本腎臓学会専門医 日本糖尿病学会専門医・近畿支部評議員 日本高血圧学会指導医
清水 真也	非常勤		日本医師会認定産業医

## 業務実績

外来診療：糖尿病を中心とした代謝内泌疾患、腎疾患（急性・慢性腎不全や腎炎など）の患者の外来診療を行っており、平均80～100人の方の診察を行っております。CKD地域連携パスを使用してかかりつけ医との連携を進めております。

入院診療：外来と同じく糖尿病、腎疾患の急性期・慢性期の診療を行っております。また、救急から入院となった一般内科的疾患（肺炎、腎盂腎炎など）に対して平均20～30人の入院患者について診療をしております。約100人もの血液透析患者の外来・入院診療も当科で行っております。9月から慢性腎不全1週間教育入院を開始しました。11月から腹膜透析を導入しました。

## 評価

湖北地域唯一の腎臓学会認定施設として地域の腎疾患診療に貢献しております。腎炎に対する経皮的腎生検、またごく初期から透析導入に至るまでCKD診療を進めております。健診で発見された初期の糖尿病から、インスリンの自己注射が必要な重症例、妊娠糖尿病まで幅広く担当しています。最新の薬剤であるインクレチン製剤（DPP4阻害薬・GLP-1作動薬）にも精通し、実際の臨床にも効果的に使用しております。



## 神経内科

### 勤務医師

小川 雅文 責任部長 平成25年4月 日本内科学会認定医  
日本神経学会神経内科専門医

遠本 徹 平成27年4月～  
平成29年3月

非常勤 (外来のみ担当)

榊田 宏彰 玉木 良高 澤村 正典 音成 秀一郎 谷岡 光介

### 今年度のトピックス

平成25年4月1日から常勤医2名となった。それに伴い平日すべての曜日に外来を担当するようになった。

### 業務実績

入院患者数 延べ159例  
神経内科外来 月曜から金曜まで毎日  
SCU 日当直、日勤帯救急当番なども担当した。

### 評価

常勤2名になり患者数なども増加した。



## 消化器内科

### 勤務医師

野田 恵加 部長 平成18年4月～ 日本内科学会認定内科医  
日本内科学会総合診療専門医  
日本消化器病学会消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医

中村 文保 非常勤 日本内科学会認定内科医  
日本消化器病学会消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医

富樫 弘一 非常勤  
大野 非常勤  
竹谷 非常勤  
村上 善基 非常勤

### カンファレンス等

・カンサーボード 毎週月曜日

# 呼吸器内科

## 勤務医師

野口 哲男	責任部長	平成9年4月～	日本呼吸器学会代議員・指導医・専門医 日本内科学会指導医・総合内科専門医 日本人間ドック学会指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
高木 順平		平成21年4月～	日本内科学会認定医
中川 雅登		平成25年4月～	日本内科学会認定医
上林 憲司		平成25年4月～	

## 今年度のトピックス

呼吸器内科は4人体制継続。呼吸器外科と緊密に連携し、湖北地域唯一の呼吸器センターとして精力的に活動している。

主な疾患に対する治療方針は以下のとおり。

1. 肺がん：初診から化学療法、放射線療法、手術、緩和ケアまで、各領域の専門家と密接に連携しながら全人的医療をこころがけている。最先端の免疫チェックポイント阻害薬については適応を合同カンファで厳密に検討している。
2. COPD：呼吸器内科の重点疾患としている。吸入指導については薬剤師会と連携し、多職種による指導をこころがけている。ガイドラインを参考にしながらも、全身併存症の発見にも留意している。
3. 気管支喘息：COPDと同様に薬剤師と連携した吸入指導をこころがけている。アドヒアランスの向上により普通の生活を過ごせることが目標である。
4. 間質性肺炎：特発性肺線維症（IPF）は予後不良の難病であり、ステロイドや免疫抑制剤の投与の可否、終末期医療など、多職種連携で治療にあたっている。
5. 肺炎：特に高齢者の誤嚥性肺炎はとみに増加している。入院直後から、リハビリ、嚥下機能チェックの計画をたて、できる限り短期間の入院として寝たきりをつくらないように努力している。退院には地域医療連携室と密接に連携し、早期にカンファレンスを行っている。

## 循環器内科

### 勤務医師

高島 弘行 診療局長兼責任部長

平成22年4月～

日本内科学会認定内科医

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション治療学会代議員・  
認定医・指導医

日本内科学会指導医

國友 健生 部長 平成25年4月～

山科 聡 部長 平成21年4月～

日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベ  
ンション治療学会認定医

児玉 浩志 平成24年11月～

日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベ  
ンション治療学会認定医

肥後 洋祐

日本内科学会認定内科医

濱谷 朋和 非常勤 平成24年9月～平成29年7月

野里 佳孝 非常勤

### カンファレンス等

症例検討会及びカンファレンス 毎週火・金曜日

## リウマチ膠原病内科

### 勤務医師

梅原 久範 診療局理事 平成29年1月～

川中 紀邦 部長 平成29年2月～

中村 拓路 部長 平成29年1月～

宮本 茂輝 非常勤 平成29年1月～

佐藤 智美 平成29年1月～

### 今年度のトピックス

- ・平成29年1月からリウマチ膠原病内科新設。
- ・平成29年4月から「ながはまRAコホート」を開始し、当院通院中のリウマチ膠原病患者さんのデータ収集中。

### カンファレンス等

- ・平成29年度湖北医師会 病診連携交流会講演  
「温故知新—IgG4関連疾患—（21世紀に日本から発信された新疾患）」

## 緩和ケア外来ところ

### 勤務医師

森田 幸代 非常勤 平成21年4月～ 滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター  
日本臨床精神神経薬理学会指導医・専門医  
日本精神神経学会専門医・指導医  
精神保健指定医、日本医師会認定産業医

診療：毎週火曜日（午後）

### カンファレンス等

緩和ケアチーム回診 毎週火曜午後（診療終了後）

## 小児科

### 勤務医師

多賀 俊明	顧問	昭和63年4月～ 平成28年3月	日本小児科学会専門医・指導医 日本人類遺伝学会専門医・指導医 日本小児神経学会専門医 日本小児心身症学会認定医 「子どもの心」相談医
橋本 和幸	責任部長	平成17年10月～	日本小児科学会専門医 日本小児神経学会専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 「こどもの心」相談医
安江 志保		平成28年4月～ 平成29年3月	日本小児科学会専門医
村本 健翔		平成27年4月～ 平成29年3月	日本小児科学会

### 業務実績

外来診療：一般外来とともに、慢性疾患、予防接種、新生児・発達、循環器、夜尿症、心身症の各専門外来を行っています。湖北地区の輪番病院として、小児救急医療にも貢献しています。

入院診療：感染症症例が中心ですが、新生児医療や、各種精査入院も積極的に受け入れています。

### カンファレンス等

カンファレンス 毎朝  
抄読会 毎週火曜日  
部長回診 毎日午後

# 外科

## 勤務医師

野田 秀樹	事業管理者 平成7年4月～	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD制度協議会認定ICD、日本医師会認定産業医
神田 雄史	院長 平成7年6月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、厚生労働省死体解剖資格認定医
東出 俊一	責任部長 平成8年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィ読影医師、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本体育協会公認スポーツドクター、京都大学臨床教授
矢田 善弘	部長 平成22年4月～ 平成28年7月	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
花木 宏治	部長 平成12年4月～ 平成28年12月	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ICD制度協議会認定ICD
川島 和彦	部長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、マンモグラフィ読影認定医、日本静脈経腸栄養学会NST医師、近畿外科学会評議員、京都大学医学部臨床准教授
平良 薫	部長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本胆道学会指導医、日本肝臓学会専門医、日本移植学会移植認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、近畿外科学会評議員
矢田 善弘	非常勤 平成28年8月～平成29年3月	
仁尾万里華	平成27年4月～ 平成28年10月	平成28年11月～（非常勤）

## 今年度のトピックス

消化器の腹腔鏡下手術が大きく増えました。乳線手術がさらに増えてきました。

### 業務実績：今年度の手術室での主要な手術の件数

乳癌の手術	67件	(乳房温存術	44件)
食道癌の手術	2件		
胃癌の手術	30件	(腹腔鏡下手術	5件)
大腸癌の手術	40件	(腹腔鏡下手術	12件)
肝癌の手術	12件		
胆道癌の手術	6件		
膵癌の手術	8件		
胆石症の手術	39件	(腹腔鏡下手術	33件)
ヘルニアの手術	63件	(腹腔鏡下手術	10件)

### 評価

腹腔鏡視下手術の適応拡大中です。

### カンファレンス等

外科・消化器内科・放射線科・泌尿器科・婦人科・看護部・病理部合同カンファレンス：毎週月曜日に癌疾患症例を中心に、診断、治療方針の検討、病理診断を含めた総括等を総合的に行っています。（キャンサーボード）

## 呼吸器外科

### 勤務医師

田久保康隆	部長	平成23年4月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本胸部外科認定医、日本外科学会専門医
阪本 仁	部長	平成27年9月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本外科学会専門医、気管支鏡専門医、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
武智 浩子		平成26年4月～	

### 今年度のトピックス

当院呼吸器外科スタッフの変動としては、平成27年8月、喜多村次郎部長が転出し、平成27年9月、阪本仁部長が転入した。

### 業務実績

平成27年1月から12月までの1年間で年間全身麻酔下手術件数は129例であり、そのうち原発性肺がんは、例年並みであった。

### 評価

引き続き湖北での呼吸器診療の中心機関としての任務を果たしていきたいと考えている。

# 整形外科

## 勤務医師

廣瀬 伸次	責任部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、日本リウマチ学会専門医
杉本 正幸	診療局理事	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、脊椎脊髄病医、 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、 日本がん治療認定医機構暫定教育医、 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、義肢装具適合判定医、 中部日本整形災害外科評議員
江藤 謹司	部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医
村田 巨樹	部長	
田中 淳		日本整形外科学会専門医
琴浦 良彦	非常勤	日本整形外科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
後藤 公志	非常勤	日本整形外科学会専門医、運動器リハビリテーション医
青山 直樹	非常勤	日本整形外科学会専門医
日根野 翔		
石江慎一郎		
南 良輔		

## 今年度のトピックス

人工関節センターを平成23年からスタートさせて以降、人工関節手術が増加しており、人工股関節置換術と人工膝関節置換術を併せた手術件数は年間270例程度となっています。骨粗鬆症外来も2000年（平成20年）から開設しています。

## 業務実績

整形外科年間手術件数 1,098例  
(人工股関節 132例、人工膝関節 140例、脊椎 166例)  
1日平均入院患者数 66人  
1日平均外来患者数 145人

## カンファレンス等

ミニカンファレンス	月曜日	朝
手術カンファレンス	火曜日	夕
抄読会	木曜日	朝
部長総回診	木曜日	午前
手術	毎日	

## 形成外科

### 勤務医師

藤林 久輝 部長 平成18年9月～ 日本形成外科学会専門医

### 今年度のトピックス

診療体制に変更はありません。

### カンファレンス等

中央手術室での手術 麻酔科依頼枠 第2・4火曜日

外来および入院手術 火曜日および水曜日午後

褥瘡回診 第2・4水曜日15時～

京都大学鈴木教授外来 年2回

## 脳神経外科

### 勤務医師

小林 映 顧問 平成6年4月～ 日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医・評議員

小室 太郎 責任部長 平成23年4月～ 日本脳神経外科学会指導医

日本脳卒中学会専門医

日本脳神経血管内治療学会専門医

京都大学医学部附属病院脳神経外科非常勤講師

佐藤 岳史 部長 平成24年8月～ 日本脳神経外科学会指導医

日本脳卒中学会専門医

日本脳神経血管内治療学会専門医

日本神経内視鏡学会技術認定医

日本定位機能神経外科学会技術認定医

日本リハビリテーション医学会臨床認定医

嘱託医師 1名（鈴木 芽、住吉壮介、服部悦子、山本 優、松川 爽）

京都大学大学院医学研究科

小林 雅子 専攻医

## 業務実績

### 1) 手術件数・入院件数

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	6年間合計
<b>頭蓋内腫瘍の治療</b>							
腫瘍摘出・生検術	17	16	24	12	3	16	98
経蝶形骨洞手術(主に脳下垂体腫瘍)	3	6	4	1	0	2	16
定位的放射線治療	11	12	4	12	5	3	47
<b>脳動脈瘤の治療</b>							
開頭術(クリッピング術)	7	10	8	15	6	8	54
脳血管内治療(コイル塞栓術)	7	6	3	15	16	15	62
<b>脳内出血の手術</b>	10	6	10	4	4	6	40
<b>血管形成術</b>							
頸動脈内膜剥離術	1	4	0	1	2	3	11
頭蓋内外バイパス術	2	1	0	1	0	0	4
頸動脈ステント留置術、血管拡張術	14	9	3	8	5	14	53
<b>神経内視鏡治療</b>	3	3	6	4	1	6	23
<b>脊椎手術・脊髄腫瘍摘出術</b>	2	6	2	2	1	0	13
<b>シャント術</b>	12	5	6	8	9	11	51
<b>慢性硬膜下血腫</b>	33	44	40	28	43	35	223
<b>脳血管内治療 ※</b>	—	—	12	31	34	40	117
<b>入院件数</b>	415	491	551	552	518	536	3063

※脳血管内治療は4年間の合計

### 2) 維持リハビリテーションを開始しました

佐藤の調査によれば、退院後に復職することのない患者さんの場合には悉く日常生活機能の低下を起していることがわかりました。

また、後遺症のある患者さんにとって物理療法が唯一の救いであることも少なくありません。最近の急性期診療の枠にとらわれず、こういった事態にも対応することが必要だと考え、リハビリテーション科・地域包括ケア病棟・脳神経外科外来との協力の下で8日間1クルールの慢性期維持リハビリテーション(または物理療法)の入院を始めました。

# 心臓血管外科

## 勤務医師

曾我 欣治	責任部長	平成24年6月～	日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会指導医・認定医 日本外科学会指導医・外科専門医・認定医 京都大学大学院医学博士
洞井 和彦	部長	平成19年5月～	日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会認定医 日本外科学会指導医・外科専門医・認定医 京都大学大学院医学博士
鄒 貴光		平成25年6月～	
吉良 浩勝		平成27年1月～	外科専門医 腹部ステントグラフト実施医

## 今年度のトピックス

外来心臓リハビリテーションが4月より開始となりました。

低侵襲・QOL向上をキーワードに次なるプロジェクトを立ち上げるべく先進視察を行い、準備を始めました。

- 取り組み方針
1. 患者第一、誠心誠意
  2. 地域に信頼される病院づくり
  3. 地域完結型の医療体系構築

## 業務実績

総手術件数	383例
心臓・胸部大動脈手術	95例 (ステントグラフト手術 10例)
腹部大動脈手術	50例 (ステントグラフト手術 25例)
末梢血管手術	231例

## 評価

地域に真っ先に選択していただける病院とならねばなりません。

チームとして医療サービスの質の向上に努める必要があります。

## カンファレンス等

- 毎朝 08：00～：全入院患者カンファレンス  
火曜 15：30～：総回診  
金曜 16：00～：術前カンファレンス

# 皮膚科

## 勤務医師

井階 幸一	責任部長	平成26年4月～	日本皮膚科学会皮膚科専門医
澤井 孝之	非常勤	平成26年4月～	

## 今年度のトピックス

平成26年4月より、井階幸一が責任部長として着任しております。その他、澤井孝之医師が非常勤医師として、皮膚科診療に携わっています。

## 業務実績

皮膚科では、外来診療を中心とし、「日本皮膚科学会の診療ガイドライン」に準拠した皮膚疾患の標準的な診断、治療を行っています。

## 評価

特に力を入れたいと考えているのが、褥瘡、老人性湿疹、足病変などの高齢者の皮膚トラブルです。湖北地域では、日本の将来を先取りする超高齢化社会が到達しつつあります。高齢者の増加に伴い、褥瘡や陰部の皮膚トラブル、足の病変の患者さんが急増しています。院内では褥瘡対策委員会などで適切に処理されていますが、さらに、形成外科、「皮膚・排泄ケア認定看護師（いわゆるWOCナース）」と共同して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアに対応していきたいと思っています。現在のところ、一人部長なので、皮膚科で入院患者をとる事は困難ですが、内科などの科で入院されたときには、主治医と協力して皮膚疾患、皮膚トラブルの処理に当たりたいと考えています。今後、地域の医療機関、スタッフの方々と協力して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアの処理に当たりたいと思っています。

## カンファレンス等

毎月、第4木曜午後5時より、長浜赤十字病院皮膚科と臨床カンファレンスを行っています。ときに京都大学附属病院皮膚科の医師が臨床カンファレンスに参加しています。

# 泌尿器科

## 勤務医師

村中 幸二	副院長	平成 8 年 3 月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医 日本臨床検査管理医
塚 晴俊	責任部長	平成14年10月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医 がん治療認定医、ICD制度協議会認定ICD
横川 竜生	部 長	平成27年4月～	日本医師会認定産業医、日本性感染症学会認定医 日本泌尿器科学会専門医、指導医 がん治療認定医、日本性感染症学会認定医
村元 暁文		平成28年4月～	

## 今年度のトピックス

泌尿器科医が副院長も含め、4名になりました。緊急対応、外来業務などに以前と比べ対応しやすくなりました。

例年のごとく、腎・尿管結石に関しては、引き続き細経軟性尿管鏡とHolumium:YAG laserを用いて、f TULを積極的に取り入れています。今後も腎・尿管結石に対して積極的に対応していこうと思います。特に大きい腎結石などの症例があれば経皮的に腎切石術（PNL）を行っていきます。横川先生を中心に腹腔鏡手術は徐々に導入しています。大学からも技術認定医に来ていただき、困難症例には対応しています。また、他科の先生のご協力も頂き、腹腔鏡での要手術症例に対しては、より積極的に対応しています。結果、手術症例数の増加が認められます。さらに、横川先生・村元先生を中心に学会発表も積極的に行いました。

## 業務実績

外来患者数は平成28年度で、平成27年度と比べて大きな変化はないと考えます。

手術件数は279例でした。主な内訳は、経尿道的膀胱腫瘍切除43例、経尿道的前立腺切除術25例、開腹腎摘除術5例、腎部分切除1例、前立腺全摘除術18例、膀胱全摘除術8例、腹腔鏡を用いた手術は9例でした。結石の治療はESWL(新患)28例、PNL4例、経尿道的尿路結石碎石術23例、f TUL31例でした。

## 評 価

外来診療：外来対応はできるだけ、病診連携を勧めいていくように行っています。

手術：今後も体腔鏡下手術を増やして行こうと考えています。また、当院は様々な結石に対応できるため、尿路結石の治療を積極的に取り入れていきたいと考えています。PNLをしていくための手術機材の購入が決定しており、適応症例に積極的に行っていきます。

学会、研究活動：今年度は横川先生、村元先生ともに、精力的に学会発表をしていただきました。来年度も引き続き積極的に発表および論文作成を行っていききたいと思います。

# 産婦人科

## 勤務医師

林 嘉彦	診療局理事 兼責任部長	平成19年2月～	滋賀医科大学臨床教授 日本産科婦人科学会指導医、専門医 母体保護法指定医
中多 真理	部長	平成19年8月～	日本産科婦人科学会専門医 日本癌治療認定医機構癌治療認定医
高橋 顕雅	部長	平成28年4月～	日本産科婦人科学会指導医、専門医 日本癌治療認定医機構癌治療認定医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 臨床遺伝専門医
北澤 純		平成26年3月～	日本産科婦人科学会専門医
野田 洋一	顧問	平成19年3月～	滋賀医科大学名誉教授 日本産科婦人科学会専門医 日本産婦人科学会名誉会員

## 今年度のトピックス

4月からがん研究会有明病院から高橋顕雅医師が赴任された。癌診療、婦人科癌手術、腹腔鏡手術のエキスパートである。最高水準の医療を目指して積極的に診療に従事して頂いている。外科、泌尿器科、放射線治療科などとも協力し、困難な症例にも対応できるよう努力しています。

## 業務実績

症 例	件 数	症 例	件 数
総分娩数	274	子宮頸癌	3
帝王切開術	79	子宮体癌	2
膣式子宮摘出術	8	卵巣癌	10
腹式子宮全摘術	42	良性卵巣腫瘍手術	42
性器脱手術	5	放射線治療（患者数）	3
子宮頸部円錐切除術	31	抗癌剤化学療法（患者数）	24
子宮外妊娠手術	0	腹腔鏡手術	110

## 評 価

滋賀県湖東・湖北地域での中核産婦人科医療施設として、大学病院と連携をとりながら最高水準の医療を提供できるよう努力しています。麻酔科、小児科の応援を頂きながらさらに充実した診療が行えるよう努力しています。

## カンファレンス等

カンファレンス、手術症例検討会	毎週水曜日
病棟回診	毎日

# 眼 科

## 勤務医師

清水 久雄	責任部長	平成27年5月～	日本眼科学会専門医
西村 宗作		平成23年4月～	日本眼科学会専門医

## 今年度のトピックス

常勤医師は2名のままです。

非常勤医師として西村初夏先生が復職され、水木金の午前の外来を担当してもらうことになりました。

平成29年3月に外来の網膜光凝固装置をTOPCON PASCAL Synthesisに更新しました。パターンスキャンレーザー、糖尿病黄斑浮腫に対する閾値下光凝固、開放隅角緑内障に対してパターン線維柱帯形成術を行うことができ、治療の選択枝が増えました。

## 業務実績

総手術件数	957件	
主な手術件数		
白内障手術	462件	(単独および他の手術との併用含む)
緑内障手術	21件	(白内障手術併用含む)
硝子体手術	88件	(白内障手術併用含む)
経強膜網膜復位術	4件	
その他	51件	
硝子体内薬物注射	395件	

## 評 価

湖北地域の中核病院としての機能は維持できていると考えており、今後は難治性白内障、網膜硝子体疾患、緑内障治療に力を注ぎたいと思います。

## カンファレンス等

術前・術後カンファレンス	毎週月・水曜日
斜視・弱視カンファレンス	毎週金曜日

# 耳鼻咽喉科

## 勤務医師

糟谷 憲邦	責任部長	平成18年10月～	日本耳鼻咽喉科学会専門医
中村 圭吾		平成28年 5月～	
大江 祐一郎		平成26年10月～平成28年 5月	

## 今年度のトピックス

2年前より勤務されていた大江祐一郎先生が退職され、平成28年5月に滋賀医大より中村圭吾先生が赴任しました。中村先生は当院にて2年間研修医として勤務されていたため、就任後より即戦力となり活躍しております。

手術用ナビゲーションシステムが導入されました。耳鼻咽喉科領域では主に鼻副鼻腔内視鏡下手術に用いられます。頭蓋内に近い前頭洞、蝶形骨洞などへのアプローチの際、合併症を最小限にすることができ非常に有効です。特に、内視鏡下前頭洞単洞化手術（Draf III型 / endoscopic modified Lothrop procedure : EMLP）は非常に難易度の高い手術手技を要しますが、ナビゲーション補助下にこの手術も当科にて施行可能となりました。

## 業務実績

鼓室形成術：8例
内視鏡下副鼻腔手術：24例
鼻中隔矯正術：8例
口蓋扁桃摘出術：37例
甲状腺腫瘍手術：17例
副甲状腺腫瘍手術：2例
唾液腺腫瘍手術：7例
頸部郭清術：5例
気管切開術：6例
頸部リンパ節生検術：9例

## 評 価

1年間の手術件数は159例で昨年度よりやや増加しました。  
今後も入院・手術症例の増加に努めていく必要があります。

## カンファレンス等

症例検討会・カンファレンス：毎週火曜日 第1、3、5金曜日
部長回診 毎週木曜日



# 麻醉科

## 勤務医師

嶋田 文彦	副院長兼責任部長	平成28年4月～	日本麻酔科学会専門医・指導医 麻酔科標榜医
柳田 豊伸	部長	平成21年4月～	日本麻酔科学会麻酔科認定医 麻酔科標榜医
和田 佳子		平成27年8月～	日本麻酔科学会認定医 麻酔科標榜医

## 今年度のトピックス

嶋田が副院長兼責任部長として赴任し、日本麻酔科学会認定病院資格を回復した。まだ麻酔科医不足は続くが、3人体制化に加えて滋賀医大麻酔科や他からの応援により診療を維持している。また柳田と和田が、日本麻酔科学会専門医試験に合格した。

## 業務実績

### 手術室麻酔

麻酔科管理件数は1778件と、前年度を80件以上上回った。

### 麻酔科外来（麻酔前コンサルト）

水曜日午前に、滋賀医科大学麻酔科北川教授にお願いしている。

### 学術活動

人的体制がまだ不十分のため、学会発表・論文はなかった。

## 評価

何とか診療は維持できた。しかし来年度は、柳田と和田に麻酔科専門医資格が認定されることに加えてスタッフの増員も予定しているので、診療のレベルアップを図りたい。同時に、学会発表や論文作成にも取り組んでいく。

## カンファレンス等

平日毎日 午前8時30分から、麻酔前症例検討を行っている。

さらに4人体制化すれば、週1回麻酔後症例検討並びに抄読会を定期化する予定である。

# ICU・CCUセンター

## 勤務医師

嶋田 文彦 副院長兼センター長 平成28年4月～

## 今年度のトピックス

平成28年度診療報酬改定において、特定集中治療室等における「重症度、医療・看護必要度」の見直しがされました。この結果「重症度、医療・看護必要度」特定集中治療室管理料3に該当する患者が70%以上となりました。

## 業務実績

本年度の入室症例は417例（昨年度も417例）と変化はありませんでした。一般病棟からの転入は298例（昨年度は289例）、直接入院が119例（昨年度は128例）であり、前者が増加しています。平均在室日数は3.3日で昨年度と変化はありません。科別内訳は心臓血管外科168例（40.3%）、脳神経外科73例（17.5%）、循環器内科68例（16.3%）、呼吸器外科39例（9.4%）が主だったところです。

入室患者の早期呼吸理学療法や心臓リハビリ療法の取り組み、また後方ベッドの確保など一般病棟との連携に努めながらベッドコントロールをおこなっています。しかし重症患者受入れ困難状況（いわゆる救急ストップ）もかなりの頻度（計23回/年）で発生しました（昨年度より倍増）。

## 評価

今年度は9～11月は平均3床/日稼働でしたが、12月以降は平均5～6床/日とほぼ満床状況が続きました。しかし長期入室患者も見られ、結果的に先の受入れ停止に加えて、特定集中治療室管理料算定件数が90件以下になる月もあつたりしました。後方ベッドや転院先の確保が今後の課題として挙げられます。

手術後患者の一泊入室など受入れルールを再考する余地はあると思われます。

## カンファレンス等

平日毎朝 心臓血管外科症例カンファレンス  
火曜日 心臓血管外科回診 RST回診  
金曜日 心臓血管外科術前カンファレンス  
適宜 主治医と看護師、必要に応じて他コメディカルとともにカンファレンス開催

# 放射線科（治療部門）

## 勤務医師

伏木 雅人	責任部長	平成13年～	日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本緩和医療学会暫定指導医
安永 敏美	特任部長	平成26年9月～	
藤井 康太	非常勤	平成28年4月～	

## 放射線治療部門

最新の高精度照射についてさらに検証と実践を進め、日常業務として定着させています。

滋賀県で湖南・大津地域を除くと唯一、常勤の治療専従医が2名勤務しており、IMRTを含む高精度治療が行える施設であることから、連携と集約化による地域の放射線治療の質を保つ責務を負っています。

一方で放射線治療、特に最新の高精度治療について、まだ十分理解いただけていない医療者の方々や一般の方々にも、十分にご理解の上、活用していただけるよう、患者会、市民公開講座、出前講座などの啓蒙活動も行っています。また、一昨年度より引き続き、中学生に向けたがん教育授業も行っています。

本年度の放射線治療につきまして、数は増加しています。脳定位照射は3名に、体幹部定位照射は肺病変に17例、肝病変に1例を施行し、強度変調放射線治療（IMRT）は25名に実施しています。

他院からの紹介も、湖北や湖東のみならず滋賀県内全体、京都府、岐阜県からのご紹介もいただいで選択と集中に貢献しています。

平成28年度実績 原発部位別照射新患数（転移の治療も原発部位で分類）

原発部位	脳	頭頸部	乳腺	肺縦隔胸膜	食道	胃大腸直腸	肝胆膵	女性生殖器	泌尿器	血液骨髄	皮膚骨軟部	原発不明	良性	合計
照射件数	7	14	62	103	10	12	4	9	31	14	0	3	0	269

脳定位照射数 3件 体幹部定位照射数 12件 画像誘導照射 2440件 IMRT 25件（前立腺 14件）

## カンファレンス等

放射線治療科ミニミーティング	毎朝8:50
放射線治療科QA会議	毎火曜日 夕
放射線治療科画像カンファレンス	毎火曜日 夕
呼吸器科がんボード	毎水曜日
消化器がんボード	毎月曜日



## 放射線科（診断部門）

### 勤務医師

若宮 誠	責任部長	平成22年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本IVR学会IVR専門医 腹部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト実施医 検診マンモグラフィ読影認定医
宮川 善浩	部長	平成24年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
高木 海		平成28年4月～	

### 今年度のトピックス

平成27年1月より日本IVR学会専門医修練施設として認定されました。

### 業務実績

読影については至急読影の依頼に可能な限り対応しつつ、各科にできるだけ早く所見を返すようにしています。他院からの紹介患者についても至急読影を行っており、患者および開業医のニーズに対応しています。IVRについてはCVポート造設、肝細胞癌のTACEや非血管系のIVRのほか、緊急のIVRも行っています。心臓血管外科の大動脈ステントグラフト内挿術にも参加しています。

### 評価

CT2台、MRI2台で常勤医3人(診断専門医2人)はかなり少なく、非常勤の先生にも助けられながら朝から夕方まで間断なく業務をこなしています。画像診断管理加算2を維持しながら標準レベルもしくはそれ以上の診断レベルは保てていると思います。IVRについても増加傾向にあり、診療に貢献していると思われます。

### カンファレンス等

消化器癌カンサーボード 毎週月曜日



# 病理診断科

## 勤務医師

黒澤 学	責任部長	平成25年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 死体解剖資格認定医
沢田 眞治	部長	平成10年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 死体解剖資格認定医

## 今年度のトピックス

病理、放射線科、外科から構成されていたがんセンターボードを、泌尿器科、産婦人科にも出席をお願いし、がんセンターボードの定期的な実施を行いました。

## 業務実績

組織診断：約3500件/年、細胞診断：約6800件/年、病理解剖：6件/年

## 評価

稀な症例や興味深い症例が散見された。今後は学会発表、論文執筆などに取り組みたいと考えています。

## カンファレンス等

がんセンターボード 毎週月曜日  
細胞診カンファレンス 2-3回/週  
病院CPC 5回/年

# 歯科・歯科口腔外科

## 勤務医師

家森 正志	平成26年4月～	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医 日本小児口腔外科学会指導医・歯科医師臨床研修指導医 日本口腔科学会認定医
青井 陽子	平成28年4月～ 平成29年3月	歯科医師臨床研修指導医
北本 幸恵	平成27年8月～	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医 歯科医師臨床研修指導医
太田 舞	平成27年4月～	日本アンチエイジング歯科学会認定医
飯塚 忠彦	非常勤 火曜日のみ	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・指導医

## 今年度のトピックス

平成28年度京都大学医学部附属病院より青井陽子先生が着任。平成28年3月に藤田将広先生が尼崎市総合医療センターへ異動されました。

市立長浜病院に歯科が新設されたのは、1957年11月で2017年11月に60周年を迎えます。歯科口腔外科は1997年1月に新設されました。発足当初は、歯科医師一名体制でしたが、現在は歯科医師四名で診療を行っています。これまで多くの先生方やスタッフの皆さんに支えられ、湖北地域の歯科・歯科口腔外科医療の基幹病院の一つとして診療を行ってまいりました。これからも地域の患者さまや先生方のご期待に添えるようにスタッフ一同、精進してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 市立長浜病院歯科・歯科口腔外科の主な外来

歯科口腔外科外来：初診(火曜日以外の平日) すべての歯科口腔外科疾患（顎口腔領域の炎症・腫瘍・外傷・粘膜疾患・顎関節疾患・顎変形症など）

口腔腫瘍専門外来：毎週火曜日

障害者歯科専門外来：毎月第1、3水曜日の14：30～16：30

嚥下機能の評価および訓練：初診(火曜日以外の平日)、VF、VE検査（毎週月曜日、水曜日）

閉塞性睡眠時無呼吸の口腔内装置の作製：初診(火曜日以外の平日)

周術期口腔機能管理（口腔ケアセンター）：初診（月曜日～金曜日）

## 市立長浜病院における歯科口腔外科に関連した主な施設基準

日本口腔外科学会認定准研修施設・日本小児口腔外科学会指導施設・がん診療連携拠点病院加算・歯科外来診療環境体制加算・歯科外来診療環境体制加算歯科診療特別対応連携加算・地域歯科診療支援病院入院加算・歯科治療総合医療管理料・歯科口腔リハビリテーション料2・上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療によるもの）・歯周組織再生誘導手術・歯科矯正診断料・歯科技工加算 など

# 臨床研修医

## 研修医名

三澤 晶子	平成27年4月～	岡山大学
田代 裕介	平成28年4月～	京都大学
廣坂 雄介	平成28年4月～	滋賀医科大学
堀井 翔平	平成28年4月～	富山大学

## 平成28年度 市立長浜病院 臨床研修医 診療科ローテーション表

氏名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 目	田代 裕介	循環器内科	血液内科	呼吸器内科	麻酔科		外科 (整形外科)	腎臓代謝 内科	呼吸器 内科	消化器内科 (日赤)	救急 (滋賀医)	精神科	
	廣坂 雄介	腎臓代謝内科		循環器内科	神経内科	呼吸器内科	呼吸器内科	麻酔科	産婦人科	消化器内科 (日赤)	精神科	麻酔科	救急 (滋賀医)
	堀井 翔平	呼吸器内科		麻酔科		腎臓代謝内科		循環器内科	脳神経外科	小児科	精神科	産婦人科	消化器内科 (日赤)
2 年 目	氏名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	三澤 晶子	精神科	地域医療 (おくだ)	病理	外科	放射線科 (診断)	外科	病理		消化器 (滋賀医)	血液内科 (滋賀医)	救急 (滋賀医)	病理

## 当院の臨床研修について

1年目は基本研修科目として、内科（6ヶ月）、救急（3ヶ月）、選択必修（3ヶ月）の研修を行います。

2年目は、湖北医療圏域の診療所を中心に研修先を選択する地域医療（1ヶ月）の他、残り11ヶ月を選択期間にしており、研修医の自主性と志向に応じた自由度の高いプログラム設定をしています。

また、週1回程度の宿日直研修を通して、プライマリケアの習得に十分配慮しており、基礎的研修項目は、厚生労働省の指針に準拠して設定した行動目標および経験目標に沿って、一般臨床医としての基本を研修し、指導医から評価を受けることとなります。

# 人工透析室

## 勤務医師

森田 善方     センター長  
潮    正輝  
田中 裕紀  
上田 久巳  
藤野 佳彦

## 今年度のトピックス

平成26年11月から腹膜透析を開始し、これまでの血液透析に加えて治療法選択の幅が広がりました。

## 業務実績

外来透析部門では、糖尿病性腎症を中心とした新規HD導入患者が年々増加しており、現在約100名の患者が血液透析を受けています。また、それ以外にも腹水合併患者に対しての腹水濃縮再静注療法や白血球除去療法（LCAP）、骨髄幹細胞移植（血液内科主導）なども施行しております。

入院透析部門では24時間体制で腎不全患者に対する血液浄化療法への対応しておりますが、他にも多臓器不全、敗血症性ショックや術後腎不全などの重症患者に対して、CHDFやエンドトキシン吸着、血漿交換などの急性血液浄化療法をICUにて施行しております。

また、一般外科、心臓外科、整形外科、眼科などでの手術目的で他院からの紹介患者も多く、常に受け入れが出来るような体制を整えております。

## 評 価

新しい透析室に移転した直後ですが、可能な限り受け入れ体制を整え、地域医療に貢献する所存であります。また、透析患者全員に対して月2回の血液検査を施行し、その結果を参考に月1回カンファレンスを施行し、常に至適透析を考慮しつつ、それに基づいて患者教育を行っております。この患者教育が今後の安楽な透析生活につながると考えております。さらに、自己管理の重要性を理解してもらえよう、定期的に勉強会も行っております。これらの成果により、当院における透析患者の生命予後は全国平均よりも明らかに良く、当院透析室の医療レベルの高さを示していると考えております。

# 救急センター

東出 俊一 救急センター長

## 今年度のトピックス

- ①救急ミニ講座の定期開催
- ②ICLSコースの定期開催（年2回）
 

平成28年 6月4日	24名
平成28年12月3日	17名

## 研 修

救急ミニ講座の開催

開催期日		テーマ	講 師		参加者
第1回	7月28日（木）	脳卒中と超急性期対応	脳神経外科	西 秀久	40
第2回	9月29日（木）	急性冠症候群	循環器内科	肥後 洋祐	46
第3回	10月27日（木）	救急における呼吸器疾患	呼吸器内科	上林 憲司	35
第4回	11月24日（木）	BLS	院内 インストラクター		21
第5回	1月26日（木）	糖尿病における 急性代謝失調	腎臓代謝内科	藤野 佳彦	21
第6回	2月23日（木）	救急における抗がん剤治療中 患者の対応	呼吸器内科	中川 雅登	24
第7回	3月30日（木）	救急における遠隔画像診断 システムの運用について	放射線科	若宮 誠	16

## 業務実績

（単位：人）

	平成28年度	平成27年度	前年対比
救急受診患者総数	16,913	17,688	-775
救急車搬送数	2,668	2,675	-7
入院患者数	2,296	2,314	-18
救急車入院数	984	910	+74
病診患者数	794	697	+97
一般紹介患者数	302	284	+18
小児科救急患者数	2,509	3,600	-1,091

# 健診センター

野口 哲男 健診センター長兼呼吸器内科部長  
日本人間ドック学会 人間ドック指導医・専門医

当健診センター運営に関しましては、日頃から各方面（内科、外科、呼吸器科、循環器内科、婦人科、泌尿器科、脳外科、眼科、看護科、検査科、放射線科、栄養、病棟他）より多大なるご協力をいただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 今年度のトピックス

消化器内科の体制縮小の影響で、健診センターの胃カメラができない状態が続いています。健診のオプションを当日受付できるように体制を整備しました。

## 業務実績

当センター利用者数は平成17年度2,987人、平成18年度3,157人、平成19年度3,341人、平成20年度は3,346人、平成21年度は3,250人、平成22年度は3,190人に対して、平成23年度は3,257人、平成24年度は2,990人、平成25年度は2,961人、平成26年度は2,881人、平成27年度は2,882人に対して平成28年度は2,790人でした。胃カメラができないということで他の施設に流れる方がおられる状況です。

## 今後の展望

胃カメラが早期に再開できるように体制を整えていただけると幸いです。

# 開放型病棟、開放型病床

## 特徴

- ①平成27年1月から今まで開放型病棟として運用してきた7東病棟を診療報酬上で地域包括ケア病棟を算定する病棟としました。しかしながら開放型病床は登録医の先生方と共同指導をするための病床ですので、この地域包括ケア病棟の中に開放病床30床を持つことにしました。そのほかの病棟にも2～4床程度の開放病床を設けていますので病院全体としての開放病床は今までどおりの50床を確保しています。
- ②平成24年4月からは開放入院の制度は残し、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うことに変更しました。
- ③登録医の先生が地域医療連携室に来ていただいた時に、地域医療連携室の担当者が開放入院の患者さんのいらっしゃる病棟までご案内するようにしました。

## 業務実績

平成28年度の入院延べ患者数は522人で平成27年度に比して更に減少しました。最大利用時（平成8年の約14,970人）の3.5%と低迷しています。さらに開放病床利用率も昨年の10.2%から2.9%と減少しまだまだ低迷しています。また、開放入院の基本である共同診療の回数は10件と落ち込んでいます。平均在院日数は平成元年度で45.3日、平成28年度は37.3日とやや短縮している傾向にあります。在院日数が短くなってきているので必然的に共同診療に来ていただける回数は少なくなっています。

## 評価

- ①地域包括ケア病棟の中に開放病床を設けています。地域包括ケア病棟は主として在宅で看取いただいていた患者さんが高度急性期で対応するような疾患でなく、短期間の入院加療を行いその後再び在宅医療を目指すような場合に利用する病棟と認識しており、今までの開放型病棟の趣旨に沿った病棟と理解してよいと考えています。そういった意味で今後とも大きく変わることなく開放病床の運営は継続してゆきます。
- ②開放入院でも診療科がはっきりしている場合は担当の診療科に主治医をお願いしていますが、内科で紹介いただいた患者さんは、平成24年4月から院内の医師がトリアージして、各診療科にお願いする体制に変更しました。しかしながら「開放入院で」といわれる患者さんは、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うことに変更しましたが、極力登録医の先生のご意思に沿えるようにしています。
- ③共同指導は開放型入院の基本です。しかし、在院日数の減少やびわ湖メディカルネットの普及による情報提供の進歩、退院支援の推進による登録医の先生方との情報交換が進むことで共同指導の減少が予測できます。登録医の先生方に少しでも共同診療に来院していただけるようなシステムの構築に努力したいと考えています。

# 中央材料室

川島 和彦 室長

## 今年度のトピックス

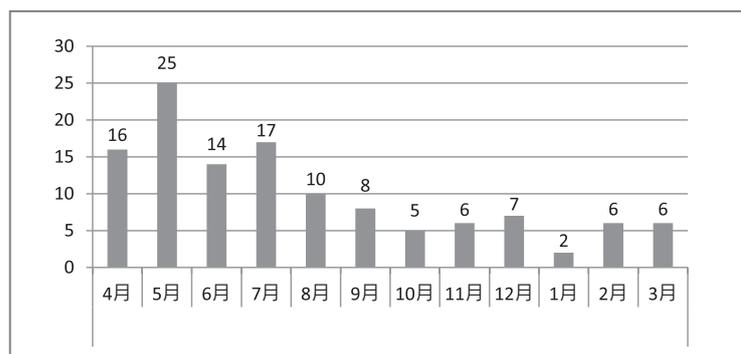
1. 手術器械業務に、看護補助者1名が加わり2名体制を確立しました。  
役割分担による業務の効率化が図れました。
2. 手術器械の準備時のチェック機構の強化を行い、良質な器械の供給に努めました。
3. 新人スタッフが基礎的なローテーション業務に入り、フリー業務の確立により、滅菌器械の準備時間の短縮がはかれました。

## 業務実績

1. 居残り業務の業務量に伴う超過勤務時間の増加を受けて、日勤勤務内の洗浄器械（手術室）の片付け業務を居残り業務に残さない為、9月からフリー業務の応援態勢を整え、業務改善に取り組みました。

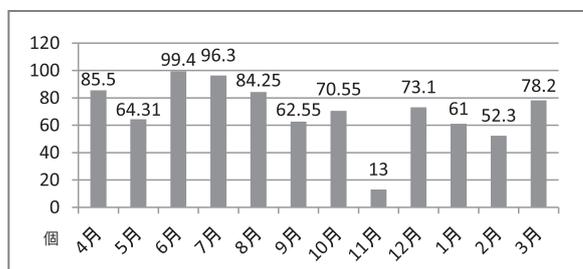
手術終了時間により洗浄開始時間が異なりますが、MAX25個から7個へと作業効果も見られています。

居残り業務時間帯の手術器械片付け個数

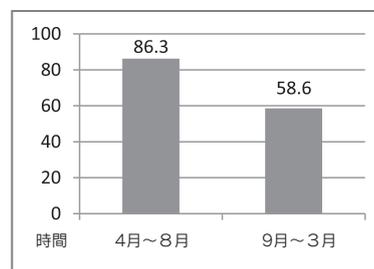


2. 居残り業務の業務量の削減に着手出来たことで、超過勤務時間の削減に繋がりました。  
居残り業務の超過時間にスポットを当ててみると、32%の減少が見られました。

居残り業務超過勤務時間



平均時間の比較



## 評価

中央材料室は良質な滅菌器材を提供できる為に、器材・器械の点検を確実に出来るようなシステムの構築に努めた1年でした。それに伴い、業務のサポート体制の必要性を痛感し、業務改善を行った事で労務管理に着手できた事は、職員のモチベーションの向上にも繋がるのではないかと考えています。

# 中央手術室

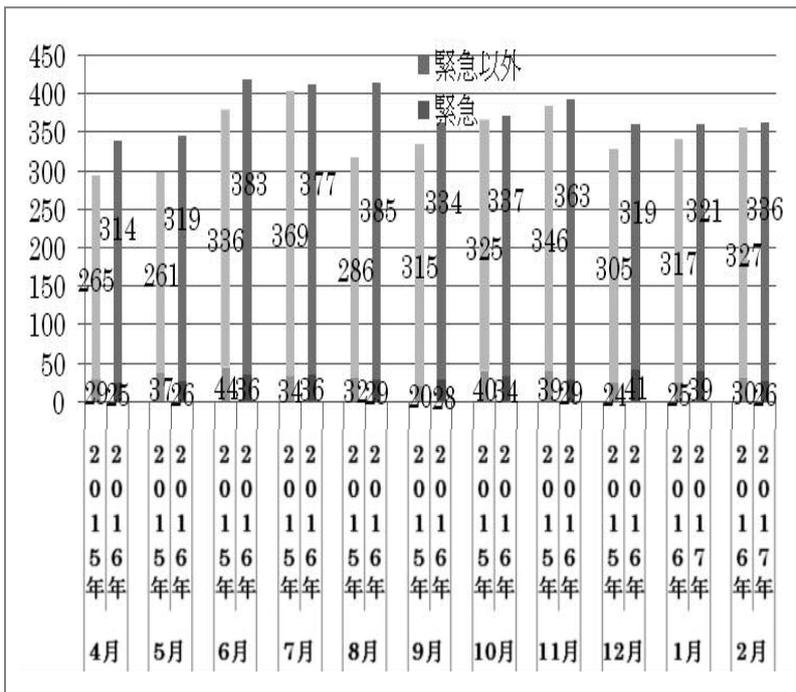
林 嘉彦 中央手術室部長

## 今年度のトピックス

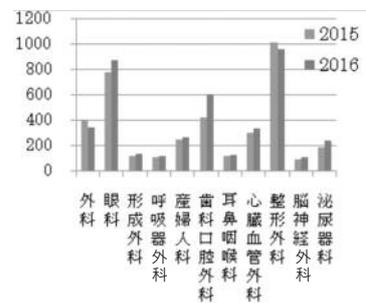
- ①麻酔科常勤医師が3名に増員となり、滋賀医大からの応援医師と合わせて麻酔科OPが午前、午後共に4～5列体制となりました。
- ②麻酔科が増えたことで麻酔科管理症例が前年度より約100件増加しました。
- ③診療支援棟が3室増室された後の初年度でしたが、心臓血管外科の血管治療と開心術が並列で受けることが可能になりました。
- ④手術室認定看護師が誕生し周術期看護に対する実践・指導・相談が可能となり、看護の質向上への取り組みが増えました。
- ⑤周術期の患者さんを対象に患者総合支援センターでの術前情報収集が可能となりました。
- ⑥材料管理専門の委託業者による診療材料管理が可能となりました。

## 業務実績

月別OP件数



科別件数



麻酔科関与件数



## 評価

麻酔科体制が安定した事、看護業務の半数を占めていた診療材料の管理が委託業者となった事で、午前中の受け入れ件数を増やすことができ、OP総数が毎月増加しました。年間総数では308件の増加に繋がりました。

# 薬剤部

神田 雄史 院長兼薬剤部長  
野淵 孝二 薬剤リーダー

## 今年度のトピックス

- ・病棟薬剤業務実施加算2（ICU常駐）算定開始
- ・後発医薬品への変更を推進
- ・薬剤部移転
- ・薬学6年制実務実習生の受け入れ 3名
- ・B型肝炎再活性化対策

## 業務実績

薬剤部長が交代し新体制でスタートしました。平成28年度診療報酬改定で、従来一般病棟で行っていた病棟薬剤業務実施加算1に加えてICUで行う加算2が新設され、5月より算定を開始しました。医師等の負担軽減と副作用の回避・軽減と薬剤関連インシデント減少、チーム医療を推進するために病棟との連携を密にしながら週20時間業務を行っています。病棟業務の中で発見した重篤な副作用を厚生労働省へ10件報告し、副作用救済制度申請の患者支援を行いました。積極的に日本病院薬剤師会プレアボイド（副作用回避）を44件報告しました。チーム医療では、病棟カンファレンスや回診のみならず医師をはじめ、コ・メディカルスタッフと連携し医療を提供できるよう取り組みました。化学療法委員会、糖尿病教室、リウマチ教育入院、緩和ケア、ICT、NSTに継続して参加しており、今年度から認知症対策委員会、ハートケアチームカンファレンスに参加しています。

人材育成では、地域がん診療連携拠点病院としてがん化学療法に精通した薬剤師の育成を進め、滋賀医科大学附属病院においてがん薬物療法認定薬剤師研修事業で3ヶ月間研修しました。また、がん薬物療法認定薬剤師によるがん患者指導管理料3の算定を外来化学療法センターだけでなく、内服抗がん剤を外来導入患者に開始しました。現在は外来化学療法センターに薬剤師3名を配置し、安全で適正ながん薬物療法が行えるように取り組んでいます。滋賀県下で4番目となる緩和薬物療法認定薬剤師が誕生しました。各専門分野の学術大会、研究会への参加を推奨し、6演題を発表しました。薬学5年次の長期実務実習生を3名受け入れ、湖北地域の薬剤師育成に努めました。

医薬品安全管理では、医薬品安全管理研修会実施し、医薬品の特性、管理を要する薬品の取り扱いについて説明しました。医師、病棟スタッフへの医薬品情報提供では、病棟担当薬剤師が新規採用薬品の情報提供、採用中止薬の提案、代替処方提案などを進めました。化学療法委員会と共同して、抗がん剤使用時のB型肝炎再活性化対策を行い、安心・安全ながん薬物療法をすすめました。

院内採用医薬品を積極的に後発品に変更し、後発品指数は70%を超えており、早期に80%を超えるよう取り組んでいます。

地域連携では、湖北吸入療法研究会(KKR)の事務局を担当し、全体研修会を開催しました。また、健康づくり0次クラブが主催した「いきいき健康フェスティバル」に出展し、地域住民の健康づくりのサポートを行いました。

薬剤部移転では、注射倉庫と調剤室の構造上の環境を改善し、各病棟用パスボックスを配備し、薬品の引渡の効率化、将来的な注射薬個人注射払出業務に備えました。

## 評価

病棟業務実施加算を開始し、薬剤師が診療の現場にいることにより、医師等の負担軽減と薬物療法の有効性、安全性が向上するとともに、患者状態を考慮した処方監査を実施し、プレアボイド（副作用回避）につなげることで、患者の不利益を回避することができました。また、地域がん診療連携拠点病院として、がん薬物療法認定薬剤師のみならず、緩和薬物療法認定薬剤師が誕生し、がん患者さんへの全人的な治療に寄与する事ができました。

# 医療技術局

村上 義和 局長

今年度も、医療技術局の組織強化と連携を密にするため、月1回の医療技術局技師長責任者会議を開催し、各科の問題点及び情報の共有を図りました。

また、医療技術局の事業として、今回で3回目となります、新人紹介を兼ねた研修会及び親睦会を目的とする「絆プロジェクト」を、平成28年7月8日（金）に開催し、90名の職員参加の下、医療技術局のチーム力向上、組織強化が図れたと考えています。

第3回の医療技術局研修会は、「各職場での取り組みについて」をテーマとし、平成28年10月12日（水）長浜市立湖北病院医療技術局からも17名が参加していただき、院内医療技術職員と合わせ100名の参加の下開催することができました。若い技師たちも多数発表してくれ、各々の職種団体での学会発表に繋がればいいと考えています。

また、歯科・眼科技術室から発表がありました「院内でのロービジョン啓発活動について」では、発表後、視能訓練士と管理栄養士が協議を行い、栄養委員会で自助食器の購入が決定となり、眼科入院の患者さんにとって分かりやすい食事となり、研修会の大きな成果だと考えています。次年度につきましては、両病院の連携を深めるためにも長浜市立湖北病院との合同開催ができれば良いと思います。

今後も、二つの事業を中心に取り組み、互いの専門技術を尊重し、連携を密にとりチーム医療の一員として、高度医療に対応する専門知識や技術を身につけた人材育成を行い、地域医療に貢献できる医療技術局を目指します。

# 栄養科

藤田 新一 栄養科専門員  
中川 太郎 次 長

**栄養科基本方針** 安心、安全でおいしい食事の提供を目指します。  
思いやりの心のかよう栄養管理に努めます。

## 組織

栄養科専門員1名、管理栄養士7名、事務職員1名、調理師18名、炊事員(パート職員9名) (合計36名)

## 今年度のトピックス

今年度は、当科の目標を「栄養科職員の連携を深め、組織の強化を図る」とし、管理栄養士は「給食管理及び栄養管理体制を改善し、業務の合理化・効率化を図る」、調理師は「調理業務の標準化を目指し、安心安全な食事の提供をする」を目標とし業務改善に取り組みました。トピックスは次のとおりです。

### ▶ 給食管理

- ・管理栄養士と調理師が協力しての献立作成及び食事の充実(出産に伴うお祝い膳の改善、季節の行事食メニューの充実)
- ・入院決定時の食事選択画面の変更(食物アレルギーオーダー及び、特別治療食オーダー方法の改善)
- ・備蓄食品の有効利用と更新
- ・濃厚流動食品等の見直しによる給食用食材の経費削減
- ・当直食(目的外給食)の提供中止
- ・目の不自由な患者及び手の不自由な患者専用食器の検討
- ・きざみ食の食形態の改善を検討

### ▶ 厨房施設

- ・厨房業務の導線の見直し計画を提案
- ・手動式配膳車48膳5台の更新
- ・フードプロセッサー・ミキサー機などの殺菌庫の更新
- ・長浜市立湖北病院の厨房施設の視察

### ▶ 多職種とのチーム連携の強化

- ・管理栄養士が循環器カンファレンスへ参画を開始(症例検討・勉強会・栄養指導を実施)
- ・特別食加算(1食76円)算定増加のため、ワーキンググループを結成
- ・糖尿病透析予防指導件数・栄養サポートチーム回診件数上昇傾向

### ▶ その他

- ・栄養指導件数上昇傾向
- ・人材育成(資格取得) 日本糖尿病療養指導士認定機構認定の日本糖尿病療養指導士 1名  
国家資格 給食用特殊調理師 1名

## 業務実績 詳細は各種統計資料参照

給食業務状況(患者給食延べ数) 351,594食/年(321食/1回平均) 前年比 98.3 %  
栄養指導件数(個別指導) 1,183件/年 前年比 109.3 %

## 評価

上記トピックスのとおり積極的に業務改善に取り組んだ。今後も課題解決に向けて努力します。

# 臨床工学技術科

藤田 忠夫 技師長  
辻 克信 次長

## 今年度のトピックス

今年度、臨床工学技術科の職員が1名増員されました。工学技術科として診療支援棟開設に伴い、新しくなったICU、手術室、心カテ室の業務拡大を行いました。

手術室では麻酔器日常点検と手術部屋ラウンドを実施していますが、機器点検の拡大はまだこれから必要と考えております。また、病院が精力的に導入した新規医療機器などの管理業務が増えており、その一つに耳鼻科・脳外科・整形外科で使用されるナビゲーションシステムの使用に臨床工学技士が携わるようになりました。

心カテ室では、最新治療、高度医療に伴う医療機器の導入に対応するため従来の技士1名体制から2名体制に変更し業務を行っております。またMRI対応ペースメーカー使用患者のMRI撮影時にも臨床工学技士が従事することになりました。今後、医療が進歩する中で、臨床工学技士の需要はますます必要と考えられます。

## 業務実績

### ① 臨床技術提供業務

#### 血液浄化

・持続的血液濾過透析	100回 (24症例)	・エンドトキシン吸着	21回 (10症例)
・血漿交換	5回 (1症例)	・血漿吸着	19回 (3症例)
・ビリルビン吸着	2回 (1症例)		

#### 手術室

・人工心肺装置使用手術	67症例
-------------	------

#### その他

・経皮的心肺補助装置使用(PCPS)	5症例	・大動脈内バルーンパンピング(IABP)	26症例
--------------------	-----	----------------------	------

### ② 医療機器点検業務

#### 院内定期点検

・輸液ポンプ定期点検	100件	・シリンジポンプ定期点検	63件
・除細動器定期点検	24件		

#### 貸出回数

・輸液ポンプ	1932回	・シリンジポンプ	757回
・人工呼吸器	88回	・逐次型空気圧式マッサージ器	79回
・経腸栄養ポンプ	13回	・離床センサー	247回
・酸素濃縮器	42回		

### ③ 教育研修

・輸液ポンプ研修	6回	参加人数	80人
・シリンジポンプ研修	2回	参加人数	7人
・生体情報モニター研修	2回	参加人数	36人
・人工呼吸器研修	7回	参加人数	191人
・透析、血液浄化研修	2回	参加人数	11人
・補助循環研修	3回	参加人数	16人
・医療安全研修	2回	参加人数	22人

# 放射線技術科

村上 義和 技師長

古山 忠宏 参事

富田 聡 次長

宮川 孝史 次長

田邊 啓太 次長

## 今年度のトピックス

放射線技術科の機器更新として、平成28年3月に乳房撮影装置、平成29年3月には婦人科・泌尿器科の専用X線TV装置を更新いたしました。

乳房装置については、エックス線管球を移動しながら連続的にエックス線を照射し、異なる照射角度から複数の画像を撮影して、3Dデータとして画像再構成が出来るトモシンセシス撮影が可能となり、乳房内部の構造をより鮮明に観察することが可能となりました。

婦人科・泌尿器科の専用X線TV装置については、大型フラットパネルディテクタを搭載し、画像処理能力の向上により被ばくを抑制しながら画質の向上が図られました。

さらに、撮影、透視エリアが広くなり、検査、治療中に検査台を移動させることが少なくなり、安全で効率の良い検査、治療が可能となりました。

また、リファレンスマニターは、外部入力映像との切り替えが可能で術者の視線を大きく変えることなく内視鏡などの画像を見ることができるようになりました。

これらのように専用装置として使いやすさを追求し、術者、患者さんに優しい装置となっています。

新しい装置について他病院からの視察も多くあり、今後も学会・研究会等にて当院から情報発信をしていきたいと思えます。

放射線治療部門では、年2回開催している放射線治療品質保証委員会、毎週開催のQA会議および症例カンファレンスにより、年間を通して治療の質の維持・向上および安全管理体制を実現しています。

## 業務実績

放射線診断部門の平成28年度検査件数は、患者数減少の中、骨密度検査は件数を伸ばしましたが、その他のモダリティについては昨年度を下回る実績となりました。しかし、CT・MR検査については術前ナビゲーション用および3D画像の再構築依頼も多くあり、ワークステーション業務が増大しています。血管撮影についても、血管内治療の割合が増えており業務量は大幅に増大かつ、多様化、複雑化しています。

放射線治療部門については、総患者件数は前年度と同等の実績となりました。

IMRTや定位放射線治療等、高精度放射線治療の可能な施設は、湖北地域では当院のみという状況は変わっておりません。

前立腺IMRTについては、年間17件中、約7割の12件が他院からの紹介患者で占めています。

各検査数については、別掲の「放射線科／放射線技術科業務状況」をご参照ください。

各委員会については、放射線安全委員会、放射線治療品質保証委員会を開催し、職員の被ばく防止、放射線治療に関する精度及び安全管理について協議いたしました。

また、院内職員を対象とする放射線安全研修会を11月に開催し、放射線およびMRI検査における磁場等について安全意識の啓発活動を行いました。

## 評 価

今年度も「見える診療放射線技師」を目指し、院内職員に対し各機器の運用およびチェックリストの変更、個人被ばく線量計の案内等、数々の情報を「Radiation Information」として6回発信することが出来ました。

また、診療放射線技師法の一部改正に伴い、診療放射線技師の業務が拡大されました。この新しく業務範囲に含まれる業務を安全にかつ正確に実施するための「業務拡大に伴う統一講習会」に平成28年度7名が受講し、昨年と合わせ10名の技師が受講を終了しました。大学等授業のカリキュラムに含まれている学生が卒業するまでには、すべての技師が受講出来るよう考えています。

学会等の参加については、日本放射線技術学会及び日本診療放射線技師会、腫瘍学会を始め近畿、県内の勉強会、研究会等へ積極的に参加し、多数の発表を行うなど自己研鑽に努めて参りました。

今後も、チーム医療に貢献のできるよう優れた人材の育成に努め、診療に最適な画像情報の提供を目指します。

# リハビリテーション科

江藤 謹司 部長

# リハビリテーション技術科

音居 玲子 技師長  
三浦 富子、北村 淳、吉田洋次郎、田中 宏明 次長

## 今年度のトピックス

平成28年度は新たに外来型心臓リハビリテーションと訪問リハビリテーションを開始しました。

外来型心臓リハビリテーションは、医師・看護師・理学療法士がチームを作り、共働して循環器疾患や心臓血管術後の患者に実施しました。また、医師・看護師・理学療法士以外に、検査技師・薬剤師・栄養士・作業療法士の多職種でハートケアチームカンファレンスを開催し、各々の専門性を生かしより良い医療が提供できるよう取り組みました。

訪問リハビリテーションは、週1～3回程度の頻度で理学療法士が患者の家庭を訪問し、日常生活動作指導や運動療法の提供を行いました。また、訪問看護ステーションの院内スタッフや院外のセラピストやデイサービス等の施設のスタッフに対して、必要に応じてリハビリ状況や運動プログラムなどの情報提供を行い、より密な連携を図るように心掛けました。

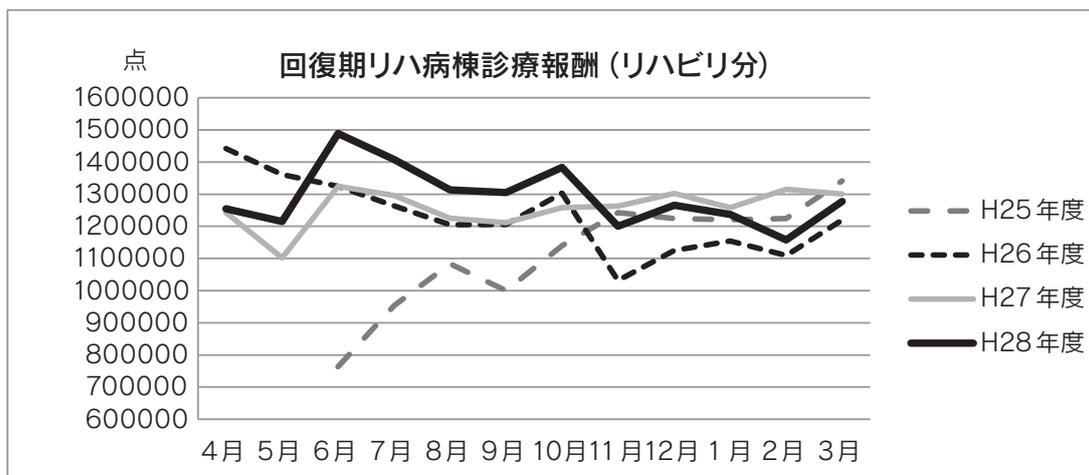
## 業務実績

### 【診療報酬】

	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	科合計
診療報酬 (点)	24,100,061	10,958,279	5,492,521	42,546,086
昨年度比較 (点)	+1,125,861	+911,332	+351,041	+2,506,204

\* 但し、地域包括ケア病棟の包括分の点数を含む

### 【回復期リハ病棟診療報酬】



### 【病棟回診への参加】

6西の部長回診 (1回/週)・回復期病棟部長回診 (1回/週)・地域包括ケア病棟回診 (1回/週)  
 廃用症候群回診 (1回/月)・嚥下回診 (2回/週)・心臓血管外科回診 (1回/週)  
 呼吸器内科回診 (1回/週)・緩和ケアチーム回診 (1回/週)

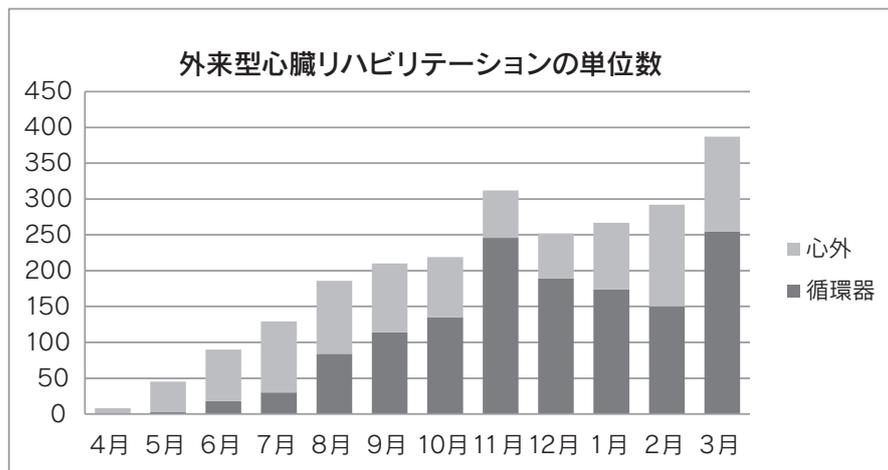
【カンファレンスへの参加】

整形外科レントゲンカンファレンス（1回/週）・脳外科カンファレンス（1回/週）  
ICU・CCUミーティング（毎朝）・心臓血管外科術前カンファレンス（1回/週）  
ハートケアチームカンファレンス（1回/週） 拡大カンファレンス（適宜）

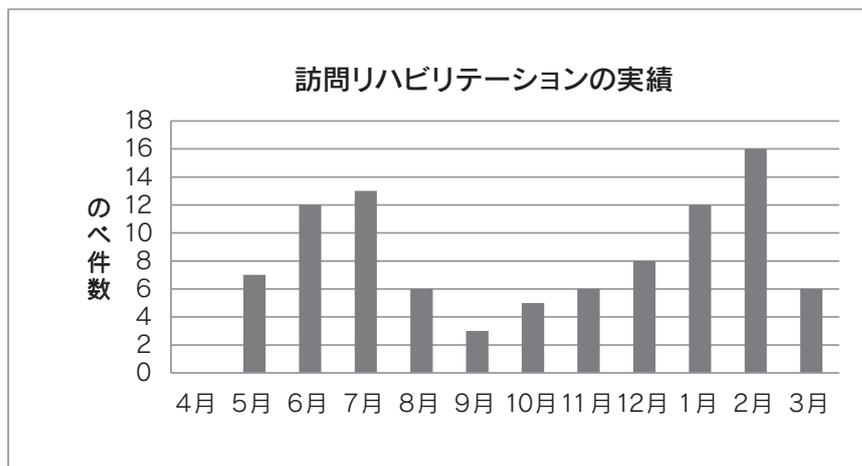
【臨床実習受け入れ】 12名

理学療法 5名 作業療法 5名 言語聴覚療法 2名

【外来型心臓リハビリテーション】



【訪問リハビリテーション】



評価

平成28年度の科内年間診療報酬は、理学療法・作業療法・言語聴覚療法のすべてで過去最高となり、2,506,204点の増収となりました。これは外来型心臓リハビリの件数が目標値を上回ったことや、技師1人あたりの1日平均実施単位数18以上という目標が達成できたことによるものと考えます。

地域包括ケア病棟は、リハビリの提供単位数が平均1日2単位以上という規定を維持しなければなりません。その他の回復期リハビリ病棟や急性期病棟や療養病棟でのリハビリ提供単位数を調整しながら、細やかにスタッフの配置を調整し対応することができました。

外来型心臓リハビリを開始し実績をあげられたことや、地域完結型医療の推進のために必要な訪問リハビリを開始できたことは、当院のリハビリテーションの幅を確実に拡げることができました。



# 中央検査技術科

新川 由基	技師長	坪井 房幸	次長
藤田 忠夫	参事	宮元 伸篤	次長
		岡本 明子	次長

## 今年度のトピックス

### 生化・免疫部門

- ・エアシューターで中央検査技術科検体受付とICU・救急センター・中央処置室を結び運用を開始しました。病理検体や輸血製剤を除く検査材料を運搬します。3ステーションではありますが、人による検体搬送がなくなり、業務効率の向上につながりました。
- ・正確で迅速に検査結果を報告する為に、自動分析装置の較正・メンテナンス等を実施しました。また、これまで用手法で実施していたアンモニア・ケトン体検査を自動分析装置で測定できるようになりました。今後も検査試薬の集約化による収益見直し、診療に有用な新規検査の取り込みについて検討していきます。
- ・緊急臨床検査士に1名が合格しました。

### 血液検査部門

- ・平成28年10月に今まで使用していたコアプレスタ2000がリース期間満期になった為、CP3000にバージョンアップしました。
- ・平成28年11月に老朽化していた顕微鏡を1台買い替えました。
- ・緊急臨床検査士、二級臨床検査士（血液学）各1名が取得しました。

### 輸血検査部門

- ・安全で適正な院内輸血推進の為に、交差適合試験などの輸血検査および院内輸血マニュアルの改訂作業・血液製剤廃棄数削減に取り組みました。血液製剤の廃棄金額率は過去10年で最低の結果（0.62%）となり、昨年度と比較して血液製剤廃棄金額は約45万円削減できました。

### 一般検査部門

- ・エアシューター導入により中央処置室から一般検査に届く検査材料は、尿や便検体のみとなりました。一般検査室から検体受付まで搬送する検体が少なくなり、業務効率の向上につながりました。
- ・近年、泌尿器科からの尿検体が少なくなり、代わりに腎臓代謝内科とリウマチ・膠原病内科の尿検体が非常に多くなってきました。

### 細菌検査部門

- ・CDトキシンの検査キットを日水製薬に変更しました。
- ・尿中肺炎球菌抗原と尿中レジオネラ抗原検出キットを栄研化学に変更しました。
- ・嫌気性菌用の同定キット（BD BBLCRYSTAL ANR）を導入し、より詳しく嫌気性菌の同定ができるようになりました。
- ・平成29年3月に新たに低温インキュベーターを導入し、プログラム運転が可能になりました。

- ・平成28年7月と平成29年1月に当院の抗菌薬の効き目を示す薬剤感受性スペクトラム表を作成しドクターへ配信し、同時に、ネットフォルダに更新し、誰でも閲覧できるようにしました。
- ・厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）の還元情報をネットフォルダに更新し、誰でも閲覧できるようにしました。
- ・週別の病棟別・材料別菌検出数を院内メールで配信し、同時に、ネットフォルダに更新し、誰でも閲覧できるようにしました。

### 病理検査部門

- ・病理医の充実：常勤の黒澤学先生、非常勤の沢田真治先生（月・火・水・金曜日）、非常勤の伊東良太先生（木曜日（平成28年7月まで））の3人体制で業務を行いました。
- ・顕微鏡ティーチング装置を増設し、8名の同時鏡検が可能となりました。
- ・剖検時の感染予防対策として、電動ファン付き呼吸用保護具を採用しました。
- ・認定病理検査技師を1名が取得しました。（合計2名）

### 生理検査部門

- ・今年度生理検査部門では、昨年度に引き続きエコー検査の充実に向け、新人技師の育成に力を入れてきました。また、より再現性の高い超音波診断装置を導入することができ、より高度化する医師からの要求にも対応できるよう努力していきたいと考えます。
- ・外来心臓リハビリテーションのため、心肺運動負荷試験（CPX検査）を開始しました。
- ・呼吸器科の要望により喘息の有無を診断するために、呼気一酸化窒素測定検査を開始しました。

### 評 価

平成28年度の総検査件数は2,747,132件、総点数は53,930,411点で前年度と比較して件数は約3%の減、点数は約4%の減となりました。一部の診療科の縮小などの影響があったものと思われま

す。検体部門にエアシューターによる検体搬送を導入し、業務の効率化を図りました。生理部門ではCPX検査を開始し心臓血管リハビリの一翼を担うとともに、最新の超音波診断装置を導入し医師からの高度な要求に対応できるようにしました。

また、より質の高い技術と知識を習得するため、認定資格取得にも努力し、認定病理検査技師1名、緊急臨床検査士2名、二級臨床検査士（血液学）1名が合格しました。

今後も、チーム医療の一員として、精確、かつ信頼性のある検査結果を迅速に臨床側に提供できるよう努力していきたいと考えます。

# 歯科・眼科技術室

村上 義和 医療技術局長兼技師長

近藤 昭仁 次 長

歯科技工士 1名 歯科衛生士 4名 歯科助手1名 視能訓練士 4名

## 今年度のトピックス

- ・ 口腔ケアの実施依頼が増加するなかで、特に周術期の口腔機能管理において年間1300件を超える周術期口腔ケアを実施することができました。
- ・ 第38回日本歯科技工士学会学術大会において、演題「周術期口腔機能管理における歯科技工士の役割について」をポスター発表しました。
- ・ 第57回日本視能矯正学会において、演題「Haigis式の予測精度を向上させる方法の検討」を口演発表しました。
- ・ 「目の愛護デー」に関する院内パネル展示を実施しました。

## 業務実績

周術期における口腔ケア実施件数・・・年間1,385件

挿管時歯牙損傷防止マウスガード製作数・・・年間108件

第2回院内ロービジョン展示体験会開催

病棟看護師対象ロービジョン学習会開催（年間2回）

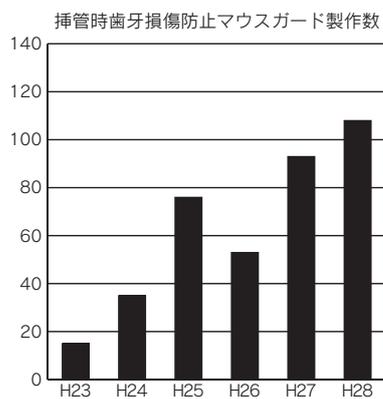
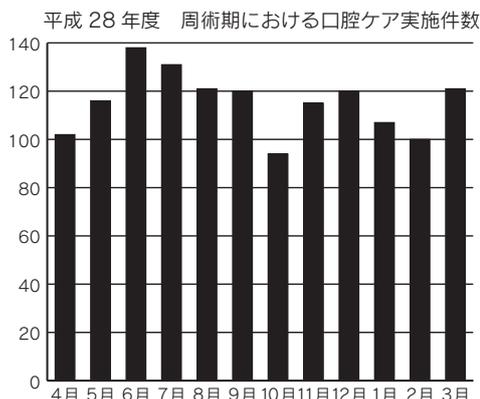
「目の愛護デー」パネル展示開催

臨床実習受け入れ・・・歯科衛生士学科学生 8名、視能訓練士学科学生 1名

## 評 価

歯科衛生士は周術期における口腔ケアにおいて、これまで以上の実施依頼に対応することができました。歯科技工士も、挿管による歯牙損傷を防止するマウスガード製作によって周術期の口腔機能管理に貢献することができたと考えます。今後は患者総合支援センターとの連携を強化して、これまで以上に周術期口腔機能管理の充実に努めます。また歯科助手は特に感染管理に配慮した診療室内の整備に努め、患者と医療者が互いに安心できる診療環境を提供することができました。

視能訓練士は昨年度に引き続き、第2回目の院内職員向けロービジョン勉強会や展示会を実施しました。また新たな試みとして来院者に向けて「目の愛護デー」パネル展示を実施し、眼疾患や小児の視力発達についてなど、目の健康に関する啓蒙を行うことができました。早期発見・早期治療ができるように今後も継続した情報発信に努めます。



# 看護局

看護局長 松田 和子

看護局理事 梅本 範子

看護科長 弓削 悦子、藤本とき江、織田 頼子、土川 陽子

## I トピックス

<28年度の看護局目標管理（戦略 助け合い・関心・創意工夫）◎重点目標>

◎1. 入院前から退院を見据えた個別性のある看護展開ができる。

担当：各セクション、記録委員会、基準委員会、管理者小グループ（看護展開）

\*アンケートでは、『まあまあできた』が多い結果であった。日々、業務の一部としてのカンファレンスは定着・実践できているが、受け持ち看護師が中心となって個別性のあるカンファレンスの実践が課題。継続看護情報交換用紙は、使用頻度は上がってきており、活用方法を工夫している病棟もある。ラダーにて看護過程課題用紙に取り組むことで、看護展開を振り返る事例検討ができている。記録・基準委員会を中心に、看護診断学習会の開催、標準看護計画の整備も進んでいるが、監査を継続し更なる看護展開における記録の充実をはかる必要性がある。

◎2. 各セクションの連携・協力を強化し各々の病床目標が達成できる。

担当：各セクション、地域医療連携室、管理者小グループ（病床目標）

\*アンケートでは、『まあまあできた』『少ししかできなかった』が多い結果であった。

他科の入院を受け入れるために、標準看護計画の読み合わせや学習会を開催して活用する部署、薬剤科と連携し、関連する薬剤の学習会を継続的に実施する部署もあった。

緊急入院を受け入れるためのベッドの確保や、病床管理要約や空床状況をスタッフに伝えることにより、スタッフの受け入れ意識を高めている部署もあった。

◎3. 認知症を正しく理解してケアが提供できる。

担当：認知症サポートプロジェクト管理者小グループ（認知症）

\*アンケートでは、『まあまあできた』が多い結果であった。サポートチームの学習会や院内外の研修会に参加し、関心は高まったが、部署により、看護実践に活かすところは差があった。

◎4. 看護必要度の正しい理解と評価ができるし、退院支援を行う。

担当：主任会、管理者小グループ（看護必要度）

\*アンケートでは、『まあまあできた』が多い結果であった。各部署で看護管理者小グループの学習会や院外の研修に参加し、伝達講習会を行ったこと、科長室による必要度のチェックも、各部署に還元されており、師長・主任・スタッフの意識も変化してきている。

◎5. 看護方式の特徴を理解し看護実践を通して評価できる。

担当：各セクション、固定リーダー会

\*アンケートでは、『まあまあできた』が多い結果であった。

アンケートを取りながら進めたり、介護士がいる部署では、介護士業務の見直しを行ったり、ペーシングを工夫するなど、部署の特徴に合わせて体制整備をしている。

◎6. 働き続けられる職場作り。

担当：各セクション、看護師確保P

\*アンケートでは、『まあまあできた』が多い結果であった。時間外削減、スタッフのモチベーションを上げる取り組みや、環境などに関する気づける機会作り等様々な内容があった。

＜診療報酬改定—重症度、医療・看護必要度見直し、入院基本料7対1など基準見直し＞

4月の診療報酬改定で、7対1入院基本料における基準見直しで特に重症度、医療・看護必要度見直しは基準が上がったのに加えて内容に変更があったので、業務に直結し、尚且つ病院運営に影響も大きく、迅速に対応をした。周知徹底をはかるために看護局目標に織り込みながら実践し、7対1入院基本料取得は維持できた。また、改定内容に、夜間看護体制の充実に関する評価項目として看護職員夜間12対1配置加算1について、取得することができた。

＜平成28年熊本地震に係る災害支援ナースとしての活動—派遣看護師2名＞

4月14日の熊本地震において、公益社団法人日本看護協会から各都道府県看護協会に派遣要請があり、滋賀県看護協会から県内病院看護管理者に派遣要請があった。当院の災害派遣ナース登録者から順次要望を聞いて派遣登録をし、災害支援ナース2名を派遣することができ、無事任務を終了しての帰還となった。派遣ナースのモチベーションを保てるよう病院・看護局としての体制を取った。活動内容については、看護局だより、滋賀県看護協会広報誌「ナースレク」により、少しでも多くの看護師が目にするようにした。次への備えとして災害支援ナース育成できるよう、研修の呼びかけ等を行った。

＜患者総合支援センター開設に向けて入院支援業務、退院支援業務の構築＞

平成29年度、患者総合支援センター開設に向けて、新たに入院支援業務ができるように、看護局目標、継続看護検討会において、検討を重ね着手した。2月にはシュミレーション開始でき、プレオープンできた。また退院支援業務において、湖北ルールが暫定的にできたため、周知を図るとともに開始し、効率的な運用を検討できた。

＜看護師長研修の実習受け入れ＞

今年度滋賀県看護協会の看護管理者研修の一環として行われた看護師長研修に4名が参加した。また、実習受け入れを10名行った。受け入れ病棟の看護師長の協力を得て双方が実習を通して学んでいける環境作りができ、一定の成果は得られたのではないかと感じている。

＜認定看護師誕生 領域—手術室看護＞

## II 看護局の組織体制

看護科長1名(地域医療事業部総括)、看護科長補佐1名、看護係長4名、看護主幹4名、看護主査6名昇格した。今後の医療情勢に対応すべく、新任看護管理者育成のために管理ラダーの試用、研修などを実施した。各部署での担当科長制は昨年同様継続した。地域医療事業部に、これからの地域包括ケアシステムの中での看護師の役割強化を意識し、訪問看護ステーションにがん性疼痛看護認定看護師を配置した。

以上の組織体制で、看護局運営を効率的にするために定例会議・委員会の他に、目標管理推進委員の配置、看護師確保P、薬剤業務Pを設置して活動した。

## III 看護局業務実績

\*事業計画の進捗状況

＜看護体制の充実—看護師確保と定着＞正規看護師採用者32人。離職率9.9%

各入院基本料に付随する看護師配置維持。多様な看護体制は2交替制勤務の導入(4西)

＜外来看護の充実＞看護相談の取り組み・リリーフ体制の確立・入院支援業務のシステム化

＜助産師離職率低下・助産師定着＞助産師ラダー認証者1名。産後ケア入院実施

＜助産師出向支援事業参加継続＞継続

＜専門領域の指導的看護師・看護管理者の育成＞、セカンドレベル研修1名、ファーストレベル

- 研修4名、臨床実習指導者講習会4名受講
- ＜海外医療視察＞ドイツ・デンマーク1名参加
- ＜看護業務改善①看護補助者確保・定着＞急性期看護補助者加算25対1（50%未満）維持
- ＜看護業務改善②介護士の確保・定着＞正規職員1名確保、続行
- ＜看護業務改善③看護管理者＞ナースエイドバージョンアップ（次回システム更新時）
- ＜看護業務改善④他部門（薬剤科）＞交渉続行
- ＜手術室の業務改善＞手術材料管理運用業務の委託
- ＜教育支援室の開設＞本館2階に設置
- ＜認定看護師取得後の手当支給＞交渉続行
- ＜採血管のシステム器機の保守、点検業務＞続行
- ＜学研ナーシング導入＞続行
- \*改革プランの進捗状況
  - ＜ICUの充実＞特定集中治療管理加算3取得・維持—A達成
  - ＜外来化学療法の実施＞外来化学療法加算1取得・維持—A達成
  - ＜効率的な病床運用＞新入院患者数4,500/6ヶ月目標（4538人/6ヶ月）—A達成
  - ＜人工透析環境の充実＞血液透析患者数8,500人/6ヶ月目標（9037人/6ヶ月）—A達成
  - ＜地域包括ケア病棟の運営＞1日あたり入院患者数30人/月目標（25.7人/月）—B達成

#### IV. 評価

平成28年度は、定例の行事と目標管理を進める中、病院経営に直結する診療報酬の改定内容の周知に看護局だけでなく、診療局の協力を得て進める事ができた。患者総合支援センター開設に向けて、患者サービスにおいて検討・修正したことを次年度に活かしていく、在宅を拠点として外来—病棟—在宅へと、切れ間なく支援ができるように、地域包括ケアシステムの中の病院の立ち位置をよりアピールできるように医療・看護をチーム医療として充実させていく重要性を再認識し活動を進められた。

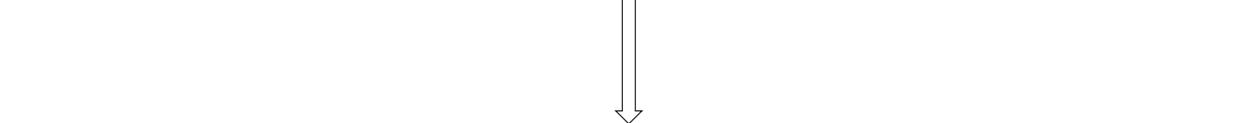
# 看護局組織機能図 (平成28年度)

セクション	外来C：救急センター ・放射線科・内視鏡室・ 外科・脳神経センター	中央手術室	中央材料室	人工透析センター	3西病棟	SCU	3南病棟	I・CU・CCU	4東病棟	4西病棟	5東病棟	5西病棟	6東病棟	6西病棟	地域包括ケア病棟	7西病棟	療養病棟	回復期リハビリ テーション病棟
-------	---	-------	-------	----------	------	-----	------	----------	------	------	------	------	------	------	----------	------	------	--------------------



主任	酒谷	岡島	林ひ	尚永		沖田	清水	田附	毛利	野村耕	坪井	中島ゆ	三枝	西島	久保田	中村春	伊藤	新木	小川	鍋島
	西堀靖	西尾	山田	山下		西堀政	尾崎千		関谷	森中	赤井	岡部	野村規	中川崇	中川由	河嶋	草野	谷口	辻	依田
	芝田		井上	次郎内			山本		伊吹	浅見	東野	井口	前川幸	鍋	川畑	伊吹	高山	辻野		

師長	岩崎	岩崎	野一色	服部	岸田	浦部	中島		宮部	吉川	岸本	北川真	鳥脇	中村寛	大野	高橋	小林	北村文	前川	遠藤
----	----	----	-----	----	----	----	----	--	----	----	----	-----	----	-----	----	----	----	-----	----	----

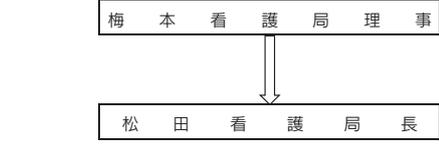


担当科長	弓削	弓削	弓削	梅本	弓削	梅本	織田	織田	織田	織田	弓削	弓削	織田	織田	織田	織田	梅本	弓削	梅本	梅本
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

**医療安全管理室**  
 藤本医療安全管理者(専従)  
 藤本感染管理者(専従)  
**地域医療事業部**  
 土川科長(総括)  
 北村美幸主幹  
 尾崎科長補佐  
 土田看護主幹  
 笠原係長  
**がん対策推進事業部・がん相談支援センター**  
 土川科長(総括)  
 新川科長補佐  
 山岸係長  
 宮崎主幹  
**訪問看護ステーション**  
 湧口主幹(管理者)  
 河野智主査

**看護科長室**  
 梅本理事 (総務)  
 徳田科長補佐 (総務補佐)  
 弓削科長 (教育)  
 草野科長補佐 (教育補佐・新人教育)  
 山田主幹 (新人教育補佐)  
 佐藤 (新人教育補佐)  
 織田科長 (業務)  
 吉川科長補佐(兼務) (業務補佐)

<b>専門看護師</b>	山岸(専従)	がん看護
<b>認定看護師</b>	宮崎(専従)	緩和ケア
	河野智(訪問兼任) 桂(5西兼任)	がん性疼痛看護
	笠原(専従) 西尾(外来兼任)	皮膚・排泄ケア
	藤木(専従) 中村寛(5西兼任)	感染管理
	西堀靖(外来兼任) 東(6東兼任)	糖尿病看護
	入江・杉山(放射線兼任)	がん放射線療法看護
	杉山(3西兼任)	脳卒中 リハビリテーション看護
	尚永(救急兼任)	救急看護
	河野真	がん化学療法看護
	山口(5西兼任)	慢性呼吸器疾患看護
	杉村(3南兼任)	慢性心不全看護



CNA 1名、CNS 1名、CN 16名

# 訪問看護ステーション

係長 湧口 朋子

訪問看護ステーションは、看護師10名（常勤換算8.8）理学療法士兼務2名、事務職1名で、病院機能の訪問看護ステーションとして、病院内と連携できる特性を十分に活かし、高度医療・在宅緩和ケア・在宅看取りの療養者の在宅の受け皿として事業を継続しています。

## 今年度の業務実績・トピックス

- ・平成28年度は、昨年度に比べ、延べ訪問件数が（平成27年度：7,112件 平成28年度：7,854件）伸び、収入増につながりました。
- ・今年度より、リハビリテーション科の協力と連携により、理学療法士2名兼務で医療保険の訪問リハビリを開始しました。難病やがんの利用者に訪問リハビリを提供しています。（延べ訪問件数 87件／年）訪問リハビリは、療養者の生活状況、自宅の環境を考慮し、生活の維持・向上を目指しています。また、看護師は医療ニーズの高い中重度のケア、理学療法士は在宅リハビリテーションを行うことで、双方の機能分担を進めていく必要があります。今後、病院退院後のアフターフォローの意味合いも含め、来年度は地域から要望が多かった介護保険サービスにおける訪問リハビリテーションの導入を事業計画にあげています。
- ・今年度は、在宅緩和ケア・看取りを必要とする療養者に十分対応できるように、訪問看護に配属されたがん性疼痛看護認定看護師を中心にケアカンファレンスとコンサルテーションを行い、スタッフの質の向上を図り、在宅看取り率の向上を図りました。（平成27年度：17% 平成28年度：39%）
- ・利用者が安心・安全に在宅療養に移行し、適切なケアが提供でき、在宅療養が継続できることを目的に、専門性の高い看護師や認定看護師の同行訪問を開始しました。利用者の日常生活に密着し、双方向的にタイムリーに相談ができ、在宅看護の質を高めることができるようになりました。

# 事務局

## 事務局

小川 幸男	事務局長
福永 武浩	事務局理事兼総務課長
佐野 勝治	総務課参事
伊藤 仁文	総務課参事
嶋 吉夫	医事課長
田中 正樹	経営企画課長
松宮 喜明	経営企画課参事

## 総務課

### 総務グループ

#### 1. 臨床研修医（初期研修）の採用について

臨床研修医の採用については、病院合同説明会への参加、医学部の学外臨床実習生や病院見学の受け入れ、ホームページや電子メールによる情報発信に取り組みました。

その結果、平成29年4月採用の臨床研修医採用試験には6人の受験があり、3人の採用決定を行いました。

今後も、①指導體制の整備、②症例研究に対する積極的な支援、③やりたいことができる研修環境等に配慮しながら、初期研修から後期研修まで継続して当院に勤務いただける魅力ある病院づくりをめざしてまいります。

#### 2. 診療体制強化に向けた医師採用について

医師数が不足する診療科の医師確保が喫緊の課題となる中、大学医局への派遣依頼や病院独自採用により診療体制の充実に努めました。

#### 3. 看護師・助産師の確保について

看護師等の採用は、看護配置基準7対1を維持するため、定期採用試験3回と随時採用試験の実施により、28名を採用しました。

また、看護師等の確保対策としては、看護大学や専門学校の訪問、病院見学やインターンシップの受け入れ、奨学金制度による支援、採用内定者を対象とした国家試験対策講座の開講等を実施しました。

新人看護師等の養成では、院内教育や院外教育により、公務員・専門職としての自覚と責任を育むとともに、安全な看護業務を提供できるよう、教育体制やメンタルサポート体制を整え支援してきました。

また、看護師等の離職率は、看護配置基準7対1の維持による看護師1人あたりの受持ち患者数の減少や、負担軽減対策の実施により8%程度に留めることができました。

今後とも看護師等の確保と養成については、仕事のやりがいと充実した私生活が両立できるよう当院独自の創意工夫を重ねながら、職場環境の整備に向けて継続的に取り組んでまいります。

## 施設グループ

### 【売店、食堂等】

病院利用者のサービス向上および院内アメニティの改善を図るため、売店、食堂等の運営事業者を公募型プロポーザル方式で選定し、平成28年6月にリニューアルオープンしました。

### 【長寿命化計画】

平成27年度までは従来の保全計画による「病院設備関係の維持保全」及び「病院建築関係の維持保全」として事業を実施してきたところですが、今後は、平成27年度に策定した「中長期保全計画書」に基づく長寿命化計画を、病院機能強化推進室とともに次のとおり推進することとします。

- ・修繕等は、効率的・効果的に実施するとともに、「メンテナンスサイクル」を構築し、継続的に発展させる。
- ・損傷が軽微である早期段階に機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」を導入する。
- ・修繕等の機会を捉え、インフラの防災・耐震性能の向上を図るなど効率的・効果的な対策を推進する。

## 経営企画課

### 経営企画グループ

#### (1) 経営

公立病院改革と地域医療構想との整合性を図り、地域における必要な医療提供体制の確保のため、これまでの「長浜市病院事業基本計画」と「改革プラン」を一本化し、平成29～32年度までの4か年の収支計画をたて、中期経営計画として策定しました。

そのようななか、経年劣化した施設・設備の改修や老朽化が著しい機器の更新を行い診療体制の充実に努めるほか、病棟構成及び職員配置の継続的見直しを行い、病院運営の効率化を図りましたが、医師不足などの影響により厳しい経営状況となりました。

収益的収入につきましては、新たな施設基準の取得に取り組みましたが、入院患者の減などにより総額12,568百万円となり、前年度と比較しますと116百万円の減となりました。一方で、収益的支出につきましては、後発医薬品の積極的採用や診療材料の在庫適正化を進めるなど材料費をはじめとする費用の削減に努め、前年度と比較しますと給与費は0.7%の減、材料費は1.5%の減となりましたが、減価償却費が増加したことなどにより、1,069百万円の純損失を計上することとなりました。

#### (2) 企画

本年度は、長浜市病院事業改革プラン【改訂版】の最終年度のため、新公立病院改革ガイドラインや滋賀県地域医療構想を踏まえた新改革プランとして、平成29から32年度までの4か年を計画期間とする「長浜市病院事業 中期経営計画」を策定しました。改訂版の事業目標の進捗管理と併せて、新改革プランの基本的使命である地域住民の健康保持に必要な医療の提供のため、取り組むべき事業目標を設定しました。

医療情報システムは、診療報酬改定への対応、安定稼働のための定期的なシステム再起動などの管理業務を行いました。医療情報システムの更新については、経費節減もあり1年間延長して使用することを決定しました。

広報業務では、ホームページとパンフレットのリニューアル事業に取り組みました。当院の医

療提供体制の紹介や公開講座・研修会などのさまざまな情報を地域、患者・家族、医療従事者に分かりやすく、速やかに発信できる体制を整えました。

病院機能評価は、評価体系3rdG (Ver.1.1) での更新受審を翌年度に控え、10月に病院機能評価受審準備会を設置しました。来年度の訪問審査の受審準備のため、改善セミナーへの参加や院内でのWeb研修会の受講などに取り組みました。

## 用度グループ

医薬品の購入に関しては、納入業者の見直しや価格交渉を薬剤科と協調して粘り強く実施し、経費の削減を図ることができました。

診療材料については、血糖測定器及び手術用手袋の切替を検討し、手術パック・キットの切替及び閉鎖式薬物移送システムの採用を実施しました。また、年2回の単価契約の更改にあたっては納入価格の交渉を行い、更なる経費削減に取り組みました。

医療機器の整備については、脳神経外科・耳鼻咽喉科・整形外科にナビゲーションシステム、中央検査技術科に超音波診断装置、眼科にパターンキャンレーザーを購入し、必要最小限の機器の更新に努めました。放射線部門においては、老朽化したX線TV装置を更新しました。

湖北病院との物品調達にかかる契約事務の連携については、スケールメリットを意識した効率的な購入を進めました。具体的には、P P C用紙やナースシューズの一括入札のほか、酸素濃縮器の賃貸借業務を両院一括で契約しました。

## 医 事 課

### (1) 診療報酬に関する事務

- ・DPC対象病院として、厚生労働省が実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に準拠したデータを継続して提出しました。
- ・厚生労働省が実施する「病床機能報告制度」に基づき、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている病院として、各病棟の病床において担っている医療機能の現状について、データを作成し報告しました。
- ・診療報酬の請求に関する情報を院内職員で共有するために、医事通信を毎月発行しました。
- ・診療報酬の請求に関して、年間を通して必要に応じて院内関係者との調整を図り、正確な診療報酬の算定に努めました。
- ・厚生労働省臨床研修指定病院として、全職種の職員を対象とした「保険診療に関する講習会」を2回開催しました。
- ・医事業務の委託に関して、業務精度の向上を目的に、3ヶ月に1回委託業務の院内評価委員会を開催して、常に委託業務の点検と精度の向上に努めました。

### (2) 窓口業務

- ・院内における各外来と連携を図り、指定難病や小児慢性特定疾患、更生医療等の公費申請の説明を患者さんに実施しました。  
また、妊産婦さんやご家族の方に、産科医療補償制度や出産一時金の医療機関への直接支払制度のご案内をしました。上記の説明や案内によって、窓口における患者さんの負担額を軽減することができました。
- ・各自治体や医師会と協議を行い、健診事業や予防接種等の契約を締結することによって、各種健診や予防接種等を受けていただくことが出来ました。

### (3) 個人情報の開示

- ・個人情報の開示（カルテ開示）につきましては、毎年増加の傾向にあり、平成28年度の実績として46件の開示を行いました。

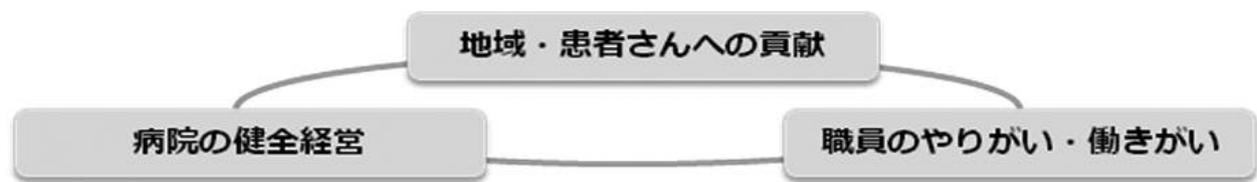
### (4) 医療費の未収金

- ・当院では、平成21年度より回収困難な案件を弁護士法人へ委託しています。昨年度より導入した、未収発生からわずか4ヵ月後の早い段階における委託を継続し、確実な未収金回収に努めました。また、上記未収金の回収とあわせて、限度額適用認定証等の社会保障制度ならびに公費申請の周知案内に力を入れ、患者さんの個人負担額を減らすことによって、未収金を発生させない取り組みにも力を入れました。
- ・深夜時間帯における救急外来の患者さんや、遠方患者さんの診断書料金支払等、来院による支払いが困難な場合には、コンビニ払込票による支払いサービスを利用することにより、患者さんへの利便性を図ることができました。

### (5) 診断書窓口

- ・患者さんからの診断書作成依頼を受け、医師や医師事務作業補助等との連絡調整を行い、迅速な交付の事務に努め、平成28年度の実績として7,202件（8,063枚）の交付を行いました。

# 病院機能強化推進室



中期経営計画との整合性を図りながら、経営戦略ビジョン、病院保全計画、また既に実施されている計画・事業を推進し、中長期にわたる病院最適化を行います。

## 【全体運営方針】

1. 病院機能の強化
2. 患者サービスの向上
3. 経営基盤の強化

## 【今年度重点取り組み事項】

### ■患者総合支援センターの開設

#### 1. 基本コンセプト

外来受診時から入院後および退院後を見据えた上で、患者さんを在宅・地域にスムーズに繋げるため、早期に情報収集・情報共有・連携・患者支援を行う体制・組織を整備します。

#### 2. 基本方針

患者さんが入院される前の早い段階から退院支援に必要なアセスメント等を実施する体制を構築します。

患者さん・家族が相談できる拠点をつくります。

#### 3. 稼働開始時期

平成29年2月1日

### ■一般病棟は編成の見直しを行うとともに、必要な領域への経営資源の配分を行います

病床数の適正化と、平均在院日数の維持・短縮に向けた取組として、病棟再編の検討を行い、地域医療構想を踏まえた上での病院最適化を図るため、病院施設ファシリティマネジメントを推進し、中長期保全計画を基に老朽化している本棟の改修事業に着手します。

# 地域医療事業部

亀崎 洋 地域医療事業部管理監  
土川 陽子 地域医療事業部総括  
藤田 一弥 地域医療がん対策推進事務室長

## 地域医療連携室

地域医療事業部では、病院理念の「地域完結型医療」の推進に向け、前方連携グループと後方連携グループ、さらに訪問看護ステーションで取り組みを進めてきた。

平成28年度も、地域の医療福祉機関との連携を密にすることに主眼を置き事業を展開した。病病・病診連携においては、湖北4病院の地域連携室担当者会議で昨年来の目標として、かかりつけ医の紹介に役立てるように「開業医のチラシ」を分担して作成した。各病院での掲示は次年度に持ち越しとなった。

長浜赤十字病院・行政・医師会と今後の湖北圏域の医療展望について共有することを目的に協議を持ち住民に向けた啓発活動を進めていく事となった。行政が広報を通し広く市民に知ってもらう事から開始された。また、昨年当院の発案による湖北・湖東4病院の院長・副院長の意見交換については、小児救急についての協力という議事で開催できた。

地域の医療機関に対しては、昨年発行した「診療のご案内2015」を「病院のご案内2016」として診療支援棟、看護局や医療技術局・薬剤科の紹介をする事でより当院を知ってもらうことができた。従来から発行している「地域医療連携だより」の配布先に薬局を加え、昨年よりも404カ所となった。

患者総合支援センターは、よりよい入退院支援と患者・家族にとってわかりやすい相談拠点として整備される。開設に向け、伊勢赤十字病院へ視察と院内スタッフに向けての研修を実施した。早期の在宅復帰支援、患者・家族への相談支援、在院日数＝経営効率への寄与、入院前からの退院支援が発揮できるように、まず1月末より地域医療事業部は移動し業務を開始した。

市民講座として、昨年同様に下記講座を開催し好評を得た。

◎世界腎臓デー市民講座の開催：平成29年3月5日（日） 10：00～11：35

「慢性腎臓病あなたは大丈夫？」 場所：北ビワコホテルグラツェ 参加者：176名

## 1. 前方連携グループ

病診連携、病病連携を担当している前方連携グループでは、地域医療支援病院要件獲得に向け紹介率・逆紹介率の上昇につながるよう院内や地域の医療機関との連携を進めてきました。診療依頼書については、3病院共通の書式となり運用をしています。平成28年度の紹介率は43.72%、逆紹介率は89.54%と逆紹介率は要件をクリアできる数値となりました。

紹介率をあげるための取り組みは、病診予約枠の確保として、DEXA検査を整形外科にて開始したこと、定期的に外来看護師、医師と相談したこと、企画運営会議、管理運営会議で院長より病診は断らないように医師のみでなくコメディカルへも協力を求められたことがあげられます。

逆紹介率を上げるための取り組みとしての、かかりつけ医紹介キャンペーンを2回実施したこと、卓上型の小旗の作製や2階エレベータホールへの垂れ幕設置などが功を奏したと考えます。

また、紹介状に対する返書の管理を強化し連携室扱いとすることでチェックが入り正しい書式で送付できるようにしています。医師事務作業補助者の協力もあり返書の記入件数も増加し紹介元からの催促件数は減少しました。

## 2. 後方連携グループ

外来通院中の方の支援については、平成28年度から患者相談グループとして別途活動が始まりました。今後、後方連携グループは社会福祉士、退院支援（調整）看護師が退院支援を主業務とし、入院中の方の支援をしていくことになりました。なかでも、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟をうまく利用し地域包括ケアに貢献していくことを一つの目標としてきましたが医師不足等のため昨年度も3病棟の占床は目標値を達成できませんでした。引き続きケアマネや地域の先生方、地域の急性期病院との連携を前方連携とも協働して行い利用者の受け入れを行っていきたいと思います。

退院支援に関しては、湖北ルールに則り入院患者の支援と調整を行うことでケアマネージャーや家族への支援・連携につなげられ、退院支援に関する診療報酬算定の件数アップにつながりました。

# がん対策推進事業部

伏木 雅人	がん対策推進事業部管理監兼がん相談支援センター長
田久保康隆	がん対策推進室室長
土川 陽子	看護局科長兼がん対策推進室参事
藤田 一弥	地域医療がん対策推進事務室長
新川 君代	看護局科長補佐兼がん相談支援センター副センター長

## がん対策推進室

がん対策推進室では、7月に「がんフォーラム2016」を開催し、がんになっても、仕事・家事・子育て・介護といった今までの生活を変える事なく過ごせる地域を目指し医療・行政・市民がともにある暮らしを一緒に考えることをテーマとした。緩和ケアの取り組みとしては、講演会を8月と10月に開催し、コミュニケーション・地域連携についての講演とGWで多職種と活発な意見交換ができた。また、10月の世界ホスピス緩和ケアデーに合わせ、一週間の展示イベントを正面玄関ロビーで開催し好評を得た。滋賀県緩和ケア研修会は11月に開催し、がん診療に携わる院内医師の研修受講率は100%となった。9月には看護師を対象にがん看護研修「乳がんの治療と看護」を実施し24名の受講があった。がん診療拠点病院の更新に向けて作業部会を設置し取り組んでいくこととする。

## がん相談支援センター

平成28年度の相談件数は1,929件で、年々増加傾向にある。その約7割が対面相談で、相談者の6割が患者さん本人となっている。相談内容では、不安などのこころの問題に関することが4割を占め、次いで症状・副作用・後遺症への対応、がんの治療に関することが多くあった。就労、脱毛などピアランスに関する相談も各々10%を越え働く世代のがん患者からの相談の増加によるものと考えている。

がん患者、ご家族の方を対象とした公開教室を年間18回開催し、78名の参加があった。がん患者サロン兼図書室「i・りんぐ」では、書籍の貸し出しを行うとともに、様々な公開教室を開催し、2,071名の利用があった。がん教育の推進に係る出前講座の要請を受け市内中学校に3回、市外小学校に1回出向した。

相談体制を充実させるため、国立がん研究センターが主催する、「がん相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修と基礎研修Ⅰ・Ⅱ」にそれぞれ1名ずつ参加した。

がん患者が語りあえる場としてがん患者サロン「きらめき長浜」が毎月開催され127名が参加、ピアサポーター養成講座に8名の参加があった。「心のケアを考える会」の後援開催に取り組み、2回の開催で52名の参加があった。

また、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016滋賀医大」に後援協力を行い、19名の職員が参加した。

## 音楽部門

### 音楽療法活動

昨年度に引き続き、同志社女子大学音楽学部特任教授濱谷紀子先生を中心とするMTQ（Music Therapy Quartet）に毎週金曜日午後、年間で44回来院いただき、急性期各病棟ダイルームやICU、7階西病棟クリーンルーム、透析室など各所での音楽療法セッションが開催され好評である。集団・個人を合わせ123回（昨年より21回増）のセッションを提供いただいた。

# 診療情報支援室

診療情報管理部門、医師事務作業補助部門(DA(Doctor's Assistant))とDPC部門の3つが1つの部署となった組織改革から3年目となりました。各々が課せられた業務を正確、迅速に遂行できるよう努力しています。

長年の課題であった『サマリ期限内作成率90%』が達成でき、診療録管理体制加算1を取得した年です。

DA部門においても業務の拡大、人員増加により現在は、医師事務補助体制加算30：1加算1を取得しています。医師数に対してのDA外来配置数は少ないかもしれません。DAの業務範囲や業務内容の見直しが必要な時期にきているのではないかと感じています。

## 1. 診療情報支援室の業務

- 1) 退院後の診療録の点検、紙カルテ保管、所在管理
- 2) 情報の登録と提供、統計の作成等、データの管理
- 3) DPC業務
- 4) 院内がん登録 約700件
- 5) NCD (National Clinical Database) の登録  
外科、呼吸器外科、心臓血管外科、循環器科、脳神経外科、形成外科
- 6) 各種学会関連の症例登録業務
- 7) 電子カルテ帳票の管理
- 8) スキャンセンターの運営
- 9) 診断書類作成支援 年間7,000件
- 10) 眼科、整形外科、外科、放射線治療科外来支援、医局業務

患者様の診療録を管理するためには専門的な知識が必要であり、そのために定期的に勉強会を行うなど、自己研鑽し、精度の高い管理を目指しています。

## 2. 図書室の業務

- 1) 来館者の受付、雑誌・書籍の貸出し、返却
- 2) 雑誌・書籍の購入手続き
- 3) 相互貸借（文献検索：院内職員を問わず、開業医の先生方、そのスタッフの方々にもご利用いただけます。）
- 4) 図書管理システムの管理（司書アシスト）
- 5) 電子ジャーナルの管理
- 6) サービスの向上
- 7) 患者図書室の運用

当院では院内職員だけでなく、湖北医療圏域の医療機関及び勤務する方も利用対象とし、24時間利用可能としています。（時間外は台帳管理）

配架タイトル数は洋雑誌8タイトル、洋電子ジャーナル26タイトル、サイエンスダイレクトを導入。和雑誌27タイトル、看護雑誌14タイトル、コ・メディカル13タイトル、電子ジャーナルに医学書院のメディカルファインダーを導入し、教育ツールとしてUp to dateを契約しています。

文献検索には医学中央雑誌を導入しており、相互貸借も行っています。

IP認証であったUp to dateをID・パスワードに変更するなど、学習しやすい工夫を心がけています。

# 医療安全管理室

医療安全管理室では、6月から医療安全管理室副管理監として、新たに医師1名を迎え組織強化を図りました。医療安全室内協議として、インシデント検討会・コンフリクト調整会を毎週火曜日に定例会議として開催しています。各局責任者、室員、医療機器安全・医薬品安全・医療安全・院内感染防止の各管理責任者によるタイムリーな情報共有と対処方針の検討、協議を行っています。

また、医療安全管理委員会、感染管理委員会は月1回の会議を開催し、医療の安全に関する企画や指導を行い、現場での活動推進を図るために医療安全対策委員会、感染対策担当者会議と連携しています。

事故発生時対応として、関連職員間の事例共有、分析、再発防止策の策定、定期巡視での決定事項の啓発・評価、リスクめぐるや安全ニュースによる広報など、一連の活動をPDCAサイクルで回しています。

## <医療安全活動>

1. 平成27年10月から医療事故調査制度が始まりました。全職員がその目的と意義を理解するため、事故分析、死因究明の観点より日本医療安全調査機構、医療事故調査委員の長尾先生、滋賀医科大学法医学教授一杉先生の研修を開催しました。

また、「病院などにおける死亡および死産の確実な把握のための体制確保」について、平成28年12月より院長へ院内全死亡事例の報告体制を整えました。死亡診断書の記載、検視の必要性について啓発しています。

2. チームコミュニケーションエラー防止のため、平成26年度から「SBAR」推進活動を継続しています。今年度は医師、各部署責任者、リーダー格がSBAR活動を推進する役割を担って頂くために、管理職向けチームステップス研修に取り組みました。さらに各診療科リスクマネージャーとの面談やアンケートを通して協力を依頼しました。

3. マスコミ等で報道された点滴混入事件では、当院でも点滴バック破損事象が散見されたため、巡視活動等で薬剤管理、防犯対策の啓発と、破損事故発生時対応を取り決めました。

4. 手術室、薬剤局の薬剤紛失、期限切れ管理について運用の見直しを行いました。

5. 手術室における消毒薬の用途別適正使用について再考しました。

6. インシデント報告に伴う改善事項

1) システム改修として、アレルギー情報におけるメガオークの食事オーダーと栄養科システムの連動、ペースメーカー植込み患者情報共有化

2) 離床センサー中断による転倒防止対策（離床センサーシートの運用）

3) 救急受診患者の誤認防止対策として、事務当直オリエンテーションの業務化

4) 異型輸血、輸血オーダー間違いヒヤリ・ハット事象について輸血マニュアルの改定（輸血療法委員会との協議）

5) マニュアル作成・更新について、手術室異物の体内遺残、自殺事故発生時対応について関連部署との調整

7. 全職員対象研修会・医療安全情報提供

1) 「医療事故調査制度について」

名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 長尾能雅教授

2) 「死因究明と医療事故調査制度について」

滋賀医科大学 社会医学講座 法医学部門 一杉正仁教授

3) 平成27年度医療安全取り組み報告

※研修参加の推進として、参加できない職員に対してeラーニングの実施と未受講者への通知

4) 安全ニュース(院外情報)58回、リスクめ〜る(院内情報) 43回発行

### <感染防止活動>

主な感染防止活動として職業感染対策を推進しました。針刺し粘膜曝露事象の対策としてエピネットデータを分析し、ペン型インスリン等の「針刺し損傷防止機構付きペン型注入器用注射針」とCVポート穿刺針用の「安全機構付ヒューバー針」を採用し、針刺し事象の減少に繋がりました。周知方法は、全看護師対象に模擬実施の説明会を部署単位と集合研修を行い、問題なく導入することができました。

職員の抗体価確立としてワクチンプログラムの見直しを行いました。職員抗体価データが整備でき、流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・ムンプス・水痘)のワクチン接種を順次行うことができました。職員のB型肝炎ワクチンについては、ワクチン接種の募集を個人通知することで接種率をあげることができました。ワクチン接種の優先順位は「医療関係者のためのワクチンガイドライン第二版」に準じて実施しました。

感染制御チーム(ICT)の活動として、手指衛生推進について、職場単位の手指消毒剤使用量測量活動を継続しました。使用量の結果は、毎月、3ヶ月分の使用量と順位を表示し見える化でフィードバックしました。また、タイミング良く手指消毒剤を使用するために個人携帯化を推進し、看護局は全部署で開始することができ使用量も増やすことができました。その結果、患者一人あたり年間平均使用量は、平成27年度4.1gから平成28年度は6.6gと増量しました。

特定抗菌薬は抗菌薬適性使用のために週1回ラウンドを行い、届出状況や適性使用について確認し、フィードバックしました。届出については最終的に100%の届出となっています。平成27年度から新規採用医師へのオリエンテーションが開始されたことも一つの要因と考えます。今後も初回投与時の届出制や長期使用時の再登録制について推進を継続します。

他病院との合同感染活動として、湖北地域3病院(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)合同カンファレンスを合計8回実施しました。そのうち2回のカンファレンスでは新たに長浜保健所の感染担当者を交えての実施となりました。

全職員対象研修会は、ICTで細菌検査室の坪井房幸技師による「正しい診断は、正しい検体採取から」、大野暢宏ICDによる「食べる」を開催しました。感染情報提供として、感染リーフレットを3回発行しました。

### <相談業務>

患者や患者家族から寄せられた医療に関する苦情や相談について面談等を行い、関連部署と連携し安全で安心な医療を提供できるように対応しました。平成28年度の医療相談・苦情件数は79件で、その約4割は、医師・看護師などの職員に関するものでした。

“意見箱”の意見回収を毎週実施し、各部署と調整して必要に応じて患者家族への直接回答・掲示板・HPへの回答掲載を行いました。

## IV-3 著書発表記録

## リウマチ膠原病内科

梅原久範

シェーグレン症候群

イヤートート メディックメディア 2017年

梅原久範

IgG4関連疾患

イヤートート メディックメディア 2017年

## リハビリテーション技術科

西村圭二

傷害予防に基づいた効率的なゴルフスイング動作の指導とバイオメカニクス

福井勉、エキスパート理学療法1 バイオメカニクスと動作分析

東京 ヒューマンプレス 2016年10月 P148-157

## 歯科眼科技術室

新田朋美

会話形式でシミュレーション！患者さんの疑問&不安が吹き飛ぶ答えかたのコツ

メディカ出版 眼科ケア18 (7) p658-667,p702-704 2016 (平成28年6月)

## IV-4 論文発表記録

## 呼吸器内科

三澤晶子、中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男  
緩徐に発症したnon-HIV PCP  
内科 119(1).167-169. 2017 (平成29年1月)

野口哲男  
湖北地域の呼吸器内科の現状  
市立長浜病院地域連携だより No. 147, 2017 平成29年3月号 (平成29年3月)

## リウマチ膠原病内科

梅原久範、中村拓路  
IgG4関連疾患診断の最前線 - 包括診断基準と臓器別診断基準  
医学のあゆみ 258(3): 201-206, 2016.

Fujita Y, Fujii T, Shimizu H, Satoh T, Nakamura T, Iwao H, Nakajima A, Miki M, Sakai T, Kawanami T, Tanaka M, Masaki Y, Fukushima T, Okazaki T, Umehara H, Mimori T.

Isolation of vascular smooth muscle antigen-reactive CD4(+)alphabetaTh1 clones that induce pulmonary vasculitis in MRL/Mp-Fas(+/-) mice.

Cellular immunology. 303:50-4, 2016 (平成28年5月)

Okazaki K, Umehara H.  
Current Concept of IgG4-Related Disease.  
Curr Top Microbiol Immunol. 401:1-17. 10.1007/82\_2016\_47, 2017 (平成29年1月)

Taylor KE, Wong Q, Levine DM, McHugh C, Laurie C, Doherty K, Lam MY, Baer AN, Challacombe S, Lanfranchi H, Schiodt M, Srinivasan M, Umehara H, Vivino FB, Zhao Y, Shiboski S, Daniels TE, Greenspan JS, Shiboski CH, Criswell LA.  
Genome-Wide Association Analysis Reveals Genetic Heterogeneity of Sjogren's Syndrome According to Ancestry.  
Arthritis Rheumatol. DOI 10.1002/art.40040, 2017 (平成29年1月)

Umehara H, Okazaki K, Nakamura T, Satoh-Nakamura T, Nakajima A, Kawano M, Mimori T, Chiba T.  
Current approach to the diagnosis of IgG4-related disease- Combination of Comprehensive Diagnostic and Organ-Specific Criteria.  
Mod Rheumatol. 27:1-30. 2017 (平成29年2月)

Tsuboi H, Hagiwara S, Asashima H, Takahashi H, Hirota T, Noma H, Umehara H, Kawakami A, Nakamura H, Sano H, Tsubota K, Ogawa Y, Takamura E, Saito I, Inoue H, Nakamura S, Moriyama M, Takeuchi T, Tanaka Y, Hirata S, Mimori T,

Matsumoto I, Sumida T.

Comparison of performance of the 2016 ACR-EULAR classification criteria for primary Sjogren's syndrome with other sets of criteria in Japanese patients.

Ann Rheum Dis. 2017 Mar 22. pii: annrheumdis-2016-210758. doi: 10.1136/annrheumdis-2016-210758. [Epub ahead of print] (平成29年3月)

Umehara H, Okazaki K, Kawano M, Mimori T, Chiba T.

How to diagnose IgG4-related disease.

Ann Rheum Dis. DOI 10.1136/annrheumdis-2017-211330, 2017 (平成29年3月)

### 脳神経外科

Arai D, Satow T, Komuro T, Kobayashi A, Nagata H, and Miyamoto S.

Evaluation of the Arterial Wall in Vertebrobasilar Artery Dissection Using High-Resolution Magnetic Resonance Vessel Wall Imaging

J. Stroke. Cerebrovasc. Dis, 25 (6), 1444-1450, 2016

Satow T. Kawase T. Kitamura A. Kajitani Y. Yamaguchi T. Tanabe N. Otoi R. Komuro T. Kobayashi A. Nagata H. Mima T

Combination of Transcranial Direct Current Stimulation and Neuromuscular Electrical Stimulation Improves Gait Ability in a Patient in Chronic Stage of Stroke

Case Rep Neurol, 8:39-46, 2016

### 中央検査技術科

笠井晴生、柴田紗希、三上はづき、藤田忠夫、新川由基

Del型赤血球濃厚液の輸血により抗D抗体を産生した一例

滋賀医学検査Vol7 No1:8-12.2017 (平成29年3月)

## IV-5 学会・研究発表記録

## 呼吸器内科

野口哲男

FeNOの臨床的意義

シムビコート-湖北喘息フォーラム 平成28年6月30日（長浜）

高木順平

喘息について

湖北医師会7月健康教室 平成28年7月7日（長浜）

上林憲司

高齢者の胸水貯留とその原因・対策について

湖北医師会ダブルドクターの会 平成28年7月（長浜）

野口哲男：座長

高齢者心不全患者の診療にトルバプタンを活かす

水利尿と浮腫を考える会 平成28年7月14日（長浜）

野口哲男：座長

エンドポイントから見たCOPD治療薬－何を測るかで薬が決まる

COPD研究会 平成28年7月28日（草津）

野口哲男：総合司会

先生ならどうする非～小細胞肺癌の治療方針を考える

Meet the Expert on Lung Cancer 平成28年9月2日（草津）

野口哲男

吸入治療の病薬連携の重要性

第12回湖北吸入療法病薬連携研究会(KKR) 平成28年10月20日（長浜）

野口哲男：総合司会

どうする？肺扁平上皮がんの治療薬

第2回滋賀肺癌Round Table Meeting 平成28年11月4日（草津）

野口哲男

NPPVとネーザルハイフロー

第3回滋賀呼吸ケアフォーラム 平成28年11月5日（彦根）

野口哲男：座長

呼吸器科医が診る肺動脈性肺高血圧症

第3回湖北肺高血圧研究会 平成28年11月24日（米原）

野口哲男：座長  
肺癌の二次治療 駒込病院での経験  
肺癌学術講演会 in 湖北 平成28年12月2日（彦根）

野口哲男：座長  
COPD吸入療法、身体活動性  
スピオルト発売1周年記念講演会 平成28年12月8日（草津）

野口哲男、武智浩子、高木順平、中川雅登、上林憲司、阪本 仁、田久保康隆  
KL-6の動きが先行したニボルマブによる薬剤性間質性肺炎の1例  
第88回日本呼吸器学会近畿地方会 平成28年12月10日（京都）

中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男、武智浩子、喜多村次郎、田久保康隆、黒澤 学  
抗核抗体高値を示した肺線維症  
第88回日本呼吸器学会近畿地方会 平成28年12月10日（京都）

高木順平、上林憲司、中川雅登、武智浩子、阪本 仁、田久保康隆、野口哲男  
肺癌化学療法中の患者が救急外来を受診する理由について  
第57回日本肺癌学会学術講演会 平成28年12月20日（福岡）

野口哲男、上林憲司、高木順平、中川雅登、武智浩子、阪本 仁、河野真弓、大岡千寿子、  
久保田理恵、田久保康隆  
当院のニボルマブ1例目投与までの連携体制構築  
第57回日本肺癌学会学術講演会 平成28年12月20日（福岡）

中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男、喜多村次郎、武智浩子、田久保康隆、黒澤 学  
ProGRPの異常高値を示したALK陽性肺腺癌  
第57回日本肺癌学会学術講演会 平成28年12月20日（福岡）

野口哲男  
ニボルマブ投与に対する院内連携体制の構築  
湖東・湖北エリアがん免疫化学療法セミナー 平成29年2月9日（彦根）

野口哲男：座長  
肺癌関連演題  
第27回滋賀癌化学療法研究会 平成29年2月11日（草津）

野口哲男：総合司会  
気管支喘息の診療  
湖東・湖北喘息フォーラム 平成29年3月2日（彦根）

野口哲男：座長

EGFR陽性肺癌治療の現状と展望

滋賀エリア肺癌セミナー 平成29年3月30日（草津）

## リウマチ膠原病内科

佐藤智美

自己免疫性溶血性貧血と膜性腎症を合併したIgG4関連疾患患者にリツキシマブ与を試みた一例

第60回日本リウマチ学会総会 平成28年4月22日（横浜）

梅原久範

関節リウマチの治療の歴史

第23回福井県リウマチケア研究会（特別講演） 平成28年8月28日（福井）

梅原久範

免疫とアンチエイジング

日本抗加齢医学会 大阪講習会（教育講演） 平成28年11月7日（大阪）

## 脳神経外科

佐藤岳史

多発性脳梗塞による重度の発動性低下に対して経頭蓋直流刺激を施行した一例

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成28年6月9日（京都）

杉山慎太郎、田附容子、小室太郎、佐藤岳史

看護師が行う電気刺激併用リハによって麻痺が改善した脳梗塞患者の一例

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成28年6月9日（京都）

川瀬智隆、小室太郎、佐藤岳史

脳卒中ケアユニットにおける心臓リハビリテーションの必要性

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成28年6月9日（京都）

佐藤岳史

脳卒中後てんかんについて

第8回滋賀県の脳卒中を考える会 平成28年6月18日（大津）

西 秀久、佐藤岳史、小室太郎

再発を繰り返した硬膜動静脈瘻の1例

第7回Kanazawa Kyoto Friendship Conference 平成28年7月9日（福井）

Takeshi S

Transcranial direct current stimulation of right prefrontal area improves apathy  
the Fresco Conference

4th International Workshop on Synaptic Plasticity, Sep.2016, Lucca, Italy

佐藤岳史

右前頭葉への経頭蓋直流刺激を行った脳卒中後アパシーの二例  
第46回臨床神経生理学会 平成28年10月27～28日（郡山）

佐藤岳史

特異な症状を呈したてんかんの1例  
湖北てんかん治療を考える会 平成28年11月19日（長浜）

佐藤岳史

破裂内頸動脈瘤の一例  
第7回京都大学脳神経外科IVR道場 平成28年12月3日（京都）

佐藤岳史

慢性透析患者における脳血管障害に対する外科治療を施行した経験  
第42回日本脳卒中学会学術総会 平成29年3月16日（大阪）

岸田夏枝、小室太郎、佐藤岳史、小林 映

心臓粘液腫に関連する脳出血の診断に苦慮した一例  
第46回日本脳卒中の外科学会学術総会 平成29年3月16日（大阪）

小林 映、小室太郎、佐藤岳史、鈴木 芽

脳卒中診療におけるfacility management  
第42回日本脳卒中学会学術総会 平成29年3月17日（大阪）

阪東美加、杉山慎太郎、田附容子、小室太郎、佐藤岳史、小川雅文、小林 映

当院におけるSCU開設による変化の検討  
第42回日本脳卒中学会学術総会 平成29年3月19日（大阪）

## 心臓血管外科

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦

多臓器損傷を合併した外傷性胸部大動脈破裂に対して緊急ステントグラフト内挿術を施行して救命し得た一例  
第30回日本血管外科学会近畿地方会 平成28年3月5日（京都）

洞井和彦、鄒 貴光、吉良浩勝、曾我欣治

両側内腸骨動脈則塞栓術を併用した腹部ステントグラフト症例の検討  
第44回日本血管外科学会学術総会 平成28年5月25日（東京）

吉良浩勝、洞井和彦、鄒 貴光、横川竜生、塚 晴俊、村中幸二、曾我欣治

大伏在静脈パッチ形成術を施行した右腎門部腎動脈瘤の一例  
第44回日本血管外科学会学術総会 平成28年5月27日（東京）

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦  
卵円孔開存及び上行大動脈延長により生じた Platypnea-orthodeoxia syndromeの一例  
第16回比叡山ワークショップ 平成28年6月4日 (京都)

鄒 貴光、曾我欣治、吉良浩勝、洞井和彦  
急性大動脈解離術後の残存解離瘤化に対する1手術例  
第78回滋賀県循環器疾患研究会 平成28年6月18日 (草津)

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦  
心不全を呈した遠位弓部第動脈瘤contained rupture  
第121回日本循環器学会近畿地方会 平成28年7月16日 (京都)

洞井和彦、吉良浩勝、鄒 貴光、曾我欣治  
今後のfluid management 戦略を考える (ディスカッション)  
症例II 腎不全症例における tolvaptan の使用経験  
第2回心臓血管外科カンファレンス 平成28年7月22日 (大津)

鄒 貴光、吉良浩勝、洞井和彦、曾我欣治  
Trousseau 症候群の1例  
第50回京滋心臓血管外科研究会 平成28年9月17日 (京都)

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦  
多発脳転移、脳出血を伴った左房内粘液腫の一例  
第72回京滋循環器懇話会 平成28年11月5日 (京都)

鄒 貴光、吉良浩勝、洞井和彦、曾我欣治、梶本 晶、中野 顕、日村好弘  
Trousseau 症候群の1症例  
第122回日本循環器学会近畿地方会 平成28年11月26日 (大阪)

## 泌尿器科

村元暁文、横川竜生、塚 晴俊、村中幸二、黒澤 学  
精巣腫瘍との鑑別に難渋した陰嚢血腫の1例  
第452回日本泌尿器科学会北陸地方会 平成28年6月18日 (金沢)

横川竜生、村元暁文、塚 晴俊、村中幸二  
当院における経尿道的膀胱腫瘍一塊切除術 (TURBO) の初期経験  
第33回滋賀泌尿器科集談会 平成28年10月1日 (大津)

横川竜生、村元暁文、塚 晴俊、村中幸二  
市立長浜病院における腎結石に対するf-TULの最近の治療成績  
第81回日本泌尿器科学会東部総会 平成28年10月8日 (青森)

村元暁文、横川竜生、塚 晴俊、村中幸二、黒澤 学  
クリゾチニブ内服中に生じた無菌性腎膿瘍の一例  
第66回日本泌尿器科学会中部地区総会 平成28年10月29日（四日市）

横川竜生、村元暁文、塚 晴俊、村中幸二  
当院におけるf-TULの臨床的検討  
第30回日本泌尿器内視鏡学会総会 平成28年11月18日（大阪）

村元暁文、横川竜生、塚 晴俊、村中幸二  
アピラテロンの当院での使用経験と福井県下での使用状況  
2016年湖北前立腺癌研究会 平成29年2月10日（長浜）

横川竜生、村元暁文、塚 晴俊、村中幸二、若宮 誠、黒澤 学  
腎癌との鑑別が困難であった炎症性偽腫瘍と考えられた一例  
第455回日本泌尿器科学会北陸地方会 平成29年3月4日（金沢）

横川竜生、秋野裕信、査 新民、伊藤英明、横山 修  
脳梗塞ラットにおける尿路上皮由来の神経成長因子は膀胱知覚C線維の活性化によって増加する  
第21回北陸泌尿器科Basic Research Meeting 平成29年3月4日（金沢）

## 産婦人科

高橋顕雅、加藤一喜、勝田隆博、長島 稔、的田真紀、岡本三四郎、金尾祐之、近藤英司、  
尾松公平、竹島信宏  
再発上皮性卵巣癌、卵管癌、腹膜癌におけるAGOスコア陽性患者の治療法の検討  
第68回日本産婦人科腫瘍学会学術講演会 平成28年4月24日（東京）

高橋顕雅、金尾祐之、長島 稔、野村秀高、的田真紀、近藤英司、宇津木久仁子、杉山裕子、  
高澤 豊、竹島信宏  
肛門管癌からの広汎な Pagetoid spread を認めた1例  
第57回日本臨床細胞学会春期大会 平成28年5月28日（横浜）

北澤 純、高橋顕雅、中多真理、林 嘉彦、野田洋一  
開腹子宮全摘術5か月後に陰断端離開した1例  
平成28年度第1回滋賀県産婦人科医会学術研修会 平成28年6月12日（大津）

林 嘉彦：座長  
平成28年度第1回滋賀県産婦人科医会学術研修会 平成28年6月12日（大津）

高橋顕雅、加藤一喜、勝田隆博、野村秀高、的田真紀、岡本三四郎、金尾祐之、近藤英司、  
尾松公平、宇津木久仁子、竹島信宏  
AGOスコア陽性の再発卵巣癌における治療にSCSは有用か？～傾向スコアマッチングを用いた症例研究～  
第133回関東連合産科婦人科学会学術集会 平成28年6月18日（東京）

高橋顕雅、馬屋原健司、勝田隆博、長島 稔、松浦基樹、藤原和子、野村秀高、的田眞紀、岡本三四郎、金尾祐之、近藤英司、尾松公平、加藤一喜、杉山裕子、宇津木久仁子、竹島信宏

初回治療後28.2年経過して再発した子宮体癌の1例

第58回日本婦人科腫瘍学会 平成28年7月8日（米子）

高橋顕雅、金尾祐之、長島 稔、野村秀高、的田眞紀、岡本三四郎、近藤英司、竹島信宏  
腹腔鏡下広汎子宮頸部切除術後の子宮内手術に対する細径子宮鏡の有用性

第56回日本産科婦人科内視鏡学会 平成28年9月（長崎）

高橋顕雅、的田眞紀、松浦基樹、野村秀高、岡本三四郎、金尾祐之、近藤英司、尾松公平  
加藤一喜、宇津木久仁子、竹島信宏

子宮内膜癌完全切除後の早期および晩期再発症例における臨床病理学的特徴～単一施設における2233人の後方視的研究～

第54回日本癌治療学会 平成28年10月22日（横浜）

高橋顕雅、北澤 純、中多真理、林 嘉彦

TLHの導入初期の成績～TAH、TVHとの比較検討～

第39回日本産婦人科手術学会 平成28年11月12日（仙台）

高橋顕雅、西野万由美、岡本明子、宮元伸篤、新川由基、黒澤 学

当院健診センターにおける2014年度子宮頸癌検診における要精検患者の検討と対策

第55回日本臨床細胞学会秋季大会 平成28年11月19日（大分）

北澤 純、高橋顕雅、中多真理、林 嘉彦

繰り返す脳梗塞と大量性器出血により診断された子宮体癌の一例

平成28年度第3回滋賀県産婦人科医会学術研修会 平成28年12月4日（大津）

高橋顕雅、北澤 純、中多真理、林 嘉彦

当院における卵巣がんに対する Bevacizumab の使用経験

滋賀県癌化学療法研究会 平成29年2月11日（草津）

北澤 純、高橋顕雅、西野万由美、岡本明子、宮元伸篤、新川由基、黒澤 学

細胞診が診断に有用であった外陰Paget病の2例

第54回滋賀県臨床細胞学会学術集会 平成29年2月25日（守山）

## 耳鼻咽喉科

中村圭吾、有方雅彦、大脇成広、清水猛史

オクトレオチド投与が有効であった頸部膿瘍術後乳糜漏の1例

第123回日本耳鼻咽喉科学会京滋合同地方部会 平成28年3月12日（京都）

中村圭吾、小河孝夫、山本小百合、清水猛史  
感冒後嗅覚障害の臨床的検討  
第78回耳鼻咽喉科臨床学会 平成28年6月23日（鹿児島）

中村圭吾、小河孝夫、山本小百合、清水猛史  
感冒後嗅覚障害の嗅覚予後  
第55回日本鼻科学会 平成28年10月14日（宇都宮）

糟谷憲邦  
アレルギー性鼻炎の診療  
湖北・湖東アレルギー診療連携セミナー 平成29年2月9日（長浜）

### 病理診断科

黒澤 学  
3.乳腺  
第42回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会 平成28年9月25日（大阪）

### 薬剤科

元持正樹、野淵孝二、大岡千寿子、寺村早貴、中村俊之、池田遼太、酒井彩乃、西増春佳、古山英孝、神田雄史  
外来化学療法センターにおけるプレアボイド  
滋賀県病院薬剤師会第37回学術大会 平成28年7月31日（草津）

古山英孝、野淵孝二、大岡千寿子、高山直樹、小川雅文、小室太郎、佐藤岳史、達本 徹、神田雄史  
市立長浜病院における脳神経領域でのDOACの適性使用調査  
第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成29年2月25～26日（大阪）

西増春佳、野淵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、高山直樹、神田雄史  
持参薬問診における自己管理評価方法の検討と課題  
第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成29年2月25～26日（大阪）

酒井彩乃、野淵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、池田遼太、林 嘉彦、中多真理、高橋顕雅、北澤 純、神田雄史  
市立長浜病院における帝王切開術後疼痛対策の変更後の頓用鎮痛薬 使用量調査  
第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成29年2月25～26日（大阪）

高山直樹、田中祐輔、中川太郎、赤尾真樹子、井階幸一、潮 正輝  
脂肪乳剤適正使用化に向けた当院NSTの活動報告  
第32回日本静脈経腸栄養学会学術大会 平成29年2月23～24日（岡山）

中村俊之、野淵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、池田遼太、元持正樹、酒井彩乃、神田雄史  
当院における化学療法時のB型肝炎再活性化対策  
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017 平成29年3月18～19日（新潟）

#### 栄養科

古株陽子  
長続きする食事療法 ～ほどほどの食事で腎臓を守ろう～  
世界腎臓デー 市民公開講座 平成29年3月5日（長浜）

#### 臨床工学技術科

草野信悟  
当院のRST活動～チーム医療の大切さ～  
第38回日本呼吸療法医学会学術集会 平成28年7月16～17日（名古屋）

草野信悟  
当院のCRRTに対する考え方  
京滋血液浄化セミナー 平成28年9月24日（京都）

#### 放射線技術科

木村拓美、宮川孝史、辻 雅之、北川 徹、村上義和  
3D-MRIとCone beam computed tomography(CBCT)を用いたfusion imageによる頭部  
開頭術支援の試み  
第32回日本診療放射線技師会学術大会 平成28年9月17日（岐阜）

辻 雅之、宮川孝史、木村拓美、左近理弘、村上義和  
腹部高速MRI撮像における最速最適SENSE factor (Sf)の検討  
第32回日本診療放射線技師会学術大会 平成28年9月18日（岐阜）

前川 涼  
下肢血管における検査の紹介・工夫  
第2回滋賀県放射線技師会学術研修会 平成28年11月13日（彦根）

川上正邦、田邊啓太、西村正明、守矢千春、辰己裕和、辻 雅之、村上義和、秋元麻未、  
安永敏美、伏木雅人  
左乳房深吸気息止め照射に関するコミッショニング  
第30回高精度放射線外部照射部会学術大会 平成29年3月18日（仙台）

#### リハビリテーション技術科

山口卓也、梶谷友基、田中武也  
慢性期脳卒中患者に対する経頭蓋直流電気刺激の併用療法  
－歩行能力の向上が得られた一症例－  
第7回日本ニューロリハビリテーション学会 平成28年5月21日（神戸）

田中武也、山口卓也

経頭蓋直流電気刺激を併用し脳卒中後の疼痛改善に効果のあった一例  
第7回日本ニューロリハビリテーション学会 平成28年5月21日（神戸）

西村圭二、南部利明、後藤公志、杉本正幸

下部体幹筋の収縮の有無が歩行時の体幹および骨盤動揺に与える影響  
第51回日本理学療法学会 平成28年5月27日（札幌）

川瀬智隆、清水 悠、石橋 孝、阪東美加、杉山慎太郎、日時みゆき、佐藤岳史、小室太郎  
脳卒中ケアユニットにおける心臓リハビリテーションの必要性

第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成28年7月16～17日（東京）

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、大野暢宏、家森正志

カフ脱気による即時効果として嚥下機能が改善した症例

第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 平成28年9月23～24日（新潟）

山口卓也、梶谷友基、田中武也、川瀬智隆、田邊信彦、佐藤岳史

当院における経頭蓋直流電気刺激療法の実施状況と課題

第55回全国自治体病院学会 平成28年10月20～21日（富山）

西村圭二

休み前の患者リハビリ依頼をスムーズにする～依頼業務にかかる時間の短縮～

第18回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 平成28年10月29日（倉敷）

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、佐藤岳史

失語症例の後方言語野に対する経頭蓋直流電気刺激の効果の検討

第40回日本高次脳機能障害学会学術大会 平成28年11月11～12日（松本）

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、佐藤岳史

経頭蓋直流電気刺激を施行した嚥下失行の一例

第40回日本高次脳機能障害学会学術大会 平成28年11月11～12日（松本）

岩根隆宏、音居玲子、南部利明、中川寛一

回復期リハビリテーション病棟退院後の追跡調査～脳卒中地域連携パスを利用して～

滋賀県他職種連携学会 平成28年11月28日（栗東）

山口卓也、橋本和幸

滋賀県長浜市における児童発達支援事業と病院の連携

－児童発達支援事業に携わる職員と医療スタッフによる共同研修会の報告－

第1回滋賀県多職種連携学会研究大会 平成28年12月4日（栗東）

梶谷友基、北村 淳、遠藤邦枝、江藤謹司  
当院回復期リハビリテーション病棟における多職種連携の取り組み  
～カンファレンスの質の向上～  
第1回滋賀県多職種連携学会研究大会 平成28年12月4日（栗東）

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、佐藤岳史  
両側前頭葉損傷により脱抑制症状を呈し復職に至った1症例  
第1回滋賀県多職種連携学会研究大会 平成28年12月4日（栗東）

南部利明、音居玲子、岩根隆宏、中川寛一、佐藤岳史、杉山慎太郎  
回復期リハビリテーション病棟退院後の追跡調査～脳卒中地域連携パスを利用して～  
第47回滋賀県公衆衛生学会 平成29年2月12日（大津）

### 中央検査技術科

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、古賀一也、黒澤 学、沢田眞治  
胸水中に見られた卵巣境界悪性腫瘍の細胞について  
滋賀県臨床細胞学会平成28年度第1回疑問症例検討会 平成28年10月30日（長浜）

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、古賀一也、黒澤 学、沢田眞治  
胸水細胞で原発巣の推定に苦慮した大腸癌の一例  
滋賀県臨床細胞学会平成28年度第2回疑問症例検討会 平成29年2月18日（大津）

### 歯科眼科技術室

澤田 園  
行動無視検査における近見屈折矯正の影響  
平成27年度第3回京滋視能訓練士会 平成28年4月17日（京都）

北川由貴  
当院における職員対象院内ロービジョン学習会  
平成27年度第3回京滋視能訓練士会 平成28年4月17日（京都）

澤田 園  
屈折矯正とロービジョンケア  
第6回近畿眼科検査オープンカンファ 平成28年5月28日（大阪）

澤田 園  
職員対象院内ロービジョン学習会（報告）  
第12回ロービジョン研究会 平成28年6月12日（京都）

長尾祥奈、澤田 園、長 篤志  
遮光眼鏡による固視安定性への影響の検討  
第25回視覚リハビリテーション研究発表大会 平成28年6月17日（静岡）

澤田 園

眼内レンズ度数計算式の落とし穴

平成28年度第1回京滋視能訓練士会 平成28年7月10日（京都）

澤田 園、新田朋美、北川由貴

病院職員を対象としたロービジョン啓発活動

第17回日本ロービジョン学会 平成28年8月26日（新潟）

長尾祥奈、澤田 園、長 篤志

遮光レンズの色による固視安定性への影響

第17回日本ロービジョン学会 平成28年8月26日（新潟）

近藤昭仁

周術期口腔機能管理における歯科技工士の役割について

第38回日本歯科技工学会学術大会 平成28年9月11日（奈良）

澤田 園、新田朋美、丸中夏央里、北川由貴

Haigis式の予測精度を向上させる方法の検討

第57回日本視能矯正学会 平成28年10月15日（大阪）

長尾祥奈、澤田 園、長 篤志

遮光レンズが固視へ及ぼす影響に関する年齢差の検討

第57回日本視能矯正学会 平成28年10月15日（大阪）

澤田 園

ロービジョンに対する環境調整における問題点

第13回京滋ロービジョン研究会 平成29年3月5日（京都）

## 看護局

岩崎まゆみ

救急外来2交代制導入への取り組み

第66回日本病院学会 平成28年6月23～24日（盛岡）

野村規久子、毛利由布子

A病院における実践向上に向けた院外研修参加後の還元レポートの活用

第47回日本看護学会看護教育 平成28年8月4～5日（大津）

杉山慎太郎

脳卒中急性期診療におけるStroke Care Unit看護師の役割と課題

第43回日本脳神経看護研究学会 平成28年9月30日（福岡）

高田憲明、西川研吾

4点フレームを用いた脊椎後方手術の皮膚損傷予防におけるポリウレタンフィルムの貼付が効果的な患者条件について

第30回日本手術看護学会 平成28年10月14～15日（仙台）

池野貴代、関井千春、西山恵理子

急性期脳外科疾患、神経内科病棟における介護職員と看護師との連携

第1回滋賀県多職種連携学会研究大会 平成28年12月4日（栗東）

中嶋清晋

介護士1チーム制の導入に向けた取り組み

回復期リハビリテーション病棟協会第29回研究大会 平成29年2月10～11日（広島）

久保田才紀子、池田祐美、木村弘子

外来での電話対応件数の削減の取り組み

第14回京滋マネジメント学会 平成29年2月25日（京都）

高山由貴

短期入院で化学療法を受ける肺がん患者への病棟看護師の関わりの検討

第105回日本肺癌学会関西支部学術集会 平成29年2月25日（大阪）

杉山慎太郎

No！卒中隊

STROKE2017シンポジウム発表 平成29年3月18日（大阪）

阪東美加

当院におけるSCU開設による効果の検討

STROKE2017シンポジウム発表 平成29年3月18～19日（大阪）

#### **医療安全管理室**

藤木智美、中村寛子、塚 晴俊、坪井房幸、野淵孝二、中尾英里加、大野暢宏

当院における針刺し切創の傾向と対策

第32回日本環境感染学会総会学術集会 平成29年2月24～25日（神戸）

## IV-6 講習会／研修会への取り組み

# 1. 患者さん・市民を対象にしたもの

## 健康教室

### 婦人科化学療法患者会「ももの会」（担当：4階東病棟）

患者同士ふれ合う中で、告知を受けた時の思いや病気と生活の話、治療の辛さ、不安などを共有してもらうことができた。我々スタッフもそのような患者の思いを聴くことができ、貴重な会であった。

がん患者は常に再発に対する不安があるため、入院中や治療中の患者だけではなく、その後のフォローとして、何かあった時の相談先を明確にすることで不安の軽減にもつながることが会の中で改めて分かった。新たに治療中の患者の参加もあり、治療後の患者から得たことがあったという声も聞かれた。今後も効果的な交流の場となるよう、患者のニーズに合わせて支援していく。

日時：3月に1回 土曜日 14時～16時 場所：当院本館2階 講義室

#### 活動内容と参加者

- 6月11日 （参加者患者4名・スタッフ2名）  
体験談のお話し  
七夕の飾り作り、笹飾り
- 9月10日 （参加者患者3名・スタッフ2名）  
体験談のお話し  
紅葉のコースター作り
- 12月3日 （参加者患者3名・患者家族1名・スタッフ2名）  
体験談のお話し  
松ぼっくりのリース作り
- 3月4日 （参加者患者2名・スタッフ2名）  
体験談のお話し  
講演会紹介  
マグネットクリップ作り

### 妊婦教室（担当：4階東病棟助産師）

本院受診中の妊婦を対象に、妊娠中の生活や出産準備について助産師が説明します。

日時：第1水曜日 13時より約3時間 妊娠前期（妊娠8～11週対象）

第2・4水曜日 13時より約3時間 妊娠後期（妊娠28週頃対象）

場所：当院本館2階 講義室

参加者 前期 51名 後期 101名

### 育児教室（担当：4階東病棟助産師）

本院で出産予定の妊婦とその夫を対象に、出産の流れや入院後の過ごし方を説明し、分娩入院の際のイメージをつけることを目的に助産師が説明します。また、沐浴体験やご主人の妊婦体験なども行っています。

月2回実施 1回につき、10組のご夫婦を対象とし、産婦人科外来にての予約制

日時：第3水曜日 13時より約3時間

妊娠後期（妊娠28週以降対象）

場所：当院本館2階 講義室

参加者 82組

### 糖尿病教室

担当：腎臓代謝内科医師、6階東病棟、内科外来、薬剤部、栄養科、リハビリテーション技術科  
各専門分野別に担当者が、糖尿病の病態、治療、予防について資料や板書を利用して分かりやすく説明します。また、日常生活指導においては日常生活の注意点およびフットケアについて指導しています。

日時：毎週第1～第4火曜日 13時～14時30分

場所：当院本館2階 講義室

対象：外来通院、入院中の糖尿病患者及びその家族、糖尿病に興味のある方

年間参加者：157名+α

### 糖尿病患者会「いぶき会」（担当：内科外来）

会員数：20名（患者会員：12名 スタッフ会員：8名）

1. 定期総会：平成28年8月20日（土） 10時～11時

場 所：当院本館2階 講堂

内 容：昨年度活動報告、今年度活動計画立案

参加者：12名（会員6名、スタッフ6名）

2. 運動療法研修会：平成28年11月26日（土） 10時～12時

場 所：当院本館1階 リハビリテーション室

内 容：体力測定、運動療法説明、体操とストレッチの実施

参加者：18名（会員6名、会員以外6名、スタッフ6名）

3. 食事療法研修会：平成29年2月25日（土）11時30分～13時

場 所：長浜市虎姫町 和食『見付屋（みつけや）』

内 容：本日の献立のカロリー、献立の工夫、食事に関するクイズ（10問）

参加者：12名（会員6名、会員以外1名、スタッフ4名）

### オストメイトの会（ひまわり会）

1. 通常総会

日時：平成28年6月18日（土） 10時～11時

場所：当院本館2階 講堂

内容：平成27年度事業報告、決算報告

平成28年度事業計画案、予算案

役員改選

2. ストーマ勉強会

日時：平成28年6月18日（土） 11時～12時

場所：当院本館2階 講堂

内容：災害対策、非常持出物品セットの作成

## 透析患者、職員合同学習会

日時：平成28年5月29日（日）9時30分～10時30分

場所：当院本館2階 講堂

内容：1. 透析患者のフットケアの重要性について

講師 糖尿病看護認定看護師 東 昌代

2. 透析治療に関する基礎知識

腎臓移植について

講師 腎臓代謝内科医師 森田善方

参加者：患者及び家族46名 スタッフ11名

## 広報ながはま

～市立病院通信～

掲載年月	題名	診療科	医師名
平成28年4月	みんなで考え、支える「緩和ケア」	—	—
平成28年5月	病院機能の再構築	院長	神田 雄史
平成28年6月	家族で食中毒をおこさないために	感染管理認定看護師	藤木 智美
平成28年8月	がんに関する正しい情報を	がん相談支援センター	新川 君代
平成28年10月	かかりつけ医を持ちましょう	地域医療事業部	土川 陽子
平成28年11月	産婦人科における腹腔鏡下手術について	産婦人科	高橋 顕雅
平成28年12月	冬の感染症について	小児科	橋本 和幸
平成29年1月	胆石症について	外科	平良 薫
平成29年2月	「滋賀県がんと向き合う週間」	—	—

# 中日新聞

## “お元気ですか”

- |                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| 1) 乳がん検診の勧め<br>仁尾万里華 外科             | 平成28年4月27日 |
| 2) くも膜下出血、3分2が死亡・後遺症<br>小室 太郎 脳神経外科 | 平成28年5月18日 |
| 3) 熱中症「屋内でも予防心掛けて」<br>森田 善方 腎臓代謝内科  | 平成28年7月27日 |
| 4) 黄疸「主に肝機能異常」<br>平良 薫 外科           | 平成28年8月24日 |

## がん対策推進事業部

### \*がんフォーラム2016

平成28年7月3日 「がんと共に生きる」～働くこと、生き抜くこと～ 258名  
※詳細は主要事業の概要をご覧ください。

### \*出前講座・がん教育

平成28年5月21日	十里町いきいきサロン 「本当は怖くないがんのお話」 講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人	33名
平成28年8月2日	大津ロータリークラブ 「納得できる人生をおくるために」 講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人	100名
平成28年9月29日	鏡岡中学校 「がんちゃんの冒険」 講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人	110名
平成28年11月5日	長浜市老人クラブ連合会余呉支部 「納得できる人生をおくるために」 講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人	74名
平成28年11月10日	長浜市立浅井中学校 「がんちゃんの冒険」自分とみんなの命を守るために ～本当は怖くないがんのお話～ 講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人	181名
平成28年11月27日	第3回 知の講座 「がんとうまくつきあうためには」 講師：当院 がん看護専門看護師 山岸 美紀	7名
平成28年12月8日	豊郷町立日栄小学校 「がんちゃんの冒険」自分とみんなの命を守るために	

～本当は怖くないがんのお話～

講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人 255名  
平成29年2月9日 長浜市立西中学校

「自分とみんなの命を守るために」～本当は怖くないがんのお話～

講師：当院 がん対策推進事業部管理監 伏木 雅人 180名

#### \* 公開教室

テーマ	開催回数	参加者
頭皮ケアとウィッグ	10回	36名
おりがみ	8回	34名
リンパ浮腫	1回	14名
ケア帽子製作	2回	5名
アロマセラピー	1回	5名
就労に関する個別相談	2回	7名
前立腺がんの放射線治療	1回	8名
抗がん剤とスキンケア	1回	3名

#### \* 心のケアを考える会

平成28年6月26日 参加者：26名

平成28年12月11日 参加者：26名

◎2016年ホスピス緩和ケア週間・展示イベント [世界ホスピス緩和ケアデー:10/8]

平成28年10月3日(月)～10月7日(金) (当院 正面玄関ロビー)

◎がんを知ろう展示会 (主催：長浜市)

平成29年2月4日(土)～2月12日(日) (長浜市立浅井図書館)

◎滋賀県がんと向き合う週間・展示イベント/相談窓口設置

[滋賀県がんと向き合う週間：2/4～2/10]

平成29年2月6日(月)～2月10日(金) (当院 正面玄関ロビー)

## 2. 医療従事者・地域開業医を対象にしたもの

### がん対策推進事業部

#### \* 滋賀県緩和ケア研修会

修了者：16名

平成28年11月12～13日 企画責任者：田久保康隆・江藤謹司・花木宏治

#### \* 緩和ケア講演会

平成28年8月26日（第1回） 58名

「末期がん患者の心のケア」～患者とのコミュニケーションの取り方～

講師：宝塚市立病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー 沼野 尚美 先生

平成28年10月6日（第2回）（開放型病床生涯教育研修会 共同開催） 61名

「がん患者さんや家族さんとのコミュニケーションについて」

～上手くいくとき、上手くいかないとき～

第1部 講師：浅井東診療所 松井 善典 先生

第2部 グループワーク

#### \* 化学療法研修会

平成28年12月1日(木)（開放型病床生涯教育研修会 共同開催） 77名

「慢性肝疾患とがんの治療と診断」

講師：大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 村上 善基 先生

#### \* 医科歯科連携に関する研修会

平成29年2月2日（木）（開放型病床生涯教育研修会 共同開催） 93名

「災害時歯科保健医療支援と受援」

～自治体、歯科医師会そして地域がん診療連携拠点病院の役割を考える～

講師：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科助教 中久木 康一 先生

#### \* がん看護研修

平成28年9月25日（日）「乳がん治療と看護」 受講者:24名

内 容	講 師
最近の乳がん治療について（概論）	当院 外科責任部長 東出 俊一
乳がんの特徴的背景について	彦根市立病院 乳がん看護認定看護師 永山 夕水
手術療法を受ける患者の看護、 意思決定支援、リハビリテーション	大津赤十字病院 乳がん看護認定看護師 山川 弥生
退院指導の実際（リンパ浮腫へのケア）	大津赤十字病院 乳がん看護認定看護師 山川 弥生
放射線治療を受ける患者の看護、外来支援	当院 がん放射線療法看護認定看護師 入江 桃好
薬物療法を受ける患者の看護	彦根市立病院 乳がん看護認定看護師 永山 夕水
患者支援の実際 （女性性、アピアランスケア、就労支援）	彦根市立病院 乳がん看護認定看護師 永山 夕水 大津赤十字病院 乳がん看護認定看護師 山川 弥生
家族性乳がん・卵巣がん症候群患者への看護	当院 がん看護専門看護師 山岸 美紀
明日から自部署でできることは？	当院 がん看護専門看護師 山岸 美紀

## 診療局 CPC

開催日時	演者	参加者数
平成28年8月18日	臨床研修医 廣坂雄介 「腎盂原発尿路上皮癌疑いの一例」	13名
平成28年9月15日	臨床研修医 堀井翔平 「悪性中皮腫の一例」	19名
平成28年11月17日	臨床研修医 田代裕介 「多発性骨髄腫の疑い」	17名
平成29年1月19日	臨床研修医 田代裕介 「ニューモシスチス肺炎の疑い」	15名
平成29年2月9日	臨床研修医 堀井翔平 「消化器系が原発と考えられた多発転移の一例」	16名

## 地域医療事業部

### \* 開放型病床生涯教育研修会

平成28年5月12日	市立長浜病院で経験した症例を踏まえて 【院長退官記念講演】 当院 前院長 多賀 俊明 先生	121名
平成28年6月2日	病理と臨床の接点について 当院 病理診断科 黒沢 学 先生	81名
平成28年7月7日	がん患者さんの妊よう性温存と滋賀県の取り組みについて 滋賀医科大学 産科婦人科講座 准教授 木村 文則 先生	55名
平成28年9月8日	骨粗鬆症について～骨粗鬆症検診のすすめ・再骨折予防の為に～ 当院 整形外科 田中 淳 先生	75名
平成28年10月6日	緩和ケア多職種カンファレンス 「がん患者さんや家族さんとのコミュニケーションについて」 ～上手くいくとき、上手くいかないとき～ 浅井東診療所 所長 松井 善典 先生	61名
平成28年11月10日	脳卒中の早期発見と早期治療 NO卒中隊 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師チーム	79名
平成28年12月1日	慢性肝疾患とがんの治療と診断 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 准教授 村上 善基 先生	77名

平成29年2月2日 93名

災害時歯科保健医療支援と受援

～自治体、歯科医師会そして地域がん診療拠病院の役割を考える～

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 助教 中久木 康一 先生

平成29年3月2日 78名

①高齢者の総合評価加算について

当院 総合診療科部長 上津 昌広 先生

②認知症のUP TO date

当院 神経内科責任部長 小川 雅文 先生

#### 患者総合支援センター開設に向けての研修会

平成28年10月13日 91名

多職種連携のプラットフォームづくり～生活を分断しない医療をめざして～

滋賀県医療福祉推進アドバイザー 櫃本 真聿 先生

## IV－7 委員会の状況

# 院内委員会組織図

平成28年度

所 管 部 署	会議・委員会名	委員 長 名
病院事業管理部	病院事業運営調整会議	野 田 秀 樹
健診センター	健診センター管理運営委員会	野 口 哲 男
薬剤科	薬事委員会 医薬品安全管理委員会 レジメン審査小委員会 (がん対策：化学療法委員会)	神 田 雄 史 野 淵 孝 二 東 出 俊 一
臨床工学技術科	医療機器安全管理委員会 透析機器安全管理委員会	藤 田 忠 夫 森 田 善 方
栄養科	栄養委員会 NST委員会	森 田 善 方 潮 正 耀
放射線技術科	放射線安全委員会 放射線治療品質保証委員会	伏 木 雅 人 伏 木 雅 人
中央検査技術科	臨床検査運営委員会 輸血療法委員会	神 田 雄 史 亀 崎 洋
リハビリテーション技術科	嚥下委員会	家 森 正 志
歯科・歯科口腔外科	歯科口腔外科院内感染防止対策委員会	家 森 正 志
看護局	褥瘡対策委員会 認知症対策委員会 中央手術室運営委員会	藤 林 久 輝 北 村 文 代 林 嘉 彦
総務課	病院運営会議 診療局運営会議 企画運営会議 運営協議会 大規模災害等防災対策計画策定合同会議 職員研修委員会 人権対策推進委員会 合同・臨床研修委員会 学生実習委員会 職員安全衛生委員会 集中治療室運営委員会 治験審査委員会 医療ガス安全管理委員会 防火・防災管理委員会	- - - - 小 林 映 神 田 雄 史 神 田 雄 史 亀 崎 洋 亀 崎 洋 村 中 幸 二 嶋 田 文 彦 林 嘉 彦 柳 田 豊 伸 廣 瀬 伸 次
経営企画課	病院管理運営会議 コメディカル連絡会議 改革プラン推進会議 医療評価委員会 クリニカルパス専門部会 インフォームドコンセント専門部会 倫理委員会 IT推進会議 IT推進専門委員会 情報セキュリティ専門委員会 長浜市病院事業改革プラン評価委員会 医療機器等選定委員会 SPD運営委員会 契約審査委員会 放射線治療装置更新検討委員会	副 院 長 小 川 幸 男 神 田 雄 史 嶋 田 文 彦 田 中 淳 橋 本 和 幸 村 中 幸 二 神 田 雄 史 東 出 俊 一 小 林 映 - 嶋 田 文 彦 嶋 田 文 彦 嶋 田 文 彦 小 林 映
医事課	保険審査委員会 未取金対策検討委員会 救急体制検討委員会 救急運営委員会 救急救命士等病院実習カリキュラム委員会 救急症例検討委員会	洞 井 和 彦 村 中 幸 二 東 出 俊 一 東 出 俊 一 嶋 田 文 彦 東 出 俊 一
診療情報支援室	診療情報・図書室管理運営委員会 院内がん登録委員会 DPC委員会 診療業務等役割分担推進委員会	平 良 薫 平 良 薫 村 中 幸 二 林 嘉 彦
医療安全管理室	医療安全管理委員会 医療安全対策委員会 感染管理委員会 感染対策担当者会議 内部事故調査委員会	村 中 幸 二 村 中 幸 二 大 野 暢 宏 花 木 宏 治 神 田 雄 史
地域医療事業部	開放型病床運営委員会 医療型療養病棟入院患者判定委員会 回復期リハビリテーション病棟運営委員会 回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	神 田 雄 史 大 野 暢 宏 江 藤 謹 司 江 藤 謹 司
がん対策推進事業部	湖北保健医療圏地域がん予防診療推進協議会 がん対策推進委員会 緩和ケア推進委員会 化学療法委員会 (小委員会は薬剤科)	神 田 雄 史 伏 木 雅 人 花 木 宏 治 東 出 俊 一

## 院内設置会議

会 議 名	設 置 目 的	事務局
病院運営会議	病院運営の基本方針に係る病院事業管理者及び院長の意思決定に必要な事項の協議を行い、もって各部局間の総合的な調整と病院の円滑な運営を図るため	総務
診療局運営会議	病院の経営・運営に関する重要な事項について審議を行うとともに、診療局幹部の経営参画を促すため	総務
企画運営会議	病院の運営に関する重要な課題について審議を行うとともに、病院幹部の意思の疎通を図るため	総務
運営協議会	病院の運営について、広く意見を求め、住民のニーズに添った病院運営に努めるとともに、相互理解を深め、地域の基幹病院として地域に根ざした病院事業を推進するため	総務
病院管理運営会議	病院の経営の安定とスムーズな運用を目指し、病棟・外来の管理運営等について協議検討するため	経企
コメディカル連絡会議	院内のコメディカル間の連携を密にし、円滑な運用を図るため	経企
改革プラン推進会議	改革プランの着実な実行と進捗管理を行うため	経企
病院事業運営調整会議	長浜市病院事業の適正かつ円滑な推進と運営を図るため	事業管理部

## 院内設置委員会

委 員 会 名	設 置 目 的	事務局
健診センター管理運営委員会	健診センターの管理運営について、適正な執行を図るため	健診
化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療剤など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	がん対策
レジメン登録審査小委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	薬剤
薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため	薬剤
医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に係る安全管理体制の確保を図るため	薬剤
医療機器安全管理委員会	病院で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
透析機器安全管理運営委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
栄養委員会	病院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする	栄養
N S T委員会	病院における患者の栄養状態を管理するため、NST（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実践することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする	栄養
放射線安全委員会	職員の放射線被曝防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	放射線
放射線治療品質保証委員会	放射線治療における安全の向上、並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事情を検討し、必要な事項を企画審議するため	放射線
臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る	中検
輸血療法委員会	輸血療法を安全かつ適正に遂行するため	中検
嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療の連携に貢献し、患者のQOL向上を図ること。看護師による摂食機能療法の算定が適切に実施できるよう支援し、摂食機能療法の算定数増加を目指す	リハビリ

委員会名	設置目的	事務局
歯科口腔外科院内感染防止対策委員会	歯科口腔外科内における院内感染の防止や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を図る	歯科
褥瘡対策委員会	院内の褥瘡対策を検討・立案し、その効率的な推進を図るため	看護局
中央手術室運営委員会	手術室の適性かつ効率的な運用を図るため	看護局
職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	総務
人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題を初めとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	総務
合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修を円滑かつ十分に行われること	総務
学生実習委員会	医学部学生に幅広い実習の機会を提供し、実習を通して患者に信頼される有為な人材になることを積極的に支援するため	総務
職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	総務
集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	総務
治験審査委員会	治験に関する厚生省令等に基づき、院内における治験（臨床研究・臨床試験）の実施の可否および倫理性や科学的妥当性を審査するため	総務
医療ガス安全管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保するため	総務
防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする	総務
大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて病院が採るべき災害対策の内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする	総務
診療業務等役割分担推進委員会	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う	総務
医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	経企
救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	医事
倫理委員会	市立長浜病院で行われる人間を対象とした医学研究、医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する	経企
IT推進会議 IT推進専門委員会 情報セキュリティ専門委員会	情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため IT推進の専門的事項を検討するため 情報セキュリティ対策に関する専門的事項を検討するため	経企
長浜市病院事業改革プラン評価委員会	改革プランの着実な実行と進捗管理について、評価と点検の客観性を確保するため	経企
医療機器等選定委員会	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする	経企 (用度)
SPD運営委員会	病院の経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、SPDシステム運用等に関し必要な事項を定める	経企 (用度)
契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする	経企 (用度)

委員会名	設置目的	事務局
放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進するため	経企(用度)
保険審査委員会	診療報酬請求等に関連する請求もれ、原点内容のチェック及び再審査請求の徹底を図るとともに、保険医療の適正化に努める	医事
長浜市病院事業未収金対策検討委員会	市立長浜病院及び市立湖北病院における未収金に関する事務の適正を図り、収入（診療費等）の不納欠損処分並びにこれらに関連する事務の適正な執行を図るため	医事
DPC委員会	DPC請求（適切なコーディング、DPC請求の運用、その他D）に関連する事務の適正な執行を図るため。また、調査・検討を行い、関係者に周知または必要な助言及び指導を行う	診療情報
診療情報・図書室管理運営委員会	病院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	診療情報
院内がん登録委員会	病院がん登録の実施に必要な事項を定め、がん登録業務の適正な企画、管理及び運用を図るため	診療情報
医療安全管理委員会 医療安全対策委員会	病院における良質な医療を提供する体制の確立を図るため、医療安全、医療機器安全管理、医薬品安全管理の対策を総合的に企画、実施することを目的に設置する 病院における安全管理のため、医療・医学の諸問題を検討し、基本的な基準について定める	医安全
感染管理委員会 感染対策担当者会議	院内感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、院内感染が発生した場合の病院としての方針を決定するため 院内における院内感染の防止対策や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を図る	医安全
内部事故調査委員会	院内で極めて重大な医療事故が発生した場合、医療事故内容を正確に把握し、原因の分析を行い、適切な対応を取るため	医安全
開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的かつ円滑に運営すること	地域医
医療型療養病棟入院患者判定委員会	医療型療養病棟への入退院にあたり適正な審査・判定を期すること	地域医
回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う	地域医
回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	地域医
湖北保健医療圏地域がん予防診療推進協議会	湖北保健医療圏域におけるがん予防、がん診療に携わる保健医療従事者に対する研修の実施、がん診療情報の収集および提供、関係機関への連携を進め、圏域のがん予防、がん診療の水準の向上に貢献するとともに、圏域住民へのがん予防の啓発事業等に関する協議を行うこと	がん対策
がん対策推進委員会	がん診療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	がん対策
緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	がん対策
認知症対策委員会	現状システムを振り返り、課題や新たなニーズを整理し、今後を見据えた更なる医療・介護及び地域のネットワークの形成を図り、認知症疾患支援の充実を図る	看護局

<b>健診センター管理運営会議</b>	市立長浜病院健診センターの管理運営について、適正な執行を図る	
<b>委員長</b> 野口 哲男	<b>委員</b> 上津昌広、平良 薫、高橋顕雅、若宮 誠、村上義和、山村有希、岩崎まゆみ、中村由佳里	<b>事務局</b> 健診センター
<b>活動内容</b> 運営委員会を平成28年6月、12月に開催いたしました。 委員会への報告事項（内容）は健診センター受診者数、利用料金等です。また協議事項は、健診センターの予算関連、機器整備に関するものです。		

<b>化学療法委員会</b>	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤(化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療薬など)の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	
<b>委員長：</b> 外科責任部長 東出俊一	<b>委員</b> 亀崎 洋、野口哲男、塚 晴俊、中川雅登、野田恵加、大岡千寿子、中村俊之、吉川敬子、酒谷ひろみ、山岸美紀	<b>事務局</b> がん対策推進事業部 がん対策推進室
<b>活動内容</b> 1. 委員会の開催（2回） 第1回 平成28年7月25日(月) 第2回 平成29年3月 9日(木) 2. 化学療法研修会の開催 平成28年12月1日(木) 参加者：77名 テーマ：「慢性肝疾患とがんの治療と診断」 講師：大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 村上 善基 先生 3. 抗がん剤曝露予防対策の推進（CSTDの使用範囲拡大／投与時のPPEとしてガウン導入） 4. 免疫抑制・化学療法薬使用に伴うB型肝炎再活性化対策の推進 5. レジメン登録審査小委員会が審査したレジメンの確認		

<b>レジメン登録審査小委員会</b>	院内で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	
<b>委員長：</b> 外科責任部長 東出俊一	<b>委員</b> 亀崎 洋、野口哲男、塚 晴俊、野田恵加、糟谷憲邦、中多真理、大岡千寿子、中村俊之、酒谷ひろみ、山岸美紀	<b>事務局</b> 薬剤部
<b>活動内容</b> 1. 小委員会設置(化学療法委員会設置要綱第7条) 2. レジメン登録数 平成28年度 件 4月： 件 5月： 件 6月： 件 7月： 件 8月： 件 9月： 件 10月： 件 11月： 件 12月： 件 1月： 件 2月： 件 3月： 件 うち、添付文書通りの登録 件 患者限定 件 倫理委員会へ申請後登録 件		

<b>薬事委員会</b>	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため。				
<b>委員長</b> 院長兼薬剤部長 神田雄史	<b>委員</b> 高島弘行、森田善方、曾我欣治、平良 薫、吉川敬子、松宮喜明、嶋 吉夫、神田 弘、野淵孝二、大岡千寿子	<b>事務局</b> 薬剤部			
<b>活動内容</b>					
	新規採用薬剤		中止薬剤	院外→院内	院内→院外
	正規採用	院外専用			
第1回（平成28年 4月25日）	6	3	2	0	1
第2回（平成28年 6月24日）	7	5	2	0	0
第3回（平成28年 9月14日）	6	3	1	0	0
第4回（平成28年10月26日）	10	3	2	1	1
第5回（平成28年12月 7日）	2	2	1	0	0
第6回（平成29年 2月22日）	8	2	4	0	1
平成28年度 後発品切り替え 後発医薬品係数・・・0.810（平成28年10月～平成29年3月、ベンチマーク0.819） 院内採用薬品数・・・1590品目 後発医薬品・・・384品目 先発医薬品・・・1184品目（うち後発品のあるもの 252品目）					

<b>医薬品安全管理委員会</b>	病院で使用される医薬品に関わる安全管理体制の確保を図るため				
<b>委員長</b> 野淵孝二	<b>委員</b> 小室太郎、廣瀬伸次、曾我欣治、森田善方、藤本とき江、吉川敬子、嶋 吉夫、大岡千寿子	<b>事務局</b> 薬剤部			
<b>活動内容</b>					
<p>医薬品安全管理研修会  日時：平成28年11月14日、18日、21日の3日間通して同じ内容で開催  対象：看護師  内容：麻薬の運用変更・向精神薬に関する法律改正・院内事例  講師：薬剤部職員 参加：207名</p> <p>委員会：  日時：平成29年4月10日  内容：救急カート見直し、持参薬鑑別報告書フォーマット見直し、B型肝炎再活性化に関して</p>					

<b>透析機器安全管理委員会</b>	当院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図る	
<b>委員長</b> 透析液安全管理者 腎臓内科 森田善方	<b>委員</b> 西田泰人、塚口昌文、辻 克信、浦部紀子	<b>事務局</b> 臨床工学技術科
<b>活動内容</b> 平成28年11月21日：平成28年度透析機器安全管理委員会会議  協議事項など 平成27年度エンドトキシン・生菌数測定結果の報告説明 平成28年度エンドトキシン・生菌数測定計画と現在までの結果の報告説明 平成27年度の透析関係装置の保守点検について 透析関係装置の不具合、トラブルについて 透析関係の研修について		

<b>市立長浜病院栄養委員会</b>	当院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする。	
<b>委員長</b> 内科部長 森田善方	<b>委員</b> 川島和彦、村上義和、草野美樹、嶋 吉夫、藤田新一	<b>事務局</b> 栄養科
<b>活動内容</b> 第1回委員会 7月13日 開催 1. 報告事項 (1) 平成27年度 栄養管理業務について ・給食業務状況（食数等） ・栄養指導業務状況（指導件数等） 等 (2) 平成28年度 第1回 嗜好調査結果について 2. 協議事項 (1) 入院予約時の食事予約入力について (2) 病棟で余った濃厚流動食品の有効利用について  第2回委員会 12月21日 開催 1. 報告事項 (1) 平成28年度 第2回 嗜好調査結果について (2) 病棟で余った濃厚流動食品の有効利用について 2. 協議事項 (1) 付添食の中止について  第3回委員会 3月22日 開催 1. 報告事項 (1) 平成28年度 第4回 嗜好調査結果について (2) ロービジョン食器及び自助食器について 2. 協議事項 (1) 院内食事規約の一部変更について  栄養補助食品等の採用に伴う書面会議 2回開催		



<b>放射線安全委員会</b>	職員の放射線被ばく防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	
<b>委員長</b> 放射線科部長 伏木雅人	<b>委員</b> 若宮 誠、村上義和、家森正志、松宮喜明、佐野勝治、草野美樹、宮川孝史	<b>事務局</b> 放射線技術科
<p><b>活動内容</b></p> <p>活動内容</p> <p>【委員会の開催】</p> <p>○平成28年8月5日（金） 午後4時45分～5時40分</p> <p>議事内容：平成27年度放射線安全委員会報告 平成28年度放射線安全教育研修会の開催について クイクセルパッチの着用について 長浜市主催原子力防災訓練 11月20日（日） 西浅井町民対象 市民体育館にて開催される可能性 放射線に関することについては、問い合わせなどがあれば後方支援を行う方向 サーベイメータ校正 原子力防災用に数年前に滋賀県より補助金にて購入したサーベイメータについて 今年度の予算経常はないため、来年度の予算申請を行い、較正するよう調整する 来年度、滋賀県原子力防災訓練が長浜市を対照として開催される予定 その際には、協力体制をとる</p> <p>【クイクセルパッチの啓蒙活動】</p> <p>啓蒙活動 これまで同様、管理運営会議などでアナウンス 着用についての問い合わせなどがあれば放射線科、管理課などへ連絡もありと伝える Cessメールだけでなく、MegaOakメールでの配信やRadiation infoなどでもアナウンスを行う 各部門（ANGIO室、TV室など）において担当スタッフが着用を促す 返却率の悪さが目立ち、クイクセルパッチの未返却出費も相当ある 返却率の恒常的に悪い整形外科・形成外科には伏木委員長が個別で問い合わせ、指導する</p> <p>【放射線安全研修会】</p> <p>平成28年11月1日（火） 午後5時30分～午後7時 当院2階講堂、および支援棟、放射線科MRI検査室にて開催</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MRI検査の注意点・造影検査・チェックリストについて 医療技術局(放射線技術科) 木村拓美</li> <li>・ 当院の放射線治療の実際 医療技術局(放射線技術科) 西村正明</li> <li>・ 放射線治療における副作用について 看護局(外来) 杉山順哉</li> </ul> <p>特別講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「放射線被ばくって何？」 放射線科（治療部門）特任部長 安永敏美先生</li> </ul> <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MRI検査室にて吸着体験実習</li> </ul> <p>参加者 91人（診療局6人、看護局39人、医療技術局34人、事務局12人）</p>		

<b>放射線治療 品質保証委員会</b>	放射線治療における安全の向上 並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事項を検討し、必要な事項を企画審議するため。	
<b>委員長</b> 放射線科部長（治療部門） 伏木雅人	<b>委員</b> 村上義和、田辺啓太、川上正邦、西村正明、辻 雅之、入江桃好、杉山順哉、秋元麻未	<b>事務局</b> 放射線技術科
<b>活動内容</b> 【委員会の開催】 ○第1回 平成28年6月24日（金） 第2回 平成29年2月17日（火） 議事内容：各種マニュアル、手順書の確認 安全の向上に関すること 教育、研修に関すること その他  【QA会議の開催】 ○原則毎週火曜日業務終了後、QA会議を開催し、放射線治療に関する機器の精度管理、安全管理および運用等について検討した。  【研修会の開催】 ○医療事故防止対策委員会、放射線安全委員会との共催で一般にも公開 日時 平成28年11月1日（火） 午後5時30分～ 当委員会と関係する内容 ・「当院の放射線治療の実際」 西村正明 ・「放射線治療における副作用について」 杉山順哉		

<b>臨床検査運営 委員会</b>	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化・効率化を図る	
<b>委員長</b> 脳神経外科 小室太郎	<b>委員</b> 黒澤 学、横川竜生、田中裕紀、草野美樹、福永武浩、松宮喜明、細川功二	<b>事務局</b> 中央検査技術科
<b>活動内容</b> ○平成28年度第1回臨床検査運営委員会 日 時 平成28年9月12日 協議事項 1・臨床検査運営委員の変更について 2・平成27年度検査実績について 3・平成28年度外目標実地計画について 4・長浜バイオ大学臨床検査プログラムへの当院残余検体分与について 5・新規購入試薬について  ○平成28年度第2回臨床検査運営委員会 日 時 平成29年3月28日 協議事項 1・臨床検査運営委員長の交代について 2・平成28年度日本医師会精度管理報告について 3・平成28年度日本臨床衛生検査技師会精度管理報告について 4・平成28年度滋賀県臨床検査技師会精度管理報告について 5・長浜バイオ大学臨床検査プログラムへの実習補助員派遣について 6・中央検査技術科の人員配置と運用状況について 7・新規購入試薬について		

<b>輸血療法委員会</b>		輸血療法を安全かつ適正に遂行するため
<b>委員長</b> 副院長 亀崎 洋	<b>委員</b> 吉良浩勝、中村俊之、北村文代、橋本 寿、笠井晴生、三上はづき	<b>事務局</b> 中央検査技術科
<b>活動内容</b> 第1回：平成28年 6月30日 委員の変更について 血液製剤廃棄状況 血液適及調査について 第2回：平成28年 8月22日 委員の変更について 血液製剤廃棄状況 第3回：平成28年10月24日 院内RBC在庫数の変更について 血液製剤廃棄状況 第4回：平成28年12月 8日 輸血検査のインシデントについて 輸血療法委員会主催研修会について 輸血療法に関する説明書・輸血同意書・輸血マニュアルの変更について 血液製剤廃棄状況 第5回：平成29年 2月21日 輸血療法委員会主催研修会について 輸血後感染症検査の取り組みについて 血液製剤廃棄状況 第6回：平成29年4月に開催 新人看護師対象輸血研修会：「輸血の基礎について」 平成28年12月 輸血療法委員会主催研修会：「輸血の基礎と異型適合血輸血について」 平成29年2月		

<b>歯科口腔外科院内感染防止対策委員会</b>		歯科口腔外科における特殊器材使用時の院内感染防止等を図る
<b>委員長</b> 歯科口腔外科責任部長 家森正志	<b>委員</b> 北本幸恵、藤木智美、長谷川博美、宮前愛子、近藤昭仁	<b>事務局</b> 歯科口腔外科
<b>活動内容</b> 平成28年 5月17日 消毒用アルコールの使用頻度について 感染ゴミ置き場の鍵保管について 平成28年 9月 5日 手洗い、手指消毒の強化について 平成28年12月21日 ハンドローションの導入について 平成29年 1月23日 インフルエンザの流行と口腔ケアの実施について		

<b>人権対策推進委員会</b>		院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組むため
<b>委員長</b> 院長 神田雄史	<b>委員</b> 村中幸二、村上義和、松田和子、土川陽子、小川幸男	<b>事務局</b> 総務課総務グループ
<b>活動内容</b> 1. 内容 ・人権対策推進体制を整備し、院内の人権対策について総合的に推進するための方策を検討する。 ・同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深めるため職員の研修計画の策定と推進を行う。 ・人権問題解決のため市長部局や市の他の部門との積極的な連携を図る。		

<b>合同・臨床研修委員会</b>	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修が円滑かつ十分に行われるよう、臨床プログラムの管理を行う。	
<b>委員長</b> 診療局理事 梅原久範	<b>副委員長</b> 社会福祉法人青祥会セフィロト病院院長代行 松岡俊樹 副院長 小林 映 <b>委員</b> 太田直也、村中幸二、嶋田文彦、田久保康隆、森田善方、宮本茂樹、松田和子、小川幸男、手繰忠善、松井善典、雨森正洋、奥田哲也、七里源正、湯本義一、畑野秀樹、橋本修、布施隆治、花戸貴司、谷口洋貴、小泉俊三、高橋文雄	<b>事務局</b> 総務課総務グループ
<b>活動内容</b> 1. 委員会の内容 臨床研修医の研修プログラムの管理、教育等の実施、臨床研修終了にかかる臨床研修医の評価について審議する。なお、プログラムの作成、運営調整は、同委員会小委員会（プログラム委員会）にて、内科担当、外科担当、プライマリケア担当の責任者を中心に各々の科の指導医と協議の上、研修医の希望を考慮しながら行う。 2. 委員会の開催 第1回 平成29年3月29日（水） 1. 臨床研修終了認定について 2. 次年度のスケジュールについて 3. その他		

<b>職員安全衛生委員会</b>	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	
<b>委員長</b> 副院長 村中幸二	<b>委員</b> 村上義和、小川幸男、大野暢宏、野淵孝二、西沢政隆、清水孝則、杉山 愛、岩崎昌子、庄 珠実、尚永亜希子、笠井晴生、中村弘美	<b>事務局</b> 総務課総務グループ
<b>活動内容</b> 1. 内容 (1) 職場における職員の安全と健康の確保 (2) 快適な作業環境の形成、健康管理事業の適正運営の確保 (3) 危険防止のための基本的対策、労働災害の原因、再発防止対策 2. 協議事項 (1) 職場巡視 (2) 時間外勤務について (3) 年次休暇・夏季休暇の取得状況について (4) 感染予防について (5) 禁煙対策について (6) 健康診断受診状況について (7) ストレスチェックの実施 (8) メンタルヘルス対策 (9) 年間活動総括 委員会開催月日 4月28日、5月26日、6月30日、7月28日、8月25日、9月29日、10月27日、11月24日、12月22日、1月26日、2月23日、3月23日		

<b>集中治療室 運営委員会</b>	集中治療室の管理運営についての協議	
<b>委員長</b> 副院長 嶋田文彦	<b>委員</b> 佐藤岳史、國友健生、吉良浩勝、上津昌広、小川幸男、松田和子、織田頼子、吉川敬子、宮部照子	<b>事務局</b> 総務課総務グループ
<b>活動内容</b> 1. 業務 ICUの運営について次のことを審議する。 (1) 各診療科、病棟との連絡調整 (2) 施設の管理および設備の整備計画 (3) 業務の管理手順 (4) その他運営に関する必要事項		

<b>診療業務等役割 分担推進委員会</b>	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う。	
<b>委員長</b> 診療局理事 林 嘉彦	<b>委員</b> 若宮 誠、土川陽子、梅本範子、赤尾真樹子、野淵孝二、宮川孝史、近藤昭仁、宮元伸篤、草野信悟、吉田洋次郎、伊藤仁文、大橋依子	<b>事務局</b> 診療情報支援室
<b>活動内容</b> 1. 業務 (1) 診療業務の役割分担に関し、現状把握、問題点抽出、課題整理等を行う。 (2) 役割分担に関し必要な見直しや新たな役割分担の必要性等について協議する。 2. 活動状況 平成28年4月22日（金） 平成28年度医師の負担軽減計画について		

<b>治験審査委員会</b>	院内で行われる治験等がヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び新GCP省令等関連法規を遵守した上で実施されるために、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を審議し、その可否を決定するため設置するもの	
<b>委員長</b> 診療局理事 林 嘉彦	<b>委員</b> 宮本香代子、荒木まつゑ、小室太郎、小川雅文、阪本仁、松田和子、藤田忠夫、大岡千寿子、小川幸男、福永武浩	<b>事務局</b> 総務課総務グループ 薬剤部 薬剤科
<b>活動内容</b> 1. 目的 当院の医薬品・医療機器等にかかる治験等の実施について審議し、病院全体の医療の質の向上を図る。 2. 委員会の開催 第1回 平成29年2月 8日（水） 第2回 平成29年3月22日（水）		

<b>職員研修委員会</b>	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内・外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	
<b>委員長</b> 院長 神田雄史	<b>委員</b> 村上義和、松田和子、土川陽子、小川幸男	<b>事務局</b> 総務課総務グループ
<b>活動内容</b> 公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させ、人間性豊かで有為な人材の育成を図るため、職員に院内・外の幅広い研修機会が提供できるように設置。 1. 業務 (1) 人材育成支援計画の策定等 (2) 各所属の年間研修計画および年間研修実績のとりまとめ (3) 研修に対する評価のとりまとめ		

<b>防火・防災管理委員会</b>	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他災害による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする。	
<b>委員長</b> 整形外科責任部長 廣瀬伸次	<b>委員</b> 村上義和、織田頼子、小川幸男	<b>事務局</b> 総務課施設グループ
<b>活動内容</b> 1、委員会 ① 開催日時 平成28年8月23日（火） ② 議事内容 ・消防訓練実施要領（案）について 2、消防訓練（消防検証）の実施 ① 実施日 平成28年11月21日（月） ② 参加者 約80名 ③ 実施場所 4階西病棟及び診療支援棟北側屋外付近 ④ 訓練目的 病院消防計画に基づく防火教育の一環として、夜間に火災が発生した場合を想定して、万一の際、被害を最小限に抑えられるよう消防訓練を実施しました。		

<b>医療ガス安全・管理委員会</b>	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。	
<b>委員長</b> 麻酔科部長 柳田豊伸	<b>委員</b> 松田和子、田中祐輔、辻 克信、加藤一尚、松宮喜明、福永武浩	<b>事務局</b> 総務課施設グループ
<b>活動内容</b> 1. 点検内容 ①日常点検 各部署で毎週実施し、月1回委員会に報告 ②定期点検 専門業者により年4回実施し、結果を委員会に報告		



<b>未収金対策検討委員会</b>	未収金に関する事務の適正な執行を図るため	
<b>委員長</b> 副院長 村中幸二	<b>委員</b> 高島弘行、小川幸男、村上義和、松田和子、田中正樹、福永武治、藤田一弥、嶋 吉夫、平尾真弓(市会計管理者)	<b>事務局</b> 医事課 医事管理グループ
<b>活動内容</b> 平成28年11月24日 未収金対策検討委員会開催。未収金の推移と回収実績・対策検討、診療費等債権の放棄審査について協議を行いました。		

<b>保険審査委員会</b>	請求もれ、減点内容のチェック及び再審査請求の徹底を図るとともに、保険医療の適正化に努める	
<b>委員長</b> 心臓血管外科部長 洞井 和彦	<b>委員</b> 廣瀬伸次、山科 聡、梅本範子、野洌孝二、藤田忠夫 吉田洋次郎、堀江智美、嶋 吉夫	<b>事務局</b> 医事課 医事請求グループ
<b>活動内容</b> 平成28年度は、当院が開催する診療報酬研修会の中で療養担当規則及び指導管理料等の要点記載の説明を行いました。		

<b>診療情報・図書室管理運営委員会</b>	当院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	
<b>委員長</b> 外科 平良 薫	<b>委員</b> 清水久雄、村田巨樹、田中裕紀、廣坂雄介、中村俊之、北村 淳、桐畑千尋、弓削悦子、吉川敬子、松山桂士、土川陽子、嶋 吉夫、佐々木香織、番野晶子、岸田智江	<b>事務局</b> 診療情報支援室
<b>活動内容</b> 第1回 平成28年7月22日(金) ○ 協議事項 ①委員会設置要綱と管理規定(細則)の変更 ②病名ワーキンググループ活動報告 ③サマリ改善プロジェクト経過報告 ④外部医師用診療録複写・閲覧依頼書の様式変更について ⑤入院診療録の監査について ⑥図書関連 第2回 平成28年10月6日(木) ○ 協議事項 ①入院診療計画書に記載する入院契機病名について ②診療録管理体制加算1の取得について ③図書関連 ・2016年度 廃棄リストについて ・2017年度購入図書について(年間購読分) ・メディカルファインダー案内 第3回 平成29年3月3日(金) ○ 協議事項 ①入院診療録院内監査実施報告 ②第2回入院診療録院内監査について ③他院からのデータ(CD)取扱いについて ④電子カルテ帳票部会の発足について ⑤データ抽出依頼について ⑥「市立長浜病院図書室管理運営規定」の変更について		

<b>医療機器等選定委員会</b> (長浜病院関係)	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。	
<b>委員長</b> 副院長 嶋田文彦	<b>委員</b> 神田雄史、小室太郎、廣瀬伸次、高島弘行、森田善方、松田和子、村上義和、小川幸男	<b>事務局</b> 経営企画課 用度グループ
<b>活動内容</b> 1. 内容 医療機器等購入にかかる機種選定の審査ならびに協議、高額診療材料購入にかかる審議を行った。 2. 開催日（全5回） 平成28年7月7日、10月17日、12月1日 平成29年1月12日、3月2日		

<b>SPD運営委員会</b>	経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、SPDシステム運用等に関し必要な事項を定める。	
<b>委員長</b> 副院長 嶋田文彦	<b>委員</b> 織田頼子、野一色真弓、中村寛子、寺村郁子、岸田智恵子、佃 義則、久保田理恵、呉竹めぐみ、長谷川博美、田中宏明、窪田美好、伊吹友宏	<b>事務局</b> 経営企画課 用度グループ
<b>活動内容</b> 1. 内容 院内の効率的な物品供給や適正な在庫管理のあり方等の検討を行った。また、適正な物品管理と無駄の抑制を図るため実施した。 診療材料滅菌切れチェック及び診療材料定数見直しの内容について、報告を行った。 2. 開催日（1回） 平成29年3月23日 3. 主な内容 ①各部署における診療材料滅菌期限切れチェックの実施報告 ②診療材料定数見直しの実施報告 ③救急カート運用の変更報告 ④病棟の移転スケジュール		

<b>契約審査委員会</b>	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする。	
<b>委員長</b> 副院長 嶋田文彦	<b>委員</b> 平尾真弓、馬場博行、栢割敏夫※、清水善信※、小川幸男、西川昇、福永武浩、田中正樹  ※長浜市病院事業工事契約審査委員会のみ所掌	<b>事務局</b> 経営企画課 用度グループ
<b>活動内容</b> 1. 内容 医療機器等の購入及び建設工事等における契約方法及び指名競争入札の参加者または随意契約の相手方の選定について、審査を行った。 2. 開催日（全12回） 平成28年4月21日、5月19日、6月9日、7月21日、8月25日、9月8日、10月20日、11月17日、12月22日 平成29年1月19日、2月23日、3月24日		

<b>放射線治療装置 更新検討委員会</b>	放射線治療装置の更新について総合的に推進することを目的とする。	
<b>委員長</b> 副院長 小林映	<b>委員</b> 田久保康隆、神田雄史、伏木雅人、清水久雄、村上義和、古山忠宏、野一色真弓、佐野勝治、田中正樹、三原了導、奥長隆敏	<b>事務局</b> 放射線治療センター 経営企画課用度グループ
<b>活動内容</b> 1. 内容 放射線治療装置の更新に向けて、機器・施設等の概要やスケジュールの確認を行った。 2. 開催日（全1回） 平成28年8月18日		

<b>医療安全対策委員会</b>	医療の安全確保と医療事故防止のため各種事業を行う。	
<b>委員長</b> 副院長 村中幸二	<b>委員</b> 曾我欣治、橋本和幸、潮 正輝、平良 薫、杉江加代子、宮元伸篤、川上正邦、山田耕士、新田朋美、塚口昌文、池田遼太、服部直美、越石由紀子、河嶋智子、谷口智子、宮崎恵子、廣瀬朋子、岡本保宏、下村哲也、川村裕彦、近藤昭仁、藤本とき江、川崎悦子	<b>事務局</b> 医療安全管理室
<b>活動内容</b> 1. 内容 全部署インシデント報告の集計と分析・評価・報告 事故発生時の分析と防止対策の検討・啓発・課題提示 現場巡回と評価・啓発 医療安全に関する調査 リスクマネージャーの育成・・・リスクマネージャー会（年2回） 院内研修会の実施および院外研修参加の推進 医療安全情報提供・・・リスクめ～る発行(43回)、安全ニュース発行(58回) マニュアルの見直し スタッフハンドブック第3版配布（全職員）4月 2. 医療安全対策委員会の開催 毎月第2木曜日開催 12回 1) 各職場におけるKYT活動(年間4事例報告)の実践と支援 2) マニュアル周知、業務改善、活動指標のための調査および巡視の実施（グループ活動） 患者誤認防止グループ、転倒・転落防止グループ、アレルギー情報管理グループ、コミュニケーション推進グループ、看護局リスクナース検討部会 3) グループ活動内容 (1)患者誤認防止グループ ・「患者フルネームの呼称」の定着と実施 ・指差し呼称強化月間の実施(年2回) ・救急受付患者誤認防止(新規・異動職員の事務当直オリエンテーションの実施) (2)転倒・転落防止グループ ・転倒転落防止DVD視聴推進、視聴状況評価（年2回） ・院内転倒転落危険箇所の確認と問題の発信と改善 ・離床センサーの効果的な使用方法の推進、電源再開忘れ対策の提案と評価 ・転倒転落危険度シールの使用状況評価 (3)アレルギー情報管理グループ ・アレルギー情報システムの運用周知と活用推進（情報入力と情報確認の周知および評価） ・現行システムの問題提言 ・アレルギー情報に関する患者申告の推進（啓発ポスター作成） (4)コミュニケーション推進グループ ・コミュニケーションエラー及びチームステップス(SBAR活用)の促進 ・シュミレーション実施によるSBAR推進および可視化活動(SBAR新聞の発行) ・各部署におけるSBAR推進活動の継続 (5)看護局リスクナース検討部会 ・医療安全対策委員会班活動の現場推進 ・生体情報モニターアラーム「誤報」低減に向け、管理、基準の遵守 ・離床センサー使用方法と管理方法マニュアルの作成 4) マニュアルについて ・医療安全管理指針(見直し) ・輸血マニュアル(見直し) 輸血委員会担当 5) 医療安全研修会 ・平成27年度医療安全取り組み報告会(5月) ・第2弾医療事故調査制度について(7月) ・医薬品安全管理（麻薬の運用変更・向精神薬に関する法律改正・院内事例)研修会（11月） ・医療機器安全(呼吸ケア)研修会（11月） ・放射線安全研修会(12月) ・死因究明と医療事故調査制度について(3月) ・チームステップス研修会（3月） ・リスクマネージャー会（5・10月） 3. 報告事項 ・各部署におけるKYT取り組み結果 ・院内巡視結果（誤認防止・転落転倒・医療機器安全対策・医療安全管理室巡視） ・毎月の安全対策取り組み状況（毎月委員会で報告） ・平成28年度医療安全対策委員会活動 ・平成28年度各部署における医療安全取り組み活動 ・平成28年度医療事故報告分析結果（全体・部署別）		

<b>医療安全管理委員会</b>	院内における医療安全対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療相談業務を総合的に企画実施し、また、事故対策を講じるために必要な事項を審議し、意思決定する。	
<b>委員長</b> 副院長 村中幸二	<b>委員</b> 野田秀樹、神田雄史、小林 映、亀崎 洋、嶋田文彦、大野暢宏、高島弘行、家森正志、曾我欣治、松田和子、村上義和、小川幸男、藤田忠夫、福永武浩、野洲孝二、橋本寿、藤本とき江、川崎悦子、藤木智美	<b>事務局</b> 医療安全管理室
<b>活動内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内 容           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院全体の医療安全対策の方針について協議決定を行っています。</li> </ul> </li> <li>2. 医療安全管理委員会開催           <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第2火曜日開催 12回</li> <li>1) 各委員会等報告と協議               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器安全管理に関する事項                    関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み</li> <li>・ 医薬品安全管理                    関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み</li> <li>・ 医療安全管理に関する事項                    インシデント報告事象の共有（患者誤認・レベル3b以上の事象）                    関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み</li> <li>・ 各委員会活動方針の合議</li> <li>・ 各委員会研修会開催報告</li> </ul> </li> <li>2) その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会マニュアル内容の検討</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. 報告事項           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度医療事故報告分析結果（全体・部署別）</li> <li>・ 平成28年度各委員会活動評価</li> <li>・ 医療相談・苦情についての報告など</li> </ul> </li> </ol>		

<b>感染対策担当者会議</b>	院内における医療関連感染の防止対策や、啓蒙等を推進する。	
<b>委員長</b> 泌尿器科責任部長 塚 晴俊	<b>委員</b> 大野暢宏、家森正志、坪井房幸、音羽幸子、岩崎昌子、辻 賢、佃 義則、野淵孝二、中尾英里加、中村寛子、岸田智恵子、井上弘美、北村美幸、川越ゆき、伊藤仁文、久保田武次、藤木智美	<b>事務局</b> 医療安全管理室
<b>活動内容</b> 1. 内 容 院内感染の防止、感染症に対する啓発、研修の推進 マニュアルの作成、見直しの推進 必要部署の環境調査の実施 編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止」の発行 院内感染サーベイランスの実施 2. 感染対策担当者会議開催 隔月第3木曜日開催 年4回（8月除く） (1) マニュアルについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染防止対策のための指針</li> <li>・カテーテル関連尿路感染防止マニュアル</li> <li>・大規模集団食中毒発生時対応マニュアル（継続中）</li> <li>・抗菌薬指針（継続中）</li> </ul> (2) 院内感染サーベイランス協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーベイランス内容の検討・データ分析・評価を実施</li> <li>・サーベイランスの実施</li> </ul> 「耐性菌発生状況」「クロストリジウム・ディフィシル発生状況」 (3) 必要部署の環境調査の実施（ICTラウンド） 毎週金曜日 ○ラウンド回数（44回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ラウンド</li> <li>・特定抗菌剤使用状況調査</li> <li>・感染対策の協議</li> </ul> (4) 編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止」の発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・54号「B型肝炎ウイルス(HBV) 特集」 平成28年7月26日発行</li> <li>・55号「ワクチンについて」 平成29年4月25日発行</li> </ul> (5) 委員会主催による研修会開催 感染対策研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「正しい診断は、正しい検体採取から！」 平成28年10月4日 ICT 坪井房幸検査技師</li> <li>・「食べる」 平成29年3月13日 ICT 大野暢宏ICD</li> </ul> (6) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各感染症に対する専門知識と感染予防の普及</li> <li>・リンクナースを中心とした効率的な感染防止活動</li> <li>・スタンダードプリコーションに基づく院内感染防止対策の推進</li> <li>・手指消毒剤の個人携帯の推進と手指衛生タイミング確認ラウンドの推進</li> <li>・個人防護具（アイシールド：眼への曝露防止）の遵守</li> <li>・個人防護具（ガウン・エプロン：衣類および露出部位の曝露防止）の遵守</li> <li>・職業感染対策の推進 安全装置付き器材の導入：インスリン等ペン型注入器用注射針・CVポート穿刺針</li> <li>・B型肝炎に対する抗体価獲得に向けてのワクチンプログラムの実施</li> <li>・流行性ウイルス疾患（麻疹・風疹・ムンプス・水痘）のワクチンプログラムの実施</li> </ul>		

<b>感染管理委員会</b>	医療関連感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、医療関連感染が発生した場合の病院としての方針を決定するために設置する	
<b>委員長</b> 総合診療科責任部長 大野暢宏	<b>委員</b> 野田秀樹、神田雄史、村中幸二、小林 映、亀崎 洋、 嶋田文彦、高島弘行、家森正志、曾我欣治、松田和子、 村上義和、小川幸男、藤田忠夫、福永武浩、野淵孝二、 橋本 寿、藤本とき江、川崎悦子、藤本智美	<b>事務局</b> 医療安全管理室
<b>活動内容</b>		
<p>1. 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療関連感染の防止対策や、院内全体の感染対策の方針について協議決定を行っています。</li> </ul> <p>2. 感染管理委員会開催</p> <p>毎月第2火曜日開催 12回</p> <p>(1) 各委員会等報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染防止対策取り組み</li> <li>・ 耐性菌・インフルエンザの院内発生動向の報告</li> <li>・ 特定抗菌薬の使用状況と届出の提出状況の報告</li> <li>・ 歯科口腔外科院内感染防止対策取り組み</li> <li>・ 研修会開催報告</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニュアル内容の検討</li> <li>・ 流行している疾患など厚生労働省や県・保健所の通知を確認し、当院の方針を決定</li> </ul>		

<b>開放型病床運営委員会</b>	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	
<b>委員長</b> 院長 神田雄史	<b>委員</b> 上松貞彦、湯本義一、小林清亮、華房順子、工藤 寛、 畑野秀樹、七里源正、廣田光前、雨森正洋、塚本隆弘、 中村義則、澤渡新太郎、小川雅文、家森正志	<b>事務局</b> 地域医療事業部 地域医療連携室
<b>活動内容</b>		
<p>年1回開催 平成29年2月23日(木)</p> <p>開放病床の運営について</p> <p>(1) 開放型病床利用状況について</p> <p>(2) 病診連携運用状況について</p> <p>(3) 開放型病床病棟別病床数</p> <p>(4) 平成28年度開放型病床運営委員会要望事項における改善内容について</p>		

<b>医療型療養病棟入院患者判定委員会</b>	医療型療養病棟への入退院にあたり適正な審査・判定を期すること	
<b>委員長</b> 療養病棟担当医師 大野暢宏	<b>委員</b> 音居玲子、嶋 吉夫、徳田敏子、前川純子、尾崎幸子、 川口綾子、後藤智彦	<b>事務局</b> 地域医療事業部 地域医療連携室
<b>活動内容</b>		
<p>原則火曜日に(延べ 14回)開催し、院外枠2人、レスパイト入院51人の方を審査、判定した。</p> <p>院内からの転棟については、毎週2回(原則 火曜日と金曜日)に開催し、156人の方を審査・判定した。</p>		

<b>回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会</b>	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う。	
<b>委員長</b> リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤 謹司	<b>委員</b> 永田裕一、北村 淳、杉江加代子、後藤智彦、遠藤邦 枝、尾崎幸子、今莊 悠、徳田敏子	<b>事務局</b> 地域医療事業部 地域医療連携室
<b>活動内容</b> 平成28年4月1日に第1回目を開催し、その後、毎週火・木曜日に（延べ50回）開催し、院内83人、院外75人、計158人の方を審査・判定した。		

<b>回復期リハビリテーション病棟運営委員会</b>	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	
<b>[運営委員会]</b> <b>委員長：</b> リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司  <b>[運営検討部会]</b> <b>部会長：</b> リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	<b>委員</b> 村井あき、雨森正洋、伊吹宗人、中川 勝、夏原さゆり、福永幸代、濱上 洋、雑賀正明、海津千津子、大脇和子、安達良子、永田かおり、小川幸男、音居玲子、土川陽子  <b>委員</b> 小室太郎、北村 淳、徳田敏子、田中正樹、嶋 吉夫、土川陽子、尾崎幸子、今莊 悠、遠藤邦枝、高橋祐子、中嶋和美	<b>事務局</b> 地域医療事業部 地域医療がん対策推進事務室
<b>活動内容</b> <b>[運営委員会]</b> 平成28年度第1回委員会 平成28年9月15日（木） (1)回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会の状況について (2)回復期リハビリテーション病棟の運営状況について (3)リハビリテーションの実施状況について (4)リハビリテーションの質的評価について  <b>[運営検討部会]</b> 平成28年度第1回部会 平成28年6月1日（水） (1)事業報告 ・回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会報告 ・回復期リハビリテーション病棟運営報告 ・リハビリテーション実施報告 ・回復期リハビリテーション病棟収支報告 (2)リハビリテーションの質的評価 (3)平成28年度回復期リハビリテーション病棟運営について		

<b>褥瘡対策委員会</b>		院内での褥瘡対策を検討・立案し、その効率的な推進を図る
<b>委員長</b> 形成外科責任部長 藤林 久輝	<b>委員</b> 井階幸一、田中裕輔、安藤恵美、中川彩子、植松 渚、 森田美帆、宮田鈴子、西尾多恵、笠原みすず	<b>事務局</b> 地域医療事業部
<b>活動内容：</b> 1. 褥瘡回診の実施 ・第2、4木曜日 計24回 延べ305名 2. 褥瘡に関するデータ集約 3. 褥瘡対策備品の整備 ・車いすクッション購入 20枚 4. 褥瘡対策専任看護師会の運営 ・ポジショニング研修 平成28年9月26日 平成29年2月1日		

<b>がん対策推進委員会</b>		がん治療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと
<b>委員長：</b> 放射線科（治療） 責任部長 伏木雅人	<b>委員</b> 林 嘉彦、田久保康隆、東出俊一、花木宏治、塚 晴 俊、大岡千寿子、村上義和、徳田敏子、小川幸男、大橋 依子、土川陽子、山岸美紀、新川君代	<b>事務局</b> がん対策推進事業部 がん対策推進室
<b>活動内容</b> 【委員会の開催】（4回） 第1回 平成28年4月21日（木） ・がんフォーラム2016の進捗状況、内容について ・P D C Aサイクルの実施について ・今年度の予定について 第2回 平成28年9月30日（金） ・がんフォーラム（湖北）2017開催計画について ・地域がん診療連携拠点病院の現況報告 第3回 平成29年1月26日（木） ・湖北がんフォーラム2017の企画について ・地域がん診療連携拠点病院の更新について ・P D C Aサイクル中間評価について ・がん教育について ・平成29年度研修計画について * 平成29年3月15日（水） 医師・診療情報室との協議（がん登録について） 第4回 平成29年3月23日（木） ・湖北がんフォーラム2017の企画について ・地域がん診療連携拠点病院の更新について  ◆湖北がんフォーラム2017開催に向けた長浜赤十字病院との協議 平成28年11月11日（金） 主催・共催、開催概要について 平成28年12月15日（木） 企画書（案）について 平成29年2月9日（木） テーマ、シンポジストの人選など 平成29年5月23日（火） シンポジスト発表の順番、動員、配布資料など		

<b>緩和ケア推進委員会</b>	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質(QOL)を維持向上させること	
<b>委員長：</b> 外科部長 花木宏治  平成29年1月～ 呼吸器外科 責任部長 田久保康隆	<b>委員</b> 伏木雅人、野口哲男、田久保康隆、江藤謹司、家森正志、横川竜生、織田頼子、久保田理恵、藤井三和子、長谷川博美、桐畑千尋、橋本祥子、河野智一、土川陽子 山岸美紀、宮崎恵子  <b>准委員</b> 森田幸代、鈴木圭太	<b>事務局</b> がん対策推進事業部 がん対策推進室
<b>活動内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緩和ケアチーム回診の実施（毎週火曜日：チーム回診、毎週金曜日：チーム看護師回診）</li> <li>2. 委員会の開催（1回）平成28年7月29日（金） 臨時委員会／責任者・リーダー会 開催 平成28年12月9日（金）</li> <li>3. 小部会の開催 平成28年6月1日（水）、9月28日（水）、10月3日（月）、10月4日（火）、11月4日（金）</li> <li>4. 緩和ケア研修会、緩和ケア講演会の開催            ○緩和ケア研修会：平成28年11月12日（土）、13日（日） 修了者16名            ○緩和ケア講演会              第1回 平成28年8月26日（金） 参加者：58名                「末期がん患者の心のケア」～患者とのコミュニケーションの取り方～                講師：宝塚市立病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー 沼野 尚美 先生              第2回 平成28年10月6日（木） 参加者：61名                「がん患者さんや家族さんとのコミュニケーションについて」                ～上手くいくとき、上手くいかないとき～                第1部 講師：浅井東診療所 松井 善典 先生                第2部 グループワーク            ○2016年ホスピス緩和ケア週間（世界ホスピス緩和ケアデー:10/8）展示イベント開催              平成28年10月3日（月）～10月7日（金）（病院 エスカレーター横）</li> <li>5. 緩和ケア総合外来 診療数 延べ 17件</li> <li>6. がんリハビリテーション 介入件数延べ単位 3,478単位</li> </ol>		



<b>看護局主任会</b>	①看護実践の責任者として資質を高め現場の問題解決に積極的に取り組み職場の活性化をはかる ②医療監査における課題抽出と解決 ③病院機能評価受審を意識した取り組み	
<b>委員長</b> 看護主幹 新木貴枝	<b>委員</b> 田附容子、尾崎千鶴、関谷洋子、浅見秀治、赤井明美、井口みき、野村規久子、西島好子、中川由紀、中村春美、伊藤雅子、辻 勝彦、鍋島みゆき、山下智子、沖田小百合、酒谷ひろみ、山田真納美、土田由美子	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動内容：</b> 5月17日 補助者研修グループ・看護必要度グループ・医療機能評価グループごとに年間活動計画・成果目標立案・看護補助者研修指導案の企画 7月19日 補助者業務現状調査から業務見直しの検討・看護必要度の監査および不明な内容の洗い出し医療機能評価資料読み合わせ 9月20日 補助者研修企画準備、チェックリスト見直し・看護必要度入力現状把握・医療機能評価フォーラム参加 11月15日 研修報告、次回の研修企画準備・看護必要度研修参加者より伝達講習・適時調査各セッションで参加 1月17日 研修報告。今年度活動の振り返りと次年度への課題抽出  <b>看護補助者研修</b> 7月 8日 診療報酬改定と看護補助業務の理解(梅本理事)・食事介助(講師：田邊ST) 10月14日 感染 講義とポータブルトイレ清掃(講師：藤本主幹) 12月15日 医療安全 KYT研修 (講師：藤本次長)		

<b>看護局 固定リーダー会</b>	チームリーダー業務および役割を通して問題を提起し、解決を図る共にスタッフの質の向上とリーダーの自己啓発を推進する	
<b>委員長</b> 看護科長補佐 中村寛子	<b>委員</b> 宮川可奈絵、塚田真理子、福本雅子、野崎有美、板東美加、松田真弓、喜屋武幸恵、池田彩乃、大西里美、宮川都、高田優美子、平井義一、久保田才紀子、八田頼卓、徳田喜子、林 妙、青山美穂子、野村かおり	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動内容：</b> 6月7日 委員会の目的・目標、コテリ評価表について説明。チーム目標や取り組みについて情報共有 8月2日 各チームでの活動について情報共有。特にカンファレンスの持ち方について 10月4日 各チーム活動の中間評価について情報共有。後半期の取り組みについて報告 12月6日 各チームの後半期の取り組み状況について情報共有。最終評価に向けた取り組みなど 2月7日 成果発表会の開催		

<b>看護局 看護記録検討会</b>	実践した看護を記録に反映させるために、記録の書式の検討や省略化を推進し、記録の有効な活用を図る。また基準に沿って監査し記録の向上を図る。	
<b>委員長</b> 看護科長補佐 宮部照美	<b>委員</b> 平山知沙、白井あや香、北村祐子、宮口久留実、谷田奈那子、寺居美穂、中尾多江、川畑 泉、岩佐由里子、小野千鶴、田中真澄、玉井恵美、中村初美、高田憲明、谷 良美、入江桃好	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動内容：</b> 会議開催日：5月16日 7月25日 9月26日 11月16日 1月18日  5月16日：記録の問題点について共有 6月～9月：5事例の記録監査を施行しその結果を元に取り組みの必要な点を洗い出し強化指導を行う 10月～3月：監査表を修正し、2ヶ月に1回のペースで個人監査をしていく。都度改善を意識してかわりをしていく 個別性のある看護展開については看護診断を用いて行えるように師長会で企画した学習会を取り入れた 11月16日：看護基準と記録検討会の合同委員会を開催し「標準看護計画Q&A」形式の研修会を実施し、各部署に伝達講習を実施していく。加算や必要度の記録、個別性のある看護計画とその評価について継続して監査を行っていく必要がある。		

<b>看護局 継続看護検討会</b>	入院時から患者家族が安心して在宅へ移行できるよう支援し、円滑な地域連携を目指す	
<b>委員長</b> 看護主幹 清水満子	<b>委員</b> 岩崎まゆみ、伊藤雅子、中川栄子、伊吹誠子	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動方針</b> 1) 入院支援業務（入院総合支援センター準備） 2) 退院支援業務の確立（地域退院支援ルールの周知、活用） 3) 各ラダーレベルの継続看護研修に協力し、知識を深めてもらう		
<b>活動内容</b> 5月26日 活動計画、目標の共有 外来・病棟の入院業務洗いだし 地域退院支援ルールの再周知(5月～6月) レベルⅡ継続看護研修の事前課題確認 6月13日 洗い出した業務を集約 地域退院支援ルール活用促し、確認 7月15日 レベルⅡ継続看護研修参加 7月28日 集約した業務手順の確認、完成 地域退院支援ルールの活用促し（アンケート調査） 9月16日 レベルⅢ、Ⅳ合同継続看護研修参加 9月29日 集約した業務手順、チェックリスト確認 入院支援センターフロー図説明 入院支援センター用記録内容協議 11月15日 ラダーレベルⅢ、Ⅳ合同継続看護研修参加 11月24日 支援センター運用マニュアル整備とデモ用シナリオ作成 地域退院支援ルール活用促し 1月10日 支援センターシミュレーション 1月16日～実際の患者様でシミュレーション 1月26日 活動内容目標評価 今後の活動課題共有		
<b>今年度の最終評価</b> ①運用マニュアルとチェックリスト、支援センターで対応する科の決定、患者情報シートの修正、記録のテンプレート作成を行うことができた。今後それらを元に実際の患者で対応できるように適宜修正が必要である。 ②地域退院支援ルール（湖北ルール）の周知活用に対しては、スタッフすべてへ周知できていない現状があり、ケアマネジャーとの情報共有も規定通りできていないことも指摘受けている。再度周知できるよう研修でも説明し、病棟委員へ周知するよう喚起を行った。 ③研修参加予定通り行えた。評価も良く、湖北ルールの再周知できたと考える		
<b>次年度の課題</b> 来年度支援センター稼働にて、不備などを確認していき適宜調整はかる必要がある。		

<b>看護局 新人看護職員研修 委員会</b>	新人看護職員の安全な臨床実践能力の獲得、専門職業人としての成長、生涯にわたり自己研鑽の姿勢を習得できる体制と研修評価を協議する	
<b>委員長</b> 看護係長 岸本尚子	<b>委員</b> 川越紗織、牧野 茜、山口未来人、上田あかね、中川裕香、杉山 愛、椋田悦子、梅本佳子、居川真弓、高木ひとみ、中村弘美	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動方針</b>		
4月21日	新人指導上困っていることについて討議。新人の健康管理について。注射テスト見直しについて	
5月19日	事例検討①実施指導者とエルダーとの関わりについて。注射テスト修正の進捗状況について	
6月16日	事例検討①について実践結果を検討 事例検討 ②新人看護師が自立していくためにどのように関わるか。夜勤の進捗状況と新人の精神面、体調面について 注射テスト修正の進捗状況について	
7月21日	事例検討②について実践結果を検討 事例検討③指導者研修について 3ヶ月の振り返りを共有し検討 注射テスト修正の進捗状況について	
10月21日	事例検討③について実践結果を検討 事例検討 ④6ヶ月の振り返りから 注射テスト修正の進捗状況について	
12月15日	事例検討④について実践結果を検討 次年度のシュミレーション研修について検討 新人のローテーション研修についての依頼	
1月 6日	シュミレーション研修について資料の読み合わせとテストラン等の日程調整と役割分担 9ヶ月の振り返りを実施	
2月23日	レベル I ツール評価の実施	

<b>看護局 教育委員会</b>	看護の質の向上をめざして、看護職員が専門職業人として生涯にわたる能力開発とキャリア開発を支援するために教育研修の企画・運営・評価を行う	
<b>委員長</b> 看護科長補佐 草野美樹	<b>委員</b> 毛利由布子、山本理恵、森中かおり、次郎内圭子、東野千佳、中嶋ゆき、野村規久子、川瀬智代、伊吹理子、中川由紀、辻野裕美子、小川由美子、野一色祐美子、依田百代、芝田美里、西堀正樹	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動方針</b>		
1) 急性期から慢性期、在宅へと継続看護ができるジェネラリストナースの育成と継続教育の推進		
2) 病棟教育委員の面接が計画的に実施でき、支援により各レベルの課題が達成できる		
3) 中央研修の学びを看護実践に活かすことができるように支援する		
<b>活動内容</b>		
5月6日：平成28年度活動方針について 教育委員会の組織・役割 レベルⅡ～Ⅳのツールの説明 看護研究発表会について 企画委員会		
7月1日：教育面接の進捗状況確認 5、6月の中央研修の報告 7月中央研修指導案の協議・検討 企画委員会		
9月2日：中間評価 7月中央研修報告 9、10、11月中央研修指導案の協議・検討 各部署の問題共有・意見交換（グループワーク） 企画委員会		
11月4日：9、10月中央研修報告 12、1月中央研修指導案の協議・検討 各部署の問題共有・意見交換（グループワーク） 企画委員会		
1月6日：11、12月の中央研修報告 各部署の面接状況確認 今年度の振り返り 企画委員会		
3月3日：各レベルツール評価結果について 次年度への課題の確認 6月、8月、10月、12月各部署の年間活動計画表の報告とまとめ、また10月はナーシングメソッドの活用状況の把握		

<b>看護局 基準検討会</b>	提供する看護を一定の基準に保障するために、看護基準・看護手順の作成や見直しを行う。 また、個々の職員が活用し実践しているか監査し指導する。	
<b>委員長</b> 看護科長補佐 大野佐代子	<b>委員</b> 林 美希、谷村なつみ、田中悠美、山本徹、山口美奈 (庄 珠実)、長谷川歩、障子ゆり恵、奥井のぞみ、 炭田枝美子、葛城綾那、田中千晶、岸本真利子、玉井 恵美、高山知穂美、藤森恵子、北村裕美子、山田和幸	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動内容</b> 活動計画：●標準看護計画の作成と活用 ①未完成の標準看護計画の運用。追加標準看護計画の作成 ②活用状況の調査 運用の修正、追加 ●検査、手術オリエンテーション用紙の統一化 ●看護手順の修正追加 会議開催日：5月24日 7月26日 9月27日 11月22日（記録と合同） 1月24日 標準看護計画は、今年度にて98疾患完成し使用、今後も追加予定にて取り組んでいる。看護過程の展開の問題について、記録委員会と合同委員会の開催を行い、研修会の開催を実施した。昨年度よりの運用のばらつきについては、統一できつつある。今後、急性期から回復期 療養 地域包括病棟への転棟時の運用の統一が望まれる。 看護手順は、修正のあるもの、新規のものについて作成を行い、手順の利用度を調査し浸透を図った。		

<b>看護局 看護師定着・確保 プロジェクト</b>	①職員のモラル効用を目的に、身だしなみや接遇改善をする ②職員の満足度向上を目的に、勤務体制を見直し長時間労働の改善を図る ③職員確保を目的に、情報システムの見直しをする	
<b>委員長</b> 看護主幹 山田みか	<b>委員</b> 伊藤めぐみ、石田絵莉子、戸田佳奈、吉井利香	<b>事務局</b> 看護局
<b>活動方針</b> 1) 職場における接遇・身だしなみの必要性を理解して、主体的に接遇・身だしなみの改善に取り組める 2) 各部署の働きやすい職場作りに関する目標の取り組み状況について共有する 3) 職員確保に繋がるように看護局に関する情報を、効果的な媒体によって発信できる  <b>活動内容</b> 6月 9日 第1回委員会の開催 平成28年度活動方針・計画の説明 接遇・身だしなみに関するアンケートの依頼と実施 ホームページについて各部署に確認 8月18日 第2回委員会開催 アンケートの結果の共有、対策立案 ホームページ更新準備 10月13日 第3回委員会開催 接遇研修について 目標達成取り組みアンケートの実施 12月 8日 第4回委員会開催 目標達成取り組みのアンケート結果の共有と結果を各部署へ周知 ホームページ病院委員会へ参加 2月 9日 第5回委員会開催 平成28年度取り組みのまとめと次年度への課題 ホームページ病院委員会へ参加  その他 病院見学&説明会の開催（4、6、7月計3回） インターンシップの受け入れ		

# V 経営状況

# 1. 平成28年度決算状況

## (1) 経営収支比較

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減率	
収 入	1 入 院 収 益	8,016,335 <sup>千円</sup>	8,021,068 <sup>千円</sup>	△ 4,733 <sup>千円</sup>	99.9%
	入院診療収入	7,787,514	7,778,398	9,116	100.1
	給食料収入	228,821	242,670	△ 13,849	94.3
	2 外 来 収 益	3,590,556	3,589,051	1,505	100.0
	3 その他医業収益	183,366	199,790	△ 16,424	91.8
	4 受取利息配当金	20,421	23,021	△ 2,600	88.7
	5 補 助 金	32,811	38,891	△ 6,080	84.4
	6 一般会計負担金	481,595	493,145	△ 11,550	97.7
	7 患者外給食収益	296	2,160	△ 1,864	13.7
	8 院内保育所収益	4,919	6,953	△ 2,034	70.7
	9 院内売店収益	-	79,342	△ 79,342	皆減
	10 訪問看護ステーション収益	71,662	65,450	6,212	109.5
	11 長期前受金戻入	63,111	75,051	△ 11,940	84.1
	12 その他医業外収益	103,174	90,100	13,074	114.5
収 入 合 計	12,568,246	12,684,022	△ 115,776	99.1	
支 出	13 給 与 費	6,834,349	6,881,184	△ 46,835	99.3
	給 料	2,409,102	2,429,595	△ 20,493	99.2
	諸 手 当	1,846,582	1,860,499	△ 13,917	99.3
	賃 金	1,083,219	1,092,381	△ 9,162	99.2
	そ の 他	1,495,446	1,498,709	△ 3,263	99.8
	14 材 料 費	3,317,606	3,368,663	△ 51,057	98.5
	薬 品 費	1,695,940	1,689,480	6,460	100.4
	診 療 材 料 費	1,491,481	1,548,517	△ 57,036	96.3
	給 食 材 料 費	96,118	98,244	△ 2,126	97.8
	医療消耗備品費	34,067	32,422	1,645	105.1
	15 経 費	1,529,742	1,510,852	18,890	101.3
	16 支払利息及び企業債取扱諸費	259,204	277,612	△ 18,408	93.4
	17 長期前払消費税償却	23,518	24,334	△ 816	96.6
	18 患者外給食材料費	49	2,200	△ 2,151	2.2
	19 院内保育所費	37,564	42,364	△ 4,800	88.7
	20 院内売店費	-	72,225	△ 72,225	皆減
	21 訪問看護ステーション費	64,135	70,124	△ 5,989	91.5
22 その他の支出	1,490,653	1,260,179	230,474	118.3	
23 特別損失	79,964	137,161	△ 57,197	58.3	
支 出 合 計	13,636,784	13,646,898	△ 10,114	99.9	

## (2) 貸借対照表

(平成29年3月31日)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
			円
固 定 資 産	13,778,770,049	固 定 負 債	12,215,501,952
有形固定資産	13,408,658,801	企 業 債	9,613,981,380
土 地	2,975,507,175	引 当 金	2,601,520,572
建 物	17,792,514,200	退職給与引当金	2,420,780,040
建物 減価償却累計額	△ 9,623,697,249	修繕引当金	180,740,532
構 築 物	669,081,006	流 動 負 債	2,762,897,904
構築物 減価償却累計額	△ 357,214,814	企 業 債	1,294,791,271
器械及び備品	6,435,601,149	未 払 金	1,004,325,338
器械及び備品 減価償却累計額	△ 4,499,888,077	引 当 金	409,674,027
車 両	27,547,224	その他流動負債	54,107,268
車両 減価償却累計額	△ 20,000,456	繰 延 収 益	638,431,730
建設仮勘定	9,208,643	長 期 前 受 金	1,383,542,760
投 資	370,111,248	収 益 化 累 計 額	△ 745,111,030
長期貸付金	141,962,949	資 本 金	8,029,120,390
長期前払消費税	199,749,299	剰 余 金	△ 2,972,329,009
その他投資	28,399,000	資 本 剰 余 金	68,688,152
流 動 資 産	6,894,852,918	欠 損 金	3,041,017,161
現 金 預 金	2,902,082,317	減 債 積 立 金	168,300,000
未 収 金	2,062,717,640	建設改良積立金	1,313,000,000
貸倒引当金	△ 21,415,401	当年度未処理 欠 損 金	4,522,317,161
有 価 証 券	1,899,360,000		
貯 蔵 品	52,108,362		
合 計	20,673,622,967	合 計	20,673,622,967

## (3) 経営状況①

(単位：千円)

決算状況	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
総収益	12,568,246	12,684,022	12,840,304	12,207,809	11,907,860	12,583,911
經常収益	12,568,246	12,684,022	12,840,304	12,207,809	11,907,860	12,583,911
医業収益	11,790,257	11,809,909	11,875,096	11,265,816	10,910,243	11,396,623
料金収入	11,606,891	11,610,119	11,660,546	11,043,255	10,664,373	11,116,438
他会計繰入金	481,595	493,145	565,604	580,362	577,849	839,923
特別利益	-	-	-	-	-	-
総費用	13,636,784	13,646,898	15,392,378	12,290,100	12,005,320	12,126,119
經常費用	13,556,820	13,509,737	13,158,577	12,277,266	11,996,127	12,068,637
医業費用	12,696,420	12,598,775	12,212,413	11,517,107	11,173,910	11,304,794
職員給与費	6,834,349	6,881,184	6,538,828	6,272,176	6,322,182	6,282,659
材料費	3,317,606	3,368,663	3,337,115	2,957,873	2,760,745	2,821,703
減価償却費	968,225	759,617	871,347	815,568	590,558	731,440
支払利息	259,204	277,612	297,472	317,658	334,230	354,947
特別損失	79,964	137,161	2,233,801	12,834	9,193	57,482
純利益(損失)	△ 1,068,538	△ 962,876	△ 2,552,074	△ 82,291	△ 97,460	457,792
累積欠損金	4,522,317	3,453,779	2,490,904	0	0	0

## 経営状況②

経営指標	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
総収支比率%	92.16	92.94	83.42	99.33	99.19	103.78	
經常収支比率%	92.71	93.89	97.58	99.43	99.26	104.27	
医業収支比率%	92.86	93.74	97.24	97.82	97.64	100.81	
他会計繰入金対医業収益比率%	4.08	4.18	4.76	5.15	5.30	7.37	
職員給与費対医業収益比率%	57.97	58.27	55.06	55.67	57.95	55.13	
材料費対医業収益比率%	28.14	28.52	28.10	26.26	25.30	24.76	
病床数 (年度末現在)	一般	616	616	624	624	676	
	結核精神伝染						
計	616	616	624	624	624	676	
病床利用率%	63.9	65.0	63.9	63.4	61.6	70.4	
入院患者数 (人)	年延数	143,639	146,568	145,606	144,426	159,766	
	1日平均	394	400	399	396	436	
外来患者数 (人)	年延数	251,136	262,439	271,703	275,051	325,854	
	1日平均	1,033	1,080	1,114	1,127	1,335	
外来入院比率%	174.84	179.06	186.60	190.44	212.34	203.96	
職員1人 1日当たり 患者数(人)	医師	入院	4.3	4.5	4.3	4.3	5.0
		外来	11.2	12.3	12.0	12.1	15.3
	看護師	入院	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9
		外来	2.0	2.1	2.1	2.1	2.6
患者1人1日 当たり診療収入 (円)	入院	55,809	54,726	55,390	53,969	53,768	
	外来	14,297	13,676	13,233	11,812	10,486	
100床当たり 職員数 (人)	医師	14.9	14.3	14.9	14.9	13.8	
	看護部門	84.9	84.1	84.0	84.1	83.0	
	全職員	165.9	163.0	163.1	161.5	157.4	
診療収入 (千円)	入院	8,016,335	8,021,068	8,065,161	7,794,477	7,541,421	
	外来	3,590,556	3,589,051	3,595,385	3,248,778	3,122,952	

(4) 資本的収入及び支出 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収 入

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費 繰越額に係る財源充当額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的収入	854,641,000	21,877,000	876,518,000	0	0	876,518,000
第1項 企業債	164,300,000	0	164,300,000	0	0	164,300,000
第2項 出資金	686,571,000	21,877,000	708,448,000	0	0	708,448,000
第3項 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0
第4項 寄付金	10,000	0	10,000	0	0	10,000
第5項 投資返戻金	3,760,000	0	3,760,000	0	0	3,760,000

決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円	円	
886,196,280	9,678,280	
164,300,000	0	
708,448,000	0	
3,824,280	3,824,280	(283,280)
0	△ 10,000	
9,624,000	5,864,000	

( ) は、仮受消費税

支 出

区 分	予 算 額						
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費 繰越額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	1,681,843,000	0	0	1,681,843,000	745,139,360	0	2,426,982,360
第1項 建設改良費	425,427,000	0	0	425,427,000	745,139,360	0	1,170,566,360
第2項 企業債償還金	1,223,116,000	0	0	1,223,116,000	0	0	1,223,116,000
第3項 投 資	33,290,000	0	0	33,290,000	0	0	33,290,000
第4項 補助金消費税返還金	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,519,859,518円は、損益勘定留保資金で補てんした。

決算額	翌年度繰越額				不用額	備 考
	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継 続 費 繰 越 額	費 次 額	合 計		
円	円	円	円	円	円	円
2,406,055,798	0	0	0	0	20,926,562	
1,161,212,255	0	0	0	0	9,354,105	(84,901,012)
1,223,115,434	0	0	0	0	566	
21,726,949	0	0	0	0	11,563,051	
1,160	0	0	0	0	8,840	

( ) は、仮払消費税

# VI 各種統計資料

# 1. 患者状況

## (1) 一般病棟科別入院患者数

診療科名	28年度初 人	入 院 人	転科増減 人	退 院 人	28年度末 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	52	686	-11	690	37	17,513	48.0	15.5	25.5
神 経 内 科	9	139	-14	125	9	2,489	6.8	2.2	18.9
呼吸器内科	26	685	-24	655	32	8,781	24.1	7.8	13.1
消化器内科	7	299	-6	300		1,616	4.4	1.4	5.4
循環器内科	19	999	-35	967	16	8,434	23.1	7.5	8.6
小 児 科	10	872	-2	878	2	4,616	12.7	4.1	5.3
外 科	18	608	0	598	28	8,750	24.0	7.7	14.5
呼吸器外科	14	505	-8	500	11	5,633	15.4	5.0	11.2
整形外科	77	893	-30	879	61	22,373	61.3	19.8	25.3
形成外科	2	36	0	37	1	260	0.7	0.2	7.1
脳神経外科	29	481	-72	403	35	11,214	30.7	9.9	25.4
心臓血管外科	16	359	9	367	17	5,636	15.4	5.0	15.5
泌尿器科	9	424	-4	420	9	4,062	11.1	3.6	9.6
産 婦 人 科	21	735	1	737	20	7,483	20.5	6.6	10.2
眼 科	6	529	2	534	3	1,612	4.4	1.4	3.0
耳鼻咽喉科	2	184	-19	163	4	1,335	3.7	1.2	7.7
リウマチ膠原病内科	0	33	2	29	6	649	1.8	0.6	20.9
歯科・歯科口腔外科	3	317	0	318	2	816	2.2	0.7	2.6
合 計	320	8,784	-211	8,600	293	113,272	310.3	100	13.0

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。

表には、人間ドックは含んでいません。

在院日数は、延患者数/(入院+退院)×2で算定しています。

療養病棟は、含んでいません( (2) で掲載)。

## (2) 療養病棟科別入院患者数

診療科名	28年度初 人	入 院 人	転 入 人	転 出 人	退 院 人	28年度末 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	2	36	9		49	9	2,635	7.2	12.3	56.1
神 経 内 科	7	1	28	6	45	7	3,969	10.9	18.5	99.2
呼吸器内科	15	12	37		51	2	2,584	7.1	12.0	51.7
消化器内科			7		5		192	0.5	0.9	32.0
循環器内科	1		9	1	7	2	561	1.5	2.6	66.0
小 児 科			1			1	26	0.1	0.1	52.0
外 科	4		10		14	1	454	1.2	2.1	37.8
呼吸器外科	1		20	1	19	1	758	2.1	3.5	37.9
整形外科	13	17	26	5	48	5	3,543	9.7	16.5	73.8
脳神経外科	20	36	70	8	71	24	5,744	15.7	26.8	62.1
心臓血管外科	1		6		5	2	657	1.8	3.1	119.5
産 婦 人 科			1			1	52	0.1	0.2	104.0
泌尿器科			7		7		247	0.7	1.2	35.3
耳鼻咽喉科			2	1		1	31	0.1	0.1	20.7
合 計	64	102	233	22	321	56	21,453	58.8	100	63.3

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。

在院日数は、延患者数/(入院+転入+退院+転出)×2で算定しています。

### (3) 科別外来患者数

診療科名	新来患者数 人	1日平均 人	再来患者数 人	1日平均 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %
内 科	881	3.6	52,339	215.4	53,220	219.0	21.2
神 経 内 科	653	2.7	4,209	17.3	4,862	20.0	1.9
呼吸器内科	1,061	4.4	9,414	38.7	10,475	43.1	4.2
消化器内科	450	1.9	6,541	26.9	6,991	28.8	2.8
循環器内科	902	3.7	17,088	70.3	17,990	74.0	7.2
小 児 科	333	1.4	10,044	41.3	10,377	42.7	4.1
外 科	1,061	4.4	11,249	46.3	12,310	50.7	4.9
呼吸器外科	214	0.9	4,120	17.0	4,334	17.8	1.7
整 形 外 科	1,690	7.0	33,413	137.5	35,103	144.5	14.0
形 成 外 科	392	1.6	2,926	12.0	3,318	13.7	1.3
脳神経外科	475	2.0	6,331	26.1	6,806	28.0	2.7
心臓血管外科	301	3.0	3,447	34.5	3,748	37.5	1.5
皮 膚 科	799	3.3	3,763	15.5	4,562	18.8	1.8
泌 尿 器 科	839	3.5	10,520	43.3	11,359	46.7	4.5
産 婦 人 科	792	3.3	13,457	55.4	14,249	58.6	5.7
眼 科	942	3.9	9,789	40.3	10,731	44.2	4.3
耳鼻咽喉科	1,256	5.2	10,585	43.6	11,841	48.7	4.7
放 射 線 科	156	0.6	8,763	36.1	8,919	36.7	3.6
麻 酔 科	59	1.2	102	2.0	161	3.2	0.1
リウマチ膠原病内科	200	4.0	7,658	153.2	7,858	157.2	3.1
歯科・歯科口腔外科	1,358	5.6	10,564	43.5	11,922	49.1	4.7
救 急 科	14,880	40.8					
合 計	29,694	122.2	236,322	972.5	251,136	1033.5	100

ただし、心臓血管外科は、火曜日、金曜日の外来診療日数100日で除しています。

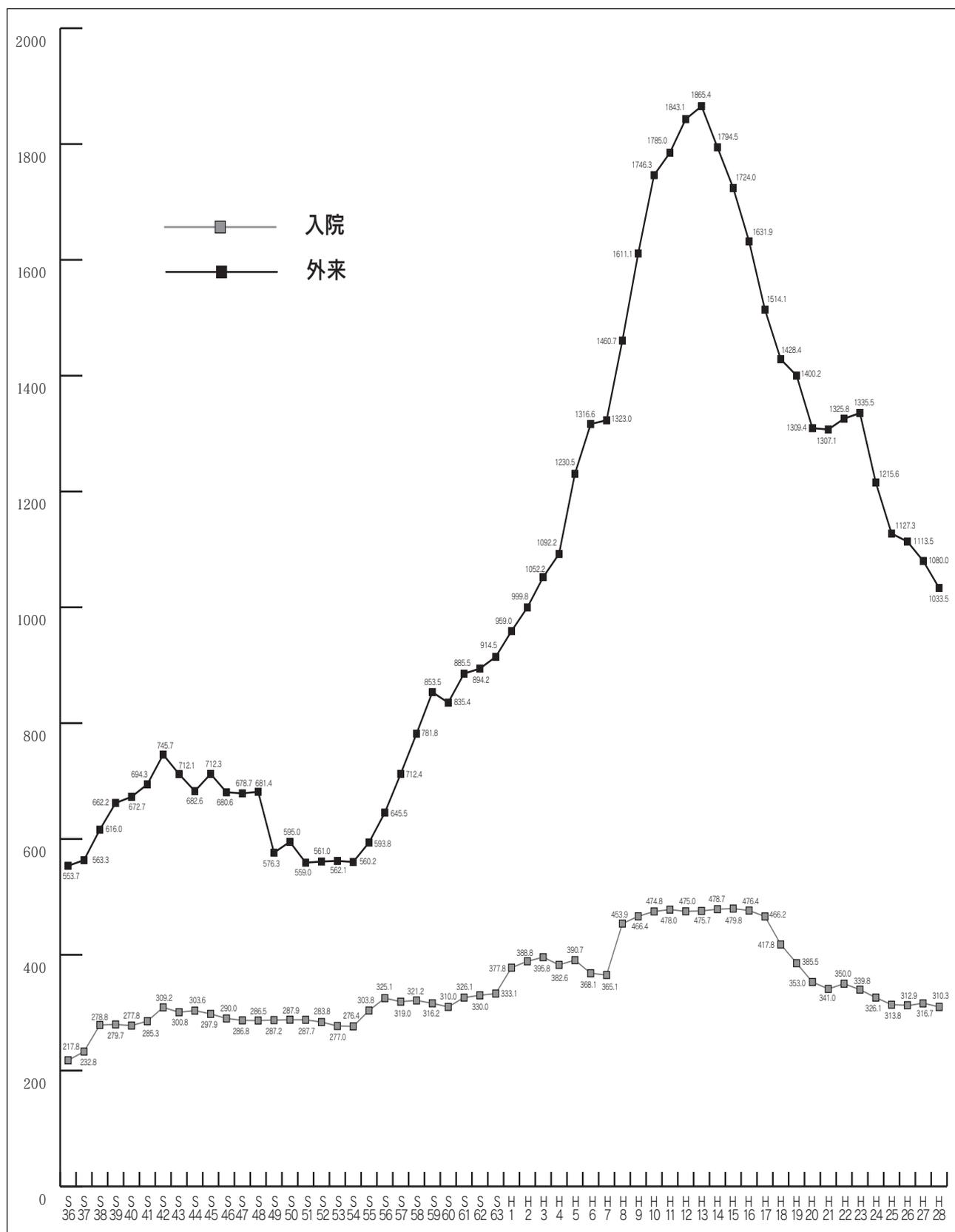
麻酔科は、火曜日の外来診療日50日で除しています。

救急科は、診療日365日で除しています。

一日平均患者数は、診療日数243日で除しています。

新来患者数は、当該診療科を初めて受診した患者数で示しています。

(4) 入院外来患者数の年次推移（一般病棟）



(5) - 1入院地域別患者数統計表 (616床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	447	406	429	608	563	413	528	549	641	658	626	697	6,565
六荘地区	621	624	625	779	872	762	799	900	892	721	698	671	8,964
南郷里地区	588	416	455	486	551	574	527	523	569	597	631	521	6,438
神照地区	845	883	904	995	923	941	731	707	671	850	867	900	10,217
北郷里地区	472	398	452	559	530	431	444	358	500	632	530	511	5,817
西黒田地区	358	258	298	340	367	266	226	228	301	241	110	265	3,258
神田地区	56	90	86	133	92	116	90	95	161	174	145	202	1,440
旧浅井町	685	682	736	990	901	640	844	819	729	671	806	822	9,325
旧虎姫町	402	351	355	379	302	307	190	254	144	352	310	283	3,629
旧湖北町	399	437	482	559	393	393	491	430	471	410	516	524	5,505
旧びわ町	220	312	188	270	398	395	396	536	439	370	344	362	4,230
旧高月町	630	565	564	640	566	409	413	403	512	585	600	673	6,560
旧木之本町	406	460	419	511	481	493	562	543	543	499	517	589	6,023
旧余呉町	233	338	319	225	234	215	160	144	111	161	166	181	2,487
旧西浅井町	202	289	298	311	245	237	204	230	280	291	321	277	3,185
計 長浜市	6,564	6,509	6,610	7,785	7,418	6,592	6,605	6,719	6,964	7,212	7,187	7,478	83,643
(%)	59.4	58.5	59.9	61.8	60.1	60.3	60.6	63.5	62.0	66.2	67.9	65.4	62.1
旧山東町	732	802	783	774	958	937	783	438	582	723	777	649	8,938
旧伊吹町	400	297	280	390	294	223	331	277	391	235	161	291	3,570
旧米原町	1,271	1,146	990	845	970	772	720	837	1,048	816	640	785	10,840
旧近江町	659	864	914	1,126	1,192	928	829	720	556	569	451	799	9,607
計 米原市	3,062	3,109	2,967	3,135	3,414	2,860	2,663	2,272	2,577	2,343	2,029	2,524	32,955
(%)	27.7	27.9	26.9	24.9	27.6	26.2	24.4	21.5	23.0	21.5	19.2	22.1	24.5
彦根市	897	1,054	1,044	1,135	969	917	1,040	1,037	1,176	861	862	963	11,955
(%)	8.1	9.5	9.5	9.0	7.8	8.4	9.5	9.8	10.5	7.9	8.1	8.4	8.9
その他	380	320	275	332	349	406	394	400	302	327	322	304	4,111
(%)	3.4	2.9	2.5	2.6	2.8	3.7	3.6	3.8	2.7	3.0	3.0	2.7	3.1
県内合計	10,903	10,992	10,896	12,387	12,150	10,775	10,702	10,428	11,019	10,743	10,400	11,269	132,664
(%)	98.7	98.7	98.8	98.3	98.4	98.6	98.2	98.5	98.1	98.6	98.3	98.5	98.5
県外合計	147	142	130	213	202	150	197	156	209	158	184	173	2,061
(%)	1.3	1.3	1.2	1.7	1.6	1.4	1.8	1.5	1.9	1.4	1.7	1.5	1.5
総合計	11,050	11,134	11,026	12,600	12,352	10,925	10,899	10,584	11,228	10,901	10,584	11,442	134,725
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成27年度	11,205	10,899	10,880	11,596	11,452	11,031	11,510	11,746	11,825	11,213	12,113	12,051	137,521

\*療養は含まれています。

\*ドックは含まれていません。

\*産後ケアは含まれていません。

(5) - 2 入院地域別患者数統計表 (512床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	405	333	355	551	476	311	411	425	552	563	517	613	5,512
六荘地区	566	587	524	625	697	630	677	685	741	619	615	558	7,524
南郷里地区	455	350	370	412	476	508	487	474	538	552	553	415	5,590
神照地区	671	730	740	813	746	818	674	668	629	776	714	808	8,787
北郷里地区	448	392	378	425	378	324	351	323	449	569	466	448	4,951
西黒田地区	333	258	274	313	329	194	106	118	237	183	110	230	2,685
神田地区	56	90	86	112	69	76	59	59	99	126	117	152	1,101
旧浅井町	625	637	681	944	806	506	673	731	631	547	722	671	8,174
旧虎姫町	284	256	265	356	272	277	160	195	82	303	270	260	2,980
旧湖北町	340	362	362	428	306	308	426	379	408	301	446	486	4,552
旧びわ町	171	236	145	239	367	350	288	387	241	222	214	241	3,101
旧高月町	564	477	448	499	486	407	413	403	464	443	402	496	5,502
旧木之本町	325	398	369	429	416	433	477	487	459	437	446	497	5,173
旧余呉町	157	276	266	198	223	215	160	134	97	161	166	181	2,234
旧西浅井町	173	237	268	285	245	237	204	230	280	291	321	277	3,048
計 長浜市	5,573	5,619	5,531	6,629	6,292	5,594	5,566	5,698	5,907	6,093	6,079	6,333	70,914
(%)	60.5	60.0	59.8	61.9	60.7	60.8	60.9	64.0	62.5	66.4	68.7	65.7	62.6
旧山東町	602	671	646	683	824	855	691	390	524	613	697	565	7,761
旧伊吹町	338	263	250	374	283	221	261	185	286	186	93	229	2,969
旧米原町	1,032	910	788	614	697	507	521	688	850	704	488	605	8,404
旧近江町	410	607	734	882	888	668	613	560	389	438	335	667	7,191
計 米原市	2,382	2,451	2,418	2,553	2,692	2,251	2,086	1,823	2,049	1,941	1,613	2,066	26,325
(%)	25.9	26.2	26.1	23.8	26.0	24.5	22.8	20.5	21.7	21.1	18.2	21.4	23.2
彦根市	773	910	929	1,031	867	802	916	877	1,042	783	782	884	10,596
(%)	8.4	9.7	10.0	9.6	8.4	8.7	10.0	9.9	11.0	8.5	8.8	9.2	9.4
その他	340	270	245	289	318	397	369	348	240	224	221	216	3,477
(%)	3.7	2.9	2.6	2.7	3.1	4.3	4.0	3.9	2.5	2.4	2.5	2.2	3.1
県内合計	9,068	9,250	9,123	10,502	10,169	9,044	8,937	8,746	9,238	9,041	8,695	9,499	111,312
(%)	98.5	98.8	98.6	98.0	98.1	98.4	97.8	98.2	97.8	98.5	98.2	98.5	98.3
県外合計	141	117	130	213	202	150	197	156	209	141	158	146	1,960
(%)	1.5	1.2	1.4	2.0	1.9	1.6	2.0	1.8	2.2	1.5	1.8	1.5	1.7
総合計	9,209	9,367	9,253	10,715	10,371	9,194	9,134	8,902	9,447	9,182	8,853	9,645	113,272
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成27年度	9,335	9,081	9,195	9,884	9,751	9,182	9,651	10,124	9,967	9,388	10,215	10,124	115,897

\* ドックは含まれていません。

\* 産後ケアは含まれていません。

## (5) - 3 入院地域別患者数統計表 (療養 104床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	42	73	74	57	87	102	117	124	89	95	109	84	1,053
六荘地区	55	37	101	154	175	132	122	215	151	102	83	113	1,440
南郷里地区	133	66	85	74	75	66	40	49	31	45	78	106	848
神照地区	174	153	164	182	177	123	57	39	42	74	153	92	1,430
北郷里地区	24	6	74	134	152	107	93	35	51	63	64	63	866
西黒田地区	25	0	24	27	38	72	120	110	64	58	0	35	573
神田地区	0	0	0	21	23	40	31	36	62	48	28	50	339
旧浅井町	60	45	55	46	95	134	171	88	98	124	84	151	1,151
旧虎姫町	118	95	90	23	30	30	30	59	62	49	40	23	649
旧湖北町	59	75	120	131	87	85	65	51	63	109	70	38	953
旧びわ町	49	76	43	31	31	45	108	149	198	148	130	121	1,129
旧高月町	66	88	116	141	80	2	0	0	48	142	198	177	1,058
旧木之本町	81	62	50	82	65	60	85	56	84	62	71	92	850
旧余呉町	76	62	53	27	11	0	0	10	14	0	0	0	253
旧西浅井町	29	52	30	26	0	0	0	0	0	0	0	0	137
計 長浜市	991	890	1,079	1,156	1,126	998	1,039	1,021	1,057	1,119	1,108	1,145	12,729
(%)	53.8	50.4	60.9	61.3	56.8	57.7	58.9	60.7	59.3	65.1	64.0	63.7	59.3
旧山東町	130	131	137	91	134	82	92	48	58	110	80	84	1,177
旧伊吹町	62	34	30	16	11	2	70	92	105	49	68	62	601
旧米原町	239	236	202	231	273	265	199	149	198	112	152	180	2,436
旧近江町	249	257	180	244	304	260	216	160	167	131	116	132	2,416
計 米原市	680	658	549	582	722	609	577	449	528	402	416	458	6,630
(%)	36.9	37.2	31.0	30.9	36.4	35.2	32.7	26.7	29.6	23.4	24.0	25.5	30.9
彦根市	124	144	115	104	102	115	124	160	134	78	80	79	1,359
(%)	6.7	8.1	6.5	5.5	5.1	6.6	7.0	9.5	7.5	4.5	4.6	4.4	6.3
その他	40	50	30	43	31	9	25	52	62	103	101	88	634
(%)	2.2	2.8	1.7	2.3	1.6	0.5	1.4	3.1	3.5	6.0	5.8	4.9	3.0
県内合計	1,835	1,742	1,773	1,885	1,981	1,731	1,765	1,682	1,781	1,702	1,705	1,770	21,352
(%)	99.7	98.6	100	100	100	100	100	100	100	99	98.5	98.5	99.5
県外合計	6	25	0	0	0	0	0	0	0	17	26	27	101
(%)	0.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.5	1.5	0.5
総合計	1,841	1,767	1,773	1,885	1,981	1,731	1,765	1,682	1,781	1,719	1,731	1,797	21,453
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

\* ドックは含まれていません。

\* 産後ケアは含まれていません。

(5) - 4 入院地域別患者数統計表 (医療 52床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	39	21	20	22	17	12	21	34	32	68	66	22	374
六 荘 地 区	9	6	24	46	75	12	20	137	89	62	44	27	551
南郷里地区	133	66	63	52	75	49	14	19	0	0	22	45	538
神 照 地 区	56	3	2	5	12	10	14	30	6	23	114	35	310
北郷里地区	9	0	3	41	61	30	31	4	25	32	36	60	332
西黒田地区	25	0	24	27	38	49	84	50	31	29	0	11	368
神 田 地 区	0	0	0	21	13	10	0	6	31	31	28	31	171
旧 浅 井 町	60	38	25	36	57	50	95	55	73	93	50	70	702
旧 虎 姫 町	36	33	41	9	30	30	3	29	31	18	28	23	311
旧 湖 北 町	26	22	30	34	15	5	5	22	32	56	35	38	320
旧 び わ 町	49	76	43	31	31	35	31	59	82	41	28	31	537
旧 高 月 町	15	48	50	96	68	2	0	0	28	81	142	114	644
旧 木 之 本 町	62	62	39	51	34	30	56	56	53	31	43	62	579
旧 余 呉 町	0	0	20	27	11	0	0	0	0	0	0	0	58
旧 西 浅 井 町	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
計 長 浜 市	519	396	384	498	537	324	374	501	513	565	636	569	5,816
(%)	58.6	50.1	53.3	58.4	57.4	46.2	49.7	59.4	58.0	68.6	69.7	62.9	58.1
旧 山 東 町	8	19	40	19	32	47	60	30	31	6	0	19	311
旧 伊 吹 町	32	25	0	0	4	0	20	32	60	18	28	31	250
旧 米 原 町	78	73	81	77	124	154	111	91	109	62	85	118	1,163
旧 近 江 町	180	181	150	197	196	147	131	114	105	105	96	71	1,673
計 米 原 市	298	298	271	293	356	348	322	267	305	191	209	239	3,397
(%)	33.6	37.7	37.6	34.3	38.1	49.6	42.8	31.6	34.5	23.2	22.9	26.4	33.9
彦 根 市	34	52	65	62	42	30	31	46	36	31	40	48	517
(%)	3.8	6.6	9.0	7.3	4.5	4.3	4.1	5.5	4.1	3.8	4.4	5.3	5.2
そ の 他	30	19	0	0	0	0	25	30	31	31	28	31	225
(%)	3.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.6	3.5	3.8	3.1	3.4	2.2
県 内 合 計	881	765	720	853	935	702	752	844	885	818	913	887	9,955
(%)	99.4	96.8	100	100	100	100	100	100	100	99.3	100	98.0	99.5
県 外 合 計	5	25	0	0	0	0	0	0	0	6	0	18	54
(%)	0.6	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	2.0	0.5
総 合 計	886	790	720	853	935	702	752	844	885	824	913	905	10,009
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(5) - 5 入院地域別患者数統計表 (回復期リハビリ 52床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	3	52	54	35	70	90	96	90	57	27	43	62	679
六 荘 地 区	46	31	77	108	100	120	102	78	62	40	39	86	889
南郷里地区	0	0	22	22	0	17	26	30	31	45	56	61	310
神 照 地 区	118	150	162	177	165	113	43	9	36	51	39	57	1,120
北郷里地区	15	6	71	93	91	77	62	31	26	31	28	3	534
西黒田地区	0	0	0	0	0	23	36	60	33	29	0	24	205
神 田 地 区	0	0	0	0	10	30	31	30	31	17	0	19	168
旧 浅 井 町	0	7	30	10	38	84	76	33	25	31	34	81	449
旧 虎 姫 町	82	62	49	14	0	0	27	30	31	31	12	0	338
旧 湖 北 町	33	53	90	97	72	80	60	29	31	53	35	0	633
旧 び わ 町	0	0	0	0	0	10	77	90	116	107	102	90	592
旧 高 月 町	51	40	66	45	12	0	0	0	20	61	56	63	414
旧 木 之 本 町	19	0	11	31	31	30	29	0	31	31	28	30	271
旧 余 呉 町	76	62	33	0	0	0	0	10	14	0	0	0	195
旧 西 浅 井 町	29	31	30	26	0	0	0	0	0	0	0	0	116
計 長 浜 市	472	494	695	658	589	674	665	520	544	554	472	576	6,913
(%)	49.4	50.6	66.0	63.8	56.3	65.5	65.6	62.1	60.7	61.9	57.7	64.6	60.4
旧 山 東 町	122	112	97	72	102	35	32	18	27	104	80	65	866
旧 伊 吹 町	30	9	30	16	7	2	50	60	45	31	40	31	351
旧 米 原 町	161	163	121	154	149	111	88	58	89	50	67	62	1,273
旧 近 江 町	69	76	30	47	108	113	85	46	62	26	20	61	743
計 米 原 市	382	360	278	289	366	261	255	182	223	211	207	219	3,233
(%)	40.0	36.8	26.4	28.0	35.0	25.4	25.2	21.7	24.9	23.6	25.3	24.6	28.3
彦 根 市	90	92	50	42	60	85	93	114	98	47	40	31	842
(%)	9.4	9.4	4.7	4.1	5.7	8.3	9.2	13.6	10.9	5.3	4.9	3.5	7.4
そ の 他	10	31	30	43	31	9	0	22	31	72	73	57	409
(%)	1.0	3.2	2.8	4.2	3.0	0.9	0.0	2.6	3.5	8.0	8.9	6.4	3.6
県 内 合 計	954	977	1,053	1,032	1,046	1,029	1,013	838	896	884	792	883	11,397
(%)	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	98.8	96.8	99.0	99.6
県 外 合 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	26	9	47
(%)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.2	1.0	0.4
総 合 計	955	977	1,053	1,032	1,046	1,029	1,013	838	896	895	818	892	11,444
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

\*ドックは含まれていません。  
\*産後ケアは含まれていません。

(6) - 1 入院年代別患者数統計表 (616床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	116	82	116	218	138	137	154	110	178	111	90	78	1,528
(%)	1.0	0.7	1.1	1.7	1.1	1.3	1.4	1.0	1.6	1.0	0.9	0.7	1.1
1 歳	86	111	58	51	57	56	54	51	49	20	40	28	661
(%)	0.8	1.0	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.2	0.4	0.2	0.5
2歳～5歳	126	116	117	210	138	164	156	129	100	80	80	72	1,488
(%)	1.1	1.0	1.1	1.7	1.1	1.5	1.4	1.2	0.9	0.7	0.8	0.6	1.1
6歳～9歳	40	70	61	47	86	46	89	26	55	34	7	14	575
(%)	0.4	0.6	0.6	0.4	0.7	0.4	0.8	0.2	0.5	0.3	0.1	0.1	0.4
10歳～14歳	37	32	59	69	45	62	30	49	39	67	64	83	636
(%)	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.6	0.3	0.5	0.3	0.6	0.6	0.7	0.5
15歳～19歳	43	66	30	84	52	27	47	15	25	33	18	79	519
(%)	0.4	0.6	0.3	0.7	0.4	0.2	0.4	0.1	0.2	0.3	0.2	0.7	0.4
20歳～29歳	230	217	195	241	199	174	169	302	253	204	182	314	2,680
(%)	2.1	1.9	1.8	1.9	1.6	1.6	1.6	2.9	2.3	1.9	1.7	2.7	2.0
30歳～39歳	493	592	672	509	338	346	394	469	658	520	461	579	6,031
(%)	4.5	5.3	6.1	4.0	2.7	3.2	3.6	4.4	5.9	4.8	4.4	5.1	4.5
40歳～49歳	346	362	375	405	489	375	252	253	370	407	415	491	4,540
(%)	3.1	3.3	3.4	3.2	4.0	3.4	2.3	2.4	3.3	3.7	3.9	4.3	3.4
50歳～59歳	677	749	682	735	772	788	818	782	677	788	918	914	9,300
(%)	6.1	6.7	6.2	5.8	6.3	7.2	7.5	7.4	6.0	7.2	8.7	8.0	6.9
60歳～64歳	607	692	679	799	841	661	824	635	717	673	580	584	8,292
(%)	5.5	6.2	6.2	6.3	6.8	6.1	7.6	6.0	6.4	6.2	5.5	5.1	6.2
65歳～69歳	1,352	1,354	1,324	1,549	1,521	1,167	1,248	1,313	1,310	1,241	1,087	1,280	15,746
(%)	12.2	12.2	12.0	12.3	12.3	10.7	11.5	12.4	11.7	11.4	10.3	11.2	11.7
70歳～79歳	3,146	2,924	2,931	3,443	3,583	3,257	3,114	3,038	3,182	3,109	2,959	2,895	37,581
(%)	28.5	26.3	26.6	27.3	29.0	29.8	28.6	28.7	28.3	28.5	28.0	25.3	27.9
80歳～	3,751	3,767	3,727	4,240	4,093	3,665	3,550	3,412	3,615	3,614	3,683	4,031	45,148
(%)	33.9	33.8	33.8	33.7	33.1	33.5	32.6	32.2	32.2	33.2	34.8	35.2	33.5
合 計	11,050	11,134	11,026	12,600	12,352	10,925	10,899	10,584	11,228	10,901	10,584	11,442	134,725
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成27年度	11,205	10,899	10,880	11,596	11,452	11,031	11,510	11,746	11,825	11,213	12,113	12,051	137,521

\*療養は含まれています。

\*ドックは含まれていません。

\*産後ケアは含まれていません。

(6) - 2 入院年代別患者数統計表 (512床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	116	82	116	218	138	137	154	110	178	111	90	78	1,528
(%)	1.3	0.9	1.3	2.0	1.3	1.5	1.7	1.2	1.9	1.2	1.0	0.8	1.3
1 歳	86	111	58	51	57	56	54	51	49	20	40	28	661
(%)	0.9	1.2	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.2	0.5	0.3	0.6
2歳～5歳	126	116	117	210	138	164	156	129	100	80	80	72	1,488
(%)	1.4	1.2	1.3	2.0	1.3	1.8	1.7	1.4	1.1	0.9	0.9	0.7	1.3
6歳～9歳	40	70	61	47	86	46	89	26	55	34	7	14	575
(%)	0.4	0.7	0.7	0.4	0.8	0.5	1.0	0.3	0.6	0.4	0.1	0.1	0.5
10歳～14歳	37	32	59	69	45	62	30	49	39	67	64	57	610
(%)	0.4	0.3	0.6	0.6	0.4	0.7	0.3	0.6	0.4	0.7	0.7	0.6	0.5
15歳～19歳	43	66	30	84	52	27	47	15	25	33	18	79	519
(%)	0.5	0.7	0.3	0.8	0.5	0.3	0.5	0.2	0.3	0.4	0.2	0.8	0.5
20歳～29歳	230	217	195	241	199	174	169	302	253	204	182	314	2,680
(%)	2.5	2.3	2.1	2.2	1.9	1.9	1.9	3.4	2.7	2.2	2.1	3.3	2.4
30歳～39歳	483	561	640	492	338	346	394	460	627	489	433	531	5,794
(%)	5.2	6.0	6.9	4.6	3.3	3.8	4.3	5.2	6.6	5.3	4.9	5.5	5.1
40歳～49歳	261	275	306	321	402	334	244	239	316	369	387	453	3,907
(%)	2.8	2.9	3.3	3.0	3.9	3.6	2.7	2.7	3.3	4.0	4.4	4.7	3.4
50歳～59歳	550	655	595	681	715	758	787	764	671	688	769	788	8,421
(%)	6.0	7.0	6.4	6.4	6.9	8.2	8.6	8.6	7.1	7.5	8.7	8.2	7.4
60歳～64歳	604	674	664	736	776	583	775	625	703	643	516	522	7,821
(%)	6.6	7.2	7.2	6.9	7.5	6.3	8.5	7.0	7.4	7.0	5.8	5.4	6.9
65歳～69歳	1,192	1,192	1,154	1,318	1,253	973	1,002	1,081	1,079	1,024	900	1,020	13,188
(%)	12.9	12.7	12.5	12.3	12.1	10.6	11.0	12.1	11.4	11.2	10.2	10.6	11.6
70歳～79歳	2,640	2,474	2,397	2,904	3,094	2,732	2,498	2,506	2,580	2,567	2,471	2,453	31,316
(%)	28.7	26.4	25.9	27.1	29.8	29.7	27.3	28.2	27.3	28.0	27.9	25.4	27.6
80歳～	2,801	2,842	2,861	3,343	3,078	2,802	2,735	2,545	2,772	2,853	2,896	3,236	34,764
(%)	30.4	30.3	30.9	31.2	29.7	30.5	29.9	28.6	29.3	31.1	32.7	33.6	30.7
合 計	9,209	9,367	9,253	10,715	10,371	9,194	9,134	8,902	9,447	9,182	8,853	9,645	113,272
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成27年度	9,335	9,081	9,195	9,884	9,751	9,182	9,651	10,124	9,967	9,388	10,215	10,124	115,897

\* ドックは含まれていません。

\* 産後ケアは含まれていません。

(6) - 3 入院年代別患者数統計表 (療養 104床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
0 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6歳～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10歳～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15歳～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳～39歳	10	31	32	17	0	0	0	9	31	31	28	48	237
(%)	0.5	1.8	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	1.7	1.8	1.6	2.7	1.1
40歳～49歳	85	87	69	84	87	41	8	14	54	38	28	38	633
(%)	4.6	4.9	3.9	4.5	4.4	2.4	0.5	0.8	3.0	2.2	1.6	2.1	3.0
50歳～59歳	127	94	87	54	57	30	31	18	6	100	149	126	879
(%)	6.9	5.3	4.9	2.9	2.9	1.7	1.8	1.1	0.3	5.8	8.6	7.1	4.1
60歳～64歳	3	18	15	63	65	78	49	10	14	30	64	62	471
(%)	0.2	1.0	0.8	3.3	3.3	4.5	2.8	0.6	0.8	1.7	3.7	3.5	2.2
65歳～69歳	160	162	170	231	268	194	246	232	231	217	187	260	2,558
(%)	8.7	9.2	9.6	12.3	13.5	11.2	13.9	13.8	13.0	12.6	10.8	14.7	11.9
70歳～79歳	506	450	534	539	489	525	616	532	602	542	488	442	6,265
(%)	27.5	25.5	30.1	28.6	24.7	30.3	34.9	31.6	33.8	31.5	28.2	25.0	29.2
80歳～	950	925	866	897	1,015	863	815	867	843	761	787	795	10,384
(%)	51.6	52.3	48.8	47.6	51.2	49.9	46.2	51.5	47.3	44.3	45.5	44.9	48.5
合 計	1,841	1,767	1,773	1,885	1,981	1,731	1,765	1,682	1,781	1,719	1,731	1,771	21,427
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

\* ドックは含まれていません。

\* 産後ケアは含まれていません。

(6) - 4 入院年代別患者数統計表 (医療 52床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20歳~29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳~39歳	0	0	2	0	0	0	0	6	31	31	28	31	129
(%)	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	3.5	3.8	3.1	3.4	1.3
40歳~49歳	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17
(%)	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2
50歳~59歳	30	19	0	1	26	0	0	0	0	1	43	33	153
(%)	3.4	2.4	0.0	0.1	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	4.7	3.6	1.5
60歳~64歳	0	0	0	20	3	18	18	0	0	8	53	31	151
(%)	0.0	0.0	0.0	2.3	0.3	2.6	2.4	0.0	0.0	1.0	5.8	3.4	1.5
65歳~69歳	78	41	61	116	147	78	90	109	113	87	45	45	1,010
(%)	8.8	5.2	8.5	13.6	15.7	11.1	12.0	12.9	12.8	10.6	4.9	5.0	10.1
70歳~79歳	201	229	199	203	180	202	233	194	233	211	232	223	2,540
(%)	22.7	29.0	27.6	23.8	19.3	28.8	31.0	23.0	26.3	25.6	25.4	24.6	25.4
80歳~	564	501	458	513	579	404	411	535	508	486	512	538	6,009
(%)	63.7	63.4	63.6	60.1	61.9	57.5	54.7	63.4	57.4	59.0	56.1	59.4	60.0
合 計	886	790	720	853	935	702	752	844	885	824	913	905	10,009
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(6) - 5 入院年代別患者数統計表 (回復期リハビリ 52床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15歳~19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳~29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳~39歳	10	31	30	17	0	0	0	3	0	0	0	17	108
(%)	1.0	3.2	2.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.9
40歳~49歳	72	87	69	84	87	41	8	14	54	38	28	34	616
(%)	7.5	8.9	6.6	8.1	8.3	4.0	0.8	1.7	6.0	4.2	3.4	3.9	5.4
50歳~59歳	97	75	87	53	31	30	31	18	6	99	106	93	726
(%)	10.2	7.7	8.3	5.1	3.0	2.9	3.1	2.1	0.7	11.1	13.0	10.7	6.4
60歳~64歳	3	18	15	43	62	60	31	10	14	22	11	31	320
(%)	0.3	1.8	1.4	4.2	5.9	5.8	3.1	1.2	1.6	2.5	1.3	3.6	2.8
65歳~69歳	82	121	109	115	121	116	156	123	118	130	142	215	1,548
(%)	8.6	12.4	10.4	11.1	11.6	11.3	15.4	14.7	13.2	14.5	17.4	24.8	13.6
70歳~79歳	305	221	335	336	309	323	383	338	369	331	256	219	3,725
(%)	31.9	22.6	31.8	32.6	29.5	31.4	37.8	40.3	41.2	37.0	31.3	25.3	32.6
80歳~	386	424	408	384	436	459	404	332	335	275	275	257	4,375
(%)	40.4	43.4	38.7	37.2	41.7	44.6	39.9	39.6	37.4	30.7	33.6	29.7	38.3
合 計	955	977	1,053	1,032	1,046	1,029	1,013	838	896	895	818	866	11,418
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

\*ドックは含まれていません。

\*産後ケアは含まれていません。

(7) 外来地域別患者数統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	1,042	956	1,124	1,026	1,049	934	1,020	1,010	968	1,038	969	1,081	12,217
六荘地区	1,942	1,839	2,066	2,039	2,132	1,877	1,850	1,876	1,868	1,820	1,694	1,969	22,972
南郷里地区	1,270	1,246	1,367	1,295	1,404	1,274	1,235	1,204	1,248	1,222	1,157	1,243	15,165
神照地区	1,834	1,753	1,950	1,807	1,894	1,867	1,876	1,825	1,713	1,681	1,622	1,786	21,608
北郷里地区	709	745	720	653	700	675	662	722	752	719	696	812	8,565
西黒田地区	409	381	451	433	414	404	423	411	429	374	369	489	4,987
神田地区	250	252	232	222	198	200	228	215	235	240	242	220	2,734
旧浅井町	1,337	1,347	1,458	1,354	1,400	1,343	1,387	1,407	1,392	1,339	1,283	1,316	16,363
旧虎姫町	610	650	685	655	657	551	572	586	601	581	502	650	7,300
旧湖北町	777	776	850	832	868	821	831	847	783	791	768	826	9,770
旧びわ町	612	629	704	657	689	628	650	698	710	604	582	734	7,897
旧高月町	901	961	1,100	972	1,027	996	975	970	983	951	978	998	11,812
旧木之本町	697	667	782	685	746	769	771	737	778	674	706	689	8,701
旧余呉町	319	321	315	309	265	268	231	251	259	212	255	259	3,264
旧西浅井町	321	311	361	305	352	331	345	389	306	339	284	369	4,013
計 長浜市	13,030	12,834	14,165	13,244	13,795	12,938	13,056	13,148	13,025	12,585	12,107	13,441	157,368
(%)	62.6	62.1	62.6	62.0	61.9	61.5	62.7	62.9	62.8	64.5	63.8	62.9	62.7
旧山東町	1,492	1,552	1,701	1,550	1,764	1,631	1,582	1,529	1,514	1,365	1,423	1,542	18,645
旧伊吹町	628	590	695	676	646	590	559	549	599	499	505	587	7,123
旧米原町	1,573	1,579	1,695	1,624	1,634	1,542	1,507	1,492	1,506	1,316	1,295	1,462	18,225
旧近江町	1,237	1,267	1,345	1,360	1,372	1,348	1,292	1,343	1,312	1,189	1,105	1,303	15,473
計 米原市	4,930	4,988	5,436	5,210	5,416	5,111	4,940	4,913	4,931	4,369	4,328	4,894	59,466
(%)	23.7	24.1	24.0	24.4	24.3	24.3	23.7	23.5	23.8	22.4	22.8	22.9	23.7
彦根市	2,124	2,160	2,245	2,164	2,210	2,161	2,089	2,100	1,989	1,813	1,779	2,185	25,019
(%)	10.2	10.4	9.9	10.1	9.9	10.3	10.0	10.0	9.6	9.3	9.4	10.2	10.0
その他	539	535	597	556	622	621	560	583	611	503	532	597	6,856
(%)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.8	3.0	2.7	2.8	2.9	2.6	2.8	2.8	2.7
県内合計	20,623	20,517	22,443	21,174	22,043	20,831	20,645	20,744	20,556	19,270	18,746	21,117	248,709
(%)	99.1	99.2	99.2	99.2	98.8	99.0	99.1	99.2	99.0	98.7	98.7	98.9	99.0
県外合計	180	158	181	175	259	204	184	165	200	246	238	237	2,427
(%)	0.9	0.8	0.8	0.8	1.2	1.0	0.9	0.8	1.0	1.3	1.3	1.1	1.0
総合計	20,803	20,675	22,624	21,349	22,302	21,035	20,829	20,909	20,756	19,516	18,984	21,354	251,136
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成27年度	22,061	20,414	22,996	23,824	21,401	21,657	22,560	20,862	22,040	20,273	21,185	23,166	262,439

\* ドックは含まれていません。

(8) 外来年代別患者数統計表

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	176	189	210	155	152	147	151	176	162	135	128	125	1,906
(%)	0.8	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.8
1 歳	145	168	189	173	154	135	126	120	116	91	108	127	1,652
(%)	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7
2歳～5歳	361	435	429	411	388	402	381	397	415	318	319	270	4,526
(%)	1.7	2.1	1.9	1.9	1.7	1.9	1.8	1.9	2.0	1.6	1.7	1.3	1.8
6歳～9歳	206	257	252	278	296	184	222	258	277	245	229	255	2,959
(%)	1.0	1.2	1.1	1.3	1.3	0.9	1.1	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2
10歳～14歳	195	220	238	265	275	217	227	227	236	232	200	235	2,767
(%)	0.9	1.1	1.1	1.2	1.2	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1
15歳～19歳	218	212	250	237	330	239	252	205	223	243	203	282	2,894
(%)	1.0	1.0	1.1	1.1	1.5	1.1	1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2
20歳～29歳	635	624	687	676	719	709	694	670	667	681	639	687	8,088
(%)	3.1	3.0	3.0	3.2	3.2	3.4	3.3	3.2	3.2	3.5	3.4	3.2	3.2
30歳～39歳	1,180	1,225	1,243	1,146	1,222	1,115	1,134	1,158	1,167	1,098	1,020	1,078	13,786
(%)	5.7	5.9	5.5	5.4	5.5	5.3	5.4	5.5	5.6	5.6	5.4	5.0	5.5
40歳～49歳	1,535	1,490	1,687	1,683	1,695	1,644	1,554	1,690	1,704	1,576	1,523	1,696	19,477
(%)	7.4	7.2	7.5	7.9	7.6	7.8	7.5	8.1	8.2	8.1	8.0	7.9	7.8
50歳～59歳	2,262	2,370	2,553	2,301	2,448	2,352	2,380	2,336	2,349	2,221	2,211	2,362	28,145
(%)	10.9	11.5	11.3	10.8	11.0	11.2	11.4	11.2	11.3	11.4	11.6	11.1	11.2
60歳～64歳	1,720	1,585	1,814	1,708	1,886	1,746	1,732	1,774	1,642	1,576	1,458	1,652	20,293
(%)	8.3	7.7	8.0	8.0	8.5	8.3	8.3	8.5	7.9	8.1	7.7	7.7	8.1
65歳～69歳	2,795	2,816	3,078	3,012	2,876	2,857	3,024	2,807	2,785	2,546	2,553	2,899	34,048
(%)	13.4	13.6	13.6	14.1	12.9	13.6	14.5	13.4	13.4	13.0	13.4	13.6	13.6
70歳～79歳	5,312	5,329	5,863	5,451	5,755	5,477	5,313	5,331	5,350	5,178	5,101	5,770	65,230
(%)	25.5	25.8	25.9	25.5	25.8	26.0	25.5	25.5	25.8	26.5	26.9	27.0	26.0
80歳～	4,063	3,755	4,131	3,853	4,106	3,811	3,639	3,760	3,663	3,376	3,292	3,916	45,365
(%)	19.5	18.2	18.3	18.0	18.4	18.1	17.5	18.0	17.6	17.3	17.3	18.3	18.1
合 計	20,803	20,675	22,624	21,349	22,302	21,035	20,829	20,909	20,756	19,516	18,984	21,354	251,136
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成27年度	22,061	20,414	22,996	23,824	21,401	21,657	22,560	20,862	22,040	20,273	21,185	23,166	262,439

\* ドックは含まれていません。

(9) 科別月別入院退院数

(単位：人)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入院	退院												
内科	63	61	54	52	54	59	75	59	59	61	46	53	54	54
血液内科	8	6	5	8	11	10	8	10	5	10	10	11	14	10
腎臓代謝内科	55	53	49	44	41	47	67	49	52	50	35	41	39	44
神経内科	11	13	15	13	15	14	13	12	9	9	9	7	9	12
呼吸器内科	52	55	58	61	60	57	64	52	48	51	49	57	53	37
消化器内科	17	19	32	29	34	35	30	29	22	19	19	23	32	28
循環器内科	84	86	82	61	105	101	76	81	67	68	63	61	77	77
小児科	86	86	103	98	81	79	85	88	61	63	87	81	83	87
外科	53	46	53	51	61	59	58	54	61	62	44	48	42	49
呼吸器外科	40	47	43	37	41	43	48	36	50	42	37	49	43	35
整形外科	75	94	70	63	95	79	93	85	77	92	80	78	73	70
形成外科	2	4	4	3	3	3	3	3	3	5	1	1	4	2
脳神経外科	34	36	43	26	51	48	38	35	41	31	33	33	40	35
心臓血管外科	31	37	30	30	39	37	33	38	31	24	28	30	24	28
泌尿器科	32	31	38	39	35	32	38	39	35	36	36	32	35	38
産婦人科	56	57	59	54	49	49	51	58	73	70	59	65	65	66
眼	36	41	44	38	56	58	39	43	57	57	37	33	48	52
耳鼻咽喉科	17	14	12	10	18	18	16	11	23	20	8	8	13	15
膠原病・リウマチ内科	3	3	3	1	1	2	3	4	0	2	1	0	2	2
歯科口腔外科	20	23	25	22	32	33	35	35	31	31	26	24	27	28
小計	712	753	768	688	830	806	798	762	748	743	663	683	724	715
健診センター	1	1	5	5	3	3	2	2	5	5	3	3	4	4
産後ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	713	754	773	693	833	809	800	764	753	748	666	686	728	719
医療R2	4	20	3	15	5	19	3	16	5	15	2	25	5	9
回リハR3	4	14	4	8	5	11	4	13	6	10	3	8	1	11
小計	8	34	7	23	10	30	7	29	11	25	5	33	6	20
健診センター療養	0	0	4	4	5	5	5	5	7	6	3	4	3	3
合計	8	34	11	27	15	35	12	34	18	31	8	37	9	23
総合計	721	788	784	720	848	844	812	798	771	779	674	723	737	742

	11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	入院	退院	入院	退院								
内科	54	56	57	56	65	59	47	55	58	65	686	690
血液内科	5	14	8	7	8	11	6	5	7	6	95	108
腎臓代謝内科	49	42	49	49	55	48	41	49	49	57	581	573
神経内科	11	5	17	15	9	11	4	5	17	9	139	125
呼吸器内科	54	48	62	71	70	53	51	58	64	55	685	655
消化器内科	36	33	26	33	40	39	11	13	0	0	299	300
循環器内科	102	86	82	102	95	79	87	75	79	90	999	967
小児科	65	69	75	82	58	47	40	43	48	55	872	878
外科	46	46	46	56	49	37	36	38	59	52	608	598
呼吸器外科	43	45	40	49	52	48	36	41	32	28	505	500
整形外科	71	80	62	75	76	44	50	59	71	60	893	879
形成外科	6	5	5	7	0	0	2	1	3	3	36	37
脳神経外科	35	32	40	29	37	25	45	34	44	39	481	403
心臓血管外科	27	26	32	29	29	26	28	33	27	29	359	367
泌尿器科	34	29	35	46	39	29	32	29	35	40	424	420
産婦人科	74	66	67	75	61	50	44	50	77	77	735	737
眼	47	44	41	47	37	31	43	41	44	49	529	534
耳鼻咽喉科	13	13	8	8	21	15	17	17	18	14	184	163
膠原病・リウマチ内科	1	1	2	3	2	0	8	4	7	7	33	29
歯科口腔外科	23	23	20	23	23	20	26	29	29	27	317	318
小計	742	707	717	806	763	613	607	625	712	699	8,784	8,600
健診センター	5	4	2	3	2	2	4	4	1	1	37	37
産後ケア	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	747	711	720	810	765	615	611	629	713	700	8,822	8,638
医療R2	5	12	3	14	3	12	5	14	5	19	48	190
回リハR3	5	11	6	11	6	12	5	14	5	8	54	131
小計	10	23	9	25	9	24	10	28	10	27	102	321
健診センター療養	0	0	0	0	1	1	3	3	1	1	32	32
合計	10	23	9	25	10	25	13	31	11	28	134	353
総合計	757	734	729	835	775	640	624	660	724	728	8,956	8,991

(10) 科別月別入院患者数

診療日数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	人数	1日平均												
内科	1,504	50.1	1,655	53.4	1,393	46.4	1,578	50.9	1,707	55.1	1,380	46.0	1,391	44.9
血液内科	882	29.4	941	30.4	868	28.9	859	27.7	806	26.0	751	25.0	831	26.8
腎臓代謝内科	561	18.7	683	22.0	493	16.4	688	22.2	867	28.0	595	19.8	525	16.9
神経内科	288	9.6	236	7.6	175	5.8	221	7.1	188	6.1	249	8.3	151	4.9
呼吸器内科	717	23.9	690	22.3	557	18.6	597	19.3	791	25.5	615	20.5	665	21.5
消化器科	157	5.2	202	6.5	172	5.7	167	5.4	134	4.3	103	3.4	200	6.5
循環器科	659	22.0	710	22.9	797	26.6	717	23.1	600	19.4	641	21.4	673	21.7
小児科	379	12.6	424	13.7	411	13.7	543	17.5	380	12.3	464	15.5	477	15.4
外科	749	25.0	748	24.1	643	21.4	913	29.5	944	30.5	715	23.8	708	22.8
呼吸器外科	440	14.7	400	12.9	351	11.7	532	17.2	666	21.5	617	20.6	491	15.8
整形外科	1,924	64.13	1,690	54.5	1,954	65.1	2,602	83.9	2,196	70.8	1,783	59.4	1,851	59.7
形成外科	15	0.5	20	0.7	45	1.5	10	0.3	50	1.6	1	0.0	16	0.5
脳神経外科	826	27.5	927	29.9	926	30.9	905	29.2	885	28.6	921	30.7	896	28.9
心臓血管外科	402	13.4	413	13.3	415	13.8	496	16.0	469	15.1	447	14.9	374	12.1
泌尿器科	312	10.4	323	10.4	280	9.3	329	10.6	385	12.4	437	14.6	398	12.8
産婦人科	593	19.8	617	19.9	724	24.1	676	21.8	518	16.7	510	17.0	501	16.2
眼	83	2.8	137	4.4	131	4.4	78	2.5	139	4.5	140	4.7	191	6.2
耳鼻咽喉科	104	3.5	64	2.1	109	3.6	129	4.2	196	6.3	88	2.9	93	3.0
膠原病・リウマチ内科	12	0.4	58	1.9	81	2.7	90	2.9	12	0.4	15	0.5	18	0.6
歯科口腔外科	45	1.5	53	1.7	89	3.0	132	4.3	111	3.6	68	2.3	40	1.3
小計	9,209	307.0	9,367	302.2	9,253	308.4	10,715	345.6	10,371	334.5	9,194	306.5	9,134	294.6
健診センター	1	0.0	5	0.2	3	0.1	2	0.1	5	0.2	3	0.1	4	0.1
産後ケア														
合計	9,210	307.0	9,372	302.3	9,256	308.5	10,717	345.7	10,376	334.7	9,197	306.6	9,138	294.8
医療R2	886	29.5	790	25.5	720	24.0	853	27.5	935	30.2	702	23.4	752	24.3
回リハR3	955	31.8	977	31.5	1,053	35.1	1,032	33.3	1,046	33.7	1,029	34.3	1,013	32.7
小計	1,841	61.4	1,767	57.0	1,773	59.1	1,885	60.8	1,981	63.9	1,731	57.7	1,765	56.9
健診センター療養	0	0.0	4	0.1	5	0.2	5	0.2	7	0.2	3	0.1	3	0.1
合計	1,841	61.4	1,771	57.1	1,778	59.3	1,890	61.0	1,988	64.1	1,734	57.8	1,768	57.0
総合計	11,051	368.4	11,143	359.5	11,034	367.8	12,607	406.7	12,364	398.8	10,931	364.4	10,906	351.8

診療日数	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均								
内科	1,319	44.0	1,266	40.8	1,435	46.3	1,420	50.7	1,465	47.3	17,513	45.0	4,320	48.0
血液内科	730	24.3	668	21.6	580	18.7	555	19.8	672	21.7	9,143	25.1	1,807	20.1
腎臓代謝内科	559	18.6	567	18.3	789	25.5	802	28.6	722	23.3	7,851	21.5	2,313	25.7
神経内科	162	5.4	281	9.1	214	6.9	107	3.8	217	7.0	2,489	6.8	538	6.0
呼吸器内科	814	27.1	852	27.48	885	28.6	679	24.3	919	29.7	8,781	24.1	2,483	27.6
消化器科	188	6.3	137	4.4	135	4.4	21	0.8	0	0.0	1,616	4.4	156	1.7
循環器科	600	20.0	747	24.1	757	24.4	843	30.1	690	22.3	8,434	23.1	2,290	25.4
小児科	333	11.1	397	12.8	303	9.8	279	10.0	226	7.3	4,616	12.7	808	9.0
外科	673	22.4	668	21.6	573	18.5	618	22.1	798	25.7	8,750	24.0	1,989	22.1
呼吸器外科	580	19.3	481	15.5	443	14.3	373	13.3	259	8.4	5,633	15.4	1,075	11.9
整形外科	1,736	57.9	1,701	54.9	1,533	49.5	1,571	56.1	1,832	59.1	22,373	61.3	4,936	54.8
形成外科	40	1.3	48	1.6	0	0.0	5	0.2	10	0.3	260	0.7	15	0.2
脳神経外科	764	25.5	887	28.6	1,062	34.3	1,121	40.0	1,094	35.3	11,214	30.7	3,277	36.4
心臓血管外科	453	15.1	605	19.5	585	18.9	469	16.8	508	16.4	5,636	15.4	1,562	17.4
泌尿器科	317	10.6	322	10.4	250	8.1	350	12.5	359	11.6	4,062	11.1	959	10.7
産婦人科	627	20.9	734	23.7	656	21.2	599	21.4	728	23.5	7,483	20.5	1,983	22.0
眼	133	4.4	146	4.7	112	3.6	155	5.5	167	5.4	1,612	4.4	434	4.8
耳鼻咽喉科	76	2.5	50	1.6	156	5.0	112	4.0	158	5.1	1,335	3.7	426	4.7
膠原病・リウマチ内科	33	1.1	26	0.8	41	1.3	87	3.1	176	5.7	649	1.8	304	3.4
歯科口腔外科	54	1.8	99	3.2	42	1.4	44	1.6	39	1.3	816	2.2	125	1.4
小計	8,902	296.7	9,447	304.7	9,182	296.2	8,853	316.2	9,645	311.1	113,272	310.3	27,680	307.6
健診センター	5	0.2	2	0.1	2	0.1	4	0.1	1	0.0	37	0.1	7	0.1
産後ケア			1	0.0							1	0.0	0	
合計	8,907	296.9	9,450	304.8	9,184	296.3	8,857	316.3	9,646	311.2	113,310	310.4	27,687	307.6
医療R2	844	28.1	885	28.6	824	26.6	913	32.6	905	29.2	10,009	27.4	2,642	29.4
回リハR3	838	27.9	896	28.9	895	28.9	818	29.2	892	28.8	11,444	31.4	2,605	28.9
小計	1,682	56.1	1,781	57.5	1,719	55.5	1,731	61.8	1,797	58.0	21,453	58.8	5,247	58.3
健診センター療養	0	0.0	0	0.0	1	0.0	3	0.1	1	0.0	32	0.1	5	0.1
合計	1,682	56.1	1,781	57.5	1,720	55.5	1,734	61.9	1,798	58.0	21,485	58.9	5,252	58.4
総合計	10,589	353.0	11,231	362.3	10,904	351.7	10,591	378.3	11,444	369.2	134,795	369.3	32,939	378.1

(11) 科別月別外来患者数

診療日数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	人数	1日平均												
内科	4,382	219.1	4,363	229.6	4,504	204.7	4,351	217.6	4,749	215.9	4,400	220.0	4,290	214.5
血液内科	325	16.3	373	19.6	403	18.3	334	16.7	404	18.4	388	19.4	371	18.6
腎臓代謝内科	1,619	81.0	1,578	83.1	1,685	76.6	1,502	75.1	1,792	81.5	1,596	79.8	1,596	79.8
透析内科	1,510	75.5	1,512	79.6	1,537	69.9	1,576	78.8	1,621	73.7	1,506	75.3	1,500	75.0
心療内科	66	3.3	58	3.1	71	3.2	59	3.0	62	2.8	80	4.0	63	3.2
神経内科	429	21.5	366	19.3	445	20.2	378	18.9	450	20.5	412	20.6	390	19.5
呼吸器内科	848	42.4	865	45.5	898	40.8	891	44.6	934	42.5	894	44.7	889	44.5
消化器科	594	29.7	633	33.3	686	31.2	605	30.3	634	28.8	675	33.8	691	34.6
循環器科	1,504	75.2	1,422	74.8	1,551	70.5	1,514	75.7	1,547	70.3	1,452	72.6	1,485	74.3
小児科	826	41.3	973	51.2	990	45.0	925	46.3	884	40.2	793	39.7	841	42.1
外科	1,108	55.4	1,009	53.1	1,152	52.4	1,050	52.5	1,175	53.4	980	49.0	1,031	51.6
呼吸器外科	347	17.4	341	18.0	398	18.1	388	19.4	384	17.5	330	16.5	380	19.0
整形外科	2,972	148.6	2,851	150.1	3,269	148.6	2,793	139.7	3,051	138.7	3,002	150.1	2,925	146.3
形成外科	265	13.3	254	13.4	309	14.1	294	14.7	312	14.18	235	11.8	304	15.2
脳神経外科	589	29.5	627	33.0	597	27.1	640	32.0	568	25.8	536	26.8	597	29.9
心臓血管外科	290	36.3	302	37.8	318	39.8	311	34.6	305	33.9	341	37.9	286	35.8
皮膚科	365	18.3	417	22.0	469	21.3	497	24.9	408	18.6	414	20.7	429	21.5
泌尿器科	1,061	53.1	923	48.6	1,123	51.1	1,087	54.4	944	42.9	971	48.6	914	45.7
産婦人科	1,158	57.9	1,198	63.1	1,220	55.5	1,201	60.1	1,156	52.6	1,190	59.5	1,235	61.8
眼科	825	41.3	822	43.3	925	42.1	867	43.4	984	44.7	878	43.9	945	47.3
耳鼻咽喉科	991	49.6	948	49.9	1,048	47.6	1,018	50.9	1,100	50.0	981	49.1	942	47.1
放射線科	165	8.3	172	9.1	219	10.0	164	8.2	183	8.3	173	8.7	158	7.9
麻酔・ペイン	10	2.5	6	1.5	12	3.0	14	3.5	21	4.2	7	1.8	10	2.5
膠原病・リウマチ内科	652	32.6	652	34.3	668	30.4	632	31.6	687	31.2	674	33.7	610	30.5
放射線治療科	463	23.2	520	27.4	640	29.1	651	32.6	728	33.1	641	32.1	574	28.7
歯科口腔外科	959	48.0	1,011	53.2	1,183	53.8	1,078	53.9	1,098	49.9	1,056	52.8	903	45.2
小計	20,803	1,040.2	20,675	1,088.2	22,624	1,028.4	21,349	1,067.5	22,302	1,013.7	21,035	1,051.8	20,829	1,041.5
健診センター	150	7.5	215	11.3	291	13.2	282	14.1	275	12.5	260	13.0	257	12.9
総合計	20,953	1,047.7	20,890	1,099.5	22,915	1,041.6	21,631	1,081.6	22,577	1,026.2	21,295	1,064.8	21,086	1,054.3

診療日数	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	4,285	214.3	4,618	243.1	4,467	235.1	4,267	213.4	4,544	206.6	53,220	219.0	13,278	217.7
血液内科	384	19.2	396	20.8	323	17.0	375	18.8	421	19.1	4,497	18.5	1,119	18.3
腎臓代謝内科	1,556	77.8	1,580	83.2	1,456	76.6	1,437	71.9	1,606	73.0	19,003	78.2	4,499	73.8
透析内科	1,555	77.8	1,599	84.2	1,589	83.6	1,506	75.3	1,624	73.8	18,635	76.7	4,719	77.4
心療内科	60	3.0	59	3.1	57	3.0	60	3.0	70	3.2	765	3.2	187	3.1
神経内科	393	19.7	393	20.7	395	20.8	380	19.0	431	19.6	4,862	20.0	1,206	19.8
呼吸器内科	891	44.6	826	43.5	869	45.7	777	38.9	893	40.6	10,475	43.1	2,539	41.6
消化器科	645	32.3	682	35.9	531	28.0	370	18.5	245	11.1	6,991	28.8	1,146	18.8
循環器科	1,536	76.8	1,434	75.5	1,486	78.2	1,425	71.3	1,634	74.3	17,990	74.0	4,545	74.5
小児科	892	44.6	944	49.7	803	42.3	776	38.8	730	33.2	10,377	42.7	2,309	37.9
小児科	1,005	50.3	1,047	55.1	837	44.1	921	46.1	995	45.2	12,310	50.7	2,753	45.1
呼吸器外科	354	17.7	370	19.5	316	16.6	313	15.7	413	18.8	4,334	17.8	1,042	17.1
整形外科	3,022	151.1	2,832	149.1	2,580	135.8	2,645	132.3	3,161	143.7	35,103	144.5	8,386	137.5
形成外科	306	15.3	217	11.4	263	13.8	264	13.2	295	13.4	3,318	13.7	822	13.5
脳神経外科	501	25.1	570	30.0	478	25.2	517	25.9	586	26.6	6,806	28.0	1,581	25.9
心臓血管外科	356	39.6	285	40.7	313	39.1	283	35.4	358	39.8	3,748	37.5	954	38.2
皮膚科	336	16.8	315	16.6	281	14.8	298	14.9	333	15.1	4,562	18.8	912	15.0
泌尿器科	903	45.2	879	46.3	910	47.9	727	36.4	917	41.7	11,359	46.7	2,554	41.9
産婦人科	1,238	61.9	1,194	62.8	1,111	58.5	1,077	53.9	1,271	57.8	14,249	58.6	3,459	56.7
眼科	892	44.6	917	48.3	799	42.1	880	44.0	997	45.3	10,731	44.2	2,676	43.9
耳鼻咽喉科	1,009	50.5	967	50.9	944	49.7	870	43.5	1,023	46.5	11,841	48.7	2,837	46.5
放射線科	147	7.4	148	7.8	125	6.6	163	8.2	176	8.0	1,993	8.2	464	7.6
麻酔・ペイン	19	3.8	17	4.3	16	4.0	11	2.8	18	4.5	161	3.5	45	3.8
膠原病・リウマチ内科	632	31.6	654	34.4	629	33.1	601	30.1	767	34.9	7,858	32.3	1,997	32.7
放射線治療科	611	30.6	515	27.1	495	26.1	536	26.8	552	25.1	6,926	28.5	1,583	26.0
歯科口腔外科	936	46.8	932	49.1	868	45.7	883	44.2	1,015	46.1	11,922	49.1	2,766	45.3
小計	20,909	1,045.5	20,756	1,092.4	19,516	1,027.2	18,984	949.2	21,354	970.6	251,136	1,033.5	59,854	981.2
健診センター	268	13.4	202	10.6	172	9.1	234	11.7	115	5.2	2,721	11.2	521	8.5
総合計	21,177	1,058.9	20,958	1,103.1	19,688	1,036.2	19,218	960.9	21,469	975.9	253,857	1,044.7	60,375	989.8

\* ただし、心臓血管外科（火曜日、金曜日）・麻酔科（火曜日）の2科は、各科外来診療日数で除してあります。

(12) 時間内患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度計	平成27年度計
日数 (日)	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243	243
救急室対応 患者数	268	274	271	321	299	226	285	290	248	324	310	330	3,446	3,268
救急室対応 1日平均患者数	13.4	14.4	12.3	16.1	13.6	11.3	14.3	14.5	13.1	17.1	15.5	15.0	14.2	13.4
各科外来対応 患者数	24	26	22	33	34	30	40	28	36	36	18	28	355	371
各科外来対応 1日平均患者数	1.2	1.4	1	1.7	1.5	1.5	2	1.4	1.9	1.9	0.9	1.3	1.5	1.5
患者数の内 重症患者数(入院)	68	58	58	72	64	49	70	71	63	69	78	80	800	802
患者数の内 救急車	62	56	65	94	81	57	83	81	69	89	87	93	917	937
患者数の内 交通事故	16	8	15	11	6	4	26	14	8	5	12	10	135	116
合計	292	300	293	354	333	256	325	318	284	360	328	358	3,801	3,639
1日平均患者数	14.6	15.8	13.3	17.7	15.1	12.8	16.3	15.9	14.9	18.9	16.4	16.3	15.6	15.0

(13) 休日患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度計	平成27年度計
日数 (日)	10	12	8	11	9	10	11	10	12	12	8	9	122	123
患者数	303	410	276	377	269	297	348	291	486	502	297	285	4,141	4,361
患者数の内 重症患者数(入院)	36	46	32	32	26	35	35	39	48	49	14	28	420	472
患者数の内 救急車	41	43	31	33	38	43	40	36	50	54	33	38	480	460
患者数の内 交通事故	5	12	14	3	7	9	10	4	13	6	5	3	91	112
1日平均患者数	30.3	34.2	34.5	34.3	29.9	29.7	31.6	29.1	40.5	41.8	37.1	31.7	33.9	35.5

(14) 夜間患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度計	平成27年度計
日数 (日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366
患者数	785	755	739	826	825	690	767	613	778	827	701	629	8,935	9,688
患者数の内 重症患者数(入院)	87	95	86	86	85	71	86	62	79	92	66	75	970	937
患者数の内 救急車	96	85	98	118	129	99	103	78	111	131	104	119	1,271	1,244
患者数の内 交通事故	24	18	18	17	26	20	20	16	15	10	24	22	230	265
1日平均患者数	26.2	24.4	24.6	26.6	26.6	23.0	24.7	20.4	25.1	26.7	25.0	20.3	24.5	26.5

(15) 救急車利用状況（病院救急車による患者搬送状況）

搬送月	件数	搬送エリア			診 療 科													時間外搬送件数		患者費用負担件数
		長浜市内	滋賀県内	滋賀県外	外科	脳外	整形	呼吸	消器	眼科	心外	内科	腎臓	循環	産婦	療養	時外	休日		
4月	6		4	2				1			4					1			1	
5月	5	2	3					2			2		1						2	
6月	7	3	3	1	1				1		3	1		1			1			
7月	5	2	3			1					2			1	1		1			
8月	2		2								2									
9月	4	1	2	1		1					2			1			1			
10月	2		1	1										2					2	
11月	3	1	1	1		1					2									
12月	1		1												1					
1月	4	2	2				1	2			1								1	
2月	9	5	4			1	1	1	1		4				1				1	
3月	8	2	5	1						3	3		1		1				3	
計	56	18	31	7	1	4	2	6	2	3	25	1	2	5	4	1	3	0	10	

(搬送先医療機関名)

長浜市内・・・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院・セフィロト病院

滋賀県内・・・滋賀医科大学医学部附属病院・滋賀県立成人病センター・大津赤十字病院・彦根市立病院  
琵琶湖大橋病院・友仁山崎病院・彦根中央病院

滋賀県外・・・京都大学医学部附属病院・大阪市立大学医学部附属病院・武田病院・養南病院・関ヶ原病院



### 3. 手術業務状況

#### (1) 各科別手術実施件数（中央手術室実施分）

前年度比	外科		眼科		形成外科		呼吸器外科		産婦人科		歯科口腔外科		耳鼻咽喉科		心臓血管外科		整形外科		脳神経外科		泌尿器科		総数	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28
4月	39	28	39	65	2	8	4	10	24	17	37	46	8	13	26	33	94	86	8	13	13	20	294	339
前年度比(%)	72		167		400		250		71		124		163		127		91		163		154		115	
5月	31	30	55	77	11	12	5	5	15	18	30	49	5	8	19	31	100	84	12	9	15	22	298	345
前年度比(%)	97		140		109		100		120		163		160		163		84		75		147		116	
6月	45	42	74	94	13	15	14	10	19	19	37	64	14	11	29	29	100	102	10	13	25	20	380	419
前年度比(%)	93		127		115		71		100		173		79		100		102		130		80		110	
7月	44	41	101	78	14	13	13	10	24	26	41	62	13	13	29	30	89	106	13	9	22	25	403	413
前年度比(%)	93		77		93		77		108		151		100		103		119		69		114		102	
8月	40	42	52	92	8	20	8	14	26	29	39	49	9	16	26	30	88	88	6	9	16	25	318	414
前年度比(%)	105		177		250		175		112		126		178		115		100		150		156		130	
9月	36	23	77	70	14	10	8	14	17	29	40	59	9	10	31	31	81	85	6	6	16	25	335	362
前年度比(%)	64		91		71		175		171		148		111		100		105		100		156		108	
10月	36	27	78	89	8	15	10	7	26	25	43	58	11	10	30	24	100	88	10	8	13	20	365	371
前年度比(%)	75		114		188		70		96		135		91		80		88		80		154		102	
11月	33	31	83	87	13	16	13	12	38	29	34	55	16	7	23	34	99	92	8	10	25	19	385	392
前年度比(%)	94		105		123		92		76		162		44		148		93		125		76		102	
12月	34	29	74	73	14	10	14	16	20	26	31	47	10	9	31	37	80	78	6	11	15	24	329	360
前年度比(%)	85		99		71		114		130		152		90		119		98		183		160		109	
1月	27	29	69	69	13	8	11	13	17	23	43	53	14	19	28	30	98	84	9	13	13	19	342	360
前年度比(%)	107		100		62		118		135		123		136		107		86		144		146		105	
2月	31	25	77	84	12	11	8	13	21	24	49	62	13	11	32	32	90	67	6	10	18	23	357	362
前年度比(%)	81		109		92		163		114		127		85		100		74		167		128		101	
3月	30	30	91	78	16	10	12	7	26	36	53	50	12	14	33	37	98	89	10	9	24	26	405	386
前年度比(%)	100		86		63		58		138		94		117		112		91		90		108		95	
合計	426	377	870	956	138	148	120	131	273	301	477	654	134	141	337	378	1,117	1,049	104	120	215	268	4,211	4,523
前年度比(%)	88		110		107		109		110		137		105		112		94		115		125		107	

#### (2) 外来手術件数（入院中外来を含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外科	5	4	7	5	8	4	13	3	6	5	4	2	66
整形外科	34	46	31	48	43	41	45	40	44	30	38	36	476
産婦人科	0	6	1	8	9	3	8	4	7	5	13	6	70
耳鼻咽喉科	9	17	15	11	9	12	10	6	9	15	5	9	127
泌尿器科	8	5	8	11	13	8	11	16	6	6	10	8	110
眼科	15	15	6	12	16	9	31	19	14	16	13	15	181
脳神経外科	7	16	15	28	16	9	8	12	18	17	12	9	167
歯科口腔外科	109	128	149	150	161	138	101	137	111	113	143	109	1,549
呼吸器外科	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	0	0	6
形成外科	25	29	35	34	40	28	42	32	20	25	29	36	375
心臓血管外科	4	6	4	5	4	7	8	15	5	5	2	9	74
皮膚科	1	1	0	0	1	2	3	0	0	0	1	1	10
その他	6	16	19	15	10	12	13	4	8	12	24	4	143
計	223	290	291	327	330	274	295	288	249	249	294	244	3,354

#### (3) その他内訳

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
呼吸器内科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
循環器内科	4	8	4	2	1	2	4	0	0	4	8	0	37
消化器内科	0	4	14	10	7	9	5	4	8	7	11	4	83
放射線科	2	4	0	3	2	1	4	0	0	0	4	0	20
計	6	16	19	15	10	12	13	4	8	12	24	4	143

上記(2)、(3)については、医事システムに入力のあった手術の算定件数です。件数には点数表の手術の部に掲げられている全ての手術を含みます。

#### 4. 健診センター利用状況

1. 稼動日数 半日コース（健診・日帰りドック） 242日（月～金曜日）  
入院ドック（一泊・専門ドック） 91日（月・水曜日）

2. 受診者人数

(1) 月 別

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般健診(協会)	71	97	103	112	126	101	90	95	90	88	117	47	1,137
一般健診	9	10	14	19	11	17	17	22	1	9	9	19	157
一般健診+付加健診(協会)	1	1	3	11	7	6	12	10	3	3	3	1	61
一般健診+追加健診(協会)	5	15	14	8	8	8	15	19	1	0	22	2	117
日帰りドック	59	77	132	112	111	100	105	104	83	47	70	43	1,043
1泊人間ドック	1	3	3	3	9	1	1	3	2	1	3	0	30
脳ドック	0	2	2	1	2	0	2	0	0	1	2	1	13
1泊+脳ドック	0	4	3	3	1	5	4	2	0	1	2	1	26
その他の健診・主婦健診	2	5	14	11	9	15	16	17	24	24	11	3	151
子宮がん健診(協会)	3	10	11	9	3	13	2	1	0	1	2	0	55
合 計	151	224	299	289	287	266	264	273	204	175	241	117	2,790

(2) 年齢層別

【男性】

(単位：人)

		10~20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
一般健診(協会)	人数		68	166	164	143	21	562
	割合		12.1%	29.5%	29.2%	25.4%	3.7%	100%
一般健診	人数	4	11	26	10	10	1	62
	割合	6.5%	17.7%	41.9%	16.1%	16.1%	1.6%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数			20	14			34
	割合			58.8%	41.2%			100%
一般健診+追加健診(協会)	人数		8	23	26	26	1	84
	割合		9.5%	27.4%	31.0%	31.0%	1.2%	100%
日帰りドック	人数		33	134	242	190	60	659
	割合		5.0%	20.3%	36.7%	28.8%	9.1%	100%
1泊人間ドック	人数		1	1	12	9	2	25
	割合		4.0%	4.0%	48.0%	36.0%	8.0%	100%
脳ドック	人数			2	2	3	1	8
	割合			25.0%	25.0%	37.5%	12.5%	100%
1泊+脳ドック	人数		1	9	4	6	1	21
	割合		4.8%	42.9%	19.0%	28.6%	4.8%	100%
その他の健診	人数		1	1	1	1		4
	割合		25.0%	25.0%	25.0%	25.0%		100%
合 計	人数	4	123	382	475	388	87	1,459
	割合	0.3%	8.4%	26.2%	32.6%	26.6%	6.0%	100%

【女性】

(単位：人)

		10~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	合計
一般健診(協会)	人数		44	205	220	98	8	575
	割合		7.7%	35.7%	38.3%	17.0%	1.4%	100%
一般健診	人数	5	18	31	21	10	10	95
	割合	5.3%	18.9%	32.6%	22.1%	10.5%	10.5%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	13	13			27
	割合		3.7%	48.1%	48.1%			100%
一般健診+追加健診(協会)	人数		3	5	17	6	2	33
	割合		9.1%	15.2%	51.5%	18.2%	6.1%	100%
日帰りドック	人数	3	27	83	136	108	27	384
	割合	0.8%	7.0%	21.6%	35.4%	28.1%	7.0%	100%
1泊人間ドック	人数		1			4		5
	割合		20.0%			80.0%		100%
脳ドック	人数				3	2		5
	割合				60.0%	40.0%		100%
1泊+脳ドック	人数			1		2	2	5
	割合			20.0%		40.0%	40.0%	100%
その他の健診・主婦健診	人数		10	69	61	7		147
	割合		6.8%	46.9%	41.5%	4.8%		100%
子宮がん健診(協会)	人数	25	30					55
	割合	45.5%	54.5%					100%
合 計	人数	33	134	407	471	237	49	1,331
	割合	2.5%	10.1%	30.6%	35.4%	17.8%	3.7%	100%

### 3. 健診結果総合判定別人数

【男性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5+6	合計
一般健診(協会)	人数	9	41	116	15	381	562
	割合	1.6%	7.3%	20.6%	2.7%	67.8%	100%
一般健診	人数	1	2	13	2	44	62
	割合	1.6%	3.2%	21.0%	3.2%	71.0%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	8		25	34
	割合		2.9%	23.5%		73.5%	100%
一般健診+追加健診(協会)	人数		1	22	1	60	84
	割合		1.2%	26.2%	1.2%	71.4%	100%
日帰りドック	人数	1	5	97	5	551	659
	割合	0.2%	0.8%	14.7%	0.8%	83.6%	100%
1泊人間ドック	人数			2		23	25
	割合			8.0%		92.0%	100%
脳ドック	人数			1		7	8
	割合			12.5%		87.5%	100%
1泊+脳ドック	人数			2		19	21
	割合			9.5%		90.5%	100%
その他の健診	人数			1		3	4
	割合			25.0%		75.0%	100%
合計	人数	11	50	262	23	1,113	1,459
	割合	0.8%	3.4%	18.0%	1.6%	76.3%	100%

【女性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5+6	合計
一般健診(協会)	人数	28	41	159	6	341	575
	割合	4.9%	7.1%	27.7%	1.0%	59.3%	100%
一般健診	人数	3	3	21	1	67	95
	割合	3.2%	3.2%	22.1%	1.1%	70.5%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	11		15	27
	割合		3.7%	40.7%		55.6%	100%
一般健診+追加健診(協会)	人数	1		5		27	33
	割合	3.0%		15.2%		81.8%	100%
日帰りドック	人数		6	64	1	313	384
	割合		1.6%	16.7%	0.3%	81.5%	100%
1泊人間ドック	人数					5	5
	割合					100%	100%
脳ドック	人数			1		4	5
	割合			20.0%		80.0%	100%
1泊+脳ドック	人数					5	5
	割合					100%	100%
その他の健診・主婦健診	人数	5	11	50		81	147
	割合	3.4%	7.5%	34.0%		55.1%	100%
子宮がん健診(協会)	人数	42		10		3	55
	割合	76.4%		18.2%		5.5%	100%
合計	人数	79	62	321	8	861	1,331
	割合	5.9%	4.7%	24.1%	0.6%	64.7%	100%

(総合判定) 1. 異常無し 2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない  
3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする 4. 治療を要する 5. 精密検査を要する 6. 治療中

4. 1泊・日帰り人間ドック成績表（平成28年1月～平成28年12月）

【男性】

（症例数は延べ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 58				40～49歳 278				50～59歳 478				60歳以上 528				総計 1342			
異常なし(判定1、2)	7				5				2				2				16			
判定 症例	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)
肥満	6	0	0	6 (9.1)	58	0	0	58 (10.7)	75	0	0	75 (6.7)	82	0	0	82 (5.8)	221	0	0	221 (7.0)
呼吸器疾患	2	0	0	2 (3.0)	8	1	4	13 (2.4)	20	4	2	26 (2.3)	37	7	5	49 (3.4)	67	12	11	90 (2.9)
高血圧	0	0	0	0 (0.0)	13	24	0	37 (6.8)	12	77	0	89 (7.9)	19	128	0	147 (10.3)	44	229	0	273 (8.6)
高中性脂肪	5	0	2	7 (10.6)	25	0	9	34 (6.3)	60	0	19	79 (7.0)	51	0	10	61 (4.3)	141	0	40	181 (5.7)
高尿酸	7	0	0	7 (10.6)	28	0	6	34 (6.3)	48	0	5	53 (4.7)	37	0	2	39 (2.7)	120	0	13	133 (4.2)
心電図異常	0	0	1	1 (1.5)	14	2	7	23 (4.2)	28	12	7	47 (4.2)	33	28	16	77 (5.4)	75	42	31	148 (4.7)
食道疾患	2	0	1	3 (4.5)	12	0	6	18 (3.3)	29	1	27	57 (5.1)	43	4	48	95 (6.7)	86	5	82	173 (5.5)
胃疾患	2	0	1	3 (4.5)	12	0	6	18 (3.3)	29	1	27	57 (5.1)	43	4	48	95 (6.7)	86	5	82	173 (5.5)
十二指腸疾患	2	0	1	3 (4.5)	12	0	6	18 (3.3)	29	1	27	57 (5.1)	43	4	48	95 (6.7)	86	5	82	173 (5.5)
肝機能異常 (脂肪肝含)	0	0	3	3 (4.5)	1	3	24	28 (5.2)	0	5	37	42 (3.7)	1	6	30	37 (2.6)	2	14	94	110 (3.5)
糖尿病	3	0	0	3 (4.5)	30	8	7	45 (8.3)	69	26	11	106 (9.4)	80	33	12	125 (8.8)	182	67	30	279 (8.8)
血液疾患	0	0	1	1 (1.5)	0	0	9	9 (1.7)	3	1	25	29 (2.6)	3	3	27	33 (2.3)	6	4	62	72 (2.3)
便潜血	0	0	0	0 (0.0)	0	0	13	13 (2.4)	0	2	9	11 (1.0)	2	1	14	17 (1.2)	2	3	36	41 (1.3)
前立腺疾患	0	0	0	0 (0.0)	0	0	0	0 (0.0)	0	0	2	2 (0.2)	0	0	7	7 (0.5)	0	0	9	9 (0.3)
その他の疾患	19	0	8	27 (40.9)	141	2	51	194 (35.8)	271	21	105	397 (35.2)	262	42	159	463 (32.6)	693	65	323	1081 (34.2)
総計	48	0	18	66 (100)	354	40	148	542 (100)	673	151	303	1127 (100)	736	260	426	1422 (100)	1811	451	895	3157 (100)

【女性】

（症例数は延べ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 30				40～49歳 83				50～59歳 142				60歳以上 144				総計 399			
異常なし(判定1、2)	23				17				9				11				60			
判定 症例	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)	3	4.6	5	計 (%)
肥満	8	0	0	8 (11.1)	32	0	0	32 (11.1)	31	0	0	31 (6.3)	39	0	0	39 (6.7)	110	0	0	110 (7.7)
呼吸器疾患	3	0	1	4 (5.6)	2	0	2	4 (1.4)	2	2	1	5 (1.0)	4	3	1	8 (1.4)	11	5	5	21 (1.5)
高血圧	0	0	0	0 (0.0)	2	11	0	13 (4.5)	6	18	0	24 (4.8)	14	50	0	64 (11.1)	22	79	0	101 (7.0)
高中性脂肪	1	0	0	1 (1.4)	9	0	0	9 (3.1)	14	0	0	14 (2.8)	7	0	3	10 (1.7)	31	0	3	34 (2.4)
高尿酸	0	0	0	0 (0.0)	6	0	0	6 (2.1)	16	0	0	16 (3.2)	14	0	0	14 (2.4)	36	0	0	36 (2.5)
心電図異常	4	0	0	4 (5.6)	3	1	3	7 (2.4)	12	6	3	21 (4.2)	9	16	6	31 (5.4)	28	23	12	63 (4.4)
食道疾患	3	0	6	9 (12.5)	14	0	6	20 (6.9)	32	0	6	38 (7.7)	21	0	9	30 (5.2)	70	0	27	97 (6.8)
胃疾患	3	0	6	9 (12.5)	14	0	6	20 (6.9)	32	0	6	38 (7.7)	21	0	9	30 (5.2)	70	0	27	97 (6.8)
十二指腸疾患	3	0	6	9 (12.5)	14	0	6	20 (6.9)	32	0	6	38 (7.7)	21	0	9	30 (5.2)	70	0	27	97 (6.8)
肝機能異常 (脂肪肝含)	0	0	0	0 (0.0)	0	0	6	6 (2.1)	1	0	10	11 (2.2)	2	2	6	10 (1.7)	3	2	22	27 (1.9)
糖尿病	3	0	0	3 (4.2)	8	1	0	9 (3.1)	21	3	1	25 (5.0)	33	13	1	47 (8.1)	65	17	2	84 (5.9)
血液疾患	0	0	0	0 (0.0)	0	1	20	21 (7.3)	0	2	13	15 (3.0)	1	1	8	10 (1.7)	1	4	41	46 (3.2)
便潜血	0	0	3	3 (4.2)	0	0	6	6 (2.1)	0	0	3	3 (0.6)	0	0	7	7 (1.2)	0	0	19	19 (1.3)
婦人科	0	0	0	0 (0.0)	0	0	2	2 (0.7)	0	0	2	2 (0.4)	0	0	1	1 (0.2)	0	0	5	5 (0.3)
乳房疾患	0	0	0	0 (0.0)	0	0	0	0 (0.0)	1	0	1	2 (0.4)	0	0	0	0 (0.0)	1	0	1	2 (0.1)
その他の疾患	16	0	6	22 (30.6)	75	5	33	113 (39.2)	135	12	66	213 (42.9)	149	27	72	248 (42.8)	375	44	177	596 (41.5)
総計	44	0	28	72 (100)	179	19	90	288 (100)	335	43	118	496 (100)	335	112	132	579 (100)	893	174	368	1435 (100)

（総合判定） 1. 異常無し 2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない 3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする 4. 治療を要する 5. 精密検査を要する 6. 治療中

5. 二次検査受診状況（当院での二次検査について）

(1) 二次検査対象者 1,781人／健診センター受診者 2,790人

→ ドック・健診・オプション検査で精密検査を要する(判定5の方)

(2) 受診科別人数（二次検査受診者 のべ 331人 / 二次検査対象者 のべ 2,769人）

受診科	二次検査受診者	二次検査対象者	受診科	二次検査受診者	二次検査対象者	受診科	二次検査受診者	二次検査対象者
外科	69人	100人	泌尿器科	37人	263人	循環器科	15人	85人
耳鼻咽喉科	16人	330人	皮膚科	0人	0人	消化器科	65人	690人
産婦人科	56人	105人	脳神経外科	29人	50人	腎臓内科	3人	19人
眼科	20人	578人	形成外科	0人	0人	代謝内科	2人	265人
整形外科	3人	16人	呼吸器科	13人	45人	血液内科	3人	223人

(3) 病名別人数

<b>外科</b>		多発性壁内子宮筋腫	1	<b>脳神経外科</b>		<b>腎臓内科</b>	
乳房上外側部乳癌	2	チョコレートのお胞	1	髄膜腫	1	原発性アルドステロン症	1
乳房上内側部乳癌	1	壁内子宮平滑筋腫	4	トルコ鞍のお胞	1	慢性腎不全	1
乳房腫瘍	1	卵巣機能不全	1	脳梗塞	1	<b>代謝内科</b>	
乳腺腫瘍	32	卵巣腫瘍	7	脳動脈瘤	2	2型糖尿病	1
乳腺異常石灰化像	9	<b>眼科</b>		未破裂脳動脈瘤	1	多発合併症を伴う2型糖尿病	
乳腺症	10	遠視性乱視	1	<b>呼吸器科</b>		<b>血液内科</b>	
乳腺炎	1	黄斑上膜	3	胸部異常陰影	2	貧血	1
乳頭異常分泌症	1	眼精疲労	1	<b>循環器科</b>		白血球減少症	1
乳房痛	2	近視性乱視	4	高血圧症	2	急性骨髄性白血病	1
<b>耳鼻科</b>		視神経乳頭陥凹	1	高度房室ブロック	1	白血球増多症	1
甲状腺腫瘍	5	糖尿病性網膜症	1	上室期外収縮	2		
甲状腺肥大	1	網膜円孔	1	心肥大症	1		
感音難聴	1	網膜裂孔	1	洞不全症候群	1		
難聴	4	老視	1	非弁膜症性心房細動	1		
橋本病	2	老人性初発白内障	3	<b>消化器科</b>			
睡眠時無呼吸症候群	2	<b>泌尿器科</b>		胃炎	1		
<b>産婦人科</b>		血尿症	2	胃潰瘍	1		
子宮頸管ポリープ	9	健診血尿	7	萎縮性胃炎	14		
子宮頸部異型扁平上皮	6	顕微鏡的血尿	1	胃進行癌	1		
子宮頸部異形成	3	腎のお胞	1	胃ポリープ	1		
子宮頸部異形成・異型度3	1	水腎症	2	肝機能障害	1		
子宮腺筋症	2	前立腺癌	1	肝のお胞	1		
子宮頸部腫瘍	3	前立腺肥大症	4	逆流性食道炎	1		
子宮筋腫	6	尿路真菌症	1	脂肪肝	3		
子宮内膜ポリープ	4	膀胱炎	1	大腸腺腫	1		
子宮内膜異型増殖症	4	慢性糸球体腎炎	1	胆管腫瘍	1		
子宮内膜増殖症	1	慢性膀胱炎	1	胆のお胞腫瘍	1		
子宮粘膜下筋腫	1	無症候性血尿	1	びらん性胃炎	1		
子宮留膿腫	1			ヘリコバクター・ピロリ胃炎	9		

## 5. 中央材料室業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
滅菌回数	蒸気滅菌(回)	195	178	222	206	213	183	181	198	190	194	196	221	2,377
	手術器械(台)	92	112	129	126	127	108	101	112	108	113	109	126	1,363
	カート(台)	66	49	54	51	54	45	46	56	51	54	63	59	648
	プリオン対策(台)	37	17	39	29	32	30	34	27	31	27	24	36	363
	ガス滅菌(回)	23	28	33	30	31	26	27	28	24	29	24	33	336
	中央手術室(回)	19.2	21.1	23.9	22.7	22.9	23.2	26.2	19.6	17.8	20.6	19.9	22	259.1
	中央材料室(回)	4.8	6.9	16.5	7.3	8.2	6.1	8	8.4	7.2	10.4	7.1	10	100.9
	プラズマ滅菌(回)	45	77	75	54	57	59	71	51	57	68	51	88	753
	H L D(回)	30	33	33	37	38	36	35	36	33	29	24	33	397
滅菌関係	手術器械セット(組)	1188	1150	1373	1304	1397	1260	1216	1248	1213	1195	1179	1414	15,137
	単品器材(組)	3651	3298	3843	3618	3726	3305	3100	3234	3174	3070	3183	3296	40,498
	ガス滅菌物(組)	784	830	956	986	989	830	617	742	632	596	790	600	9,352
	プラズマ滅菌物(組)	341	377	433	436	462	367	427	358	381	481	311	408	4,782
	外来ガス滅菌物(個)	177	200	265	240	253	243	258	264	239	250	272	243	2,904
	HLD洗浄・消毒(個)	660	730	810	804	968	681	749	844	943	760	709	807	9,465
	病棟ガス滅菌物(個)	33	49	105	118	117	41	28	35	30	31	16	22	625
	HLD洗浄・消毒(個)	1288	1795	1639	2280	2005	1871	1739	1883	1718	1242	1119	1679	20,258
	合計ガス滅菌物(個)	210	249	370	358	370	284	286	299	269	281	288	265	3,529
	合計HLD洗浄・消毒(個)	1948	2525	1449	3084	2973	2552	2488	2727	2661	2002	1828	2486	29,723
手術	外科(件)	27	30	41	40	41	21	27	30	29	27	25	30	368
	整形外科(件)	85	83	101	104	85	84	84	92	78	82	67	87	1,032
	脳神経外科(件)	11	8	10	8	8	6	8	9	11	14	12	9	114
	予定・緊急手術呼吸器科(件)	10	5	10	10	14	14	7	12	16	13	13	7	131
	心臓血管外科(件)	32	31	30	31	30	31	23	34	33	30	32	36	373
	産婦人科(件)	17	17	19	25	29	28	24	29	25	22	24	35	294
	泌尿器科(件)	19	22	20	25	25	25	20	19	24	19	23	26	267
	眼科(件)	65	77	94	78	92	70	89	87	73	68	84	78	955
	耳鼻咽喉科(件)	13	8	11	13	16	10	10	7	9	19	11	14	141
	歯科口腔外科(件)	46	49	63	62	49	59	58	57	47	53	62	50	655
	形成外科(件)	8	12	15	13	20	10	15	16	10	8	11	10	148
麻酔科(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
手術変更(件)	22	23	26	41	33	40	34	43	22	33	34	34	385	
カートセット台数(台)	68	49	54	48	54	46	49	56	50	54	63	59	650	
洗浄業務	手術器械洗浄(件)	298	306	343	374	353	321	346	364	331	331	353	364	4,084
	病棟カート回収器材洗浄数(個)	3303	3326	3401	4059	4071	3525	3384	3459	3592	3075	2643	3502	41,340
	外来カート回収器材洗浄数(個)	14117	16772	17052	16378	17187	15037	14347	15790	15812	14830	16042	16129	189,493
	手術器械(回)	238	204	292	324	293	249	309	282	241	265	268	289	3,254
	病棟カート回収器材(回)	39	39	40	30	39	45	43	26	39	35	40	44	459
	外来カート回収器材(回)	78	89	93	99	106	82	80	94	79	74	94	78	1,046
超音波洗浄(回)	251	260	319	285	293	269	292	270	260	317	280	314	3,410	

## 6. 薬剤科業務状況

### (1) 薬剤管理指導件数

診療科	管理指導1		管理指導2		合計(指導1+2)		退院時		麻薬		総合計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	
内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小児科	3	1,140	16	5,200	19	6,340	26	2,340	-	-	8,680
外科	55	20,845	16	5,200	71	26,045	31	2,790	4	200	29,035
耳鼻咽喉科	4	1,520	5	1,625	9	3,145	7	630	3	150	3,925
産婦人科	20	7,600	10	3,250	30	10,850	8	720	-	-	11,570
眼科	1	380	12	3,900	13	4,280	7	630	-	-	4,910
整形外科	14	5,320	91	29,575	105	34,895	54	4,860	-	-	39,755
泌尿器科	14	5,320	48	15,600	62	20,920	28	2,520	2	100	23,540
皮膚科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脳神経外科	58	22,040	38	12,350	96	34,390	43	3,870	-	-	38,260
歯科口腔外科	3	1,140	1	325	4	1,465	-	-	1	50	1,515
神経内科	17	6,460	10	3,250	27	9,710	14	1,260	-	-	10,970
心臓血管外科	71	26,980	35	11,375	106	38,355	61	5,490	-	-	43,845
形成外科	-	-	1	325	1	325	1	90	-	-	415
循環器内科	342	129,960	64	20,800	406	150,760	350	31,500	-	-	182,260
消化器内科	1	380	1	325	2	705	9	810	-	-	1,515
呼吸器内科	73	27,740	34	11,050	107	38,790	21	1,890	2	100	40,780
呼吸器外科	102	38,760	27	8,775	129	47,535	23	2,070	8	400	50,005
腎臓代謝内科	86	32,680	83	26,975	169	59,655	78	7,020	1	50	66,725
血液内科	147	55,860	20	6,500	167	62,360	15	1,350	3	150	63,860
膠原病・リウマチ	2	760	4	1,300	6	2,060	1	90	-	-	2,150
合計	1,013	384,885	516	167,700	1,529	552,585	777	69,930	24	1,200	623,715

薬剤管理指導1 380点      退院時加算 90点  
 薬剤管理指導2 325点      麻薬加算 50点

### (2) 化学療法 入院・外来別件数

病棟別	患者数	払出回数	外来	患者数	払出回数
3 西	19	54	外科	579	1,024
4 東	59	105	産婦人科	95	189
4 西	5	6	泌尿器科	36	64
5 東	105	213	呼吸器内科	222	427
5 西	249	393	呼吸器外科	311	495
6 東	34	52	消化器科	13	33
7 東	0	0	血液内科	175	653
7 西	249	1,136	耳鼻咽喉科	1	1
合計	720	1,959	歯科口腔外科	2	6
			合計	1,434	2,892

## 7. 栄養科業務状況

### (1) 給食業務状況（本館と別館）

食種 / 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
一般食	普通食	10,514	11,368	11,772	12,814	12,007	10,576	10,525	10,551
	軟菜食	5,196	4,431	4,936	5,660	6,538	5,847	5,078	5,538
	極軟菜食・半流動食II	4,448	4,046	3,594	4,249	5,112	4,739	5,028	3,644
	流動食・半流動食I	248	396	297	446	383	247	398	248
	濃厚流動食	1,223	1,290	1,039	1,373	1,474	1,603	1,231	1,218
	その他(嚥下訓練食等)	235	298	121	119	375	233	232	453
	遅延食	73	124	88	135	96	88	97	104
	小計	21,937	21,953	21,847	24,796	25,985	23,333	22,589	21,756
特別治療食	非加算								
	塩分制限食	469	597	623	469	164	55	99	174
	肥満食	12	0	0	9	19	10	0	22
	小計	481	597	623	478	183	65	99	196
	加算								
	心臓食	2,046	2,161	2,508	2,451	2,055	1,935	1,465	1,682
	腎臓・透析食	1,435	1,697	1,262	1,546	1,165	1,092	1,099	1,339
	糖尿病食	2,313	2,502	2,628	2,763	2,191	1,660	2,278	2,079
	肝臓食	320	138	133	233	221	128	205	260
	潰瘍食	192	202	65	240	241	195	415	343
マージン食	30	68	59	129	49	0	53	94	
注腸検査食・その他(貧血等)	0	10	0	149	110	0	90	3	
小計	6,336	6,778	6,655	7,511	6,032	5,010	5,605	5,800	
合計	28,754	29,328	29,125	32,785	32,200	28,408	28,293	27,752	
1食平均給食数	319	315	324	353	346	316	314	308	
特別治療食(加算)比率	22.0	23.1	22.8	22.9	18.7	17.6	19.8	20.9	

食種 / 月		12月	1月	2月	3月	計	1食平均	構成比
一般食	普通食	10,988	9,715	9,353	10,712	130,895	120	37.2%
	軟菜食	5,366	5,374	4,598	4,913	63,475	58	18.1%
	極軟菜食・半流動食II	4,011	4,068	4,352	4,908	52,199	48	14.8%
	流動食・半流動食I	344	203	75	153	3,438	3	1.0%
	濃厚流動食	1,390	1,492	1,656	1,573	16,562	15	58.6%
	その他(嚥下訓練食等)	380	447	424	558	3,875	4	1.1%
	遅延食	74	76	81	87	1,123	1	0.3%
	小計	22,553	21,375	20,539	22,904	271,567	248	77.2%
特別治療食	非加算							
	塩分制限食	299	317	155	184	3,605	3	1.0%
	肥満食	36	68	14	59	249	0	0.1%
	小計	335	385	169	243	3,854	4	1.1%
	加算							
	心臓食	2,017	2,113	2,933	2,742	26,108	24	7.4%
	腎臓・透析食	1,244	960	1,228	1,555	15,622	14	4.4%
	糖尿病食	2,343	2,480	2,568	2,444	28,249	26	8.0%
	肝臓食	164	132	259	163	2,356	2	0.7%
	潰瘍食	357	171	177	136	2,734	2	0.8%
マージン食	55	45	91	37	710	1	0.2%	
注腸検査食・その他(貧血等)	0	0	0	32	394	0	0.1%	
小計	6,180	5,901	7,256	7,109	76,173	70	21.7%	
合計	29,068	27,661	27,964	30,256	351,594	321	100%	
1食平均給食数	313	307	311	336	321			
特別治療食(加算)比率	21.3	21.3	25.9	23.5	21.7			

(注) 一食平均給食数=合計欄の食数÷(暦日×3食)

## (2) 栄養指導件数

指 導 内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	糖 尿 病 教 室	6	3	2	2	6	5	6	5	10	12	9	9	75	
	小 計	6	3	2	2	6	5	6	5	10	12	9	9	75	
人 指 導 可 算 定	腎 臓 病	塩分6g未満	21	32	28	28	24	36	30	26	23	19	35	36	338
	心 臓 疾 患	塩分6g未満	5	6	4	6	8	6	8	9	5	9	12	18	96
	高 血 圧	塩分6g未満	0	6	1	2	2	3	1	3	0	4	0	3	25
	妊 娠 中 毒 症	塩分8g未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4
	肝 臓 病		1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1	2	8
	糖 尿 病		39	39	36	26	51	30	31	33	49	36	34	34	438
	肥 満 症	BMI 30以上 or 肥満度 40以上	0	0	1	2	3	2	2	1	0	2	0	3	16
	脂 質 異 常 症	LDL140mg/dl以上 orTG150mg/dl以上 orHDL40mg/dl未満	2	0	1	2	3	1	3	2	2	4	1	3	24
	胃 潰 瘍 ・ 十 二 指 腸 潰 瘍		1	4	4	9	4	1	3	4	7	3	7	4	51
	鉄 欠 乏 性 貧 血	Hb10g/dl以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脾 臓 疾 患		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	高 尿 酸 血 症		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	潰 瘍 性 大 腸 炎 ・ ク ロ ン 氏 病		1	1	0	2	1	2	2	0	1	0	0	0	10
	小 児 ア レ ル ギ ー ・ 先 天 性 代 謝 異 常 症		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	嚥 下 困 難		0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	癌		4	6	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	15
	低 栄 養	Alb3.0mg/dl以下 or 医師から栄養改善が必要 であると認められた者	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	小 計		74	97	82	81	97	83	83	79	90	79	91	108	1,044
	算 定 不 可	消 化 器 疾 患		5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
耐 糖 能 異 常			0	0	0	0	2	0	1	2	0	2	0	8	
肥 満 症			0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	
脳 血 管 障 害			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
算 定 条 件 不 適 合			10	8	11	10	2	4	9	7	9	4	9	6	89
健 診 セ ン タ ー			0	0	1	1	0	5	2	2	1	0	0	1	13
そ の 他			0	1	2	2	3	3	3	2	2	1	2	0	21
小 計		15	9	14	13	8	12	16	14	12	7	11	8	139	
そ の 他	病 棟 訪 問 (ア レ ル ギ ー ・ 摂 食 不 良 等 問 き 取 り 等)		58	49	75	58	59	54	54	46	55	62	41	53	664
	糖 尿 病 週 間		0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
	小 計		58	49	75	58	59	54	54	53	55	62	41	53	671
算 定 合 計		74	97	82	81	97	83	83	79	90	79	91	108	1,044	
総 合 計		153	158	173	154	170	154	159	151	167	160	152	178	1,929	

## 8. 放射線科／放射線技術科業務状況

### (1) 検査別利用状況

#### 一般撮影

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	42	54	57	40	36	46	52	43	55	53	44	43	565
頸部	2	6	3	3	3	2	5	2	2	1	1	2	32
胸部	2,391	2,450	2,494	2,564	2,494	2,331	2,363	2,358	2,352	2,380	2,172	2,502	28,851
腹部	354	304	298	321	301	288	298	217	286	244	220	248	3,379
胸郭・肩	114	112	140	114	111	111	124	133	124	107	119	128	1,437
骨盤	414	383	409	389	367	392	341	435	342	348	337	423	4,580
脊椎	569	497	542	473	459	442	440	413	436	402	470	507	5,650
上肢	212	220	245	223	243	216	224	226	223	253	241	252	2,778
下肢	581	564	620	534	550	573	554	516	521	480	510	614	6,617
乳房	130	126	156	165	168	169	165	172	166	125	134	126	1,802
パノラマ	135	132	165	143	148	128	122	116	147	129	126	149	1,640
合計	4,944	4,848	5,129	4,969	4,880	4,698	4,688	4,631	4,654	4,522	4,374	4,994	57,331
1日平均	247.2	255.2	233.1	248.5	221.8	234.9	234.4	231.6	244.9	238.0	218.7	227.0	235.9

#### 病棟ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	4
胸部	486	337	335	385	481	442	348	395	485	519	462	537	5,212
腹部	114	52	61	68	71	81	62	70	96	110	108	86	979
胸郭・肩	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
骨盤	1	0	2	3	4	1	2	3	1	5	1	7	30
脊椎	0	0	0	0	0	0	0	14	4	0	0	0	18
上肢	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4	9
下肢	0	0	2	14	3	0	4	3	3	1	2	3	35
合計	601	389	400	471	559	525	419	488	590	635	573	638	6,288

#### OP室ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸部	47	44	56	61	63	53	37	50	54	45	44	38	592
腹部	38	35	36	46	45	35	31	36	42	41	40	48	473
胸郭・肩	0	1	2	2	1	4	0	3	2	1	1	2	19
骨盤	22	23	24	25	25	21	21	28	17	20	15	31	272
脊椎・頭	17	5	21	14	14	10	11	10	9	10	9	12	142
上肢	6	16	11	12	13	7	18	20	11	13	9	11	147
下肢	18	18	25	34	17	23	24	24	21	24	14	23	265
合計	148	142	175	194	178	153	142	171	156	154	132	165	1,910

#### ポータブル合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	749	531	575	665	737	678	561	659	746	789	705	803	8,198
1日平均	37.5	27.9	26.1	33.3	33.5	33.9	28.1	33.0	39.3	41.5	35.3	36.5	33.7

#### 造影撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
泌尿器・婦人科系	13	5	14	11	11	19	9	15	9	8	7	7	128
その他造影撮影	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
合計	14	6	14	11	11	19	9	15	9	9	7	7	131
1日平均	0.7	0.3	0.6	0.6	0.5	1.0	0.5	0.8	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5

## TV室検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
食 道 ・ 胃	41	33	35	37	15	20	31	25	33	15	15	16	316
注 腸	1	3	7	4	4	2	6	4	3	5	1	3	43
気管支ファイバー	17	19	14	16	13	16	12	10	13	10	14	8	162
大腸ファイバー	66	66	85	66	71	77	91	77	80	70	38	27	814
その他透視・造影	81	56	79	67	51	63	54	54	51	46	57	69	728
合 計	206	177	220	190	154	178	194	170	180	146	125	123	2,063
1 日 平 均	10.3	9.3	10.0	9.5	7.0	8.9	9.7	8.5	9.5	7.7	6.3	5.6	8.5

## 血管造影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
心 カ テ	64	62	90	61	55	54	67	80	80	70	66	70	819
そ の 他	12	24	23	19	11	7	12	6	13	7	9	9	152
心カテIVR	15	17	25	17	12	14	13	13	13	10	13	12	174
その他IVR	22	10	18	14	18	15	16	17	20	17	15	12	194
合 計	113	113	156	111	96	90	108	116	126	104	103	103	1,339
1 日 平 均	5.7	5.9	7.1	5.6	4.4	4.5	5.4	5.8	6.6	5.5	5.2	4.7	5.5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
C T	1,439	1,514	1,591	1,549	1,507	1,340	1,428	1,387	1,382	1,427	1,253	1,479	17,296
1 日 平 均	72.0	79.7	72.3	77.5	68.5	67.0	71.4	69.4	72.7	75.1	62.7	67.2	71.2
M R	571	559	668	627	638	593	561	604	569	523	527	647	7,087
1 日 平 均	28.6	29.4	30.4	31.4	29.0	29.7	28.1	30.2	29.9	27.5	26.4	29.4	29.2
R I	59	59	77	64	63	40	56	56	46	42	58	50	670
1 日 平 均	3.0	3.1	3.5	3.2	2.9	2.0	2.8	2.8	2.4	2.2	2.9	2.3	2.8
D E X A	152	173	193	146	141	158	171	184	161	113	134	194	1,920
1 日 平 均	7.6	9.1	8.8	7.3	6.4	7.9	8.6	9.2	8.5	5.9	6.7	8.8	7.9
E S W L	2	2	5	5	6	5	6	4	4	4	6	5	54
1 日 平 均	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2
放射線治療	302	352	481	500	582	456	417	485	348	359	391	356	5,029
1 日 平 均	15.1	18.5	21.9	25.0	26.5	22.8	20.9	24.3	18.3	18.9	19.6	16.2	20.7

## 健診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
頭 部	0	6	5	4	3	5	6	2	0	2	4	2	39
頸 椎	0	6	5	4	3	5	6	2	0	2	4	2	39
胸 部	148	213	286	273	283	250	261	270	204	172	239	117	2,716
腹 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パノラマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 房	21	82	111	126	115	97	106	92	84	89	79	60	1,062
胃 透 視	132	182	245	237	245	207	211	229	155	122	209	100	2,274
注 腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨 塩 定 量	3	9	4	8	8	8	6	6	3	11	3	2	71
M R	12	23	26	24	24	24	20	19	16	16	19	12	235
C T	5	7	9	13	18	8	7	17	6	9	4	7	110
合 計	321	528	691	689	699	604	623	637	468	423	561	302	6,546

## (2) 各科別利用件数 (外来)

(単位：件)

	単 純 撮 影	断 層 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌 尿 器 ・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブ ル	O P 室 ポ ー タ ブ ル	合 計
内科	2,665	0	0	2	0	0	0	2,078	202	14	0	0	0	0	0	4,961
小児	799	0	0	0	0	0	2	25	33	0	0	0	0	4	0	863
外科	4,168	0	2	61	0	0	116	1,334	202	1	97	0	387	0	2	6,370
耳鼻	438	0	0	12	0	0	0	435	161	0	6	0	0	0	0	1,052
産婦	404	0	0	0	20	0	20	202	291	0	0	0	0	1	0	938
眼科	383	0	0	0	0	0	0	78	29	0	0	0	0	0	0	490
整形	18,308	0	0	345	0	0	1,303	1,182	1,475	0	4	0	0	1	114	22,732
泌尿	1,284	0	0	85	50	51	1	808	156	0	62	0	0	0	0	2,497
皮膚	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
脳外	468	0	0	2	0	0	0	1,297	1,273	4	13	0	0	1	0	3,058
歯科	1,422	0	0	1	0	0	0	122	29	0	0	0	0	0	0	1,574
神内	130	0	0	0	0	0	2	410	529	0	69	0	0	0	0	1,140
心外	1,122	0	0	0	0	0	0	669	8	0	0	0	0	0	0	1,799
形成	199	0	0	1	0	0	0	46	25	0	3	0	0	0	0	274
呼内	5,823	0	0	0	0	0	8	1,337	67	0	66	0	0	1	0	7,302
呼外	2,991	0	0	1	0	0	0	833	158	0	121	0	0	0	0	4,104
循内	4,346	0	0	0	0	0	0	560	68	50	38	0	0	0	0	5,062
消内	31	0	0	684	0	0	1	323	157	0	0	0	0	0	0	1,196
麻酔	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,902	0	0	5,902
放診	18	0	0	2	0	0	1	917	998	1	54	0	0	0	0	1,991
腎内	457	0	1	0	0	0	83	412	71	2	10	0	0	0	0	1,036
血内	117	0	0	0	0	0	0	167	8	0	0	0	0	0	0	292
膠原	1,005	0	0	0	0	0	38	118	28	0	0	0	0	0	0	1,189
放治	45	0	0	1	0	0	0	355	77	0	0	3,777	0	0	0	4,255
救急	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
透内	658	0	0	0	0	0	192	126	11	13	0	0	0	2	0	1,002
総合診	18	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	21
合計	47,310	0	3	1,197	70	51	1,767	13,839	6,056	85	543	3,777	6,289	10	117	81,114

## (3) 科別利用件数 (入院)

(単位：件)

	単 純 撮 影	断 層 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌 尿 器 ・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブ ル	O P 室 ポ ー タ ブ ル	合 計
内科	37	0	0	0	0	0	0	29	3	1	1	0	0	22	0	93
小児	517	0	0	7	1	0	0	12	52	0	0	0	0	181	0	770
外科	654	0	0	107	0	0	0	157	21	19	1	0	0	601	470	2,030
耳鼻	30	0	0	63	0	0	0	16	12	1	0	0	0	4	1	127
産婦	110	0	0	0	0	0	0	18	11	3	0	0	0	71	185	398
眼科	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
整形	2,657	0	0	112	0	0	76	392	116	2	3	0	0	222	742	4,322
泌尿	113	0	0	12	56	3	0	79	22	0	4	0	0	46	97	432
皮膚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外	428	0	0	8	0	0	0	1,059	334	135	37	0	0	410	0	2,411
歯科	338	0	0	1	0	0	0	9	4	0	0	0	0	39	6	397
神内	98	0	0	2	0	0	4	93	60	1	6	0	0	75	0	339
心外	1,804	0	0	0	0	0	0	375	121	26	1	0	0	1,655	155	4,137
形成	5	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0	0	0	2	0	18
呼内	1,200	0	0	112	0	0	5	214	75	11	29	0	0	1,046	0	2,692
呼外	1,442	0	0	56	0	0	0	158	69	6	27	0	0	537	133	2,428
循内	1,143	0	0	0	0	0	0	250	32	933	4	0	0	958	0	3,320
消内	24	0	0	334	0	0	0	55	5	16	0	0	0	1	0	435
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	5
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	218	0	0	218
放診	2	0	0	54	0	0	0	7	1	17	2	0	0	4	0	87
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
腎内	518	0	0	0	1	0	58	213	37	15	0	0	0	345	0	1,187
血内	99	0	0	0	0	0	0	177	12	25	12	0	0	32	0	357
膠原	42	0	0	0	0	0	8	23	4	0	0	0	0	2	0	79
放治	10	0	0	0	0	0	0	93	28	0	0	1,252	0	0	0	1,383
透内	86	0	0	0	0	0	2	16	6	43	0	0	0	12	0	165
総合診	4	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	10	0	19
合計	11,368	0	0	868	58	3	153	3,457	1,031	1,254	127	1,252	218	6,278	1,793	27,860

## (4) 月別利用患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数 (人)	5,790	6,099	6,798	6,322	6,383	6,003	6,177	6,218	5,788	5,583	5,447	6,092	72,700
入院患者数 (人)	2,194	1,960	2,124	2,433	2,413	2,065	1,932	2,011	2,120	2,143	1,979	2,129	25,503
合 計 (人)	7,984	8,059	8,922	8,755	8,796	8,068	8,109	8,229	7,908	7,726	7,426	8,221	98,203
1日平均 (人)	399.2	424.2	405.5	437.8	399.8	403.4	405.5	411.5	416.2	406.6	371.3	373.7	404.1
フィルム使用枚数 (枚)	61	67	83	65	49	65	41	53	49	67	56	95	751
1日平均 (枚)	3.1	3.5	3.8	3.3	2.2	3.3	2.1	2.7	2.6	3.5	2.8	4.3	3.1

(5) 検査別前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影													
平成27年度	5,022	4,908	5,343	5,280	4,903	4,911	5,239	4,974	4,998	4,800	5,048	5,233	60,659
平成28年度	4,944	4,848	5,129	4,969	4,880	4,698	4,688	4,631	4,654	4,522	4,374	4,994	57,331
前年比(%)	98.4	98.8	96.0	94.1	99.5	95.7	89.5	93.1	93.1	94.2	86.6	95.4	94.5
血管造影													
平成27年度	112	106	121	119	112	98	120	145	135	126	124	123	1,441
平成28年度	113	113	156	111	96	90	108	116	126	104	103	103	1,339
前年比(%)	100.9	106.6	128.9	93.3	85.7	91.8	90.0	80.0	93.3	82.5	83.1	83.7	92.9
C T													
平成27年度	1,408	1,438	1,675	1,555	1,427	1,492	1,481	1,434	1,455	1,382	1,437	1,539	17,723
平成28年度	1,439	1,514	1,591	1,549	1,507	1,340	1,428	1,387	1,382	1,427	1,253	1,479	17,296
前年比(%)	102.2	105.3	95.0	99.6	105.6	89.8	96.4	96.7	95.0	103.3	87.2	96.1	97.6
MR													
平成27年度	617	555	663	671	611	531	581	580	604	535	606	655	7,209
平成28年度	571	559	668	627	638	593	561	604	569	523	527	647	7,087
前年比(%)	92.5	100.7	100.8	93.4	104.4	111.7	96.6	104.1	94.2	97.8	87.0	98.8	98.3
R I													
平成27年度	58	58	64	58	58	61	59	59	46	59	50	52	682
平成28年度	59	59	77	64	63	40	56	56	46	42	58	50	670
前年比(%)	101.7	101.7	120.3	110.3	108.6	65.6	94.9	94.9	100	71.2	116.0	96.2	98.2
DEXA (骨塩定量)													
平成27年度	154	131	163	157	141	149	181	162	143	132	153	198	1,864
平成28年度	152	173	193	146	141	158	171	184	161	113	134	194	1,920
前年比(%)	98.7	132.1	118.4	93.0	100	106.0	94.5	113.6	112.6	85.6	87.6	98.0	103.0
ESWL (体外衝撃波結石破碎)													
平成27年度	11	5	6	19	14	14	6	9	11	4	8	2	109
平成28年度	2	2	5	5	6	5	6	4	4	4	6	5	54
前年比(%)	18.2	40.0	83.3	26.3	42.9	35.7	100	44.4	36.4	100	75.0	250.0	49.5
放射線治療													
平成27年度	474	274	511	623	439	398	396	377	486	410	493	345	5,226
平成28年度	302	352	481	500	582	456	417	485	348	359	391	356	5,029
前年比(%)	63.7	128.5	94.1	80.3	132.6	114.6	105.3	128.6	71.6	87.6	79.3	103.2	96.2
ポータブル撮影													
平成27年度	761	735	780	737	664	665	749	775	717	677	705	798	8,763
平成28年度	749	531	575	665	737	678	561	659	746	789	705	803	8,198
前年比(%)	98.4	72.2	73.7	90.2	111.0	102.0	74.9	85.0	104.0	116.5	100	100.6	93.6
外来患者数													
平成27年度	6,011	6,005	6,869	6,886	6,209	6,083	6,544	6,217	6,224	5,814	6,186	6,246	75,294
平成28年度	5,790	6,099	6,798	6,322	6,383	6,003	6,177	6,218	5,788	5,583	5,447	6,092	72,700
前年比(%)	96.3	101.6	99.0	91.8	102.8	98.7	94.4	100	93.0	96.0	88.1	97.5	96.6
入院患者数													
平成27年度	2,303	2,088	2,459	2,416	2,197	2,108	2,331	2,302	2,300	2,138	2,322	2,283	27,247
平成28年度	2,194	1,960	2,124	2,433	2,413	2,065	1,932	2,011	2,120	2,143	1,979	2,129	25,503
前年比(%)	95.3	93.9	86.4	100.7	109.8	98.0	82.9	87.4	92.2	100.2	85.2	93.3	93.6
外来入院合計患者数													
平成27年度	8,314	8,093	9,328	9,302	8,406	8,191	8,875	8,519	8,524	7,952	8,508	8,529	102,541
平成28年度	7,984	8,059	8,922	8,755	8,796	8,068	8,109	8,229	7,908	7,726	7,426	8,221	98,203
前年比(%)	96.0	99.6	95.6	94.1	104.6	98.5	91.4	96.6	92.8	97.2	87.3	96.4	95.8
フィルム使用枚数													
平成27年度	80	63	65	55	60	87	54	61	64	72	56	75	792
平成28年度	61	67	83	65	49	65	41	53	49	67	56	95	751
前年比(%)	76.3	106.3	127.7	118.2	81.7	74.7	75.9	86.9	76.6	93.1	100	126.7	94.8

## 9. 中央検査技術科業務状況

### (1) 院内部門別件数

(単位：件)

	一 般	血 液	化 学	免 疫	輸 血	細 菌	生 理	聴 力	病 理	平成28年度合計	対前年度比	平成27年度合計
4月	34,669	47,692	125,215	7,263	833	1,991	2,969	176	892	221,700	94.1%	235,699
5月	34,918	48,447	127,095	8,083	901	1,977	3,146	189	808	225,564	100.7%	223,896
6月	37,521	51,704	132,531	8,300	949	1,870	3,723	140	1,071	237,809	95.9%	248,003
7月	36,510	51,049	133,940	7,904	935	2,304	3,280	167	1,030	237,119	93.1%	254,691
8月	38,062	52,357	140,266	7,832	869	1,998	3,272	190	916	245,762	105.7%	232,489
9月	35,862	48,804	129,718	7,860	819	1,698	3,036	152	916	228,865	100.1%	228,695
10月	34,959	47,686	128,514	7,715	867	2,068	3,085	182	941	226,017	93.1%	242,796
11月	34,741	48,160	130,610	7,529	856	1,815	3,175	158	917	227,961	100.4%	226,956
12月	33,942	48,310	129,365	7,106	795	1,957	2,971	149	892	225,487	97.9%	230,299
1月	33,312	47,899	130,978	7,605	877	2,668	2,862	165	817	227,183	100.0%	227,291
2月	31,212	44,154	121,172	7,150	807	2,024	3,008	132	793	210,452	91.5%	230,048
3月	34,612	49,869	133,645	8,020	895	2,077	3,047	185	863	233,213	96.9%	240,775
合計	420,320	586,131	1,563,049	92,367	10,403	24,447	37,574	1,985	10,856	2,747,132	97.4%	2,821,638

### (2) 委託先別件数

	A社			B社		
	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比
4月	2,569件	1,995件	77.7%	628件	634件	101.0%
5月	2,064件	2,315件	112.2%	657件	635件	96.7%
6月	2,776件	2,308件	83.1%	713件	765件	107.3%
7月	2,601件	2,219件	85.3%	656件	741件	113.0%
8月	2,428件	2,369件	97.6%	675件	689件	102.1%
9月	2,047件	2,339件	114.3%	586件	611件	104.3%
10月	2,394件	2,380件	99.4%	741件	643件	86.8%
11月	2,264件	2,182件	96.4%	647件	645件	99.7%
12月	2,124件	2,174件	102.4%	670件	754件	112.5%
1月	2,087件	2,146件	102.8%	600件	544件	90.7%
2月	2,237件	2,391件	106.9%	714件	577件	80.8%
3月	2,242件	2,531件	112.9%	684件	641件	93.7%
合計	27,833件	27,349件	98.3%	7,971件	7,879件	98.8%

	平成27年度			平成28年度			対前年度比
	A社	B社	小 計	A社	B社	小 計	
4月	2,569件	628件	3,197件	1,995件	634件	2,629件	82.2%
5月	2,064件	657件	2,721件	2,315件	635件	2,950件	108.4%
6月	2,776件	713件	3,489件	2,308件	765件	3,073件	88.1%
7月	2,601件	656件	3,257件	2,219件	741件	2,960件	90.9%
8月	2,428件	675件	3,103件	2,369件	689件	3,058件	98.5%
9月	2,047件	586件	2,633件	2,339件	611件	2,950件	112.0%
10月	2,394件	741件	3,135件	2,380件	643件	3,023件	96.4%
11月	2,264件	647件	2,911件	2,182件	645件	2,827件	97.1%
12月	2,124件	670件	2,794件	2,174件	754件	2,928件	104.8%
1月	2,087件	600件	2,687件	2,146件	544件	2,690件	100.1%
2月	2,237件	714件	2,951件	2,391件	577件	2,968件	100.6%
3月	2,242件	684件	2,926件	2,531件	641件	3,172件	108.4%
合計	27,833件	7,971件	35,804件	27,349件	7,879件	35,228件	98.4%

### (3) 院内・委託件数比率

	院内検査 〔件〕	委託検査 〔件〕	A社 〔件〕	B社 〔件〕	委託検査 〔%〕	委託検査 〔%〕
4月	221,700	2,629	1,995	634	98.81	1.19
5月	225,564	2,950	2,315	635	98.69	1.31
6月	237,809	3,073	2,308	765	98.71	1.29
7月	237,119	2,960	2,219	741	98.75	1.25
8月	245,762	3,058	2,369	689	98.76	1.24
9月	228,865	2,950	2,339	611	98.71	1.29
10月	226,017	3,023	2,380	643	98.66	1.34
11月	227,961	2,827	2,182	645	98.76	1.24
12月	225,487	2,928	2,174	754	98.70	1.30
1月	227,183	2,690	2,146	544	98.82	1.18
2月	210,452	2,968	2,391	577	98.59	1.41
3月	233,213	3,172	2,531	641	98.64	1.36
合計	2,747,132	35,228	27,349	7,879	98.72	1.28

### (4) 生理検査種別年度比

	心電図			ホルター心電図			CPX			脳波		
	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比
外来合計	15,508	15,230	98.2%	365	338	92.6%	0	17	皆増	214	235	109.8%
入院合計	3,981	3,550	89.2%	55	55	100.0%	0	8	皆増	188	170	90.4%
総合計	19,489	18,780	96.4%	420	393	93.6%	0	25	皆増	402	405	100.7%
	U C G			頸動脈エコー			腹部エコー			肺機能		
	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比
外来合計	3,059	2,945	96.3%	531	511	96.2%	2,284	2,284	100.0%	3,620	3,543	97.9%
入院合計	1,634	1,510	92.4%	434	417	96.1%	175	178	101.7%	162	141	87.0%
総合計	4,693	4,455	94.9%	965	928	96.2%	2,459	2,462	100.1%	3,782	3,684	97.4%
	A B R			A B I			筋電図			総計		
	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比	平成27年度	平成28年度	対前年度比
外来合計	14	18	128.6%	1,844	1,779	96.5%	304	248	81.6%	27,743	27,148	97.9%
入院合計	62	32	51.6%	688	617	89.7%	116	59	50.9%	7,495	6,737	89.9%
総合計	76	50	65.8%	2,532	2,396	94.6%	420	307	73.1%	35,238	33,885	96.2%

## 10. リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況

### (1) 理学療法患者数

(単位：件)

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	357	3,576	3,933	-494	89 %
5月	360	3,392	3,752	34	101
6月	471	3,801	4,272	226	106
7月	394	3,847	4,241	173	104
8月	454	4,052	4,506	486	112
9月	454	3,441	3,895	152	104
10月	473	3,361	3,834	-264	94
11月	540	3,373	3,913	-6	100
12月	445	3,422	3,867	-92	98
1月	427	3,398	3,825	-103	97
2月	419	3,707	4,126	-181	96
3月	491	4,028	4,519	-21	100
計	5,285	43,398	48,683	-90	100

### (2) 作業療法患者数

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	65	1,746	1,811	43	102 %
5月	54	1,745	1,799	333	123
6月	70	1,982	2,052	350	121
7月	65	1,890	1,955	305	118
8月	67	1,921	1,988	373	123
9月	58	1,769	1,827	202	112
10月	51	1,801	1,852	-17	99
11月	78	1,783	1,861	143	108
12月	79	1,775	1,854	65	104
1月	88	1,644	1,732	22	101
2月	73	1,768	1,841	40	102
3月	92	1,855	1,947	21	101
計	840	21,679	22,519	1,880	109

### (3) 言語聴覚療法患者数

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	36	940	976	100	111 %
5月	31	1,007	1,038	234	129
6月	50	1,179	1,229	250	126
7月	49	1,018	1,067	152	117
8月	46	1,129	1,175	105	110
9月	30	1,021	1,051	73	107
10月	29	1,050	1,079	-34	97
11月	38	918	956	-14	99
12月	37	933	970	-20	98
1月	38	917	955	-32	97
2月	33	1,068	1,101	36	103
3月	42	1,117	1,159	87	108
計	459	12,297	12,756	937	108

## 11. 開放型入院患者状況

	入院患者 延人数 (人)	1日平均 患者数 (人)	病床 利用率 (%)	新規入院 患者数 (人)	退院 患者数 (人)	平均入院 在院日数 (日)	利用 登録医 (人)	共同 指導回数 (回)
4月	71	2.4	4.7	2	3	28.4	3	1
5月	89	2.9	5.7	2	1	59.3	2	2
6月	39	1.3	2.6	0	1	39.0	3	1
7月	37	1.2	2.4	1	1	37.0	2	0
8月	22	0.7	1.4	1	2	14.7	2	1
9月	23	0.8	1.5	3	3	7.7	3	2
10月	27	0.9	1.7	1	0	54.0	1	0
11月	17	0.6	1.1	1	1	17.0	2	0
12月	24	0.8	1.5	2	2	12.0	2	0
1月	45	1.5	2.9	4	1	18.0	5	2
2月	72	2.6	5.1	1	2	48.0	4	1
3月	56	1.8	3.6	0	1	112.0	2	0
合計	522	1.4	2.9	18	18	37.3	31	10

## 12. 訪問看護ステーション業務状況

### ◆訪問回数

延べ訪問回数	介護保険	6,222	79.2%
	医療保険	1,632	20.8%

### ◆利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入	10	4	6	7	2	5	2	6	3	8	8	3	64
新規受入(院内)	8	3	5	7	2	4	1	4	1	7	8	3	53
新規受入(院外)	2	1	1	0	0	1	1	2	2	1	0	0	11
終了(在宅)	1	1	0	2	2	5	1	0	3	1	1	2	19
終了(在宅以外)	3	4	0	3	5	1	2	0	3	5	7	4	37
継続	97	107	114	109	112	106	114	115	112	104	102	111	1,303
計	121	120	126	128	123	122	121	127	124	126	126	123	1,487

### ◆終了状況

死亡内訳	在宅	在宅外 (病院・施設)	その他 (転居・転院・中止)
総数	15	37	8
がん	11	18	
心疾患	3	2	
脳血管障害	1	1	
その他	4	8	

### ◆疾患別患者数

疾病名	利用者数
循環器系疾患	15
癌	41
神経系疾患	8
脳血管系疾患	21
内分泌系疾患	19
精神疾患	12
筋骨格系疾患	17
呼吸器系疾患	16
血液・免疫機能系疾患	2
腎泌尿器系疾患	11
消化器系疾患	5
先天性奇形	3
皮膚及び皮下組織系疾患	7
計	177

### ◆年齢別患者数

年齢層	人数
0～10	0
11～20	1
21～30	1
31～40	3
41～50	3
51～60	5
61～70	18
71～80	45
81～90	71
91～100	29
101以上計	2

### ◆介護区分別患者数

介護度	人数
要支援1	3
要支援2	13
要介護1	19
要介護2	38
要介護3	26
要介護4	13
要介護5	25

男女人数	人数
男性	94
女性	84

### ◆緊急対応(夜間・休日)

電話のみ	592件
出動	328件

### 13. 平成28年 疾病別 (ICD) ・転帰別 退院患者数 (転科含)

	性 別	平均 在科 日数	転						帰						総 計		
			1	2	3	4	5	6	7							8	
			治癒	軽快	寛解	不変	増悪	その他	中止 (自己)	転科 (治癒)	転科 (軽快)	転科 (寛解)	転科 (不変)	転科 (増悪)		死 割検有	亡 割検無
感染症および寄生虫症	男	8	9	110	0	2	0	6	0	0	1	0	2	2	1	5	138
	女	9	4	88	0	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	6	106
新生物	男	18	0	551	9	174	0	175	2	0	0	10	1	3	111	1,036	
	女	18	0	507	21	94	0	41	0	0	5	0	9	2	2	62	743
血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	17	0	23	0	5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	30	
	女	19	0	18	1	1	0	3	0	0	1	0	0	0	1	25	
内分泌、栄養および 代謝疾患	男	12	1	76	1	7	0	16	0	0	10	0	1	0	5	117	
	女	13	1	70	0	6	0	9	0	0	13	0	1	0	4	104	
精神および行動の障害	男	15	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	女	10	0	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
神経系の疾患	男	21	0	90	0	15	1	51	0	0	0	1	1	0	1	160	
	女	26	0	61	0	7	1	20	0	0	1	0	1	0	0	91	
眼および付属器の疾患	男	4	0	243	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	246	
	女	4	0	268	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	269	
耳および乳様突起の疾患	男	8	0	12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13	
	女	5	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
循環器系の疾患	男	13	0	727	0	42	0	148	0	0	20	0	19	4	30	990	
	女	13	0	475	0	9	0	97	0	0	8	0	11	2	23	625	
呼吸器系の疾患	男	12	8	572	1	9	2	5	0	0	9	0	8	2	57	673	
	女	12	7	347	1	8	0	6	0	0	5	0	4	0	23	401	
消化器系の疾患	男	10	3	317	0	5	0	5	0	0	10	0	3	1	3	347	
	女	7	1	303	0	3	3	5	1	0	1	0	1	1	4	323	
皮膚および皮下組織の疾患	男	14	0	34	0	3	0	0	0	0	3	0	1	0	0	41	
	女	17	0	36	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	39	
筋骨格系および 結合組織の疾患	男	22	0	151	1	4	0	30	0	0	3	0	4	0	0	193	
	女	25	0	362	1	3	0	39	0	0	4	0	4	1	2	416	
腎尿路生殖器系の疾患	男	17	0	206	2	52	1	36	0	0	12	0	18	1	1	329	
	女	12	0	229	0	36	0	34	0	0	22	0	17	0	5	343	
妊娠、分娩および 産じょく<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	12	0	207	0	6	2	192	0	0	0	0	0	0	0	407	
周産期に発生した病態	男	8	0	105	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	107	
	女	6	0	97	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	
先天奇形、変形 および染色体異常	男	7	0	13	0	11	0	12	0	0	0	0	0	0	0	36	
	女	11	0	8	0	2	0	9	0	0	0	0	0	0	0	19	
病状、徴候および異常臨床所見・異 常検査所見で他に分類されないもの	男	5	2	18	0	1	0	5	0	0	0	0	2	0	1	29	
	女	5	0	14	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	20	
損傷、中毒および その他の外因の影響	男	17	0	305	0	6	1	3	0	0	7	0	4	0	7	333	
	女	24	1	313	2	7	0	1	0	0	9	0	4	1	3	341	
健康状態に影響をおよぼす要因 および保険サービスの利用	男	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計	男	12	23	3,558	14	338	5	495	2	0	76	0	75	12	4	225	4,823
	女	12	14	3,426	27	188	6	466	1	0	70	0	54	7	2	135	4,394
	計	12	37	6,984	41	526	11	961	3	0	146	0	129	19	6	360	9,217



## 15. 医療機器等購入状況

部 署	品 名	取 得 年 月	
呼吸器内科	一酸化窒素ガス分析装置	平成28年4月	
産婦人科	持針器	平成28年5月	
中央材料室	アテストオートリーダー		
泌尿器科	ファイバー膀胱尿道鏡		
腎臓代謝内科	グルコースモニタリング装置		
人工透析センター	電動スケールベッド	平成28年6月	
泌尿器科	ファイバー膀胱尿道鏡		
	尿管ファイバー		
6西病棟	チューブシーラー		
中央手術室	メラガーゼ付着量測定装置	平成28年7月	
外科	持針器		
呼吸器内科	気管支ファイバー		
麻酔科	喉頭ファイバー		
中央検査技術科	遠心機	平成28年8月	
泌尿器科	尿管ファイバー	平成28年10月	
心臓血管外科	持針器		
中央検査技術科	生物顕微鏡		
臨床工学技術科	除細動器		
救急センター	除細動器	平成28年11月	
6東病棟	薬用冷蔵ショーケース		
6西病棟	薬用冷蔵ショーケース		
心臓血管外科	ドベーカー鉗子、持針器等		
5東病棟	器械戸棚	平成28年12月	
6西病棟	器械戸棚		
歯科・歯科口腔外科	デンタルチェア		
小児科	超音波診断装置		
中央検査技術科	超音波診断装置		
脳神経外科・耳鼻咽喉科	ナビゲーションシステム		
中央手術室	特注麻酔カート		
産婦人科	子宮鏡セット		
中央手術室	保冷库		
産婦人科	吸引娩出器		平成29年1月
	コリボスコープ		
看護局	AED胸骨圧迫自己学習ツール		
整形外科	ニーポジショナー		
	フライトヘルメット		
整形外科	手術用手台	平成29年2月	
泌尿器科	尿管ファイバー		
整形外科	大腿骨上顆軸撮影用椅子		
人工透析センター	電動スケールベッド		
泌尿器科	ネフロスコピーセット	平成29年3月	
ICU	CO2拡張モジュール		
眼科	パターンスキャンレーザー		
整形外科	ナビゲーションシステム		
放射線科	リニアック用ワークステーション		
産婦人科	超音波手術器		
3西病棟	膀胱用超音波診断装置		
脳神経外科	リトラクターシステム		
臨床工学技術科	ペースメーカーテスター		
看護局	膀胱用超音波診断装置		
ICU	血液ガス分析装置		
循環器内科	プローブ		
耳鼻咽喉科	テレスコープ		
中央検査技術科	低温インキュベーター		
中央材料室	高圧蒸気滅菌器		
	RO水製造装置増設水槽水ユニット		
放射線科	X線TV装置		

## 16. 死亡診断書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	9	8	3	5	4	13	3	8	2	13	7	12	87
小 児 科													0
外 科	4	7	3	1	2	2	3	2	3	4	2	3	36
耳鼻咽喉科													0
産 婦 人 科	1	1					1					1	4
眼 科													0
整 形 外 科	1	1						2					4
泌 尿 器 科	1	1		2	2	2		1	1		1		11
皮 膚 科													0
脳神経外科	2	2		3	1	5	2	2	4	2	2	2	27
歯科口腔外科				1			1	1					3
神 経 内 科	1	1	1	1				1			1		6
心臓血管外科		1		2	1		1	1	1		1	1	9
形 成 外 科													0
呼 吸 器 科	12	11	19	10	12	21	9	14	17	17	16	11	169
循 環 器 科	5			4	1	2	3	2	3	6	2		28
消 化 器 科		1	1	1	1	1	1	3					9
死 産		1			1						1	1	4
合 計	36	35	27	30	25	46	24	37	31	42	33	31	397

## 17. 剖検症例

H28.1.1.~H28.12.31

剖検番号	年齢	性別	臨床診断	出所	検索部位	病理診断
AN600	66	男	悪性中皮腫	呼吸器内科	胸腹部	胸膜悪性中皮腫
AN601	75	女	子宮肉腫	産婦人科	腹部	子宮原発肉腫
AN602	85	女	多発性骨髄腫	呼吸器内科	胸腹部	多発性骨髄腫
AN603	66	男	肝腫瘍	消化器内科	胸腹部	肝内胆管癌および肝細胞癌
AN604	69	女	CPA	循環器内科	胸腹部 頭部	心筋梗塞疑い
AN605	68	男	ニューモシスチス肺炎	呼吸器内科	胸腹部	ニューモシスチス肺炎
AN606	87	男	転移性肝腫瘍	消化器内科	胸腹部	混合性小細胞癌

## 18. 院内保育所「あすなろ園」状況

月	性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計	備考
4月	男	2	5	4	5	0	16	
	女	1	5	5	5	0	16	
	計	3	10	9	10	0	32	
5月	男	3	5	3	2	0	13	
	女	1	5	3	5	0	14	
	計	4	10	6	7	0	27	
6月	男	3	5	3	2	0	13	
	女	1	5	3	5	0	14	
	計	4	10	6	7	0	27	
7月	男	3	5	3	2	0	13	
	女	1	6	3	5	0	15	
	計	4	11	6	7	0	28	
8月	男	4	5	3	2	0	14	
	女	1	6	3	5	0	15	
	計	5	11	6	7	0	29	
9月	男	6	5	3	2	0	16	
	女	1	5	3	5	0	14	
	計	7	10	6	7	0	30	
10月	男	6	5	2	2	0	15	
	女	2	5	3	5	0	15	
	計	8	10	5	7	0	30	
11月	男	7	5	2	2	0	16	
	女	2	5	3	5	0	15	
	計	9	10	5	7	0	31	
12月	男	7	5	2	2	0	16	
	女	2	5	3	5	0	15	
	計	9	10	5	7	0	31	
1月	男	7	5	2	2	0	16	
	女	2	5	3	4	0	14	
	計	9	10	5	6	0	30	
2月	男	8	5	2	2	0	17	
	女	3	5	3	4	0	15	
	計	11	10	5	6	0	32	
3月	男	11	5	2	2	0	20	
	女	3	6	3	4	0	16	
	計	14	11	5	6	0	36	
年間合計	男	67	60	31	27	0	185	
	女	20	63	38	57	0	178	
	計	87	123	69	84	0	363	
月平均	男	5.6	5.0	2.6	2.3	0	15.4	
	女	1.7	5.3	3.2	4.8	0	14.8	
	計	7.3	10.3	5.8	7.0	0	30.3	